
第 4 期今治市地域福祉計画・地域福祉活動計画
策定のためのアンケート調査
(市民アンケート)

調査報告書

令和 7 年 3 月
今治市 健康福祉部 福祉政策課

目 次

I	調査概要	1
II	調査結果の概要	2
III	市民アンケート分析結果	5
	問1 あなたご自身のこと	5
	① 性別	5
	② 年齢	5
	③ 世帯構成	6
	④ 居住形態	7
	⑤ 居住地区	8
	⑥ 今治市の居住歴	10
	⑦ 今後も今治市に住みたいか	11
	⑦-1 住みたい理由	13
	⑦-2 住みたくない理由	16
	⑧ 日常生活の不安	19
	問2 関心のある福祉分野	33
	問3 福祉の情報源	36
	問4 福祉の理解を深めるために必要な機会	39
	問5 困ったとき頼る人	41
	問6 日頃の近所づきあい	44
	問7 手助けしてほしいこと	46
	問8 手助けできること	50
	問9 地域行事にどの程度参加したか	54
	問9-1 参加している活動	56
	問9-2 参加した理由	59
	問9-3 参加しない理由	62
	問9-4 参加するために必要な条件	65
	問10 社会問題について	68
	問11 成年後見制度について	91
	問12 成年後見制度の利用	93
	問13 再犯防止について	95
	問14 社会復帰支援	97
	問15 避難場所・避難所について	99
	問16 災害時困ると思うこと	100
	問17 住民が取り組むべきこと	103
	問18 今治市の施策	106
	問19 自由意見	110

I 調査概要

I 調査概要

- ・調査名：第4期今治市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定のためのアンケート調査
- ・目的：第4期今治市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定の基礎資料とするため、「日常生活での課題」、「地域での助け合い」、「福祉サービス」等の観点から、市民に向けてニーズ調査を行いました。
- ・調査期間：令和6年12月6日～令和7年1月6日
- ・調査対象者：市民アンケート 18歳以上の市内在住者（無作為抽出）
- ・標本数：市民アンケート 3,000人
- ・配布方法：郵送配布回収とWEB回答方式の併用

調査対象者	調査対象者数 (標本数)	回収数	有効回収率
市民アンケート	3,000	1,208	40.3%
	内訳郵送回答	997	82.5%
	内訳WEB回答	211	17.5%

2 報告書の見方について

- ・回答結果の割合「%」は、回答者数（n）に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入しています。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100%にならない場合があります。
- ・複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの回答者数（n）に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、「%」合計が100%を超える場合があります。
- ・複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、クロス集計では、回答者数（n）は、無回答を除いた数となっています。
- ・グラフ及び表中に「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答条件に沿っていないものを含んでいます。
- ・グラフ及び表中のn（number of case）は、集計対象者総数です。

Ⅱ 調査結果の概要

Ⅰ 居住及び日常生活について

今治市民全体の居住形態は、持ち家（一戸建てと分譲マンション）は78.0%、一方、賃貸住宅（借家、アパート、賃貸マンション、公営住宅、社宅）は13.4%です。賃貸住宅の地区ごとの割合は、旧今治市が23.7%、旧越智郡陸地部が7.2%、旧越智郡島しょ部が10.1%となり、全体13.4%と比べて、旧今治市が特に割合が高くなっています。（問1④）

居住年数をみると全体で74.3%の人が、今治市に30年以上暮らし続けています。（問1⑥）そして、今後の居住意向は全体で80.1%の人が今治市で暮らし続けたいと答えています。居住意向は、年齢が高いほど住み続けたい意向が高まっており、65歳以上の人は全体の割合80.1%より高くなっています。一方、40歳未満は全体80.1%より16.7ポイント低くなります。（問1⑦）

住み続けたい理由は、「自分の土地や家がある」ことを全体で72.2%の人が挙げており、おおむね令和元年調査と同じ傾向です。（問1⑦-1）

住み続けたくない理由では、「買い物や交通の便が悪い」ことを全体で51.0%の人が挙げており、おおむね令和元年調査と同じ傾向です。地区別にみると、旧今治市が40.6%、旧越智郡島しょ部では全員が不便と答えており、地区で格差がみられます。「福祉、医療などのサービスが整っていない」は全体で19.6%となり、令和元年調査から11.7ポイント低くなりました。地区別にみると、旧今治市と旧越智郡陸地部は1割台ですが、旧越智郡島しょ部では37.5%の人が整っていないと答えており、地区で格差がみられます。（問1⑦-2）一方で、住み続けたい理由では、「福祉、医療などのサービスが整っている」は全体で5.3%に留まり、福祉、医療などのサービスの向上が課題となります。（問1⑦-1）

「現在」の日常生活での困りごとは、「日常の買い物」や「近所付き合い」など12の項目すべて1割以下に留まっていますが、「将来の不安」については、「自分や家族の介護」（61.7%）、「災害時の避難訓練」（54.4%）、「健康状態」（56.4%）において、半数以上の人々が「将来の不安」に挙げています。地区別にみると、「日常の買い物」や「日常の外出・通院」の外出面で、旧今治市に比べその他の地区では半数以上の人々が「将来の不安」と感じ、地区で格差がみられます。旧越智郡島しょ部では、「経済的な状況」を半数以上の人々が「将来の不安」に感じています。「近所付き合い」をみると、「特に困ったり不安は感じていない」が6割台で、令和元年調査と同じ傾向です。地区別にみてもすべての地区で6割台です。（問1⑧）

2 福祉について

「福祉」の分野の中で関心が高いのは、全体で73.8%の人が「高齢福祉（介護等）」を挙げています。年齢別にみると、40歳未満の人は「高齢福祉（介護等）」への関心が33.9%に留まり、「児童福祉（保育・子育て）」（58.9%）や「教育」（39.3%）への関心が他の年齢層よりも高くなっています。（問2）

今後も高齢化が進行することや健康寿命の延伸を背景に、高齢福祉は重要な取組となります。一方、福祉への理解を深めるためには、「福祉の制度、サービス、理念や考え方を学習すること」（56.5%）、「地域で福祉についての課題を気軽に話し合える場をつくること」（41.6%）、「介護を必要とする人やその家族などの話を聞いたり、交流したりすること」（41.5%）の機会を持つことを挙げています。（問4）

福祉の情報入手先は、「市の広報（広報いまばり）」が全体で 64.0%を占めていますが、福祉サービス事業者、社協機関紙「こころ」等、福祉専門職相談窓口、民生・児童委員の福祉関係者からの情報は 1 割以下となり、一般市民が福祉関係者の情報に触れる機会は少ないと言えます。また、年代別にみると、40 歳以上では「市の広報（広報いまばり）」が半数以上、40 歳未満は、「インターネット、SNS」が半数以上となります。（問 4）

3 地域や隣人とのかかわりについて

今治市民の日頃の近所付き合いは、「ごくたまにあいさつを交わす程度」と全体で 58.1%の人が答えています。令和元年調査と同じ傾向です。一方、「毎日いろいろなことを話し合う」人は、旧越智郡島しょ部で 2 割台、旧越智郡陸地部で 1 割台、旧今治市で 1 割以下となっています。年齢別にみると、年代が高いほど「毎日いろいろなことを話し合う」関係があり、75 歳以上で 20.1%、65 歳～74 歳で 13.6%、65 歳未満は 1 割以下です。近所付き合いは、島しょ部の地域性、高齢者が関係性をつくりやすく、40 歳未満は関係性が薄くなっています。（問 6）

困ったときに頼る人は、「家族・親族」が全体で 87.8%、「友人・知人」が 52.5%を占めています。一方、「自治会・町内会・近所の人」、「福祉サービス事業者」、「社会福祉協議会」、「民生・児童委員」の福祉関係者に頼る一般市民は少ない結果となっていますが、年齢が高くなるほど頼る人が増えていきます。（問 6）

近所の人に望む手助けは、「安否確認の声かけ」（46.9%）、「災害時の避難支援」（43.7%）を挙げています。（問 7）

困っている世帯へ手助けできることは、「安否確認の声かけ」（69.5%）、「災害時の避難支援」（42.2%）を挙げています。（問 8）

近所の人の手助けを望むことと近所の人困った時の手助けは、「安否確認の声かけ」、「災害時の避難支援」の割合が高いですが、「買い物やゴミ出し」、「相談相手」、「外出時の補助」についても相互のニーズが合っています。

4 地域活動について

清掃、運動会、お祭り、ボランティア、その他地域行事などの地域活動に参加している人（46.6%）と参加していない人（43.7%）の割合は同程度となっています。地区別にみると、旧今治市では参加していない人が 5 割以上、旧越智郡陸地部と旧越智郡島しょ部では参加している人が 6 割以上となり、地区の格差がみられます。また、年齢別にみると、年代が高いほど参加している人が多くなります。一方、40 歳未満は「どんな活動があるかわからない」（21.4%）を挙げており、地域活動の情報が行き届かない状況がみられます。（問 9）

参加した地域活動は、「清掃活動」（77.8%）、「お祭り（地方祭など）」（52.5%）、「自治会活動」（43.2%）となっています。「清掃活動」、「自治会活動」は年代が高い人の参加が多く、「お祭り（地方祭など）」年代が低い人の参加が多くなっています。（問 9-1）

地域活動に参加した理由は、「地域や社会に貢献したい」（45.0%）、「当番等になった」（40.9%）が挙げられています。「地域や社会に貢献したい」意欲は、旧越智郡島しょ部の地域性や年代が高い人において、意識が高くなっています。（問 9-2）

参加しない理由は、「参加する時間がない」（43.8%）を挙げており、特に旧今治市や 64 歳未満の人の割合が高くなっています。（問 9-3）

今後どのような条件が整えば地域活動に参加できるかについては、「時間や経済的なゆとり」(53.2%)を挙げており、特に旧今治市、旧越智郡陸地部、64歳未満の人の割合が高くなっています。(問9-4)

住民が地域活動へ参加するには、時間のゆとりや時間の確保が課題となります。

5 社会問題について

重要と思う社会問題は、「地域の防犯対策」(58.8%)、「災害時における支援体制」(64.9%)、「交通弱者の移動手段の確保」(54.9%)において「そう思う」が半数を超えています。一方、重要性が低い(「あまりそう思わない」と「そう思わない」の計)項目は、「ホームレスの問題を社会全体で考えていくこと」(30.9%)、「性的マイノリティの理解に関すること」(25.3%)、「多文化共生に関すること」(23.5%)、「ひきこもりやニートの問題を社会全体で考えていくこと」(23.2%)が挙げられています。(問10)

成年後見制度の認知度は、全体で59.0%の人が知っており(58.1%)、利用した人(0.9%)もいます。令和元年調査と同じ傾向です。(問11)

成年後見制度の利用意向は、利用した人が0.9%と少ない現状ですが、利用したい人は27.7%います。利用を阻む要因は、制度を知らないこと(33.1%)、手続きが面倒と思うこと(15.2%)や費用面の負担(11.8%)を6割の人が思っています。令和元年調査とほぼ同じ傾向です。(問12)

再犯防止の取組の認知度は、全体で55.3%であり、令和元年調査(47.5%)から7.8ポイント高くなっています。(問13) また、刑務所などを出所した人に対する社会復帰支援について、「地域の安全・安心のためには、ある程度支援することは必要だ」(38.3%)と必要性を挙げ、支援の取組の主体は「行政や関係機関が責任をもって積極的に支援すべきだ」(25.3%)、「市民の理解と協力を得ながら、社会全体として積極的に支援すべきだ」(18.8%)を挙げています。(問14)

災害時の避難場所・避難所については、すべての地区及び年齢層で7割以上の人が「知っている」と答えています。(問15)

災害時の避難で困ることは、「避難場所・避難所でのプライバシーの確保」(63.7%)を半数以上の人が挙げています。40歳未満の人は、「どのように対応すべきかの判断できない」(62.5%)、「何が起きているか把握できない」(49.1%)を挙げています。(問16)

6 今治の施策について

安心して暮らすことができる地域社会の実現に向けて住民の取組で必要なことは、「近隣住民と日常的な対話や交流を広げる」(58.9%)を半数以上の人が挙げています。(問17)

今治市の施策の中で優先して充実させることは、「通院や買い物などに必要な交通手段の充実」(37.7%)、「身近なところでの総合的な相談窓口の充実」(32.7%)が挙げられています。

「通院や買い物などに必要な交通手段の充実」は、地区では旧越智郡島しょ部においては半数以上の人が望んでおり、年代では40歳以上の人が望んでいます。(問18)

Ⅲ 市民アンケート分析結果

あなたご自身のことについて

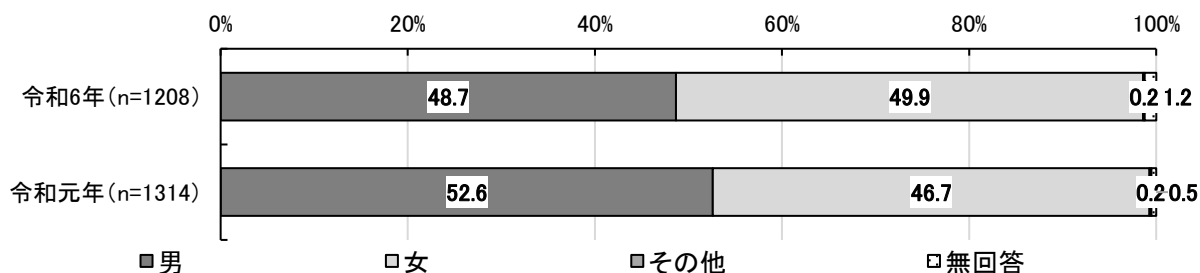
問Ⅰ あなたご自身のことについて、おたずねします。【令和6年12月1日現在】

① 性別 ※戸籍上の区分とは別にご自身の主観によりご記入ください。

		(件)
1	男	588
2	女	603
3	その他	2
	無回答	15

性別をみると、男性48.7%、女性49.9%となっています。

前回調査と比較すると、女性が3.2ポイント高く、男性が3.9ポイント低くなっています。

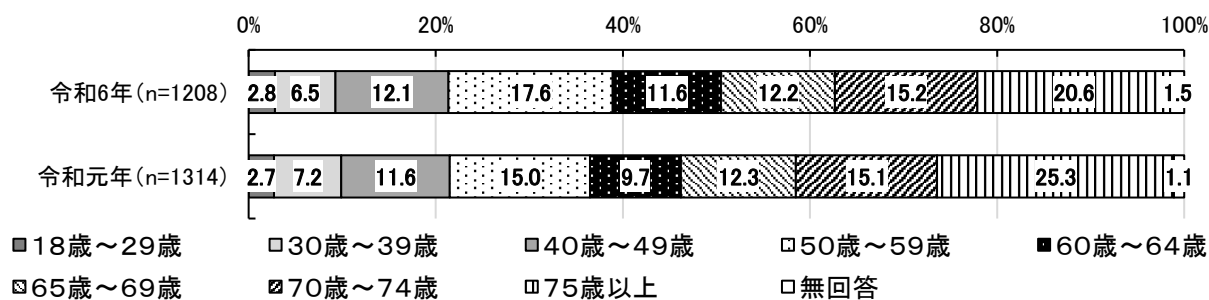


② あなたの年齢を教えてください。

		(件)
1	18～29 歳	34
2	30～39 歳	78
3	40～49 歳	146
4	50～59 歳	212
5	60～64 歳	140
6	65～69 歳	147
7	70～74 歳	184
8	75 歳以上	249
	無回答	18

年齢をみると、40歳未満が9.3%（「18歳～29歳」2.8%、「30歳～39歳」6.5%）、40歳～64歳が41.3%（「40歳～49歳」12.1%、「50歳～59歳」17.6%、「60歳～64歳」11.6%）、65歳～74歳が27.4%（「65～69歳」12.2%、「70～74歳」15.2%）、75歳以上が20.6%となっています。

前回調査と比較すると、「75歳以上」と回答した人が4.7ポイント低くなっています。その他の選択肢は前回調査からの増減は小さく、同じ傾向といえます。

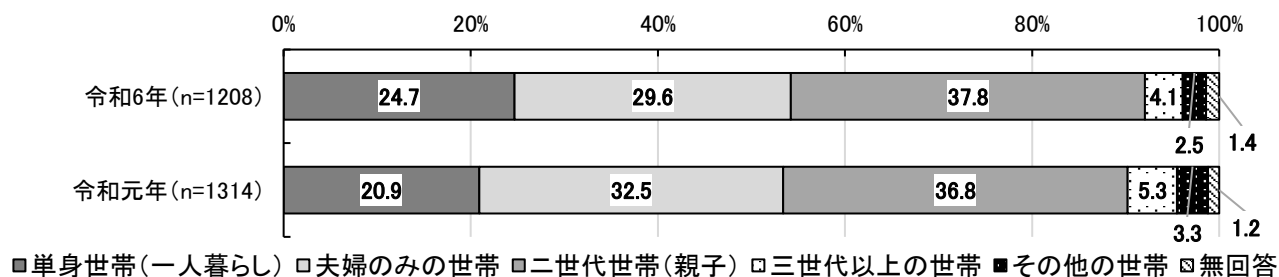


③ あなたの世帯構成を教えてください。

		(件)
1	単身世帯（一人暮らし）	298
2	夫婦のみの世帯	357
3	二世帯世帯（親子）	457
4	三世帯以上の世帯	49
5	その他の世帯	30
	無回答	17

世帯構成をみると、「単身世帯（一人暮らし）」が24.7%、「夫婦のみの世帯」が29.6%、「二世帯世帯（親子）」が37.8%、「三世帯以上の世帯」が4.1%、その他の世帯が2.5%となっています。

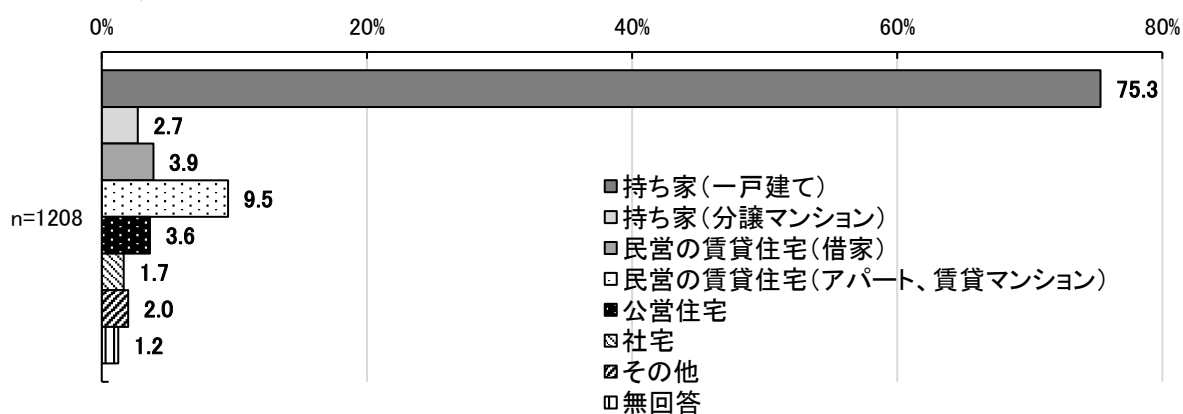
前回調査と比較すると、単身世帯（一人暮らし）」と回答した人が3.8ポイント高く、「夫婦のみの世帯」と回答した人が2.9ポイント低くなっています。前回調査からの増減は小さく同じ傾向といえます。



④ あなたの居住形態を教えてください。

		(件)
1	持ち家（一戸建て）	910
2	持ち家（分譲マンション）	33
3	民営の賃貸住宅（借家）	47
4	民営の賃貸住宅（アパート、賃貸マンション）	115
5	公営住宅	44
6	社宅	20
7	その他	24
	無回答	15

居住形態をみると、持ち家が78.0%（「持ち家（一戸建て）」75.3%、「持ち家（分譲マンション）」2.7%）、民営の賃貸住宅が13.4%（「民営の賃貸住宅（借家）」3.9%、「民営の賃貸住宅（アパート、賃貸マンション）」9.5%）、公営住宅が1.7%、社宅が2.0%となっています。



単位：%

	旧今治市 (n=818)	旧越智郡陸地部 (n=237)	旧越智郡島しょ部 (n=138)
持ち家（一戸建て）	70.5	89.9	86.2
持ち家（分譲マンション）	3.9	0.0	0.0
民営の賃貸住宅（借家）	4.7	0.8	5.1
民営の賃貸住宅（アパート、賃貸マンション）	13.3	1.7	0.7
公営住宅	4.4	3.0	0.7
社宅	1.3	1.7	3.6
その他	1.6	3.0	2.9
無回答	0.2	0.0	0.7

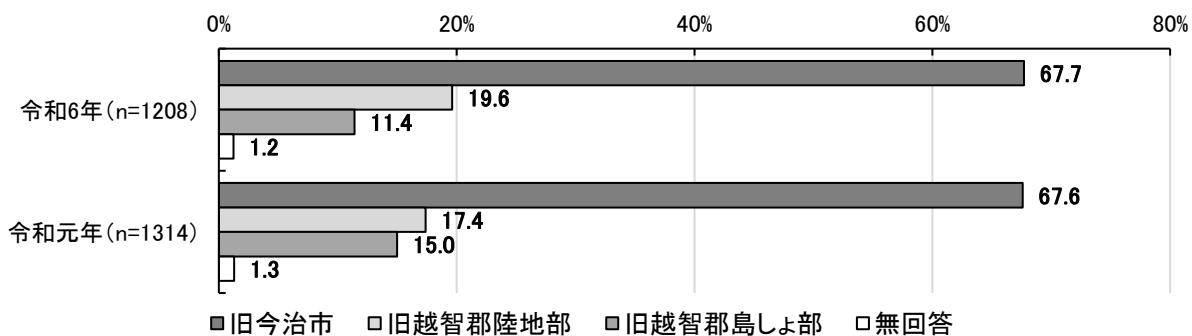
⑤ あなたの現在のお住まいの地区はどこですか。

(件)

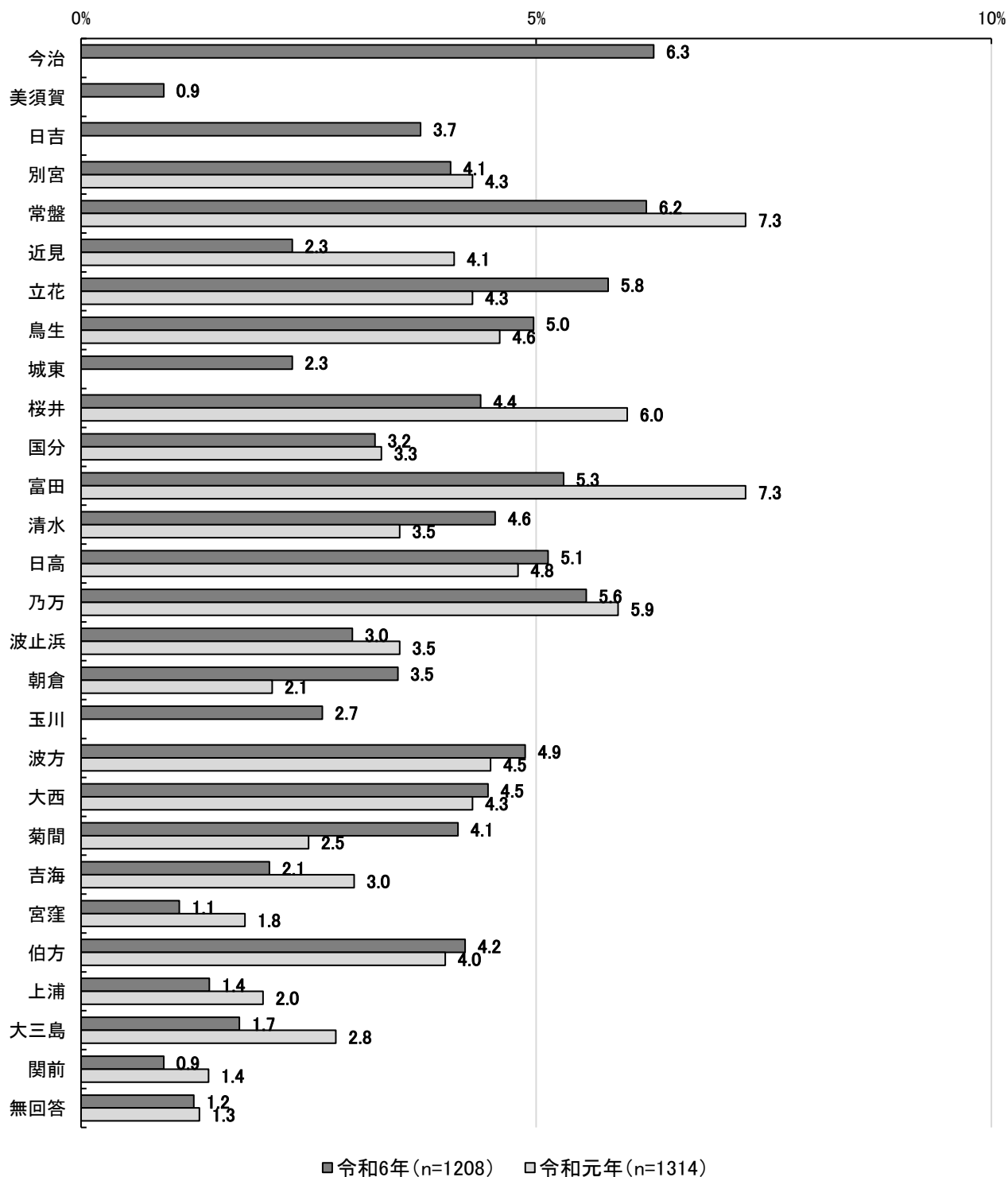
1	今治	76	旧今治市	818
2	美須賀	11		
3	日吉	45		
4	別宮	49		
5	常盤	75		
6	近見	28		
7	立花	70		
8	鳥生	60		
9	城東	28		
10	桜井	53		
11	国分	39		
12	富田	64		
13	清水	55		
14	日高	62		
15	乃万	67		
16	波止浜	36		
17	朝倉	42	旧越智郡陸地部	237
18	玉川	32		
19	波方	59		
20	大西	54		
21	菊間	50		
22	吉海	25	旧越智郡島しょ部	138
23	宮窪	13		
24	伯方	51		
25	上浦	17		
26	大三島	21		
27	関前	11		
	無回答	15		

現在、居住している地区をみると、「旧今治市」が67.7%、「旧越智郡陸地部」が19.6%、「旧越智郡島しょ部」が11.4%となっています。

前回調査と比較すると、「旧越智郡島しょ部」と回答した人が3.6ポイント低くなっています。



【地区】



※「今治」、「美須賀」、「日吉」、「城東」、「玉川」は令和6年調査で追加、令和元年調査では「吹揚」(7.9%)、「鴨部」(1.5%)、「九和」(1.4%)、「亀岡」(0.8%)が存在した。

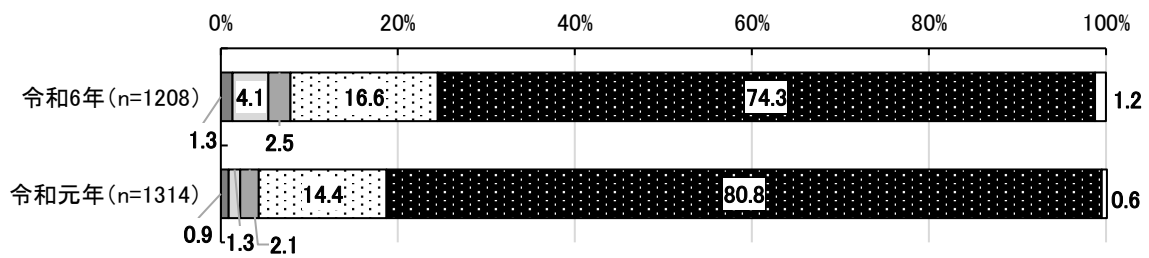
居住および日常生活について

⑥ 今治市に住んで通算何年になりますか。

		(件)
1	1 年未満	16
2	1 年以上 5 年未満	49
3	5 年以上 10 年未満	30
4	10 年以上 30 年未満	201
5	30 年以上	897
	無回答	15

今治市に住んで通算何年になるかを聞いたところ、「30 年以上」が 74.3% と最も高く、次いで「10 年以上 30 年未満」(16.6%)、「1 年以上 5 年未満」(4.1%)、「5 年以上 10 年未満」(2.5%)、「1 年未満」(1.3%) の順となっています。

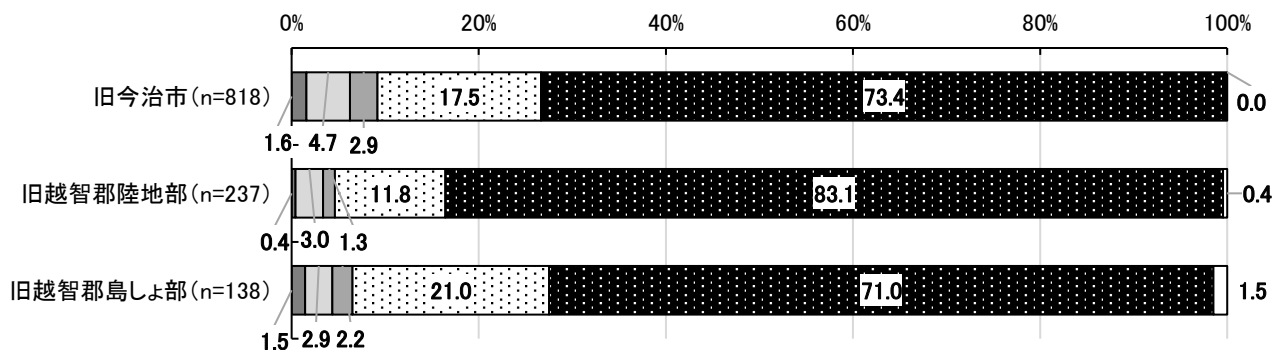
前回調査と比較すると、「30 年以上」と回答した人が 6.5 ポイント低くなっています。一方、「30 年以上」を除く年数は前回調査より高くなっています。



■ 1 年未満 □ 1 年以上 5 年未満 ■ 5 年以上 10 年未満 □ 10 年以上 30 年未満 ■ 30 年以上 □ 無回答

【地区】

地区別にみると、すべての地区で「30 年以上」と回答した者が最も高く、70% 以上となっています。最も高い「旧越智郡陸地部」は「旧越智郡島しょ部」よりも 12.1 ポイント高くなっています。



■ 1 年未満 □ 1 年以上 5 年未満 ■ 5 年以上 10 年未満 □ 10 年以上 30 年未満 ■ 30 年以上 □ 無回答

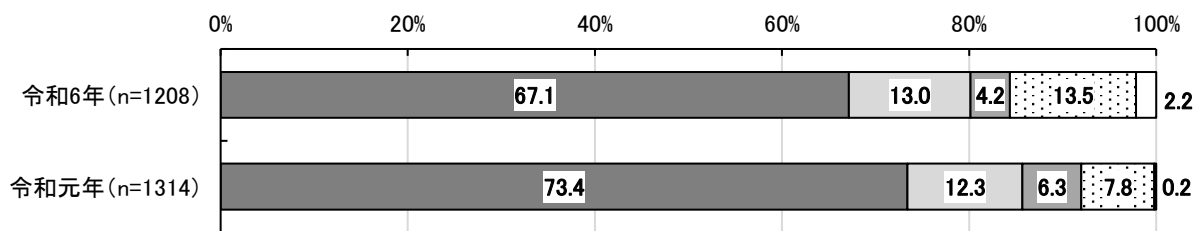
⑦ 今後も今治市に住み続けたいと思いますか。

(件)

1	今住んでいる所に住み続けたい	811
2	今治市内のどこかに住み続けたい	157
3	住み続けたくない	51
4	わからない	163
	無回答	26

今後も今治市に住み続けたいかを聞いたところ、「住み続けたい」80.1%（「今住んでいる所に住み続けたい」67.1%、「今治市内のどこかに住み続けたい」13.0%の合計（以下同じ））、「住み続けたくない」4.2%、「わからない」13.5%となっています。

前回調査と比較すると、「住み続けたい」が5.6ポイント低く、「住み続けたくない」が2.1ポイント低くなっています。



■今住んでいる所に住み続けたい □今治市内のどこかに住み続けたい ▨住み続けたくない □わからない □無回答

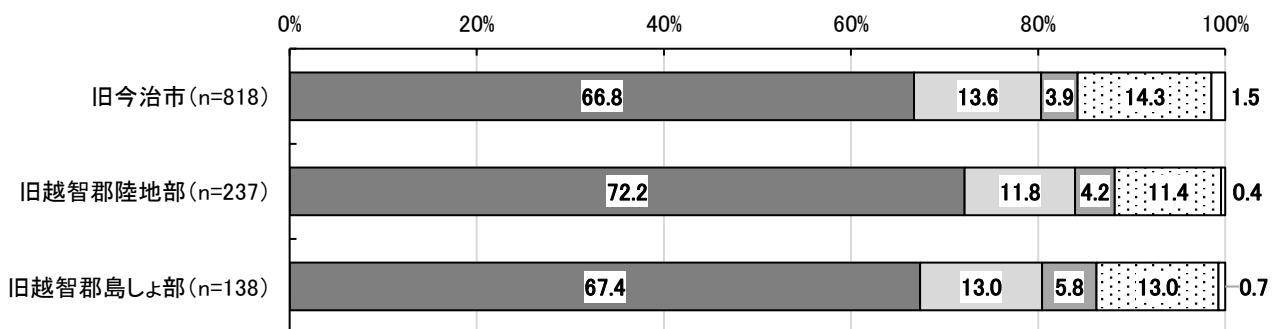
【地区】

地区別にみると、「旧今治市」は、「住み続けたい」80.4%、「住み続けたくない」が3.9%となっており、「住み続けたい」が76.5ポイント高くなっています。

「旧越智郡陸地部」は、「住み続けたい」84.0%、「住み続けたくない」が4.2%となっており、「住み続けたい」が79.8ポイント高くなっています。

「旧越智郡島しょ部」は、「住み続けたい」80.4%、「住み続けたくない」が5.8%となっており、「住み続けたい」が74.6ポイント高くなっています。

「住み続けたい」は、「旧越智郡陸地部」で最も高く、「旧今治市」より3.6ポイント高くなっています。



■今住んでいる所に住み続けたい □今治市内のどこかに住み続けたい ▨住み続けたくない □わからない □無回答

【年齢】

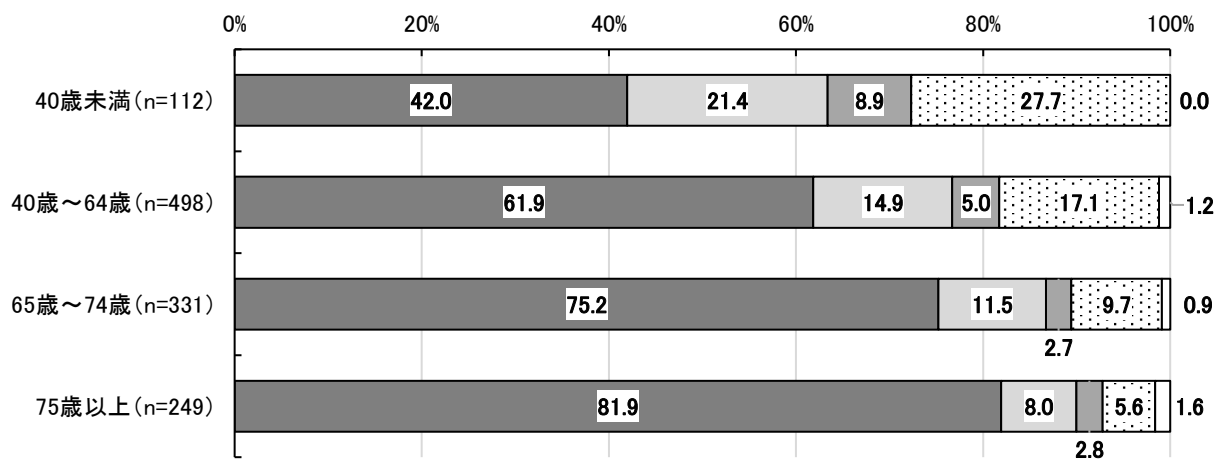
年齢別にみると、「40歳未満」は、「住みたい」63.4%、「住みたくない」が8.9%となっており、住みたいが54.5ポイント高くなっています。

「40歳～64歳」は、「住みたい」76.8%、「住みたくない」が5.0%となっており、住みたいが71.8ポイント高くなっています。

「65歳～74歳」は、「住みたい」86.7%、「住みたくない」が2.7%となっており、住みたいが84.0ポイント高くなっています。

75歳以上は、「住みたい」89.9%、「住みたくない」が2.8%となっており、住みたいが87.1%高くなっています。

すべての年齢層で「今住んでいる所に住みたい」が最も高くなっています。また、すべての年齢層の中で「今住んでいる所に住みたい」の割合が最も高い「75歳以上」（81.9%）は最も低い「40歳未満」（42.0%）より39.9ポイント高くなっています。



■今住んでいる所に住みたい □今治市内のどこかに住みたい □住みたくない □わからない □無回答

⑦-1 ⑦で1～2を選択された方にお伺いします。

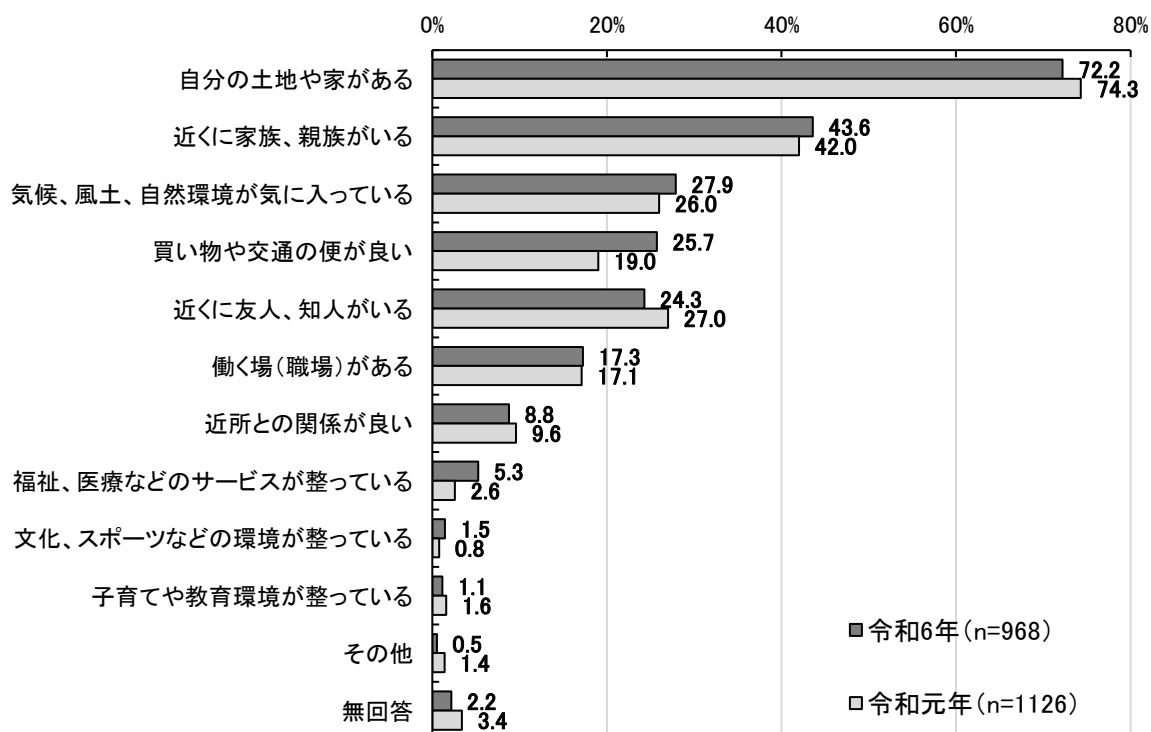
どのような点で住み続けたいと思いますか。

〈複数回答・3つまで〉(件)

1	自分の土地や家がある	699
2	近くに家族、親族がいる	422
3	近くに友人、知人がいる	235
4	近所との関係が良い	85
5	買い物や交通の便が良い	249
6	働く場(職場)がある	167
7	子育てや教育環境が整っている	11
8	福祉、医療などのサービスが整っている	51
9	気候、風土、自然環境が気に入っている	270
10	文化、スポーツなどの環境が整っている	14
11	その他	5
	無回答	21

今後も今治市に住み続けたい理由を聞いたところ、「自分の土地や家がある」が72.2%と最も高く、次いで「近くに家族、親族がいる」(43.6%)、「気候、風土、自然環境が気に入っている」(27.9%)、「買い物や交通の便が良い」(25.7%)、「近くに友人、知人がいる」(24.3%)の順となっています。

前回調査と比較すると、「買い物や交通の便が良い」が6.7ポイント高くなっています。その他の選択肢は前回調査からの増減は小さく、同じ傾向といえます。

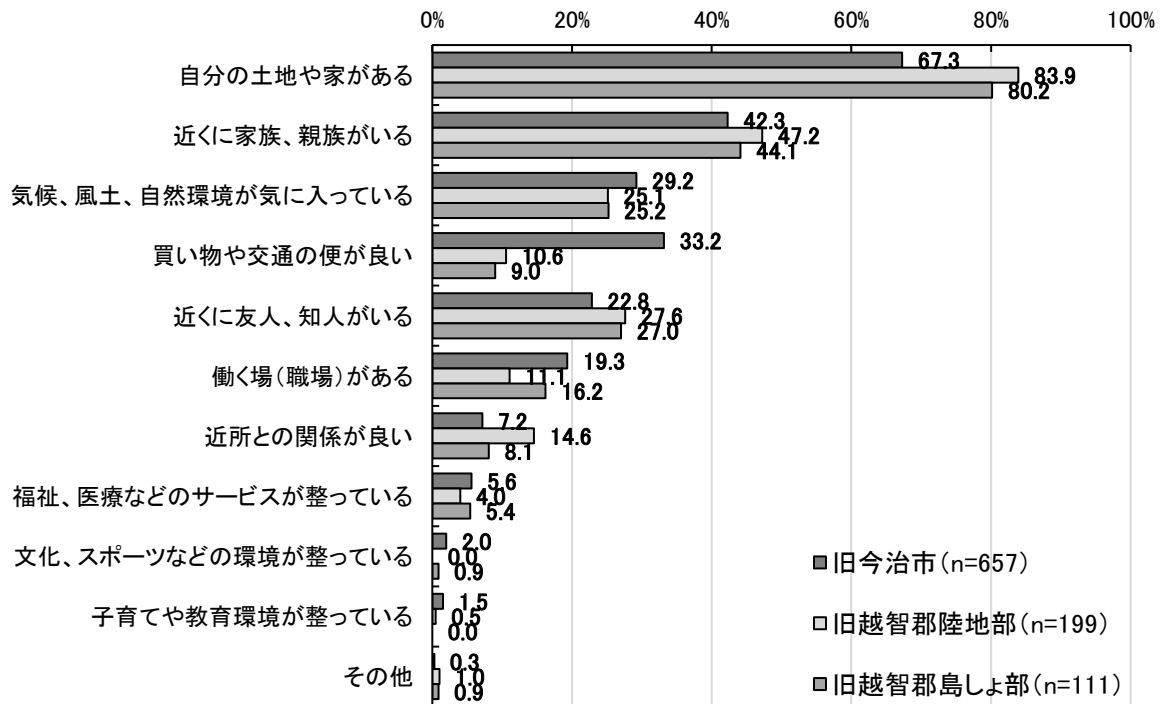


【地区】

地区別にみると、すべての地区で「自分の土地や家がある」が最も高く、次いで「近くに家族、親族がいる」となっています。

「旧今治市」は「買い物や交通の便が良い」が他の2地区より20ポイント以上高くなっています。一方、「自分の土地や家がある」が他の2地区より10ポイント以上低くなっています。

「旧越智郡陸地部」は「近所との関係が良い」が他の2地区より約7ポイント高くなっています。

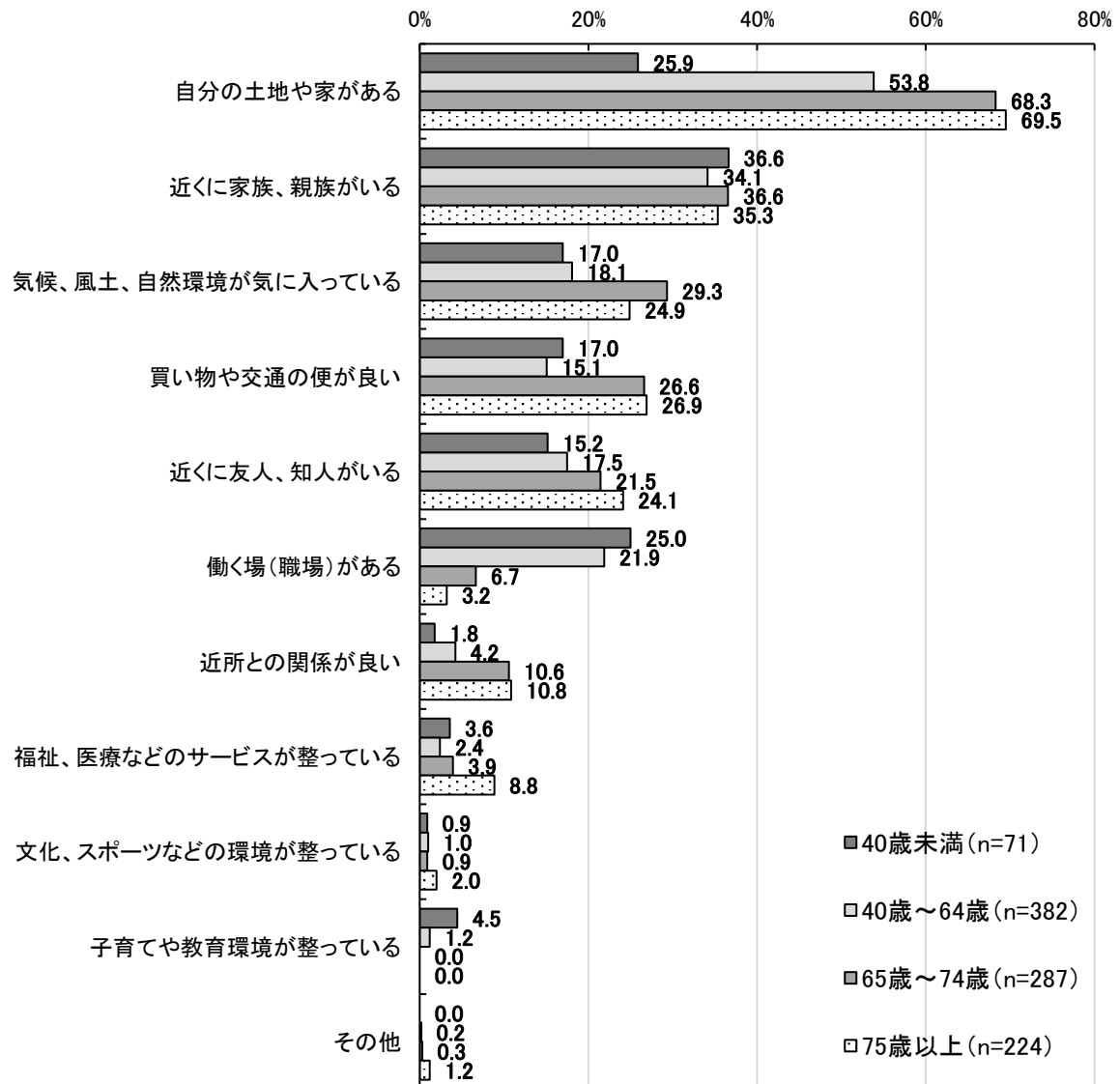


【年齢】

年齢別にみると、「40歳未満」を除くすべての年齢層で「自分の土地や家がある」が最も高く、次いで「近くに家族、親族がいる」となっています。

「自分の土地や家がある」の回答率は年齢が高いほど高く、「75歳以上」(69.5%)は「40歳未満」(25.9%)より43.6ポイント高くなっています。

一方、「働く場(職場)がある」の回答率は年齢が低いほど高く、「40歳未満」(25.0%)は「75歳以上」(3.2%)より21.8ポイント高くなっています。



⑦-2 ⑦で3を選択された方にお伺いします。

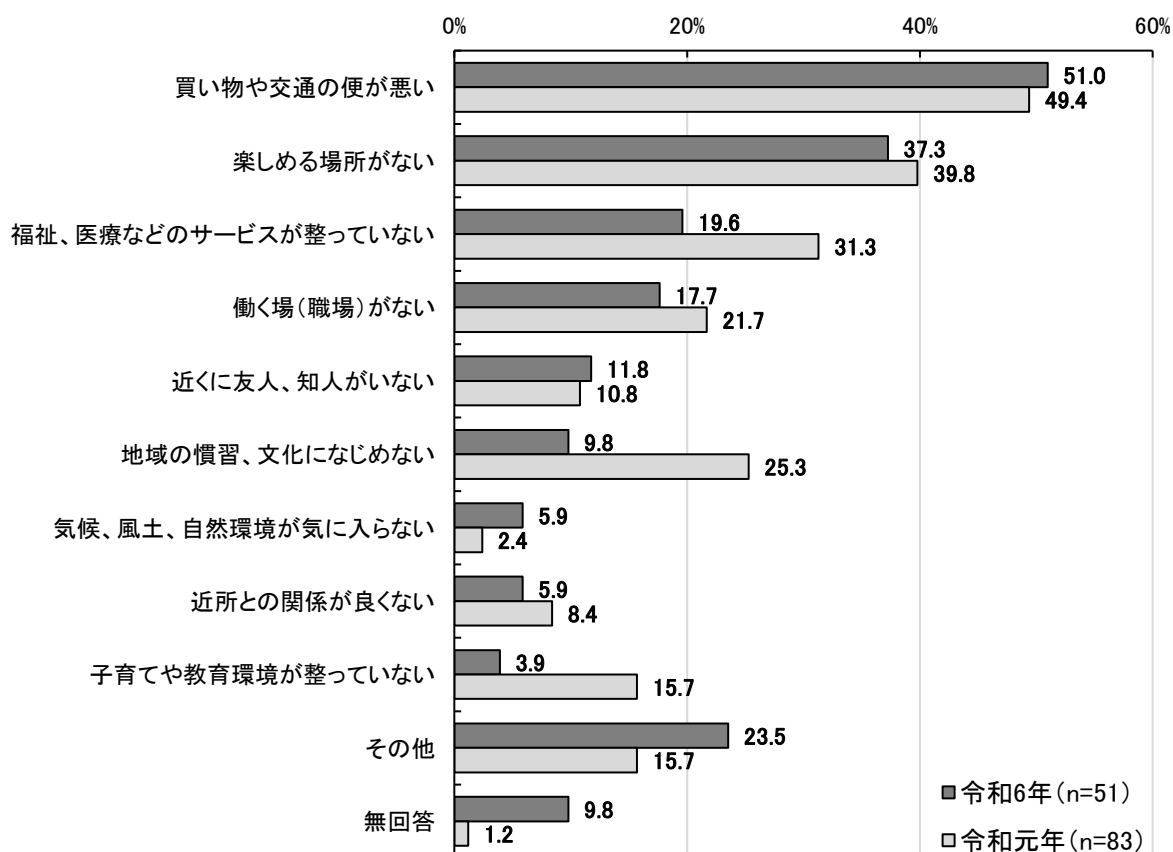
どのような点で住み続けたくないと思いますか。

〈複数回答・3つまで〉(件)

1	地域の慣習、文化になじめない	5
2	楽しめる場所がない	19
3	近くに友人、知人がいない	6
4	近所との関係が良くない	3
5	買い物や交通の便が悪い	26
6	働く場(職場)がない	9
7	子育てや教育環境が整っていない	2
8	福祉、医療などのサービスが整っていない	10
9	気候、風土、自然環境が気に入らない	3
10	その他	12
	無回答	5

今治市に住み続けたくない理由を聞いたところ、「買い物や交通の便が悪い」が51.0%と最も高く、次いで「楽しめる場所がない」(37.3%)、「福祉、医療などのサービスが整っていない」(19.6%)、「働く場(職場)がない」(17.7%)の順となっています。

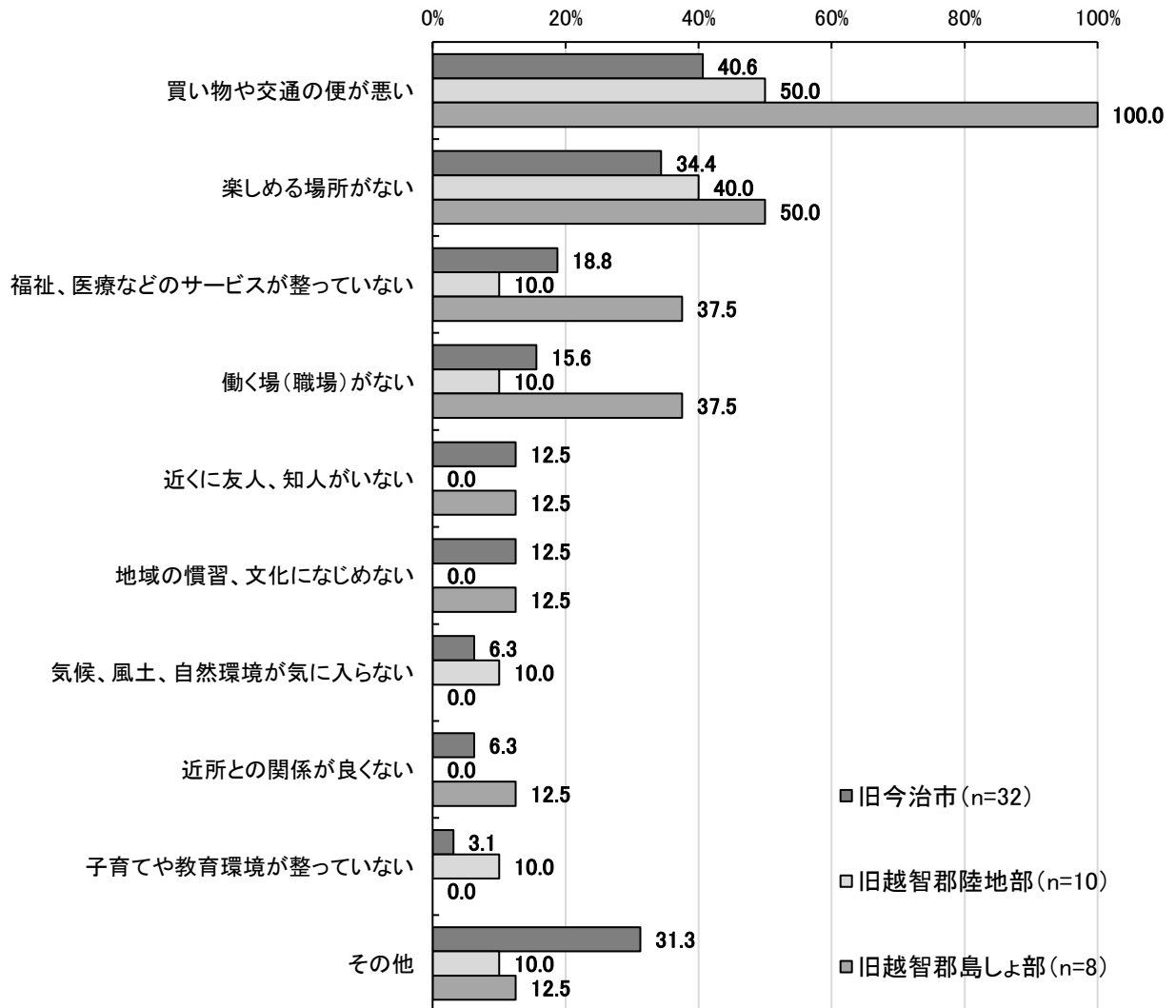
前回調査と比較すると、「地域の慣習、文化になじめない」が15.5ポイント低く、「子育てや教育環境が整っていない」が11.8ポイント低く、「福祉、医療などのサービスが整っていない」が11.7ポイント低くなっています。



【地区】

地区別にみると、すべての地区で「買い物や交通の便が悪い」が最も高く、次いで「楽しめる場所がない」となっています。

「旧越智郡島しょ部」は「買い物や交通の便が悪い」の回答率が100%となっており、他の2地区より50ポイント以上高くなっています。そのほか、「福祉、医療などのサービスが整っていない」と「働く場（職場）がない」も高く、それぞれ他の2地区より約20ポイント高くなっています。



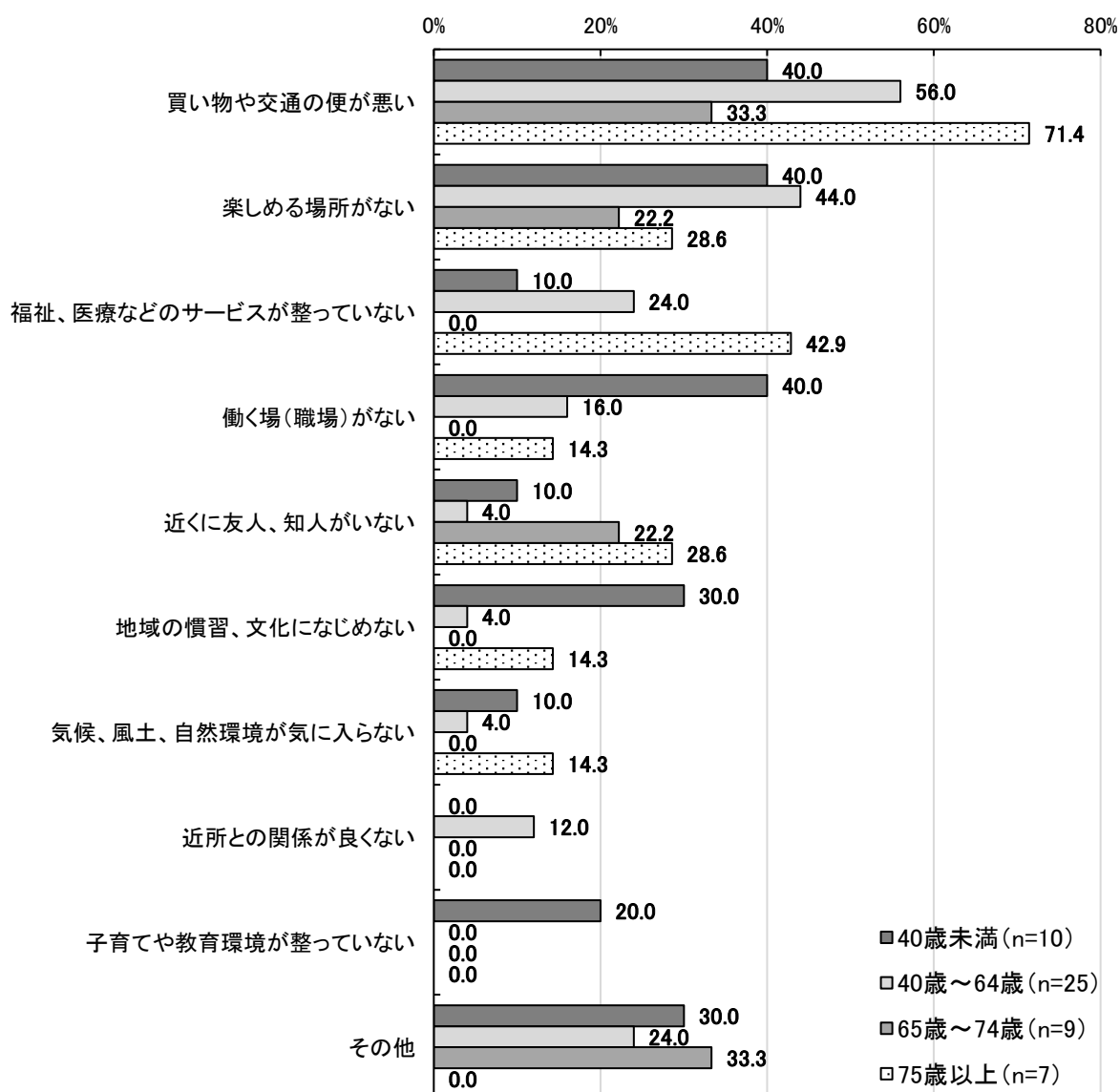
【年齢】

年齢別にみると、「40歳未満」では「買い物や交通の便が悪い」と「楽しめる場所がない」と「働く場（職場）がない」がそれぞれ40.0%と最も高くなっています。また、「働く場（職場）がない」と「地域の慣習、文化になじめない」と「子育てや教育環境が整っていない」が他の年齢層より15ポイント以上高くなっています。

「40歳～64歳」では「買い物や交通の便が悪い」が56.0%と最も高く、次いで「楽しめる場所がない」（44.0%）、「福祉、医療などのサービスが整っていない」と「その他」（それぞれ24.0%）となっています。

「65歳～74歳」では「買い物や交通の便が悪い」と「その他」が33.3%と最も高く、次いで「楽しめる場所がない」と「近くに友人、知人がいない」（それぞれ22.2%）となっています。

「75歳以上」では「買い物や交通の便が悪い」が71.4%と最も高く、次いで「福祉、医療などのサービスが整っていない」（42.9%）、「楽しめる場所がない」と「近くに友人、知人がいない」（それぞれ28.6%）となっています。また、「買い物や交通の便が悪い」と「福祉、医療などのサービスが整っていない」が他の年齢層よりそれぞれ15ポイント以上高くなっています。



⑧ あなたは日常生活に関すること、困ったり不安に感じていることがありますか。

(件)

	現在、困っている	将来は不安がある	特に困ったり不安は感じていない	無回答
ア 日常の買い物	51	465	648	44
イ 近所付き合い	50	298	807	53
ウ 自分や家族の介護	61	745	350	52
エ 子育てや子どもの教育	41	175	846	146
オ 日常の外出・通院	66	527	567	48
カ 話し相手や相談相手	48	374	730	56
キ 災害時の避難訓練	45	657	454	52
ク 地域の治安	31	363	757	57
ケ 健康状態	80	681	404	43
コ 経済的な状況	107	580	478	43
サ 就労や雇用の状況	62	398	640	108
シ お金の管理や契約などの判断	43	524	580	61

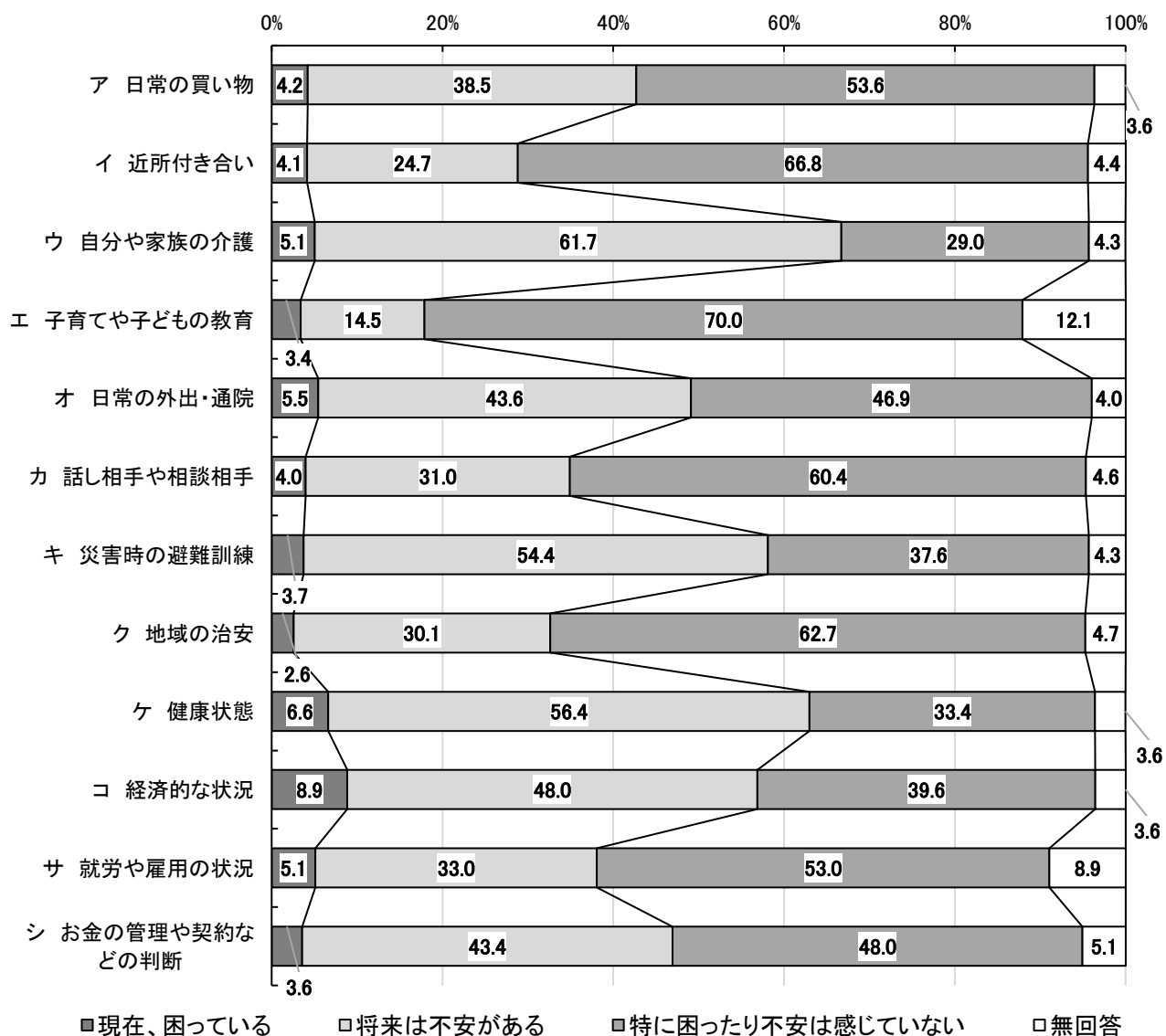
■地域別回答結果一覧表（現在、困っている及び将来は不安があるのみ）

単位：％

	旧今治市		旧越智郡陸地部		旧越智郡島しょ部	
	現在	将来	現在	将来	現在	将来
ア 日常の買い物	3.3	28.6	2.5	63.3	13.0	55.8
イ 近所付き合い	4.5	23.8	2.5	28.7	5.1	21.7
ウ 自分や家族の介護	4.5	60.6	6.8	61.2	5.8	68.1
エ 子育てや子どもの教育	3.3	12.8	3.8	18.1	3.6	19.6
オ 日常の外出・通院	3.6	35.9	4.6	61.6	18.1	59.4
カ 話し相手や相談相手	3.8	30.2	2.5	34.2	8.0	31.2
キ 災害時の避難訓練	3.4	51.7	3.4	60.3	6.5	60.9
ク 地域の治安	2.9	28.1	1.3	34.6	2.9	34.1
ケ 健康状態	6.6	54.4	6.8	59.5	7.3	64.5
コ 経済的な状況	9.2	47.1	8.9	49.4	7.3	55.1
サ 就労や雇用の状況	4.8	33.1	5.1	33.3	8.0	32.6
シ お金の管理や契約などの判断	3.6	42.8	4.2	47.3	2.9	43.5

※着色部は、5割以上の値を示す。

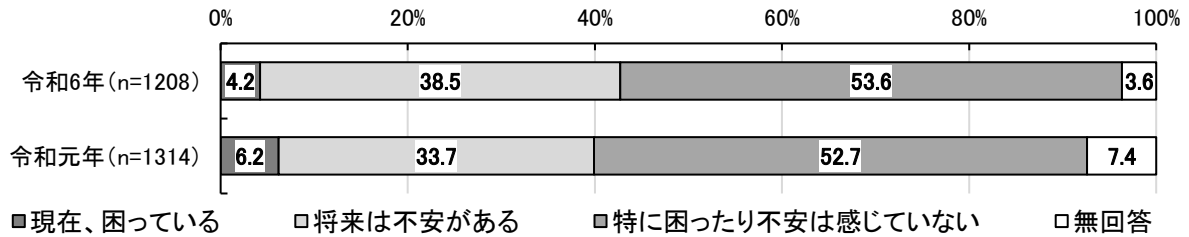
【全体】



【ア 日常の買い物】

日常の買い物について聞いたところ、「現在、困っている」(4.2%)、「将来は不安がある」(38.5%)、「特に困ったり不安は感じていない」(53.6%)となっています。

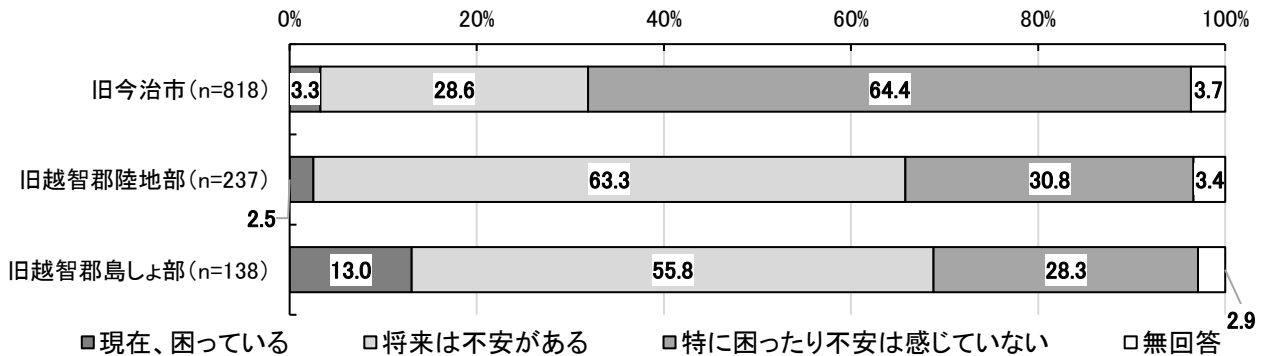
前回調査と比較すると、「将来は不安がある」が4.8ポイント高くなっています。



【地区】

地区別にみると、「旧今治市」は「特に困ったり不安は感じていない」が最も高く、他の地区では「将来は不安がある」が最も高くなっています。

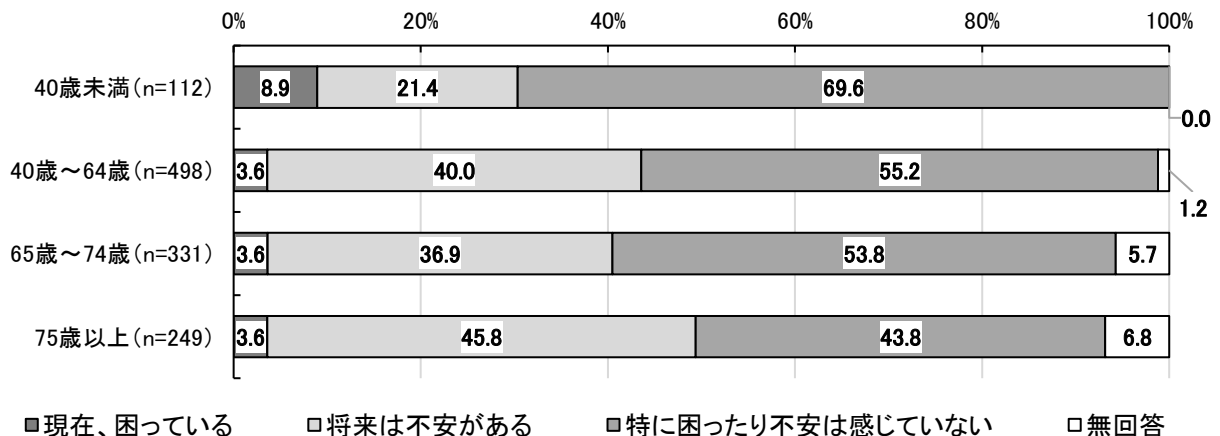
「現在、困っている」は「旧越智郡島しょ部」(13.0%)で最も高く、「旧越智郡陸地部」(2.5%)より10.5ポイント高くなっています。「将来は不安がある」は「旧越智郡陸地部」(63.3%)で最も高く、「旧今治市」(28.6%)より34.7ポイント高くなっています。



【年齢】

年齢別にみると、「75歳以上」を除くすべての年齢で「特に困ったり不安は感じていない」が最も高くなっています。また、年齢が高くなるほど「特に困ったり不安は感じていない」の割合が低くなる傾向にあります。

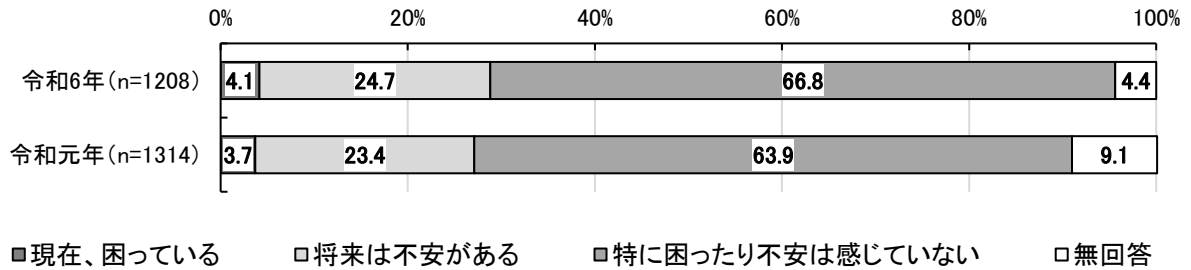
「現在、困っている」は「40歳未満」(8.9%)で最も高く、「40歳～64歳」(3.6%)より5.3ポイント高くなっています。「将来は不安がある」は「75歳以上」(45.8%)で最も高く、「40歳未満」(21.4%)より24.4ポイント高くなっています。



【イ 近所付き合い】

近所付き合いについて聞いたところ、「現在、困っている」(4.1%)、「将来は不安がある」(24.7%)、「特に困ったり不安は感じていない」(66.8%)となっています。

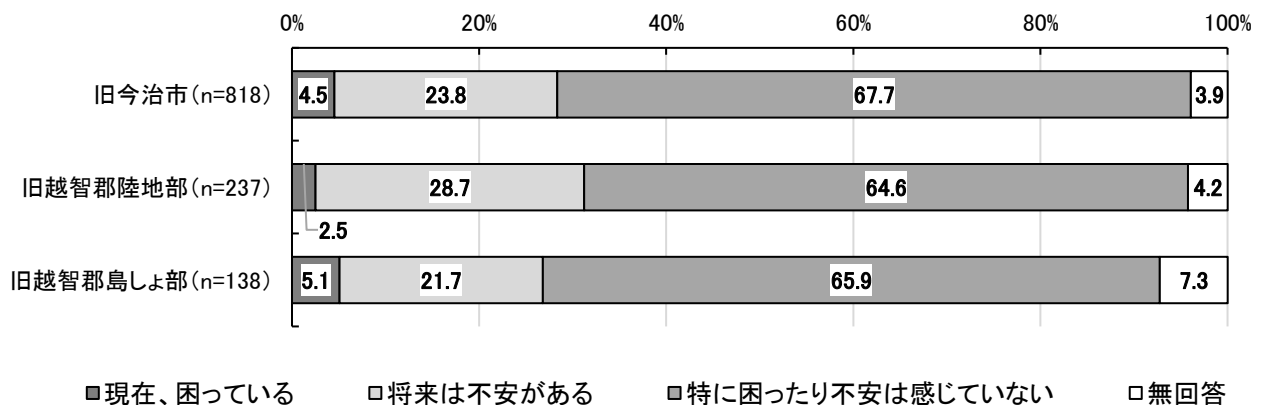
前回調査と比較すると、「特に困ったり不安は感じていない」が2.9ポイント高くなっています。



【地区】

地区別にみると、すべての地区で「特に困ったり不安は感じていない」が最も高くなっています。

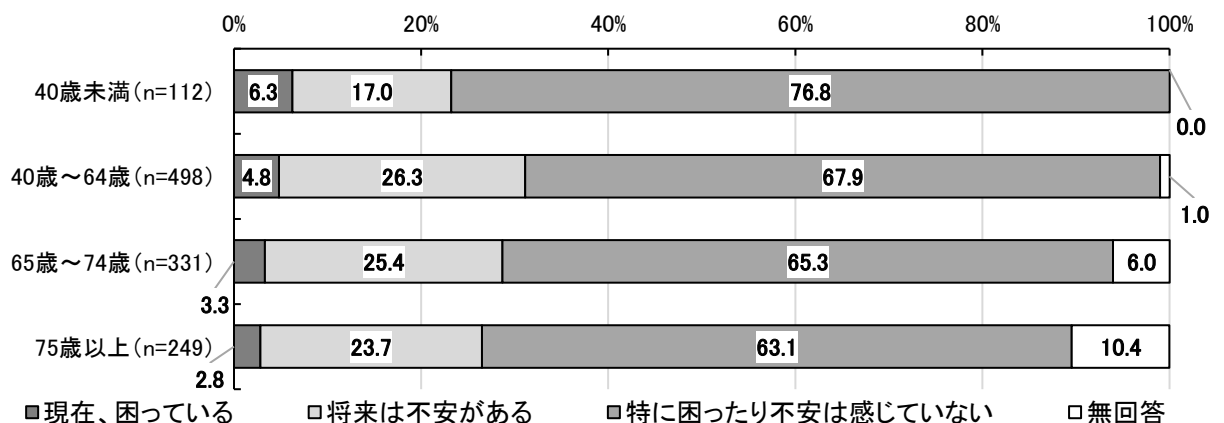
「現在、困っている」は「旧越智郡島しょ部」(5.1%)で最も高くなっていますが、大きな差はありません。「将来は不安がある」は「旧越智郡陸地部」(28.7%)で最も高く、「旧越智郡島しょ部」(21.7%)より7.0ポイント高くなっています。



【年齢】

年齢別にみると、すべての年齢層で「特に困ったり不安は感じていない」が最も高くなっています。また、年齢が高くなるほど「特に困ったり不安は感じていない」の割合が低くなる傾向にあります。

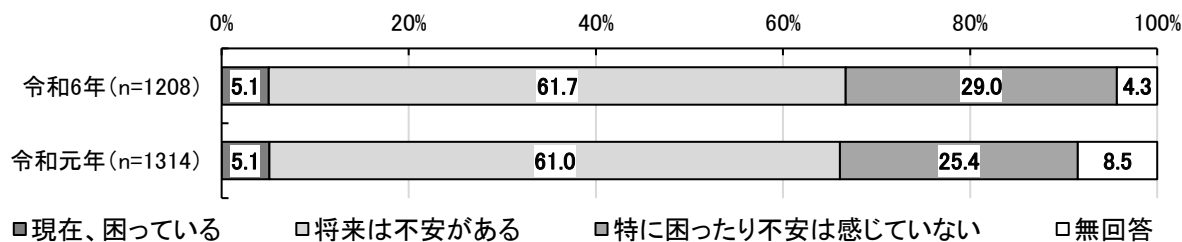
「現在、困っている」は「40歳未満」(6.3%)で最も高く、「75歳以上」(2.8%)より3.5ポイント高くなっています。「将来は不安がある」と回答した者は「40歳～64歳」(26.3%)で最も高く、「40歳未満」(17.0%)より9.3ポイント高くなっています。



【ウ 自分や家族の介護】

自分や家族の介護について聞いたところ、「現在、困っている」(5.1%)、「将来は不安がある」(61.7%)、「特に困ったり不安は感じていない」(29.0%)となっています。

前回調査と比較すると、「特に困ったり不安は感じていない」が3.6ポイント高くなっています。

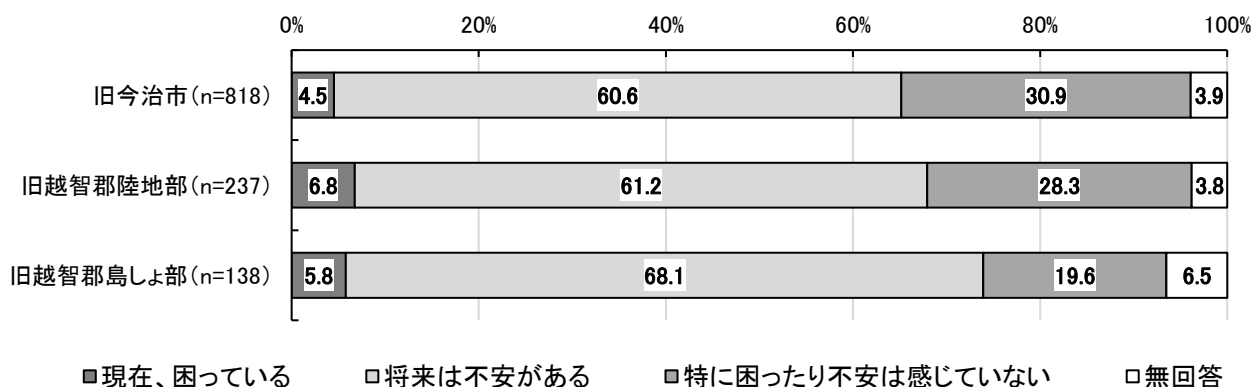


【地区】

地区別にみると、すべての地区で「将来は不安がある」が最も高く、60%以上となっています。

「現在、困っている」は「旧越智郡陸地部」(6.8%)が最も高くなっていますが、大きな差はありません。

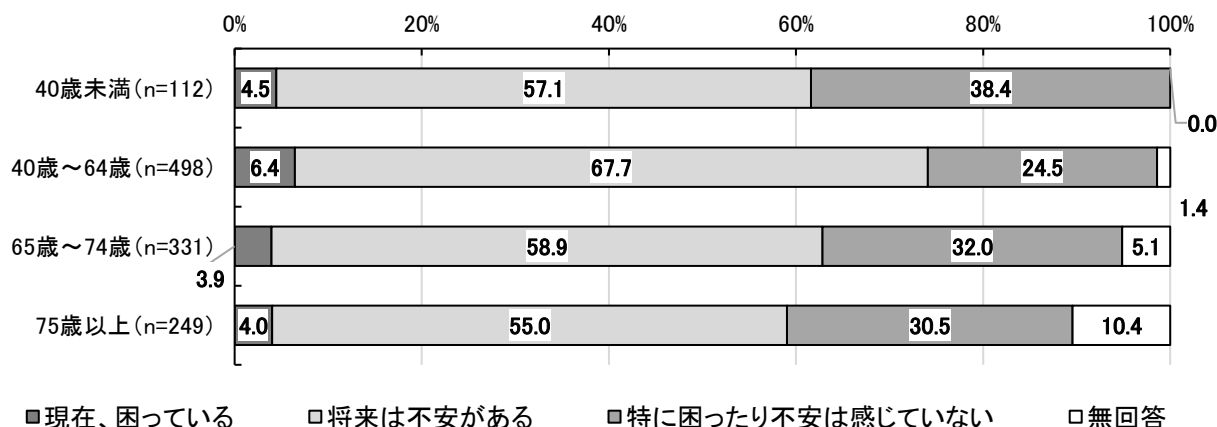
「将来は不安がある」は「旧越智郡島しょ部」(68.1%)で最も高く、「旧今治市」(60.6%)より7.5ポイント高くなっています。



【年齢】

年齢別にみると、すべての年齢層で「将来は不安がある」が最も高く、50%以上となっています。

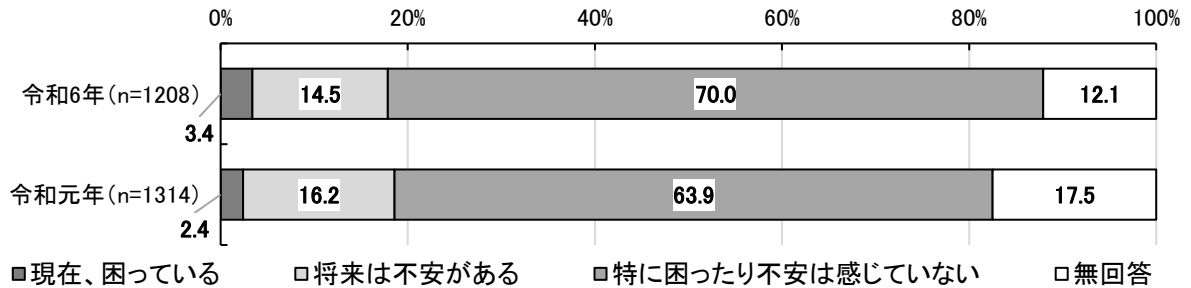
「現在、困っている」は「40～64歳」(6.4%)が最も高くなっていますが、大きな差はありません。「将来は不安がある」は「40歳～64歳」(67.7%)で最も高く、「75歳以上」(55.0%)より12.7ポイント高くなっています。



【エ 子育てや子どもの教育】

子育てや子どもの教育について聞いたところ、「現在、困っている」(3.4%)、「将来は不安がある」(14.5%)、「特に困ったり不安は感じていない」(70.0%)となっています。

前回調査と比較すると、「特に困ったり不安は感じていない」が6.1ポイント高くなっています。

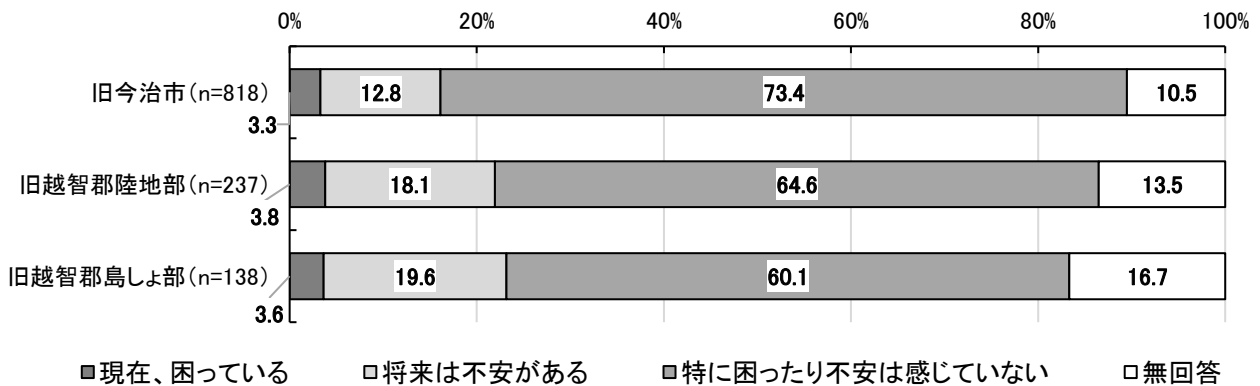


【地区】

地区別にみると、すべての地区で「特に困ったり不安は感じていない」が最も高く、60%以上となっています。

「現在、困っている」は「旧越智郡陸地部」(3.8%)で最も高くなっていますが、大きな差はありません。

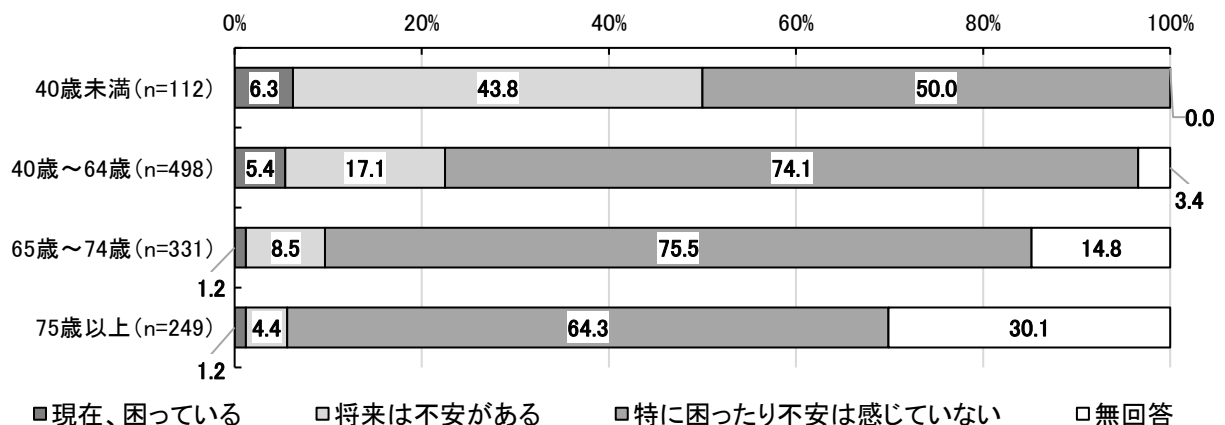
「将来は不安がある」は「旧越智郡島しょ部」(19.6%)で最も高く、「旧今治市」(12.8%)より6.8ポイント高くなっています。



【年齢】

年齢別にみると、すべての年齢層で「特に困ったり不安は感じていない」が最も高く、50%以上となっています。

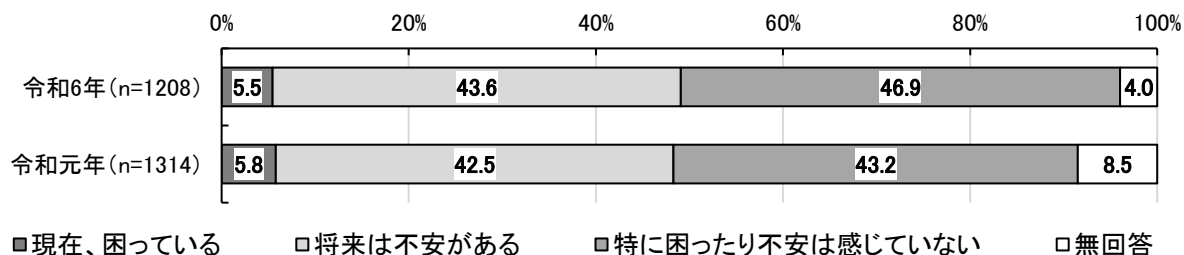
「現在、困っている」と回答した者は「40歳未満」(6.3%)で最も高く、「65歳～74歳」(1.2%)より5.1ポイント高くなっています。「将来は不安がある」と回答した者も「40歳未満」(43.8%)で最も高く、「75歳以上」(4.4%)より39.4ポイント高くなっています。



【オ 日常の外出・通院】

日常の外出・通院について聞いたところ、「現在、困っている」(5.5%)、「将来は不安がある」(43.6%)、「特に困ったり不安は感じていない」(46.9%)となつています。

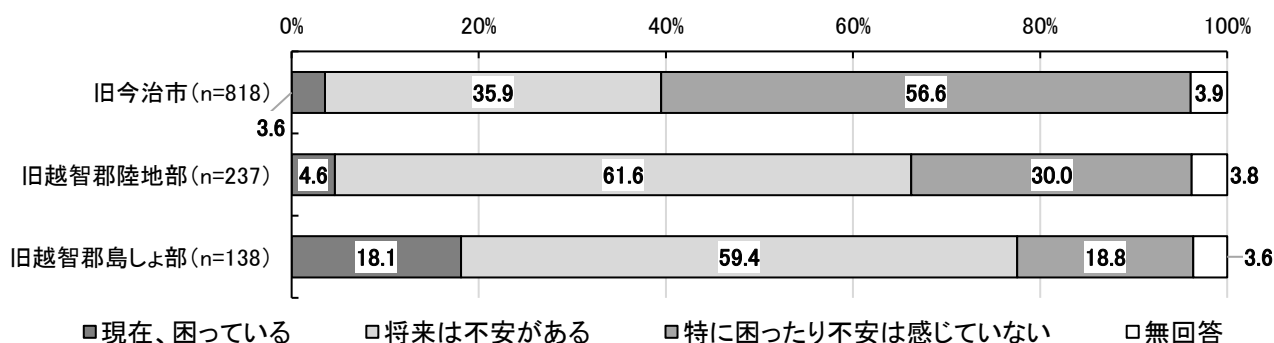
前回調査と比較すると、「特に困ったり不安は感じていない」が3.7ポイント高くなつています。



【地区】

地区別にみると、「旧今治市」は「特に困ったり不安は感じていない」(56.6%)が最も高く、他の地区では「将来は不安がある」が最も高く、約60%となつています。

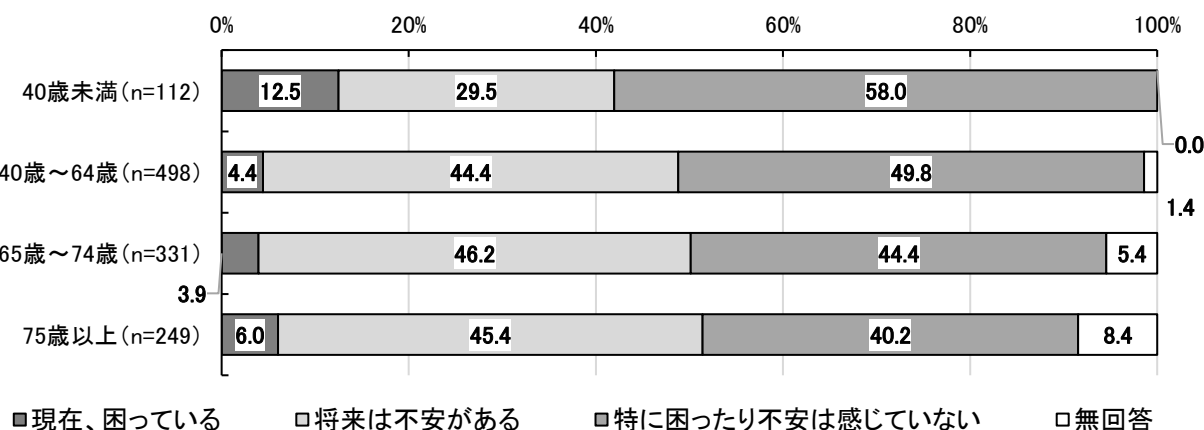
「現在、困っている」は「旧越智郡島しょ部」(18.1%)で最も高く、「旧今治市」(3.6%)より14.5ポイント高くなつています。「将来は不安がある」は「旧越智郡陸地部」(61.6%)で最も高く、「旧今治市」(35.9%)より25.7ポイント高くなつています。



【年齢】

年齢別にみると、「40歳未満」と「40歳～64歳」は「特に困ったり不安は感じていない」が最も高く、「65歳～74歳」と「75歳以上」は「将来は不安がある」が最も高くなつています。

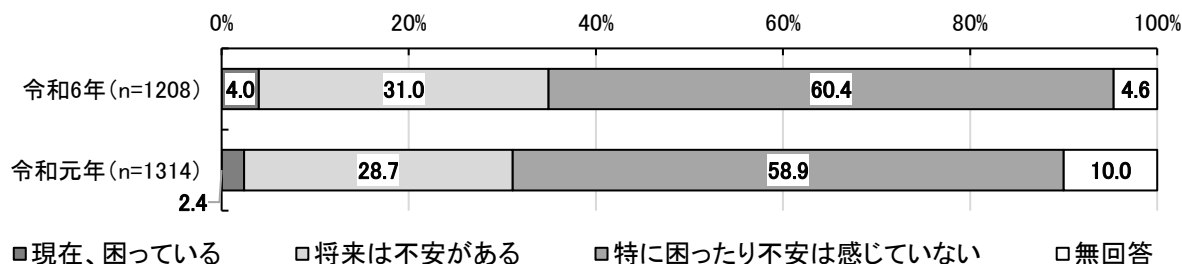
「現在、困っている」は「40歳未満」(12.5%)で最も高く、「65歳～74歳」(3.9%)より8.6ポイント高くなつています。「将来は不安がある」は「65歳～74歳」(46.2%)で最も高く、「40歳未満」(29.5%)より16.7ポイント高くなつています。



【カ 話し相手や相談相手】

話し相手や相談相手について聞いたところ、「現在、困っている」(4.0%)、「将来は不安がある」(31.0%)、「特に困ったり不安は感じていない」(60.4%)となっています。

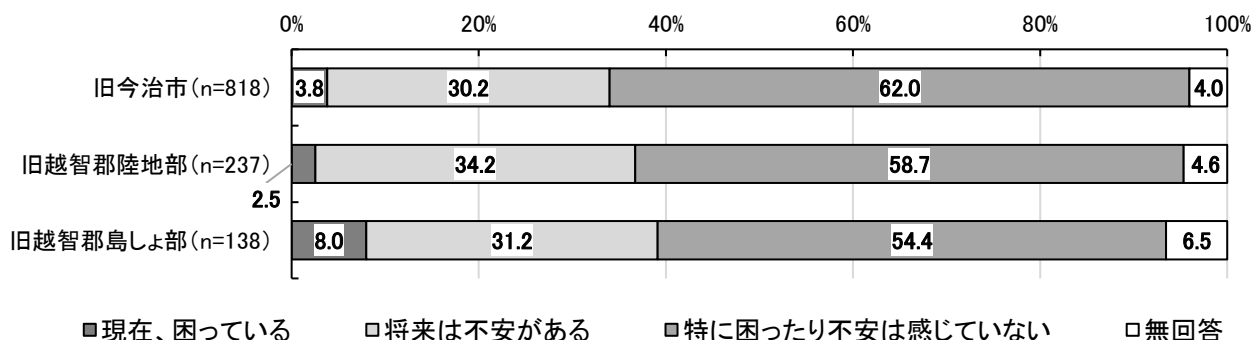
前回調査と比較すると、すべての選択肢で回答率が高くなっています。



【地区】

地区別にみると、すべての地区で「特に困ったり不安は感じていない」が最も高く、50%以上となっています。

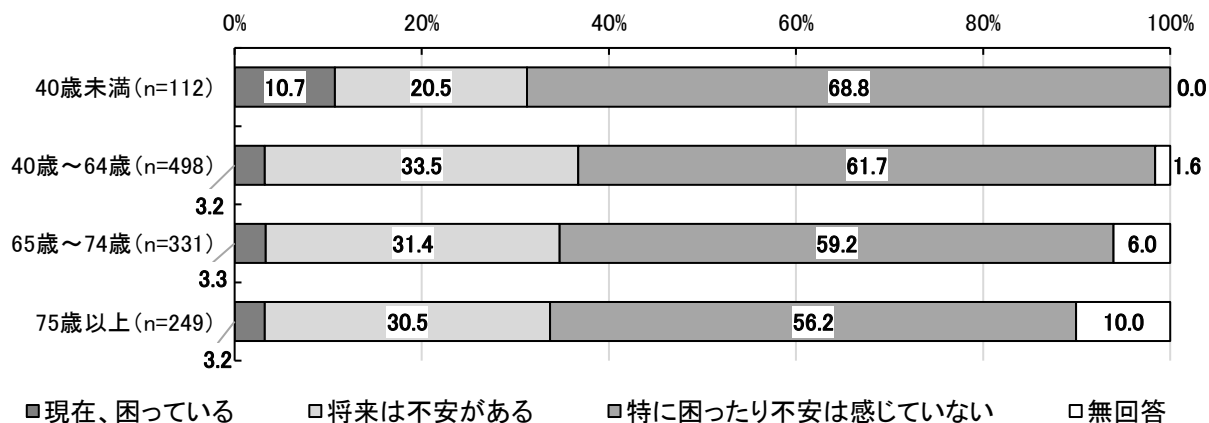
「現在、困っている」は「旧越智郡島しょ部」(8.0%)で最も高く、「旧越智郡陸地部」(2.5%)より5.5ポイント高くなっています。「将来は不安がある」は「旧越智郡陸地部」(34.2%)で最も高くなっていますが、大きな差はありません。



【年齢】

年齢別にみると、すべての年齢層で「特に困ったり不安は感じていない」が最も高く、50%以上となっています。

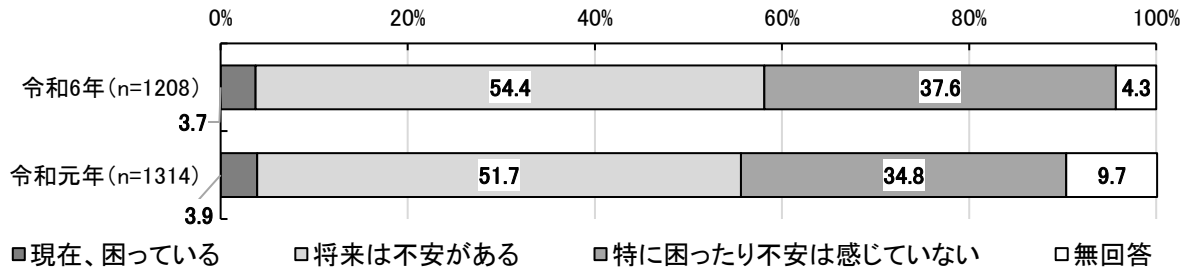
「現在、困っている」は「40歳未満」(10.7%)で最も高く、「40歳～64歳」(3.2%)より7.5ポイント高くなっています。「将来は不安がある」は「40歳～64歳」(33.5%)で最も高く、「40歳未満」(20.5%)より13.0ポイント高くなっています。



【キ 災害時の避難訓練】

災害時の避難訓練について聞いたところ、「現在、困っている」(3.7%)、「将来は不安がある」(54.4%)、「特に困ったり不安は感じていない」(37.6%)となっています。

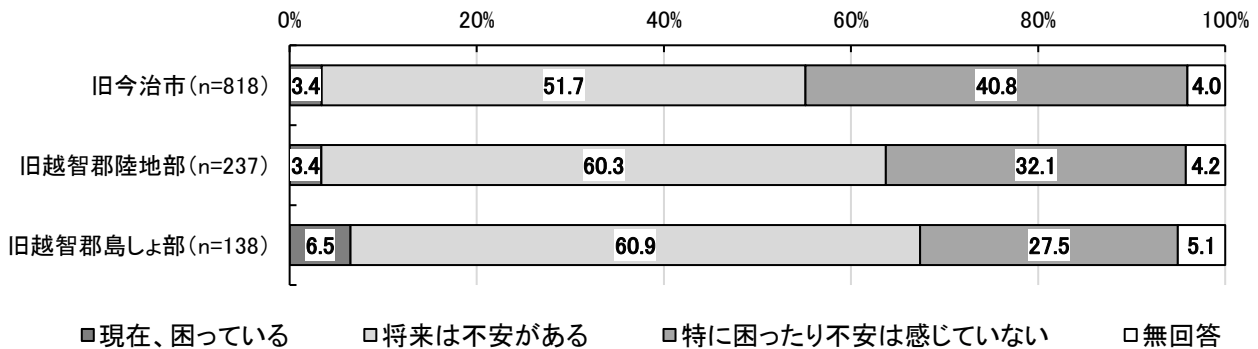
前回調査と比較すると、「特に困ったり不安は感じていない」が2.8ポイント高くなっています。



【地区】

地区別にみると、すべての地区で「将来は不安がある」が最も高く、50%以上となっています。

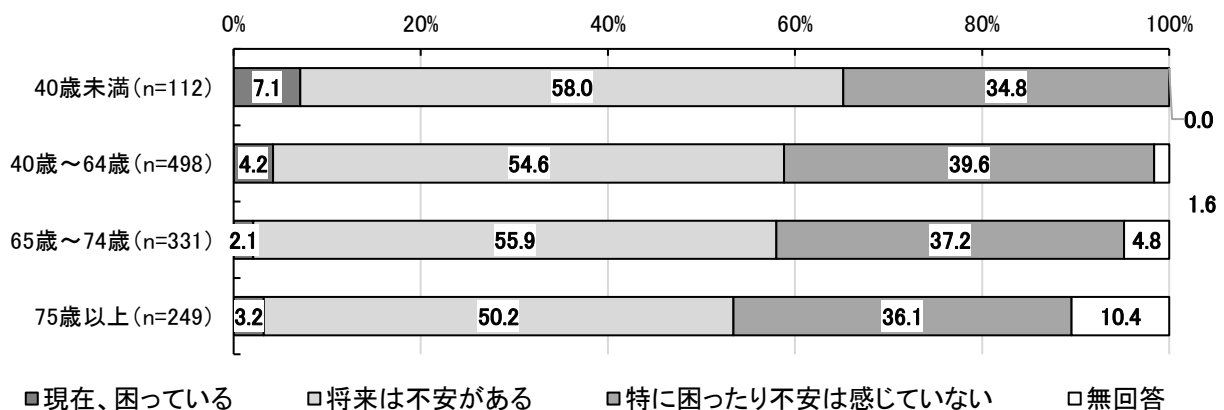
「現在、困っている」は「旧越智郡島しょ部」(6.5%)で最も高くなっていますが、大きな差はありません。「将来は不安がある」も「旧越智郡島しょ部」(60.9%)で最も高く、「旧今治市」(51.7%)より9.2ポイント高くなっています。



【年齢】

年齢別にみると、すべての年齢層で「将来は不安がある」が最も高く、50%以上となっています。

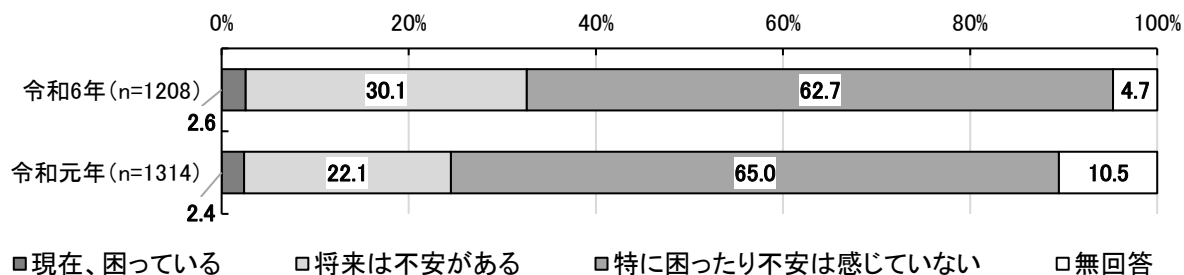
「現在、困っている」は「40歳未満」(7.1%)で最も高く、「65歳～74歳」(2.1%)より5.0ポイント高くなっています。「将来は不安がある」も「40歳未満」(58.0%)で最も高く、「75歳以上」(50.2%)より7.8ポイント高くなっています。



【ク 地域の治安】

地域の治安について聞いたところ、「現在、困っている」(2.6%)、「将来は不安がある」(30.1%)、「特に困ったり不安は感じていない」(62.7%)となっています。

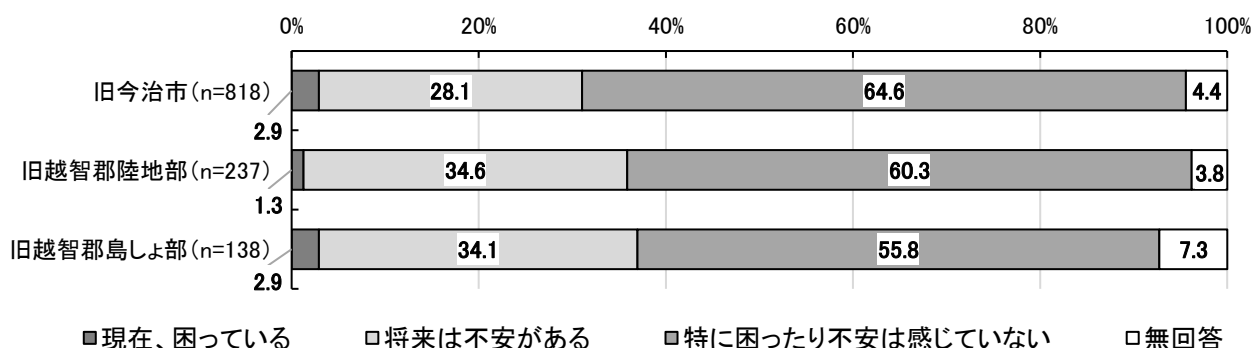
前回調査と比較すると、「将来は不安がある」が8.0ポイント高くなっています。



【地区】

地区別にみると、すべての地区で「特に困ったり不安は感じていない」が最も高く、50%以上となっています。

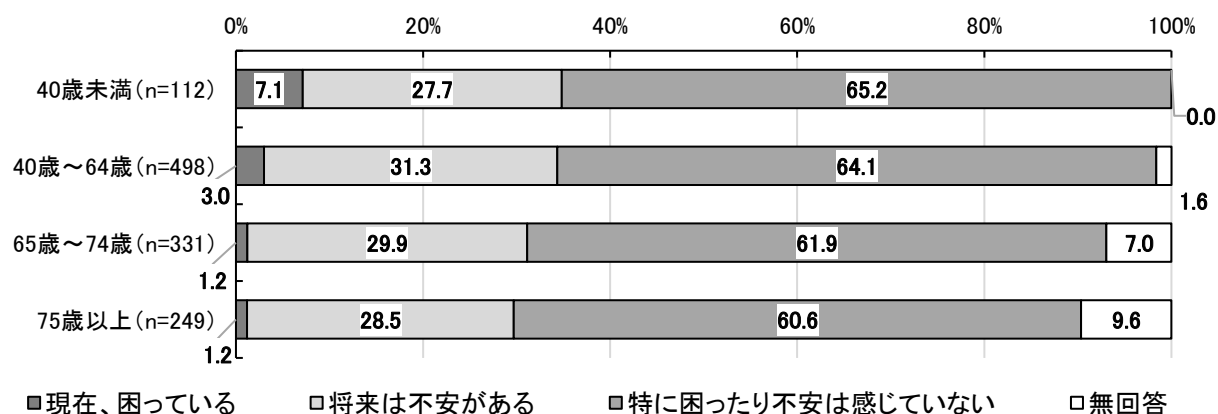
「現在、困っている」は「旧今治市」と「旧越智郡島しょ部」(それぞれ2.9%)で最も高くなっていますが、大きな差はありません。「将来は不安がある」と回答した者は「旧越智郡陸地部」(34.6%)で最も高く、「旧今治市」(28.1%)より6.5ポイント高くなっています。



【年齢】

年齢別にみると、すべての年齢層で「特に困ったり不安は感じていない」が最も高く、60%以上となっています。

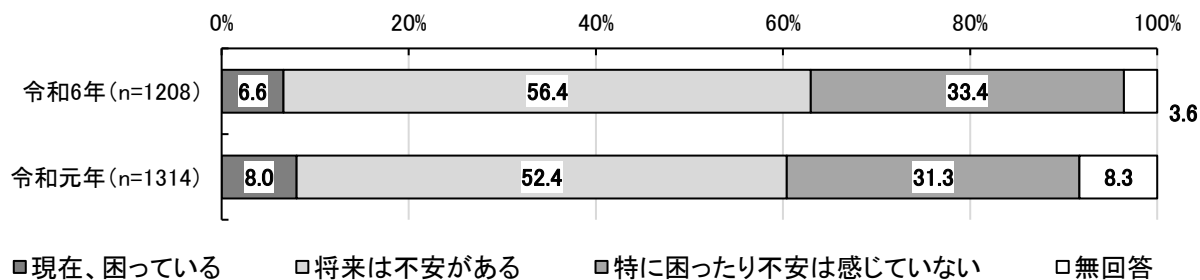
「現在、困っている」は「40歳未満」(7.1%)で最も高く、「65歳～74歳」(1.2%)より5.9ポイント高くなっています。「将来は不安がある」と回答した者は「40歳～64歳」(31.3%)で最も高くなっていますが、大きな差はありません。



【ケ 健康状態】

健康状態について聞いたところ、「現在、困っている」(6.6%)、「将来は不安がある」(56.4%)、「特に困ったり不安は感じていない」(33.4%)となっています。

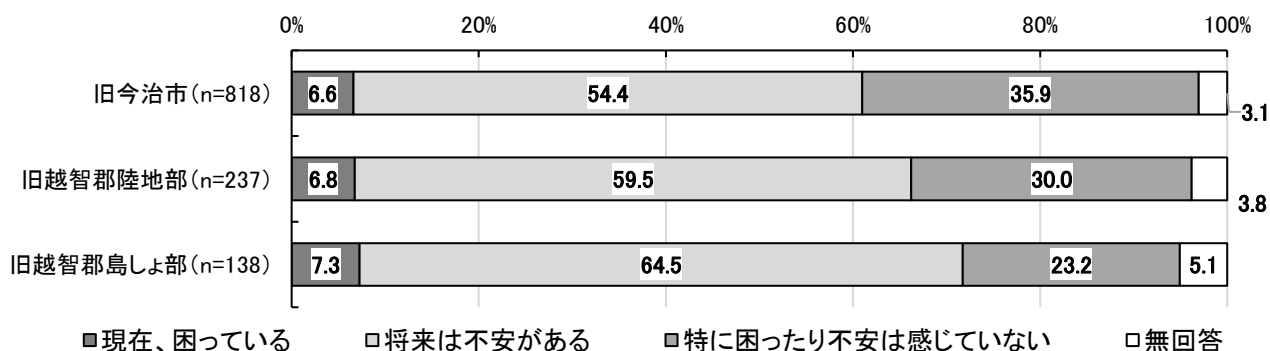
前回調査と比較すると、「将来は不安がある」が4.0ポイント高くなっています。



【地区】

地区別にみると、すべての地区で「将来は不安がある」が最も高く、50%以上となっています。

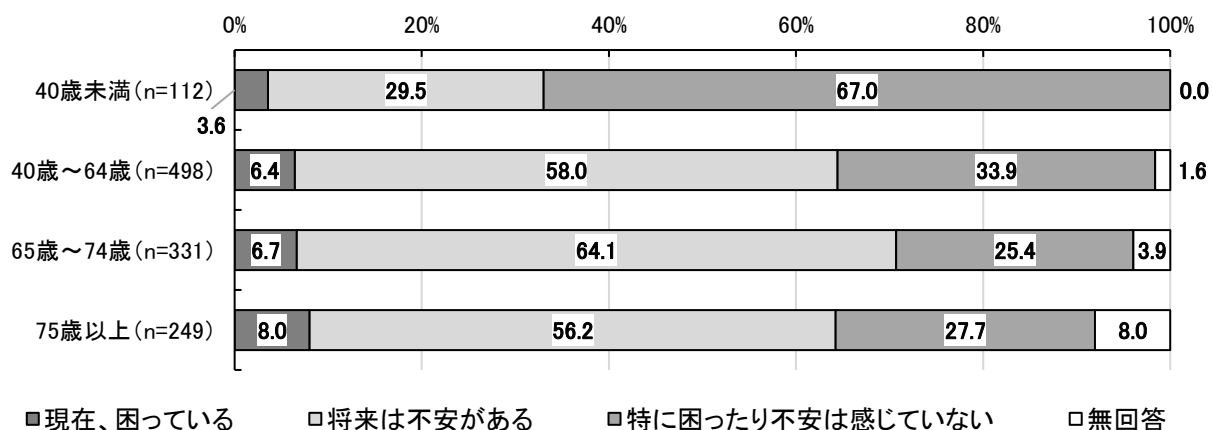
「現在、困っている」は「旧越智郡島しょ部」(7.3%)で最も高くなっていますが、大きな差はありません。「将来は不安がある」も「旧越智郡島しょ部」(64.5%)で最も高く、「旧今治市」(54.4%)より10.1ポイント高くなっています。



【年齢】

年齢別にみると、40歳未満は「特に困ったり不安は感じていない」(67.0%)が最も高く、他の年齢層では「将来は不安がある」が最も高く、50%以上となっています。

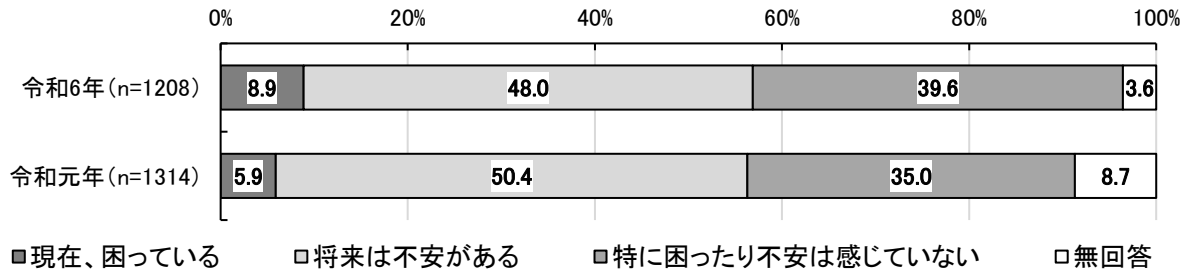
「現在、困っている」は「75歳以上」(8.0%)で最も高く、「40歳未満」(3.6%)より4.4ポイント高くなっています。「将来は不安がある」は「65歳～74歳」(64.1%)で最も高く、「40歳未満」(29.5%)より34.6ポイント高くなっています。



【コ 経済的な状況】

経済的な状況について聞いたところ、「現在、困っている」(8.9%)、「将来は不安がある」(48.0%)、「特に困ったり不安は感じていない」(39.6%)となっています。

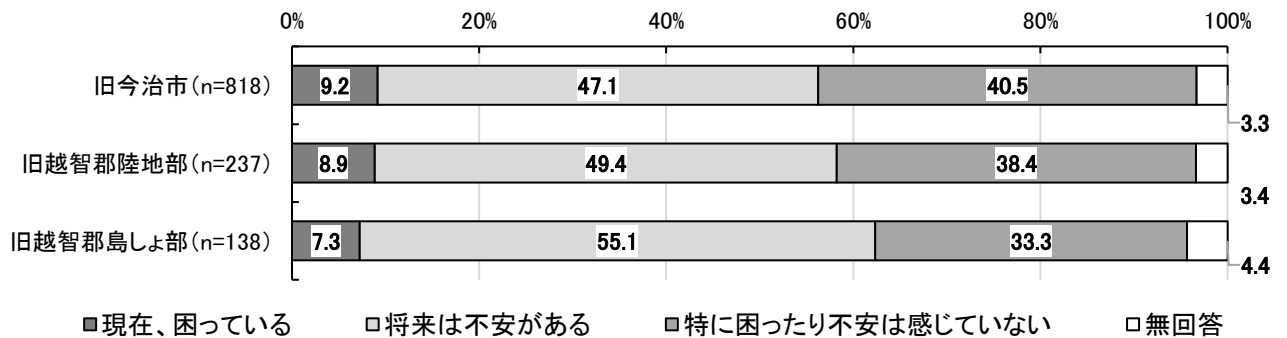
前回調査と比較すると、「特に困ったり不安は感じていない」が4.6ポイント高くなっています。



【地区】

地区別にみると、すべての地区で「将来は不安がある」が最も高く、約50%となっています。

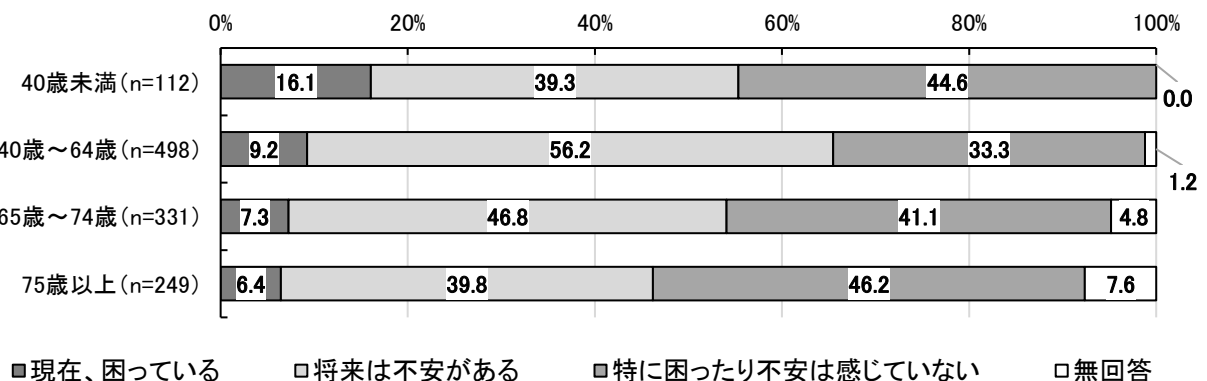
「現在、困っている」と回答した者は「旧今治市」(9.2%)で最も高くなっていますが、大きな差はありません。「将来は不安がある」は「旧越智郡島しょ部」(55.1%)で最も高く、「旧今治市」(47.1%)より8.0ポイント高くなっています。



【年齢】

年齢別にみると、「40歳～64歳」と「65歳～74歳」は「将来は不安がある」が最も高く、「40歳未満」と「75歳以上」は「特に困ったり不安は感じていない」が最も高くなっています。

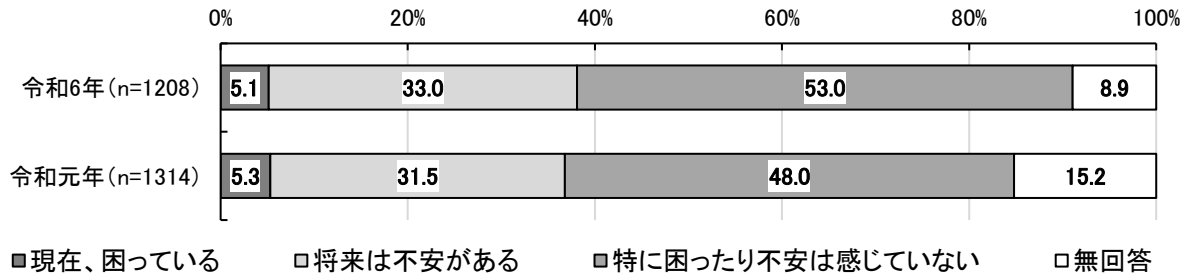
「現在、困っている」は「40歳未満」(16.1%)で最も高く、「75歳以上」(6.4%)より9.7ポイント高くなっています。「将来は不安がある」は「40歳～64歳」(56.2%)で最も高く、「40歳未満」(39.3%)より16.9ポイント高くなっています。



【サ 就労や雇用の状況】

就労や雇用の状況について聞いたところ、「現在、困っている」(5.1%)、「将来は不安がある」(33.0%)、「特に困ったり不安は感じていない」(53.0%)となっています。

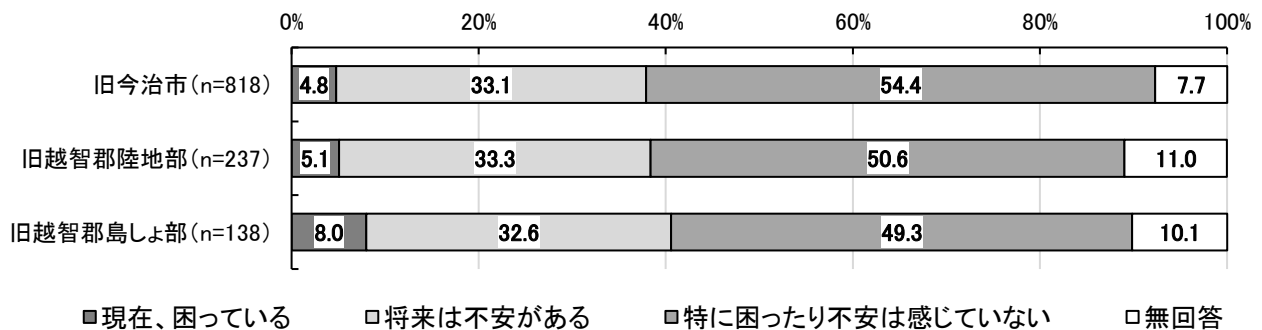
前回調査と比較すると、「特に困ったり不安は感じていない」が5.0ポイント高くなっています。



【地区】

地区別にみると、すべての地区で「特に困ったり不安は感じていない」が最も高く、約 50%となっています。

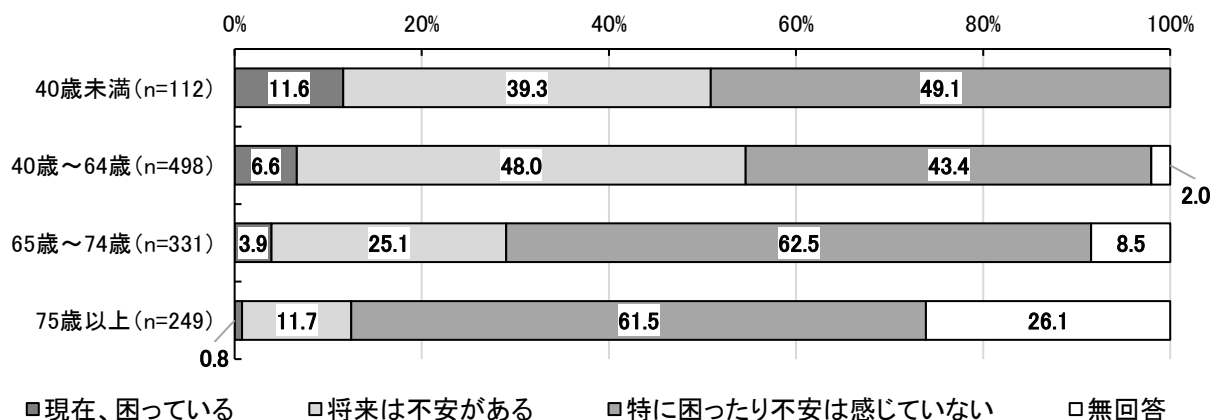
「現在、困っている」と回答した者は「旧越智郡島しょ部」(8.0%)で最も高く、「旧今治市」(4.8%)より3.2ポイント高くなっています。「将来は不安がある」は「旧越智郡陸地部」(33.3%)で最も高くなっていますが、大きな差はありません。



【年齢】

年齢別にみると、「40歳～64歳」は「将来は不安がある」(48.0%)が最も高く、他の年齢層では「特に困ったり不安は感じていない」が最も高く、「65歳～74歳」と「75歳以上」は60%以上となっています。

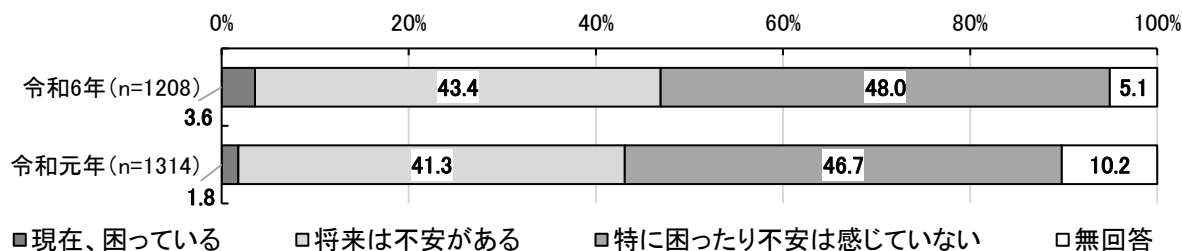
「現在、困っている」は「40歳未満」(11.6%)で最も高く、「75歳以上」(0.8%)より10.8ポイント高くなっています。「将来は不安がある」は「40歳～64歳」(48.0%)で最も高く、「75歳以上」(11.7%)より36.3ポイント高くなっています。



【シ お金の管理や契約などの判断】

お金の管理や契約などの判断について聞いたところ、「現在、困っている」(3.6%)、「将来は不安がある」(43.4%)、「特に困ったり不安は感じていない」(48.0%)となっています。

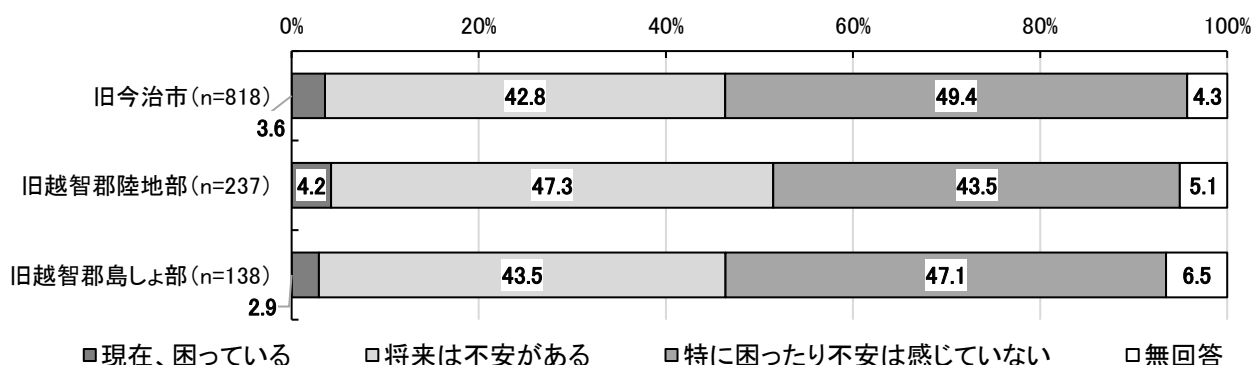
前回調査と比較すると、すべての選択肢で回答率が高くなっています。



【地区】

地区別にみると、「旧越智郡陸地部」は「将来は不安がある」(47.3%)が最も高く、他の地区は「特に困ったり不安は感じていない」が最も高く、約50%となっています。

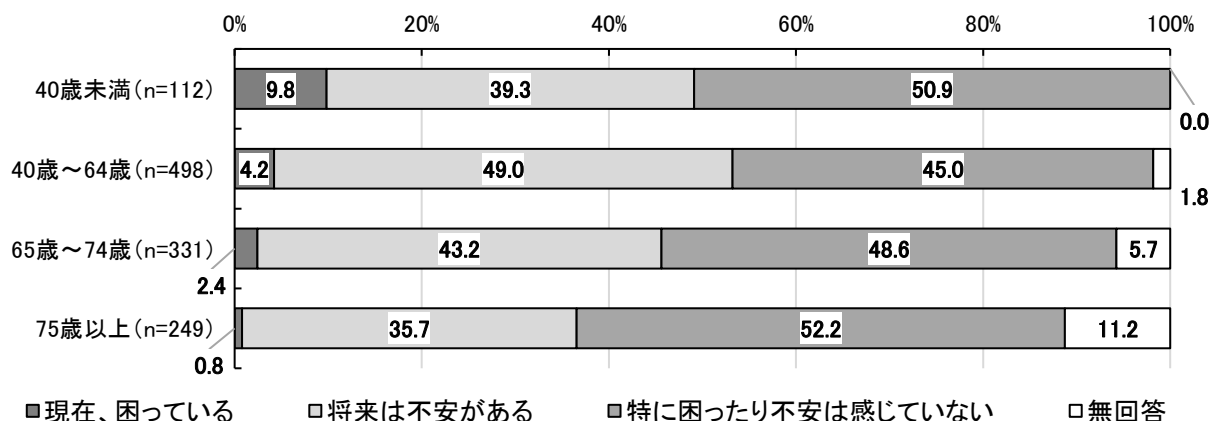
「現在、困っている」は「旧越智郡陸地部」(4.2%)で最も高くなっていますが、大きな差はありません。「将来は不安がある」と回答した者も「旧越智郡陸地部」(47.3%)で最も高く、「旧今治市」(42.8%)より4.5ポイント高くなっています。



【年齢】

年齢別にみると、「40歳～64歳」は「将来は不安がある」(49.0%)が最も高く、他の年齢層は「特に困ったり不安は感じていない」が最も高く、約50%となっています。

「現在、困っている」と回答した者は「40歳未満」(9.8%)で最も高く、「75歳以上」(0.8%)より9.0ポイント高くなっています。「将来は不安がある」は「40歳～64歳」(49.0%)で最も高く、「75歳以上」(35.7%)より13.3ポイント高くなっています。



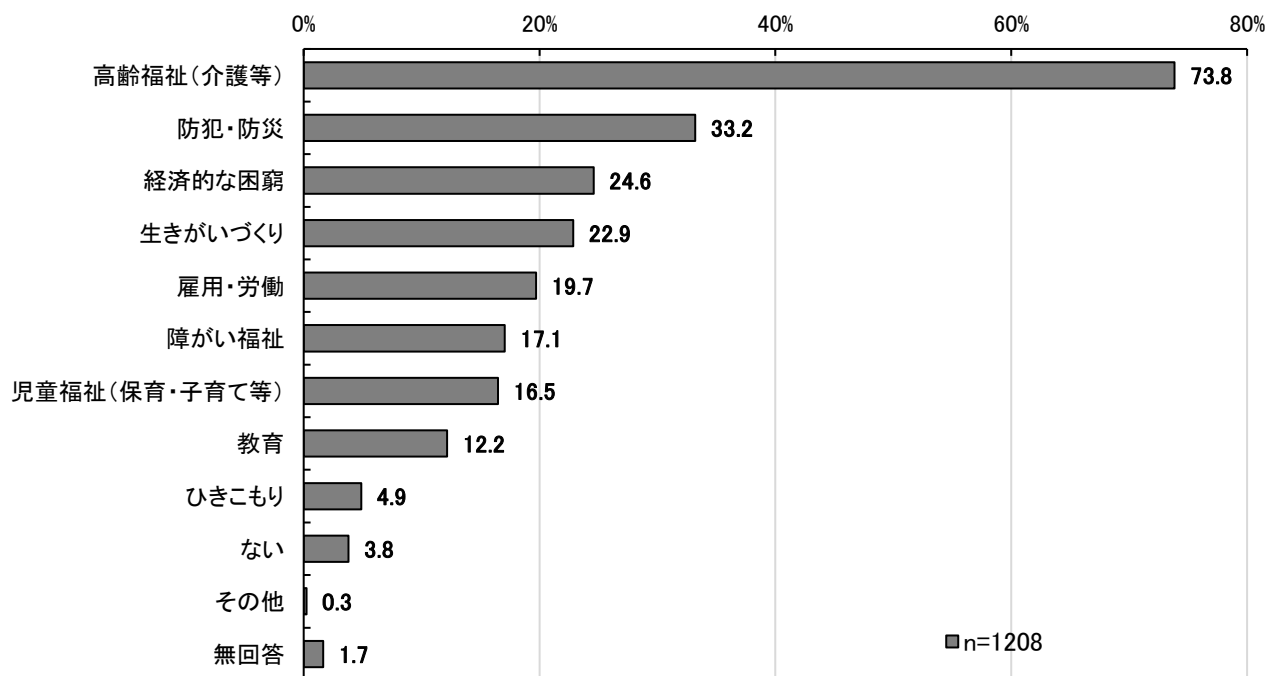
福祉について

問2 あなたは、「福祉」のどのような分野に関心がありますか。

〈複数回答・3つまで〉(件)

1	高齢福祉（介護等）	892
2	障がい福祉	206
3	児童福祉（保育・子育て等）	199
4	教育	147
5	生きがいづくり	276
6	経済的な困窮	297
7	雇用・労働	238
8	防犯・防災	401
9	ひきこもり	59
10	ない	46
11	その他	3
	無回答	20

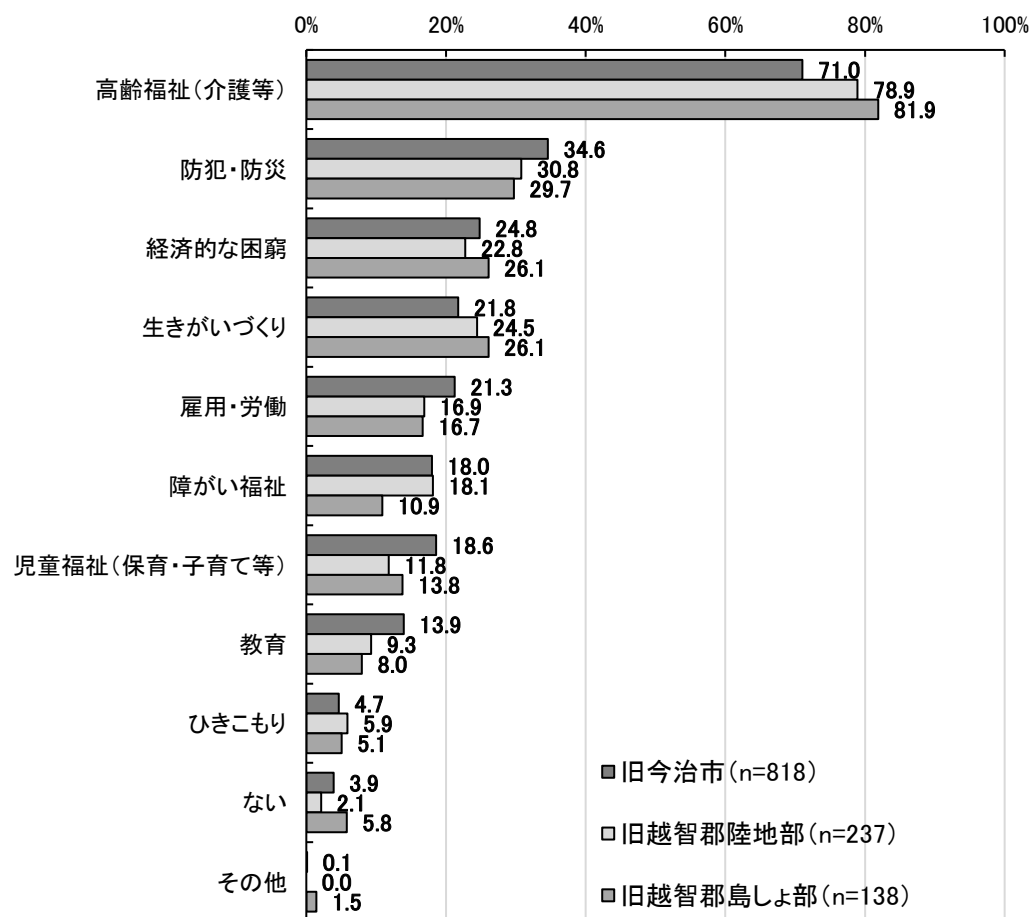
「福祉」のどのような分野に関心があるかを聞いたところ、「高齢福祉（介護等）」が73.8%と最も高く、次いで「防犯・防災」（33.2%）、「経済的な困窮」（24.6%）、「生きがいづくり」（22.9%）の順となっています。



【地区】

地区別にみると、すべての地区で「高齢福祉（介護等）」が最も高く 70%以上となっており、次いで「防犯・防災」が約 30%と高くなっています。

「高齢福祉（介護等）」は「旧越智郡島しょ部」（81.9%）で最も高く、最も低い「旧今治市」（71.0%）より 10.9 ポイント高くなっています。

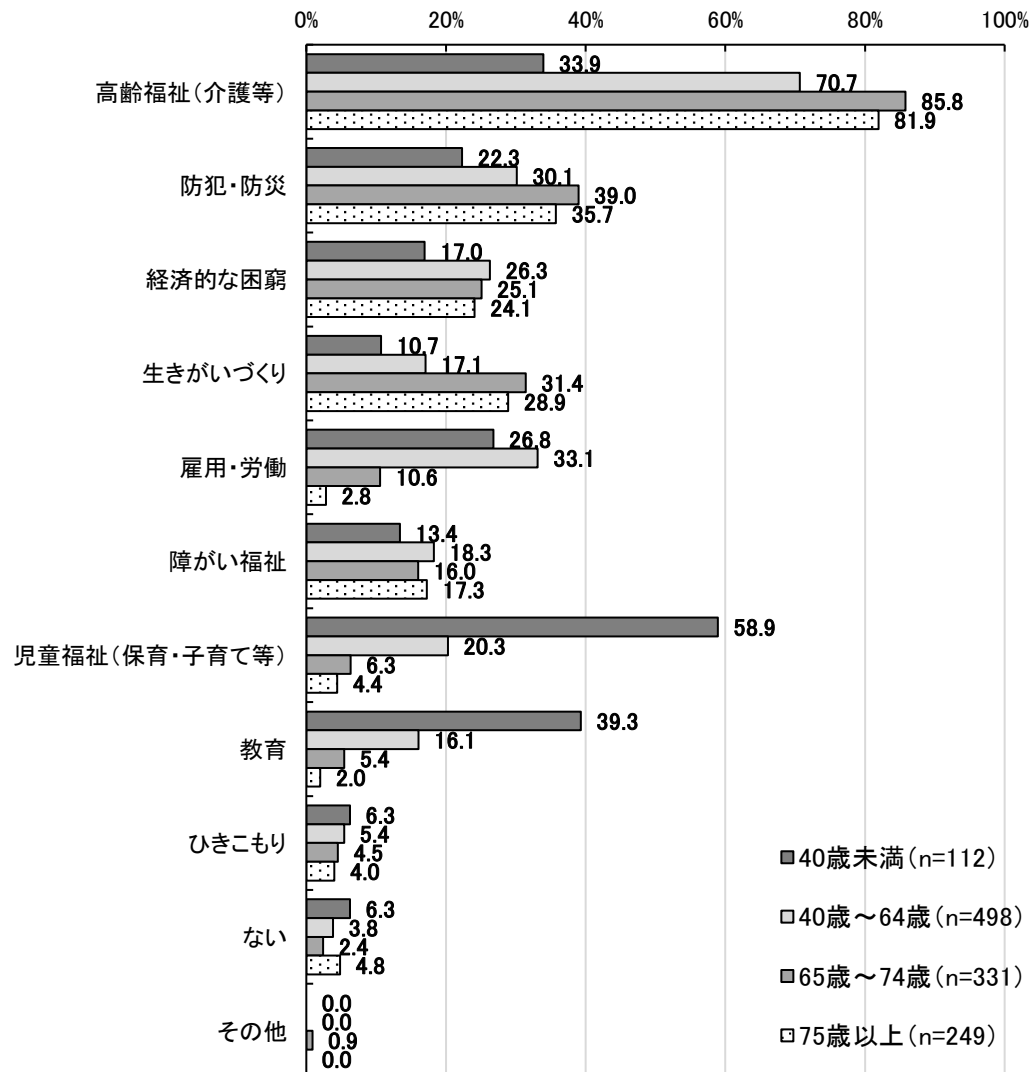


【年齢】

年齢別にみると、「40歳未満」は「児童福祉（保育・子育て等）」（58.9%）が最も高く、次いで「教育」（39.3%）となっています。また、「児童福祉（保育・子育て等）」は30ポイント以上、「教育」は20ポイント以上他の年齢層より高くなっています。一方、「高齢福祉（介護等）」は他の年齢層より30ポイント以上低くなっています。

その他の年齢は「高齢福祉（介護等）」が最も高く70%以上となっており、次いで「40歳～64歳」は「雇用・労働」（33.1%）、「65歳～74歳」と「75歳以上」は「防犯・防災」で35%以上となっています。

「雇用・労働」は64歳未満と65歳以上で差が大きく、「40歳未満」（26.8%）は「65歳～74歳」（10.6%）より16.2ポイント高くなっています。

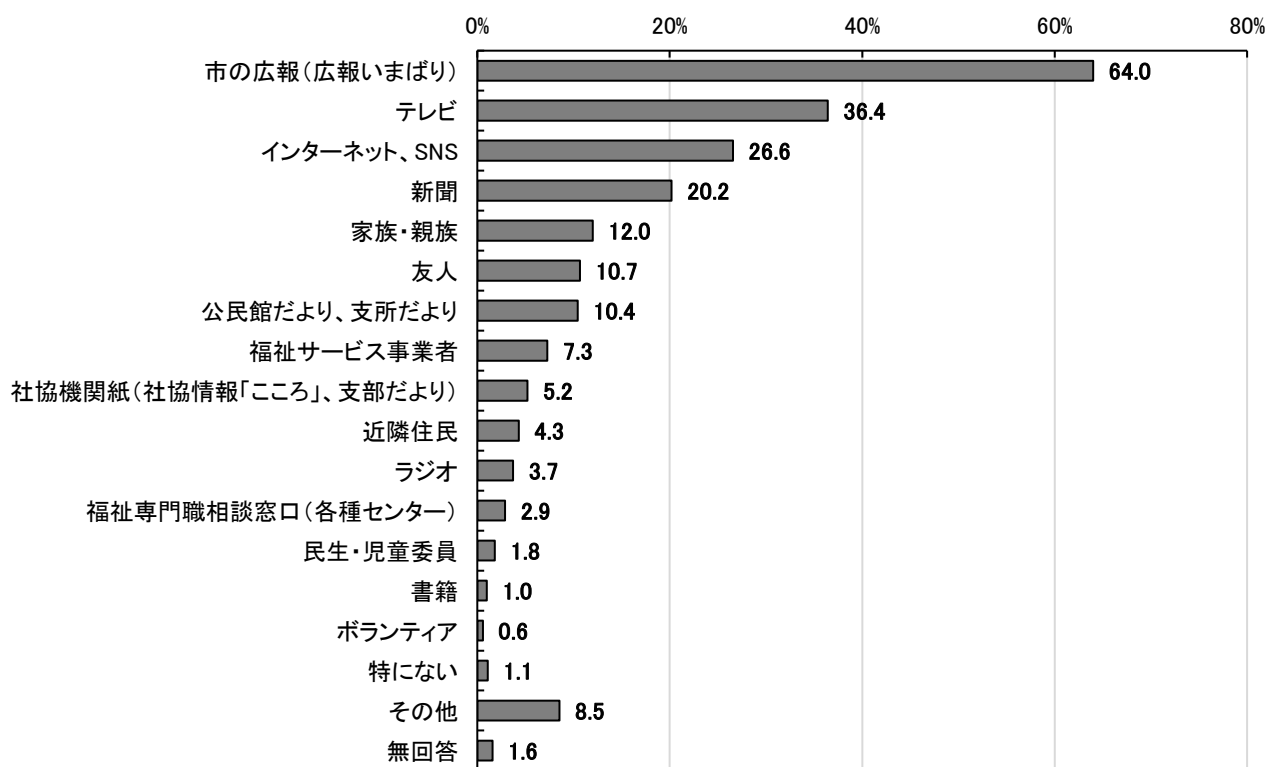


問3 あなたは「福祉」に関する情報を何から得ていますか。

〈複数回答・3つまで〉(件)

1	市の広報（広報いまばり）	773
2	公民館だより、支所だより	126
3	社協機関紙（社協情報「こころ」、支部だより）	63
4	テレビ	440
5	新聞	244
6	ラジオ	45
7	書籍	12
8	民生・児童委員	22
9	福祉専門職相談窓口（各種センター）	35
10	福祉サービス事業者	88
11	ボランティア	7
12	近隣住民	52
13	友人	129
14	家族・親族	145
15	インターネット、SNS	321
16	特にない	13
17	その他	103
	無回答	19

「福祉」に関する情報を何から得ているかを聞いたところ、「市の広報（広報いまばり）」と回答した者が64.0%と最も高く、次いで「テレビ」（36.4%）、「インターネット、SNS」（26.6%）、「新聞」（20.2%）の順となっています。

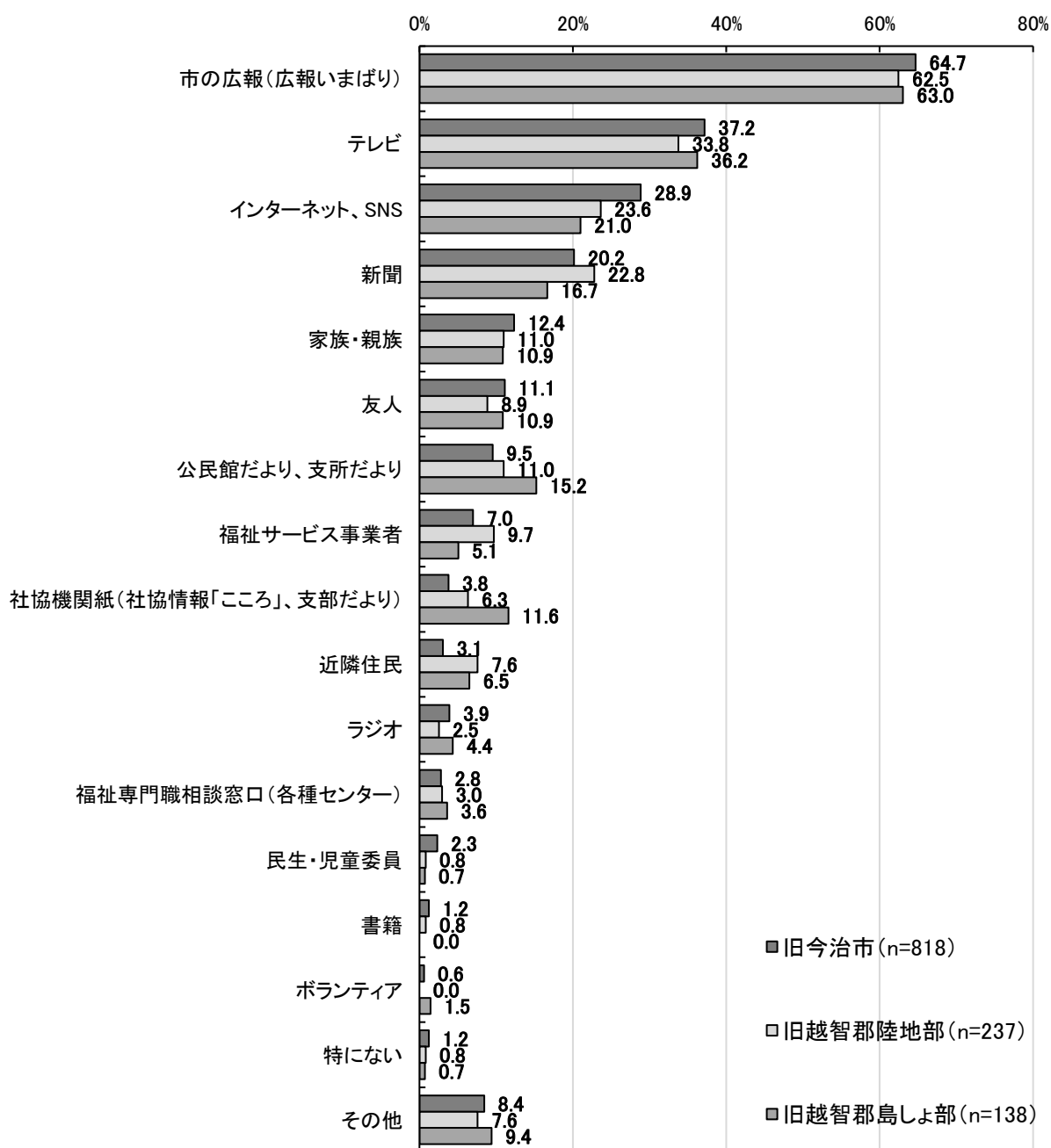


■n=1208

【地区】

地区別にみると、すべての地区で「市の広報（広報いまばり）」が最も高く 60%以上となっており、次いで「テレビ」が 30%以上と高くなっています。

「インターネット、SNS」は「旧今治市」（28.9%）で最も高く、最も低い「旧越智郡島しょ部」（21.0%）より 7.9 ポイント高くなっています。「社協機関紙（社協情報「こころ」、支部だより）」は「旧越智郡島しょ部」（11.6%）で最も高く、最も低い「旧今治市」（3.8%）より 7.8 ポイント高くなっています。

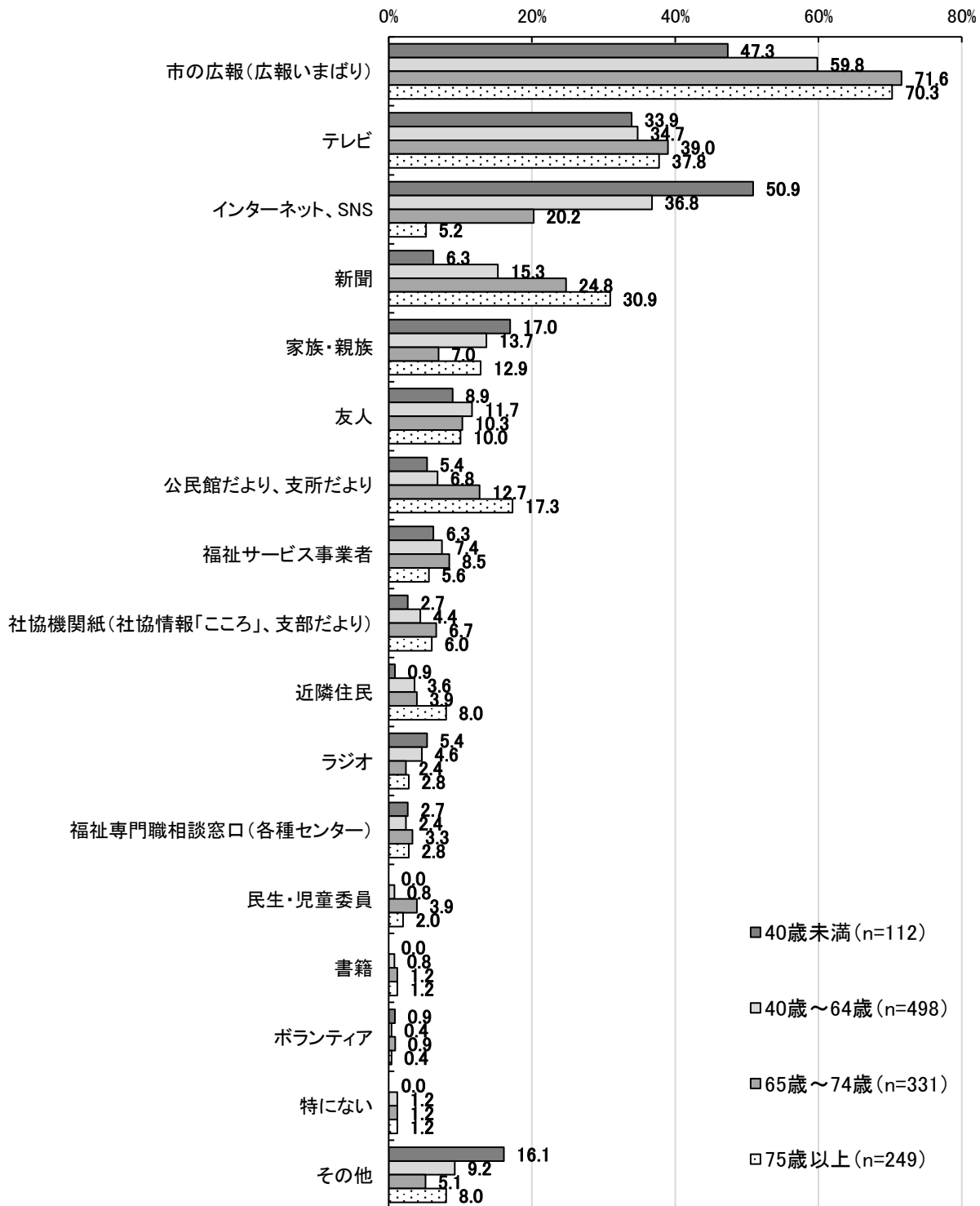


【年齢】

年齢別にみると、「40歳未満」は「インターネット、SNS」(50.9%)が最も高く、次いで「市の広報(広報いまばり)」(47.3%)となっています。また、「インターネット、SNS」は10ポイント以上他の年齢層より高くなっています。一方、「市の広報(広報いまばり)」は他の年齢層より10ポイント以上低くなっています。

その他の年齢は「市の広報(広報いまばり)」が最も高くなっており、次いで「40歳～64歳」は「インターネット、SNS」(36.8%)、「65歳～74歳」と「75歳以上」は「テレビ」で35%以上となっています。

「新聞」は年齢が高いほど回答率が高く、「75歳以上」(30.9%)は「40歳未満」(6.3%)より24.6ポイント高くなっています。



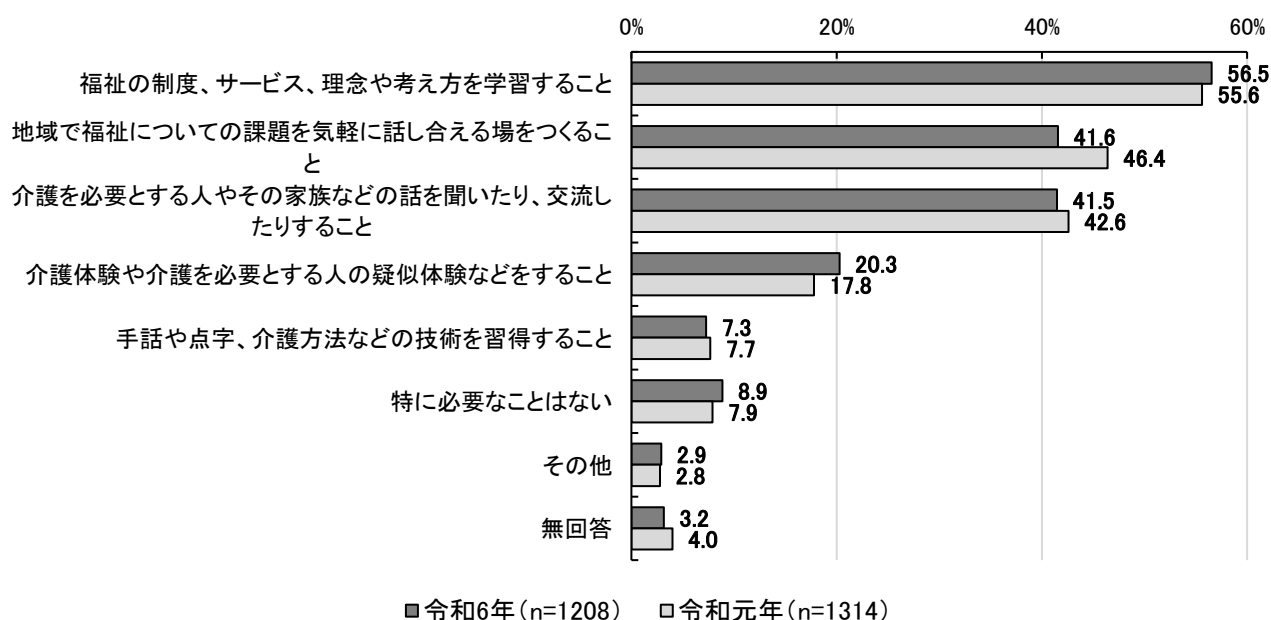
問4 「福祉」について理解を深めるためには、どのような機会が必要であると思いますか。

〈複数回答・3つまで〉(件)		
1	福祉の制度、サービス、理念や考え方を学習すること	683
2	介護体験や介護を必要とする人の疑似体験などをする	245
3	介護を必要とする人やその家族などの話を聞いたり、交流したりすること	501
4	手話や点字、介護方法などの技術を習得すること	88
5	地域で福祉についての課題を気軽に話し合える場をつくること	502
6	特に必要なことはない	107
7	その他	35
	無回答	38

「福祉」について理解を深めるためには、どのような機会が必要であるかを聞いたところ、「福祉の制度、サービス、理念や考え方を学習すること」が56.5%と最も高く、次いで「地域で福祉についての課題を気軽に話し合える場をつくること」(41.6%)、「介護を必要とする人やその家族などの話を聞いたり、交流したりすること」(41.5%)の順となっています。

また、「特に必要なことはない」は8.9%となっています。

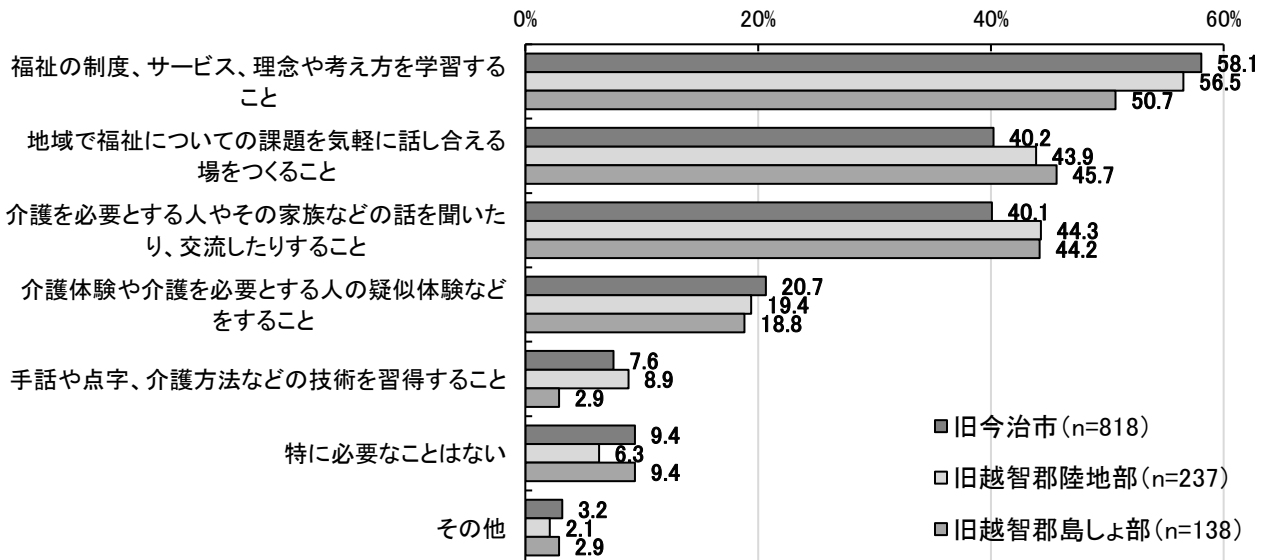
前回調査と比較すると、「地域で福祉についての課題を気軽に話し合える場をつくること」が4.8ポイント低くなっています。その他の選択肢は前回調査からの増減は小さく、同じ傾向といえます。



【地区】

地区別にみると、すべての地区で「福祉の制度、サービス、理念や考え方を学習すること」が最も高く、50%以上となっています。次いで「旧越智郡陸地部」は「介護を必要とする人やその家族などの話を聞いたり、交流したりすること」(44.3%)、その他の地区では「地域で福祉についての課題を気軽に話し合える場をつくること」が40%以上となっています。

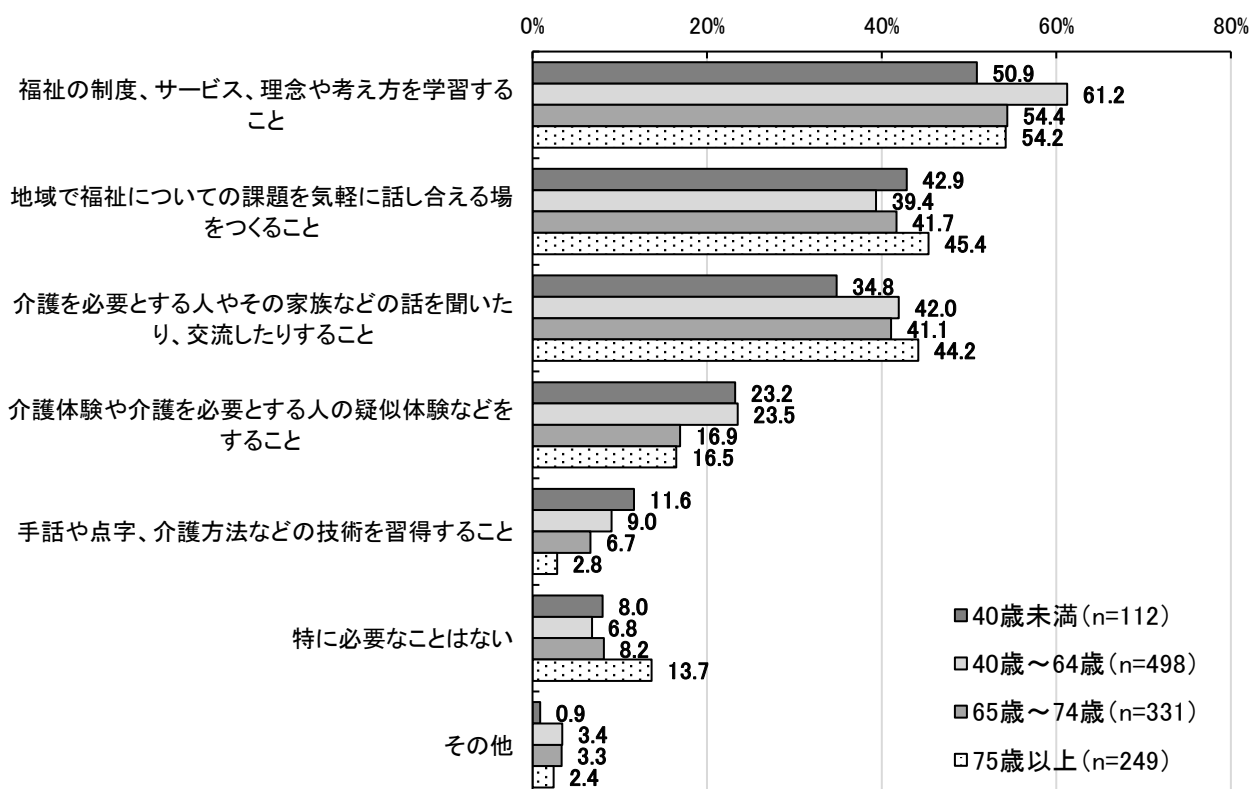
「福祉の制度、サービス、理念や考え方を学習すること」、「地域で福祉についての課題を気軽に話し合える場をつくること」、「介護を必要とする人やその家族などの話を聞いたり、交流したりすること」の上位3回答はすべての地区で40%以上となっています。



【年齢】

年齢別にみるとすべての年齢層で「福祉の制度、サービス、理念や考え方を学習すること」が最も高く、「40歳～64歳」は61.2%、その他の年齢層は50%以上となっています。

「介護体験や介護を必要とする人の疑似体験などをする」は64歳未満と65歳以上で差が大きく、「40歳未満」(23.2%)は「65歳～74歳」(16.9%)より6.3ポイント高くなっています。

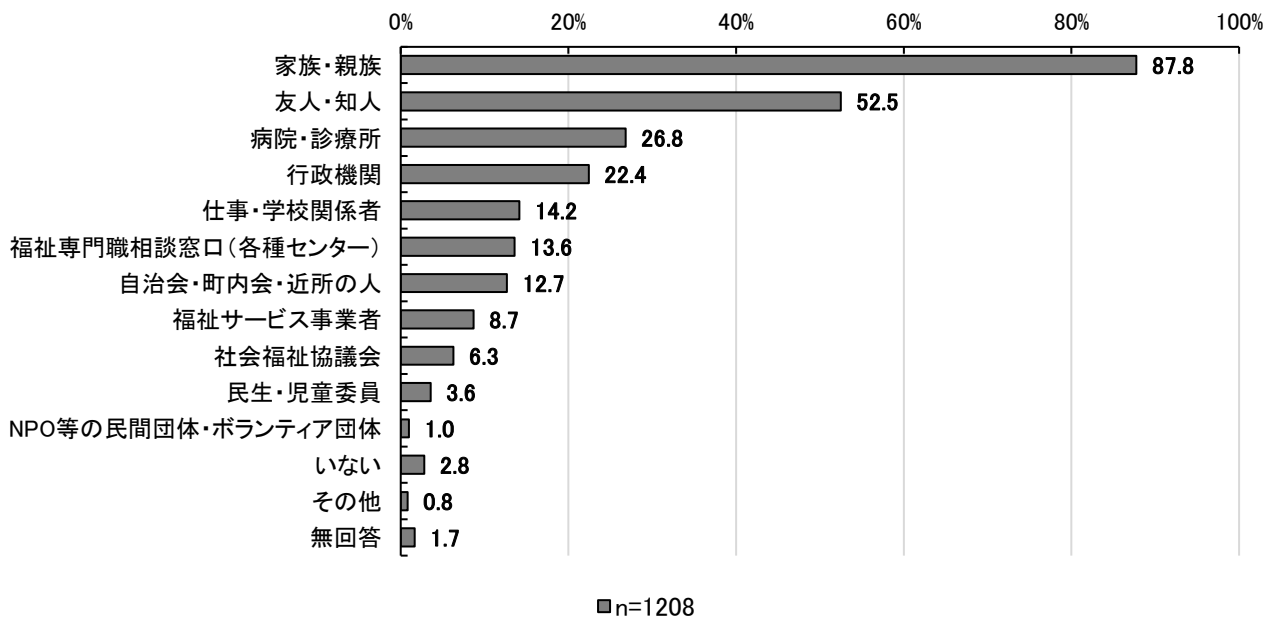


地域や隣人とのかかわりについて

問 5 あなたは困ったときに、どのような人に頼りますか。

〈複数回答〉(件)		
1	家族・親族	1060
2	友人・知人	634
3	民生・児童委員	43
4	自治会・町内会・近所の人	153
5	仕事・学校関係者	171
6	行政機関	271
7	福祉専門職相談窓口(各種センター)	164
8	NPO等の民間団体・ボランティア団体	12
9	社会福祉協議会	76
10	福祉サービス事業者	105
11	病院・診療所	324
12	いない	34
13	その他	10
	無回答	20

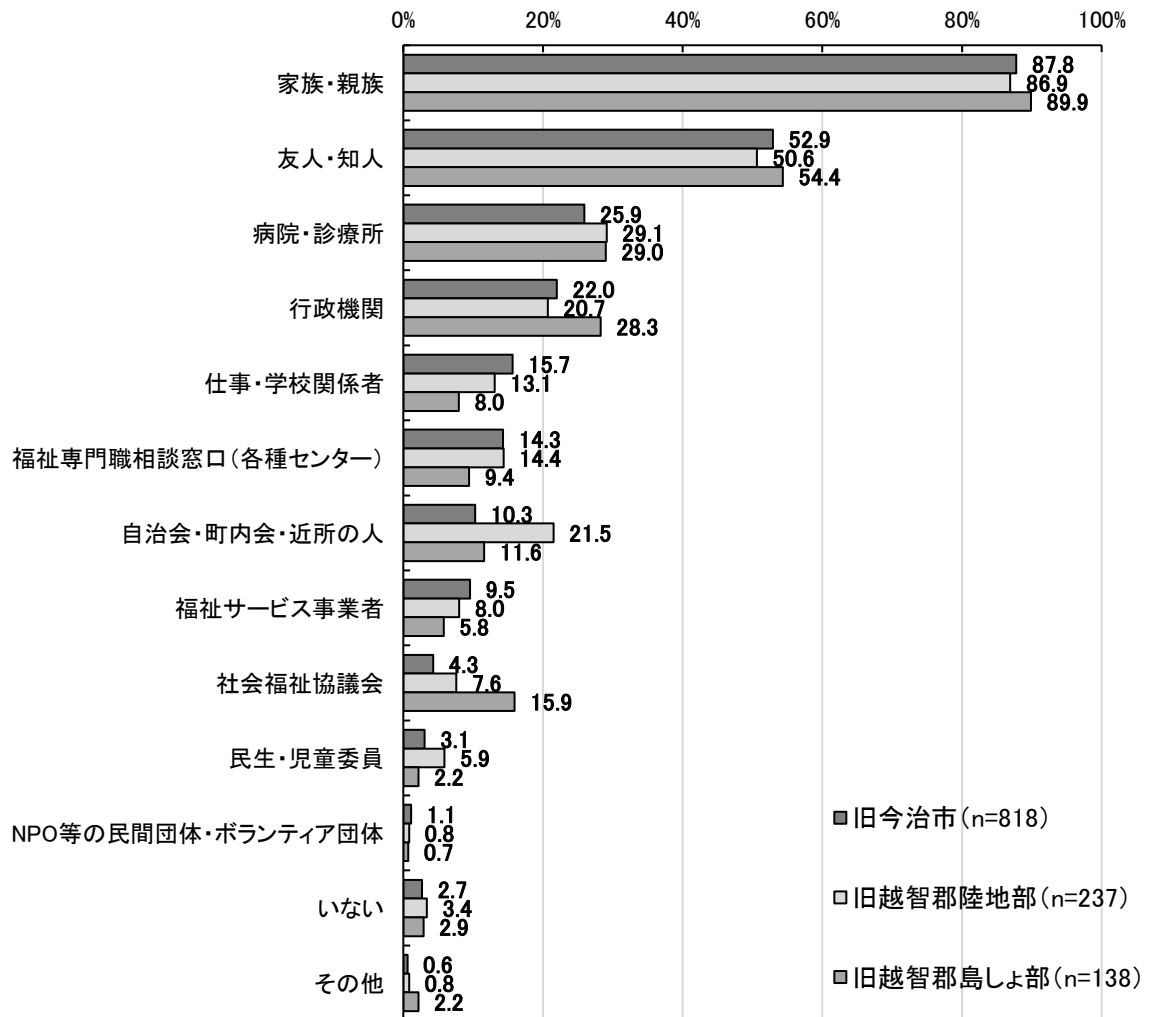
困ったときに、どのような人に頼るかを聞いたところ、「家族・親族」が87.8%と最も高く、次いで「友人・知人」(52.5%)、「病院・診療所」(26.8%)、「行政機関」(22.4%)の順となっています。



【地区】

地区別にみると、すべての地区で「家族・親族」が最も高く 80%以上となっており、次いで「友人・知人」が 50%以上と高くなっています。

「社会福祉協議会」は「旧越智郡島しょ部」（15.9%）で最も高く、最も低い「旧今治市」（4.3%）より 11.6 ポイント高くなっています。「自治会・町内会・近所の人」は「旧越智郡陸地部」（21.5%）で最も高く、最も低い「旧今治市」（10.3%）より 11.2 ポイント高くなっています。

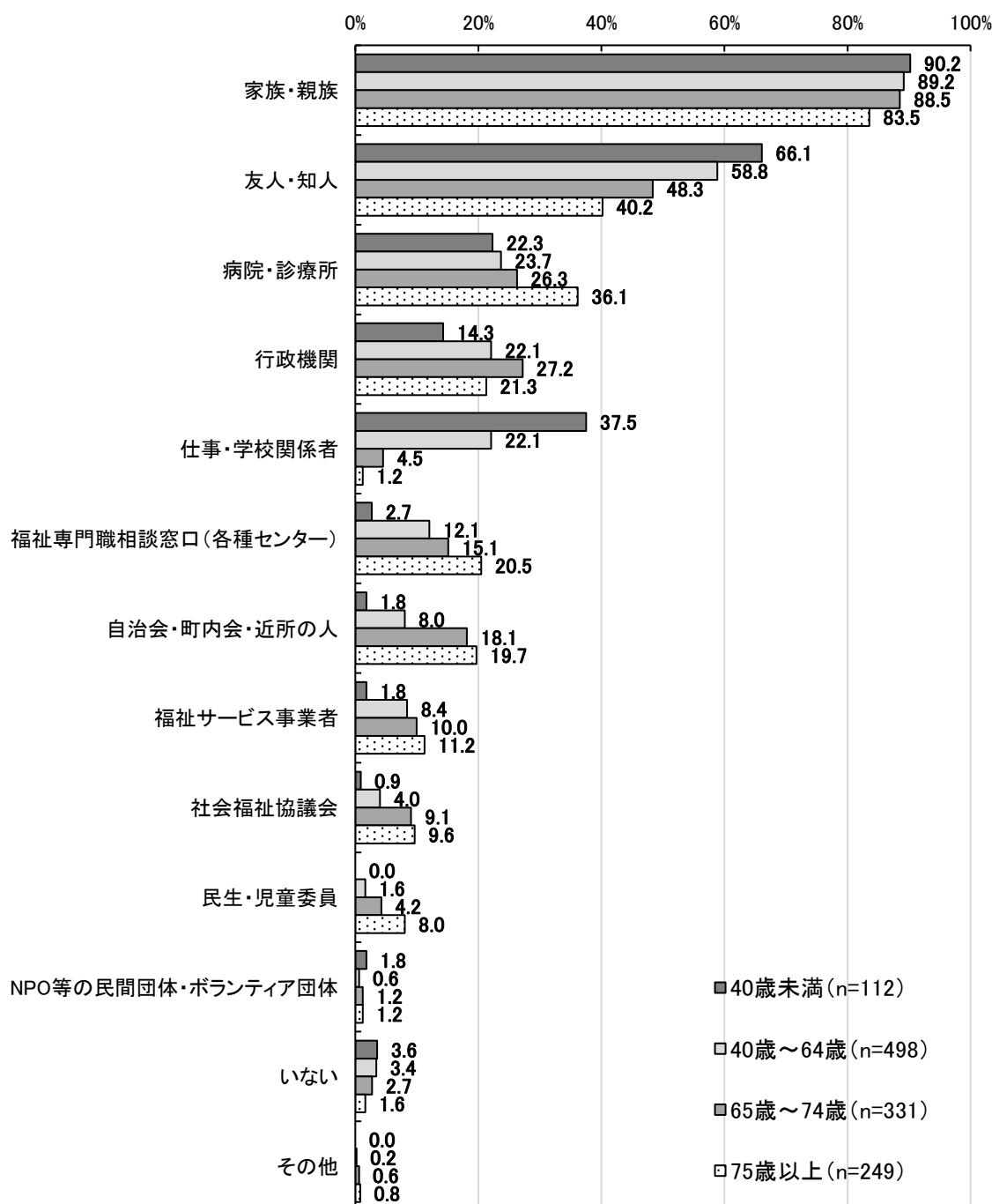


【年齢】

年齢別にみるとすべての年齢層で「家族・親族」が最も高く 80%以上となっています。次いで「友人・知人」が高くなっています。

「友人・知人」は年齢が低いほど回答率が高く、「40 歳未満」(66.1%)は「75 歳以上」(40.2%)より 25.9 ポイント高くなっています。また、「仕事・学校関係者」も同様の傾向がみられ、「40 歳未満」(37.5%)は「75 歳以上」(1.2%)より 36.3 ポイント高くなっています。

一方、「福祉専門職相談窓口(各種センター)」は年齢が高いほど回答率が高く、「75 歳以上」(20.5%)は「40 歳未満」(2.7%)より 17.8 ポイント高くなっています。また、「自治会・町内会・近所の人」でも同様の傾向がみられ、「75 歳以上」(19.7%)は「40 歳未満」(1.8%)より 17.9 ポイント高くなっています。

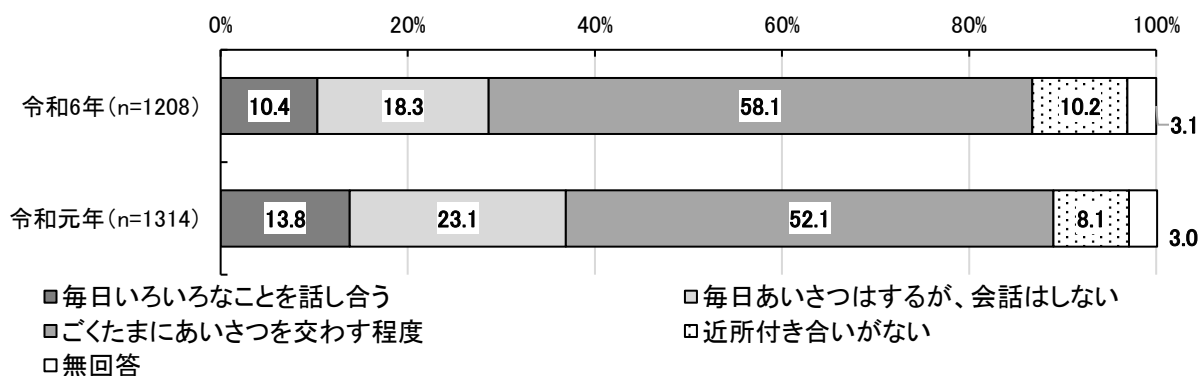


問 6 あなたは、日頃どれくらい近所付き合いをしていますか。

			(件)
1	毎日いろいろなことを話し合う		125
2	毎日あいさつはするが、会話はしない		221
3	ごくたまにあいさつを交わす程度		702
4	近所付き合いがない		123
	無回答		37

日頃どれくらい近所付き合いをしているかを聞いたところ、「ごくたまにあいさつを交わす程度」が58.1%と最も高く、次いで「毎日あいさつはするが、会話はしない」(18.3%)、「毎日いろいろな事を話し合う」(10.4%)、「近所付き合いがない」(10.2%)の順となっています。

前回調査と比較すると、「ごくたまにあいさつを交わす程度」が6.0ポイント高くなっています。

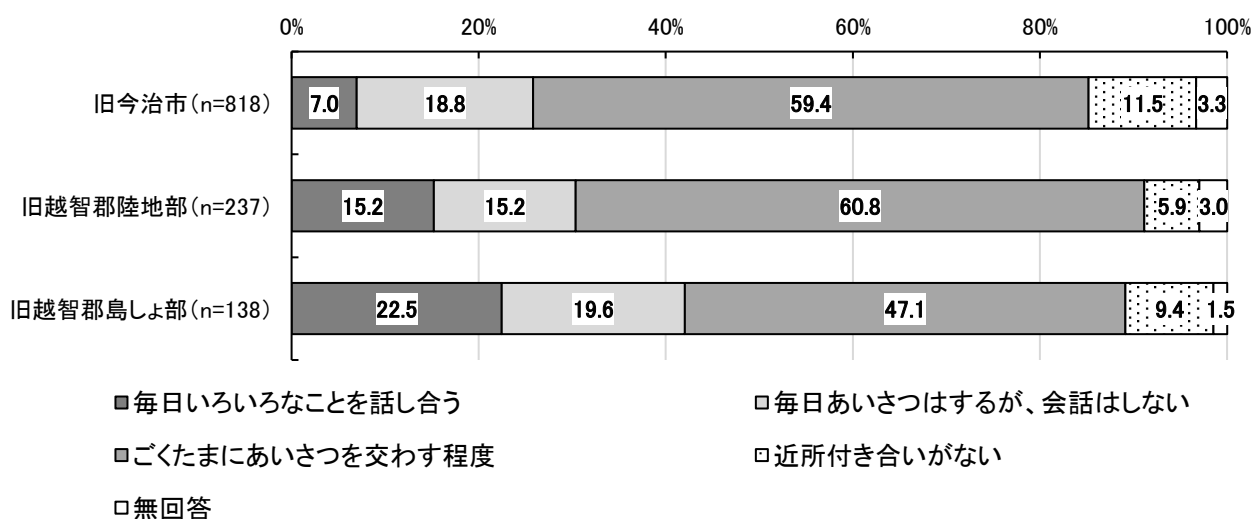


【地区】

地区別にみると、すべての地区で「ごくたまにあいさつを交わす程度」が最も高く、「旧今治市」と「旧越智郡陸地部」は約60%、「旧越智郡島しょ部」は47.1%となっています。

「毎日いろいろな事を話し合う」は、「旧越智郡島しょ部」(22.5%)で最も高く、最も低い「旧今治市」(7.0%)より15.5ポイント高くなっています。

「近所付き合いがない」は、「旧今治市」(11.5%)で最も高く、最も低い「旧越智郡陸地部」(5.9%)より5.6ポイント高くなっています。

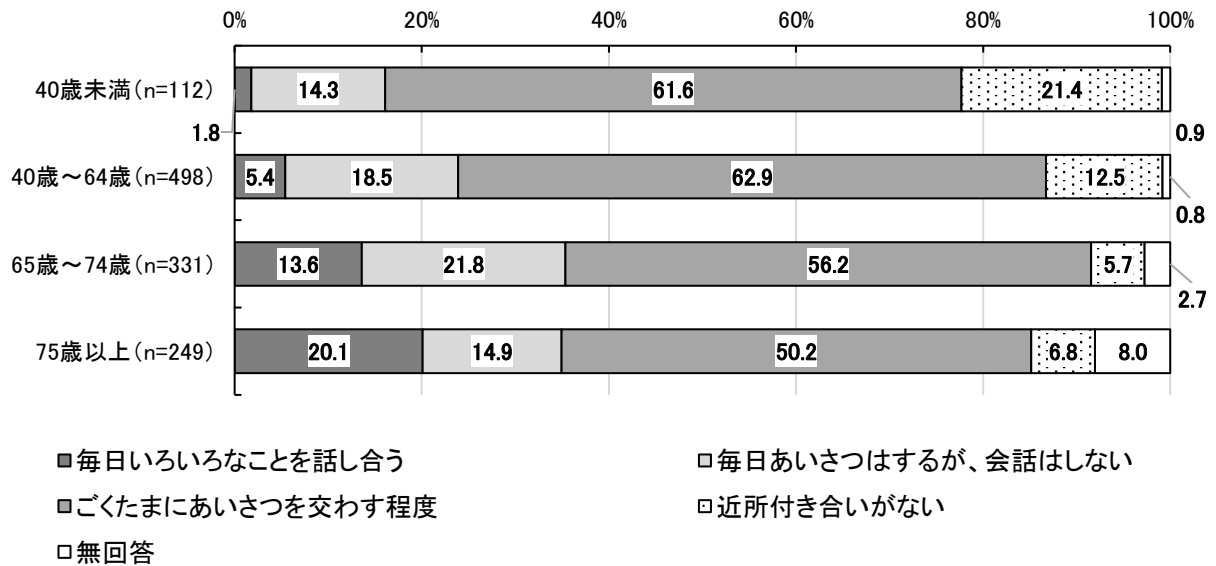


【年齢】

年齢別にみると、すべての年齢層で「ごくたまにあいさつを交わす程度」が最も高く、「65歳～74歳」と「75歳以上」は50%以上、「40歳未満」と「40歳～64歳」は60%以上となっています。

「毎日いろいろな事を話し合う」は、年齢層が高くなるほど高くなる傾向があり、「75歳以上」(20.1%)は「40歳未満」(1.8%)より18.3ポイント高くなっています。

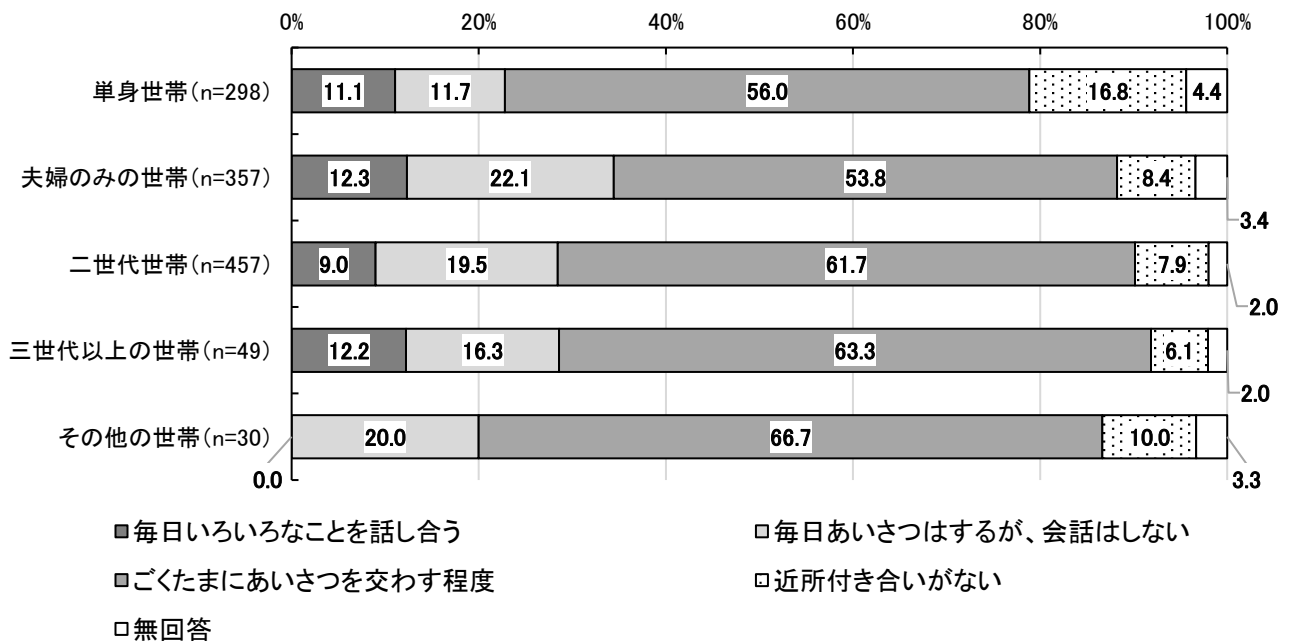
一方、「近所付き合いがない」は、年齢層が低くなるほど高くなる傾向があり、「40歳未満」(21.4%)は「75歳以上」(6.8%)より14.6ポイント高くなっています。



【世帯】

世帯別にみると、すべての世帯で「ごくたまにあいさつを交わす程度」が最も高く、「単身世帯」と「夫婦のみの世帯」は50%以上、その他の世帯区分は60%以上となっています。

「毎日いろいろな事を話し合う」が高いのは「夫婦のみの世帯」(12.3%)、「近所付き合いがない」が高いのは「単身世帯」(16.8%)となっています。



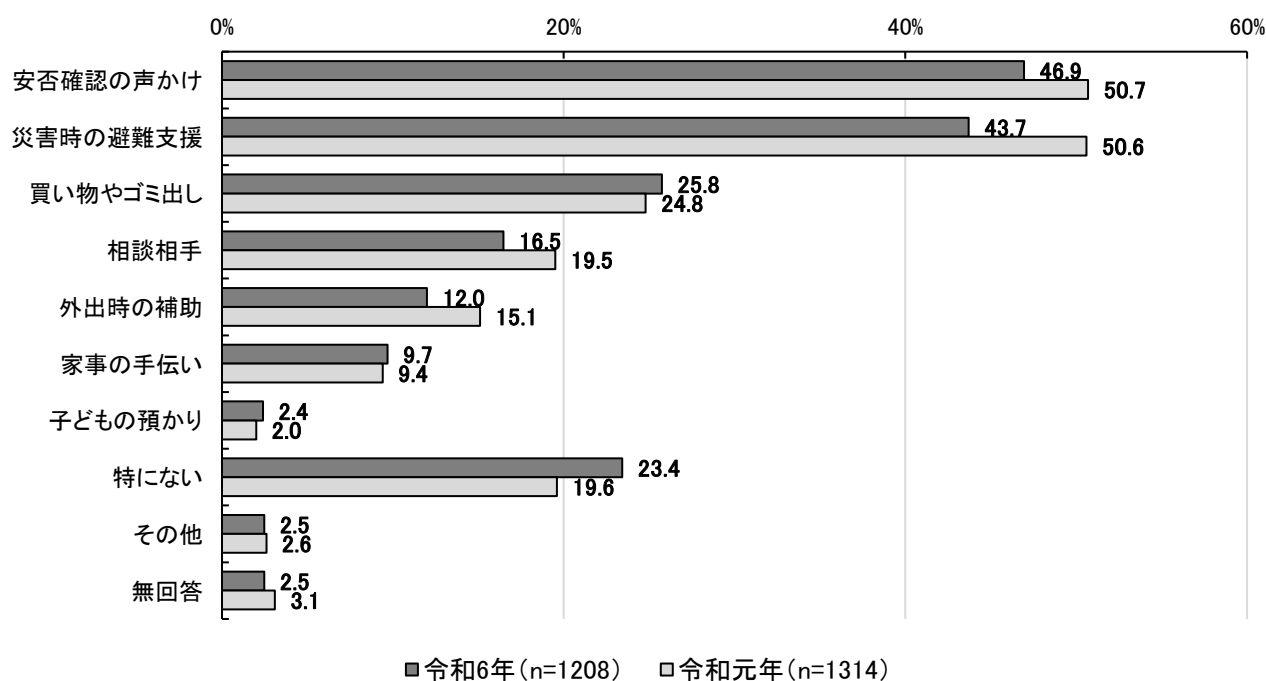
問7 もし日常生活が不自由になった場合、近所の人に手助けしてほしいと思うことは何ですか。

〈複数回答〉(件)		
1	安否確認の声かけ	567
2	買い物やゴミ出し	311
3	家事の手伝い	117
4	外出時の補助	145
5	子どもの預かり	29
6	相談相手	199
7	災害時の避難支援	528
8	特にない	283
9	その他	30
	無回答	30

もし日常生活が不自由になった場合、近所の人に手助けしてほしいと思うことは何かを聞いたところ、「安否確認の声かけ」が46.9%と最も高く、次いで「災害時の避難支援」(43.7%)、「買い物やゴミ出し」(25.8%)、「相談相手」(16.5%)の順となっています。

また、「特にない」は23.4%となっています。

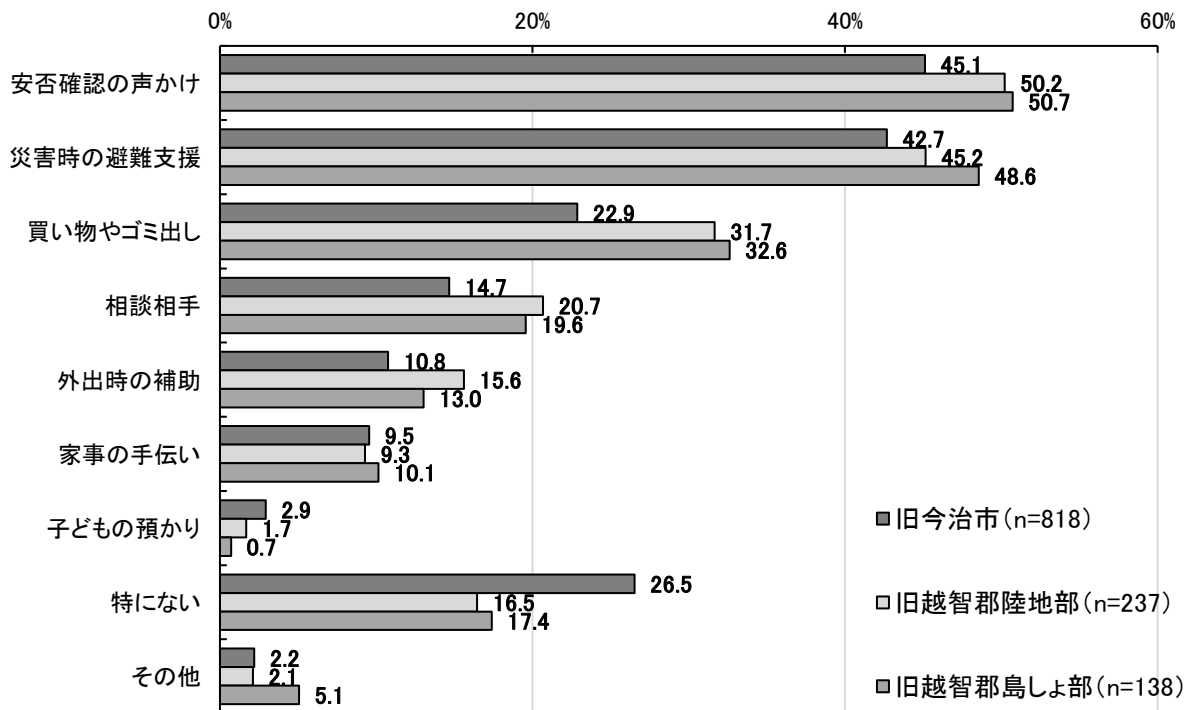
前回調査と比較すると、「災害時の避難支援」が6.9ポイント低くなっています。



【地区】

地区別にみると、すべての地区で「安否確認の声かけ」が最も高く、「旧今治市」は 45.1%、「旧越智郡陸地部」と「旧越智郡島しょ部」は 50%以上となっています。次いで「災害時の避難支援」が 40%以上となっています。

「旧今治市」は、旧越智郡の地区と比較して「家事の手伝い」(9.5%)と「子どもの預かり」(2.9%)を除く手助けしてほしい内容の回答率が低い傾向にあり、「買い物やゴミ出し」(22.9%)は最も高い「旧越智郡島しょ部」(32.6%)より 9.7 ポイント低くなっています。一方、「特にない」(26.5%)は最も高く、最も低い「旧越智郡陸地部」(16.5%)より 10.0 ポイント低くなっています。

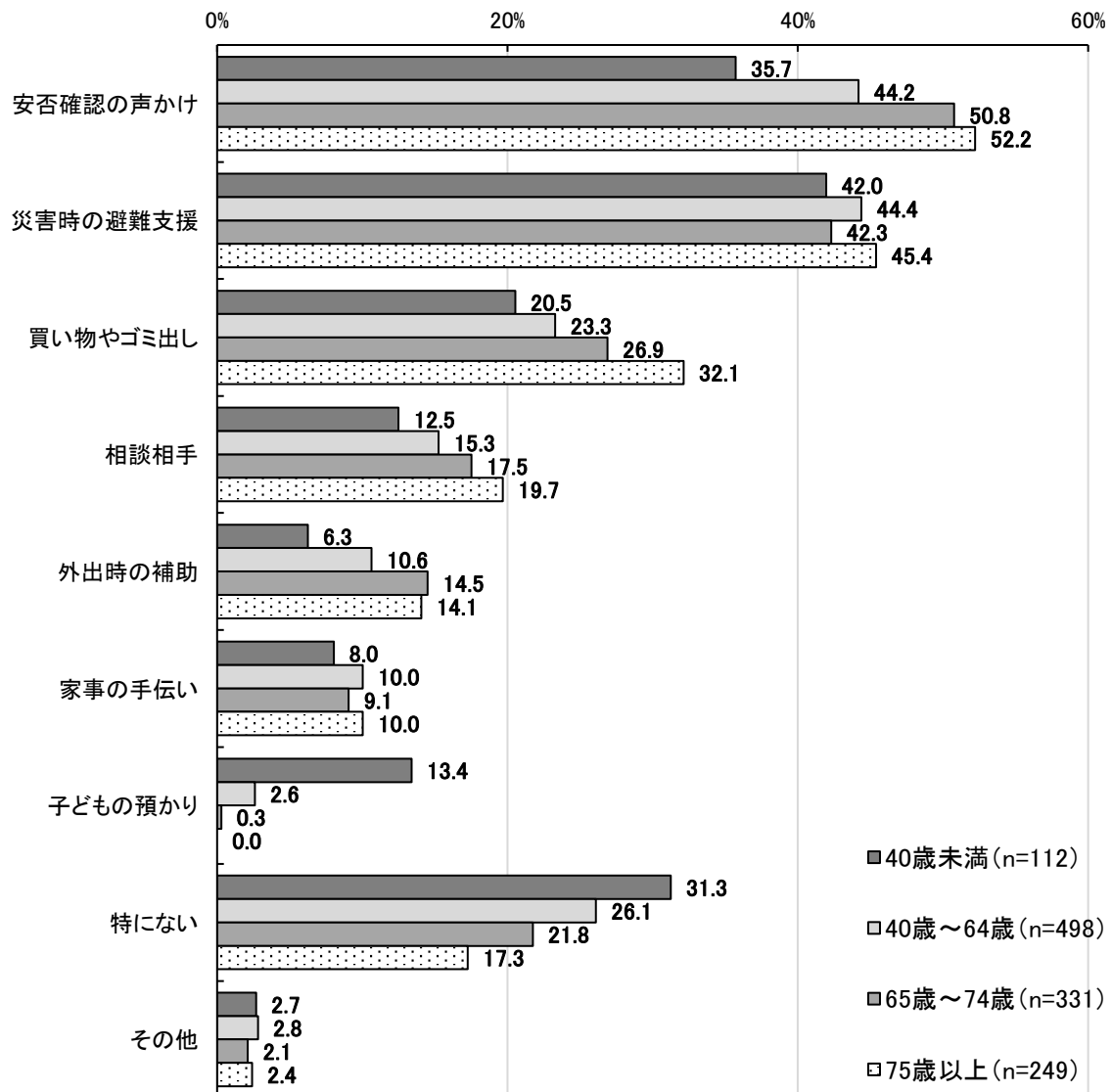


【年齢】

年齢別にみると、すべての年齢層で「安否確認の声かけ」や「災害時の避難支援」が高くなっています。

「安否確認の声かけ」「買い物やゴミ出し」「相談相手」は、年齢層が高くなるほど回答率が高くなる傾向があり、「安否確認の声かけ」の場合、「75 歳以上」(52.2%)は「40 歳未満」(35.7%)より 16.5 ポイント高くなっています。

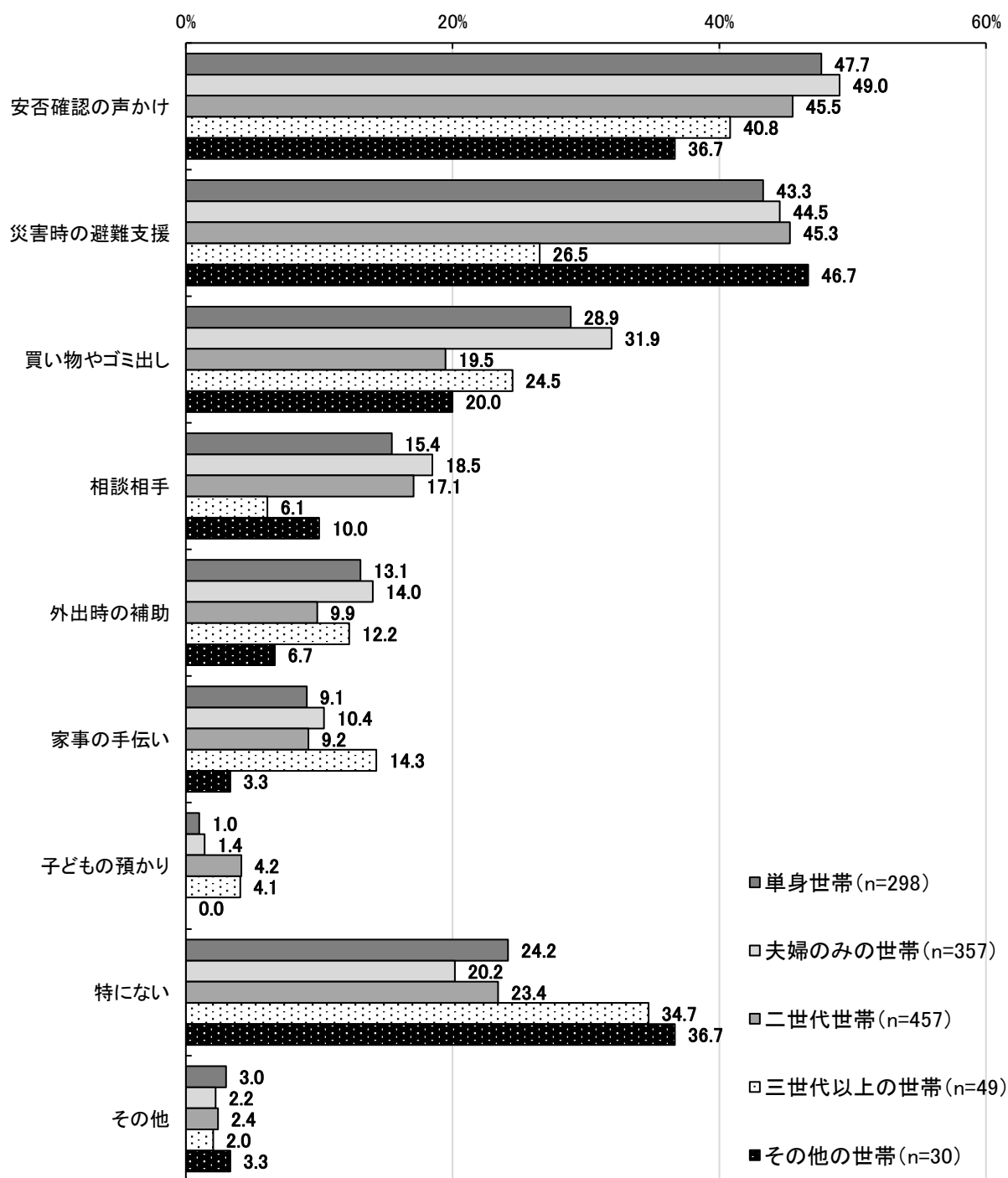
一方、「特にない」は年齢が低いほど回答率が高くなる傾向があり、「40 歳未満」(31.3%)は「75 歳以上」(17.3%)より 14.0 ポイント高くなっています。



【世帯】

世帯別にみると、「その他の世帯」を除くすべての世帯で「安否確認の声かけ」が最も高く、40%以上となっています。「その他の世帯」は「災害時の避難支援」(46.7%)が最も高くなっています。

「災害時の避難支援」は「三世代以上の世帯」が最も低くなっており、他の世帯より15ポイント以上低くなっています。



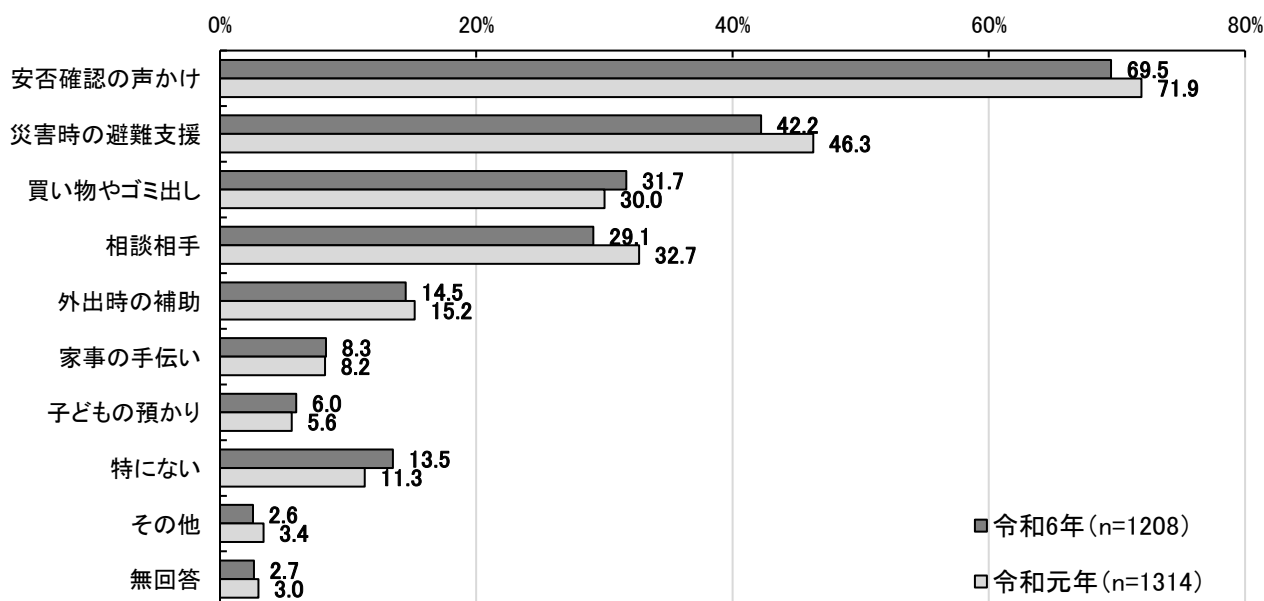
問8 もし近くで困っている世帯があった場合、あなたが手助けを行えることは何ですか。

〈複数回答〉(件)		
1	安否確認の声かけ	840
2	買い物やゴミ出し	383
3	家事の手伝い	100
4	外出時の補助	175
5	子どもの預かり	72
6	相談相手	352
7	災害時の避難支援	510
8	特にない	163
9	その他	31
	無回答	32

もし近くで困っている世帯があった場合、手助けを行えることは何かを聞いたところ、「安否確認の声かけ」と回答した者が69.5%と最も高く、次いで「災害時の避難支援」(42.2%)、「買い物やゴミ出し」(31.7%)、「相談相手」(29.1%)の順となっています。

また、「特にない」と回答した者が13.5%となっています。

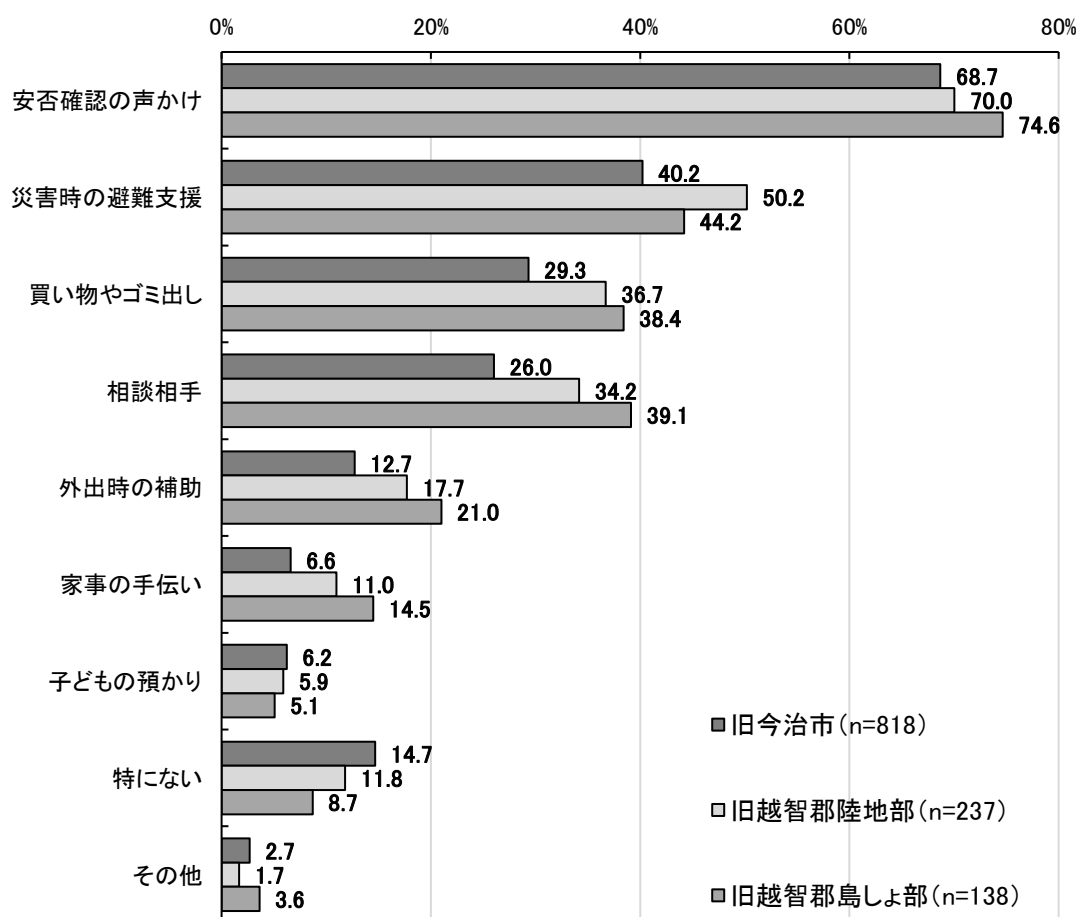
前回調査と比較すると、「災害時の避難支援」が4.1ポイント低くなっています。



【地区】

地区別にみると、すべての地区で「安否確認の声かけ」が最も高く、次いで「災害時の避難支援」となっています。

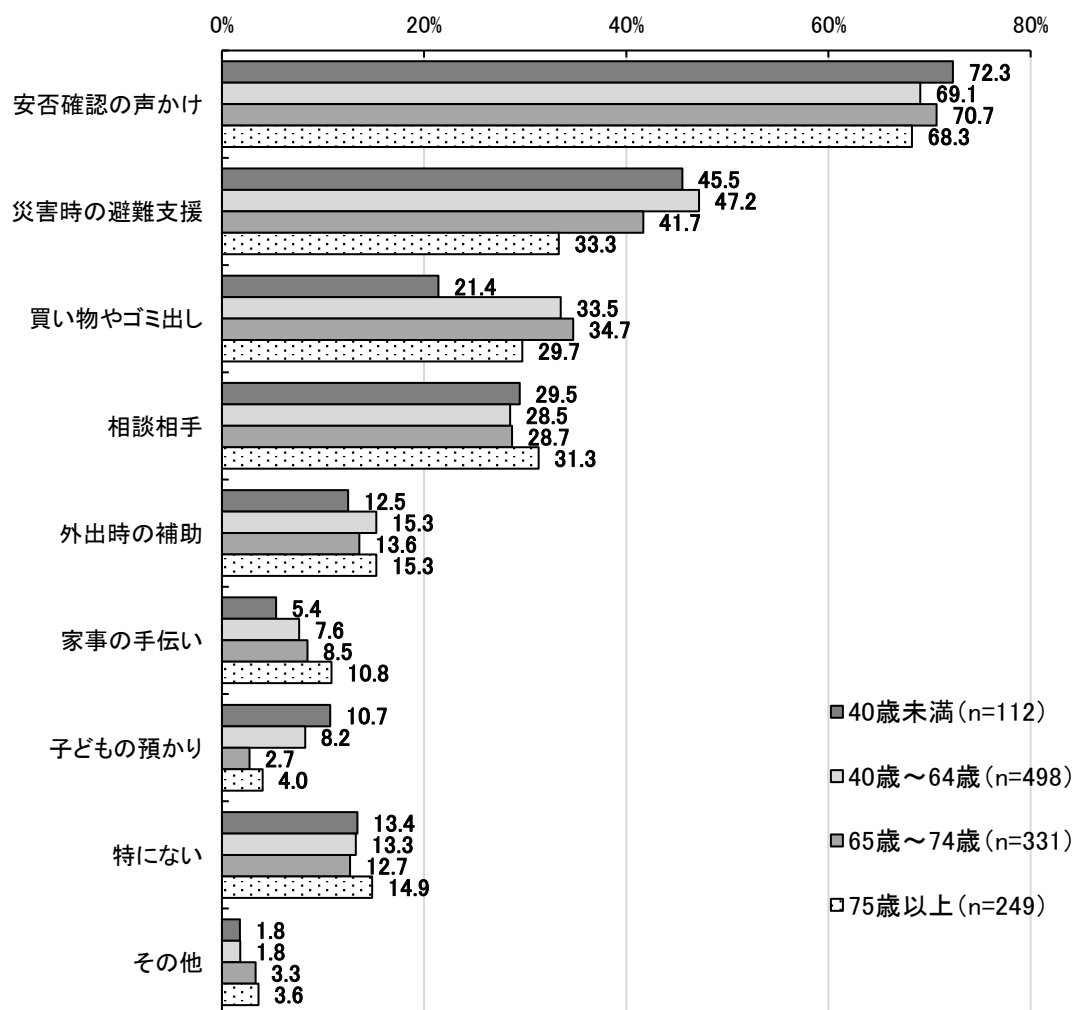
「相談相手」は「旧越智郡島しょ部」（39.1％）で最も高く、最も低い「旧今治市」（26.0％）より13.1ポイント高くなっています。「災害時の避難支援」は「旧越智郡陸地部」（50.2％）で最も高く、最も低い「旧今治市」（40.2％）より10.0ポイント高くなっています。



【年齢】

年齢別にみると、すべての年齢層で「安否確認の声かけ」が最も高く、約70%となっています。

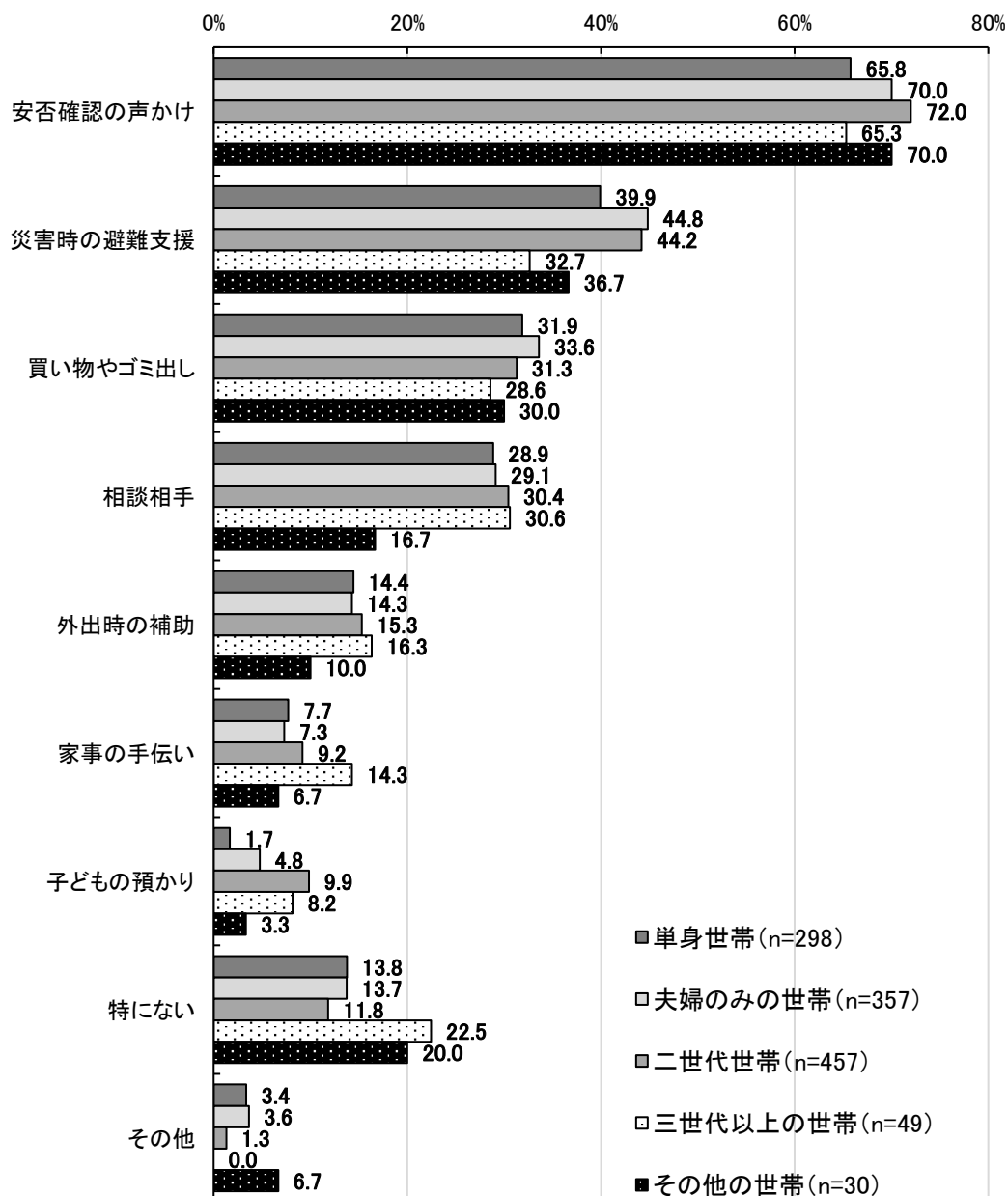
「災害時の避難支援」は「40歳～64歳」(47.2%)が最も高く、最も低い「75歳以上」(33.3%)より13.9ポイント高くなっています。「買い物やゴミ出し」は「65歳～74歳」(34.7%)が最も高く、最も低い「40歳未満」(21.4%)より13.3ポイント高くなっています。



【世帯】

世帯別にみると、どの世帯においても「安否確認の声かけ」が最も高く、60%以上となっています。

「災害時の避難支援」は「夫婦のみの世帯」(44.8%)で最も高く、最も低い「三世代以上の世帯」(32.7%)より12.1ポイント高くなっています。「家事の手伝い」は「三世代以上の世帯」(14.3%)で最も高く、「夫婦のみの世帯」(7.3%)より7.0ポイント高くなっています。



地域活動について

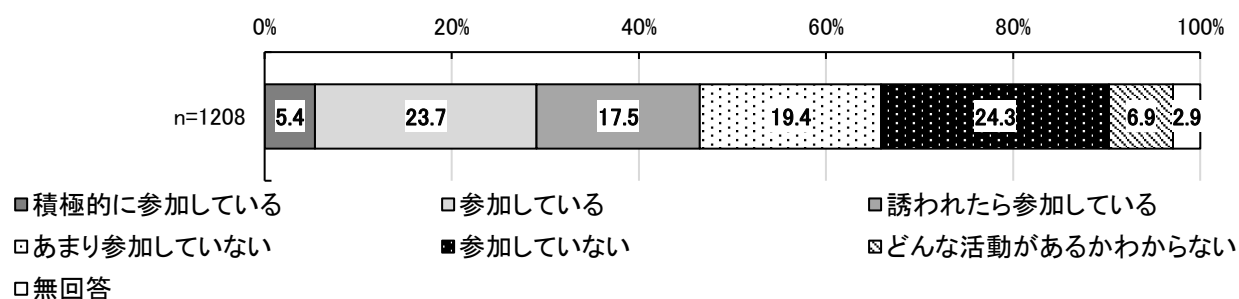
問 9 あなたは、様々な地域活動（清掃、運動会、お祭り、ボランティア、その他地域行事など）にどの程度参加していますか。

		(件)
1	積極的に参加している	65
2	参加している	286
3	誘われたら参加している	211
4	あまり参加していない	234
5	参加していない	294
6	どんな活動があるかわからない	83
	無回答	35

様々な地域活動にどの程度参加したかを聞いたところ、「参加していない」が24.3%と最も高く、次いで「参加している」(23.7%)となっています。

“参加している”(「積極的に参加している」5.4%、「参加している」23.7%、「誘われたら参加している」17.5%の合計(以下同じ))は46.6%となっています。

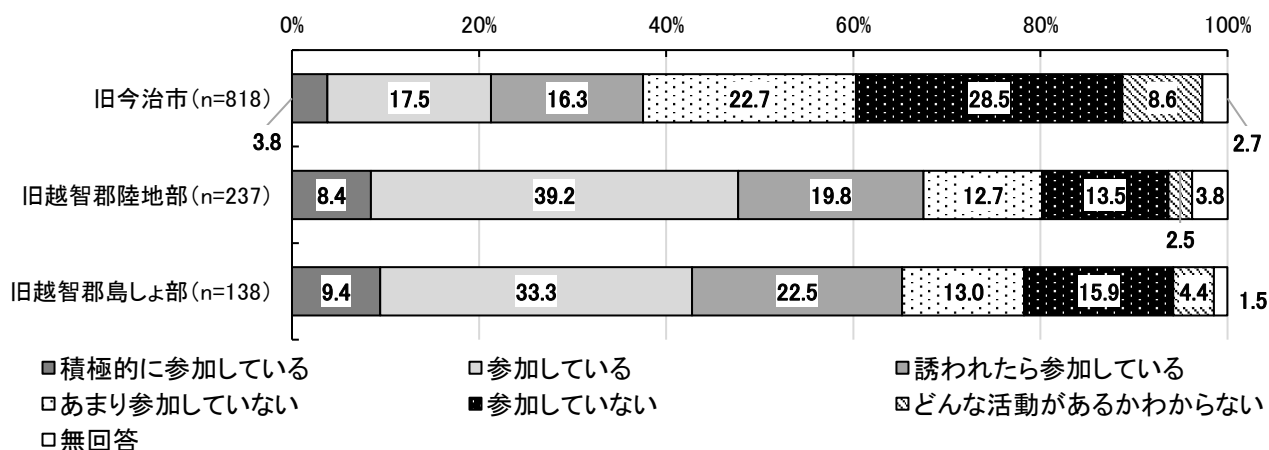
また、“参加していない”(「あまり参加していない」19.4%、「参加していない」24.3%の合計(以下同じ))は43.7%となっています。“参加している”は“参加していない”より2.9ポイント高くなっています。



【地区】

地区別にみると、“参加している”は「旧越智郡陸地部」(67.4%)で最も高くなっており、最も低い「旧今治市」(37.6%)より29.8ポイント高くなっています。

一方、“参加していない”は「旧今治市」(51.2%)で最も高くなっており、最も低い「旧越智郡陸地部」(26.2%)より25.0ポイント高くなっています。

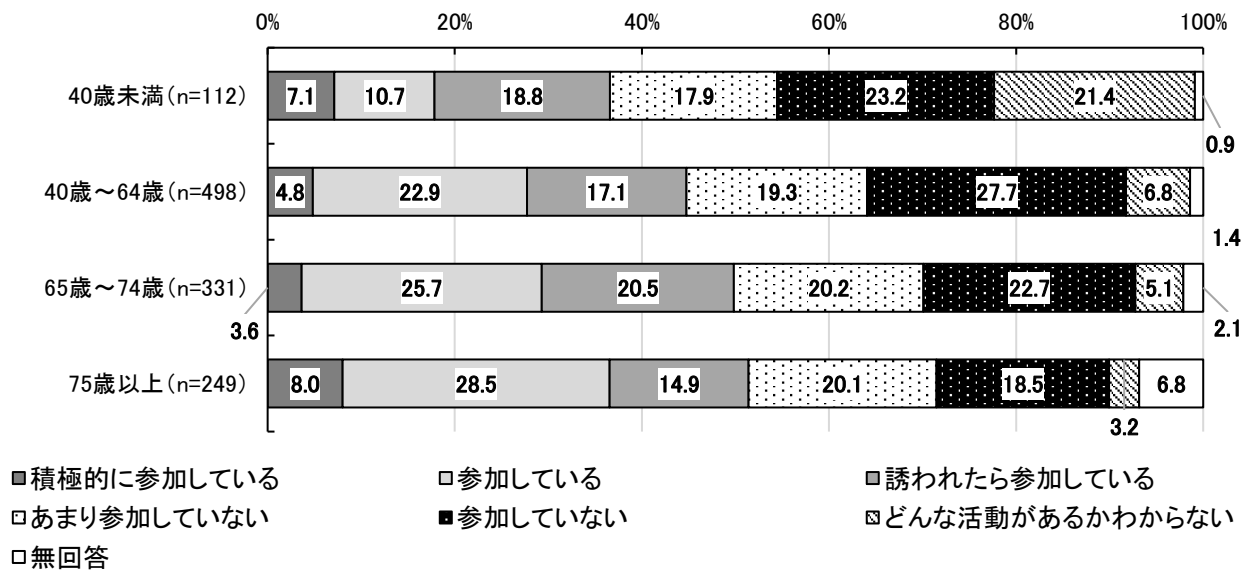


【年齢】

年齢別にみると、「参加している」は年齢が高いほど回答率が高くなる傾向があり、最も高い「75歳以上」（51.4％）は、最も低い「40歳未満」（36.6％）より14.8ポイント高くなっています。

“参加していない”は「40歳～64歳」（47.0％）が最も高く、最も低い「75歳以上」（38.6％）より8.4ポイント高くなっています。

また、「どんな活動があるかわからない」は「40歳未満」（21.4％）が最も高く、その他の年齢層より10ポイント以上高くなっています。

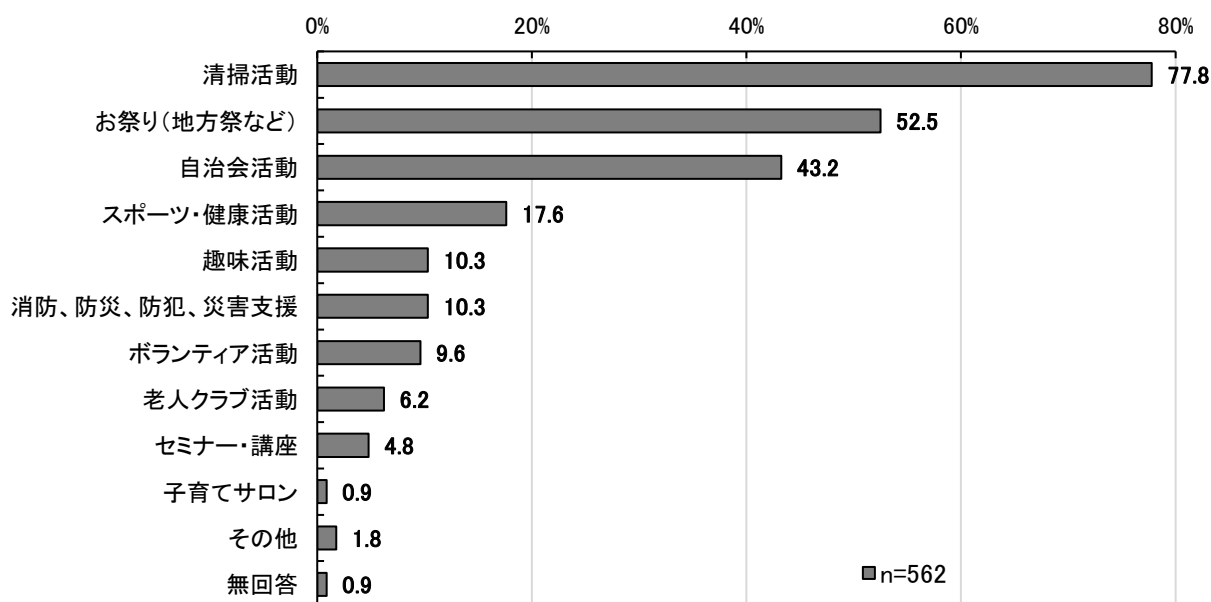


問 9-1 問 9 で 1 ～ 3 を回答された方に伺います。

あなたは、どんな活動に参加していますか。

〈複数回答〉(件)		
1	お祭り(地方祭など)	295
2	清掃活動	437
3	スポーツ・健康活動	99
4	趣味活動	58
5	自治会活動	243
6	消防、防災、防犯、災害支援	58
7	老人クラブ活動	35
8	子育てサロン	5
9	ボランティア活動	54
10	セミナー・講座	27
11	その他	10
	無回答	5

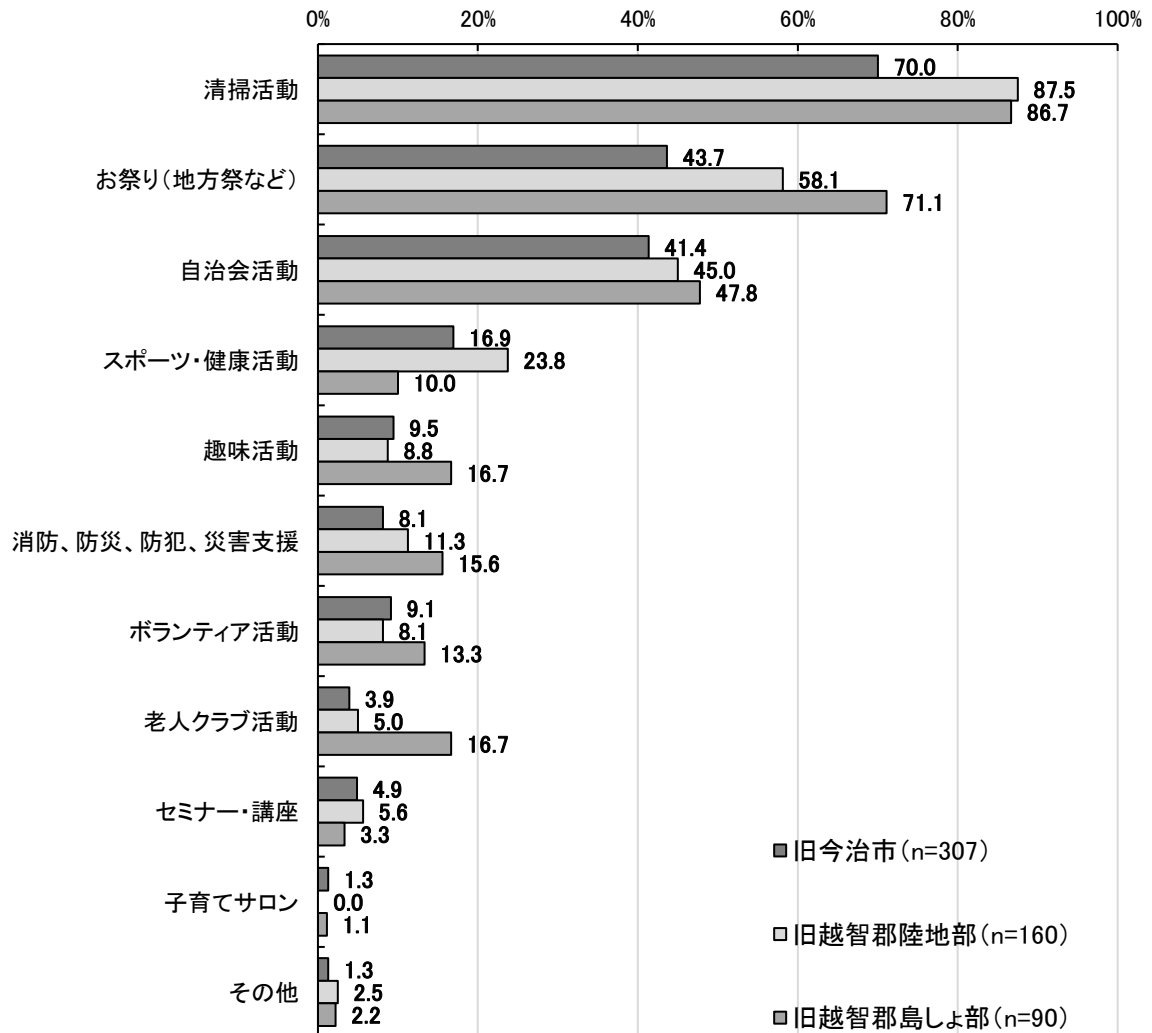
どのような活動に参加したかを聞いたところ、「清掃活動」が 77.8%と最も高く、次いで「お祭り(地方祭など)」(52.5%)、「自治会活動」(43.2%)、「スポーツ・健康活動」(17.6%)の順となっています。



【地区】

地区別にみると、すべての地区で「清掃活動」が最も高く、「旧今治市」は 70.0%、「旧越智郡陸地部」と「旧越智郡島しょ部」は 85%以上となっています。

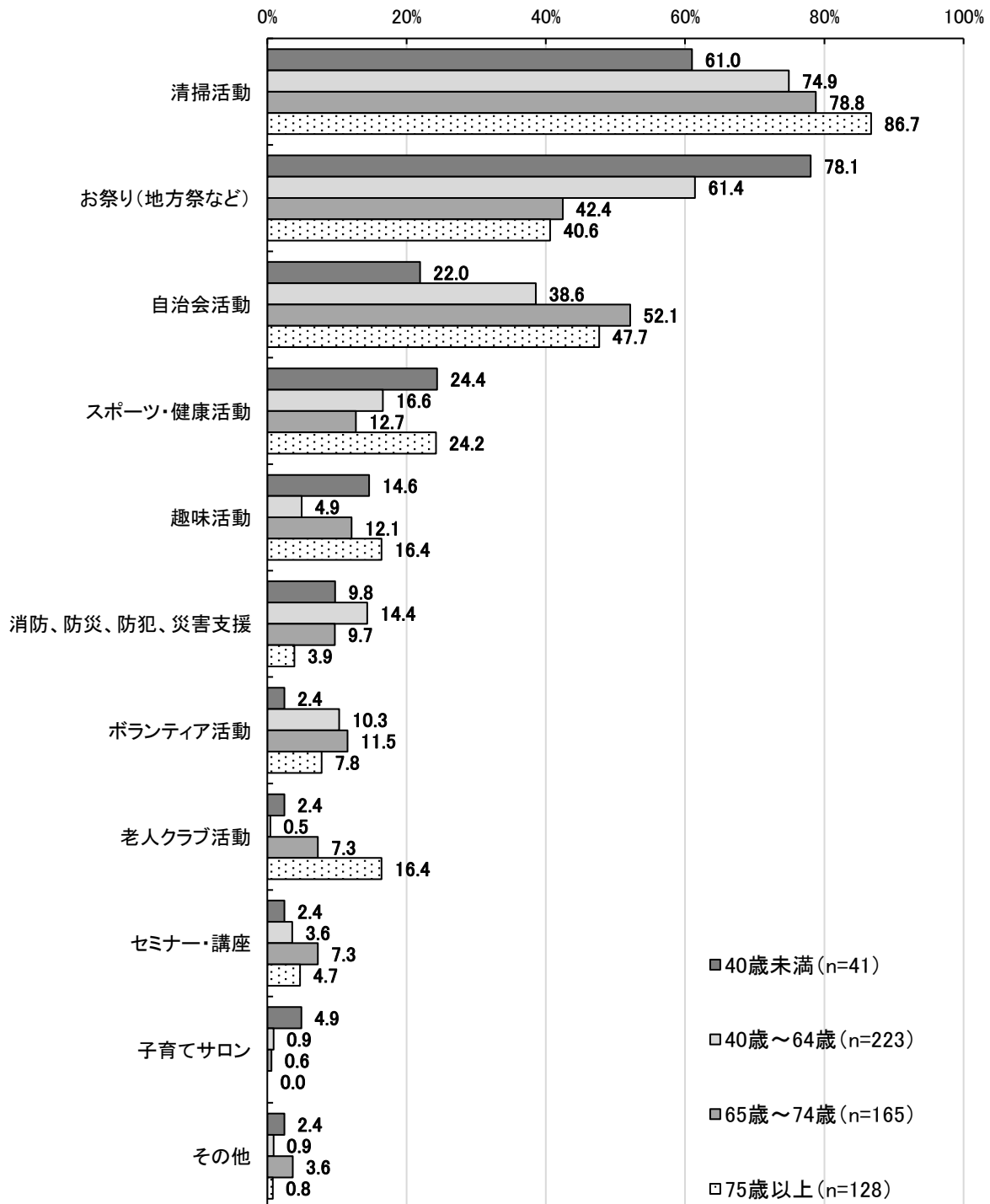
「お祭り（地方祭など）」は「旧越智郡島しょ部」（71.1%）が最も高く、最も低い「旧今治市」（43.7%）より 27.4 ポイント高くなっています。「老人クラブ活動」も「旧越智郡島しょ部」（16.7%）が最も高く、最も低い「旧今治市」（3.9%）より 12.8 ポイント高くなっています。



【年齢】

年齢別にみると「40歳未満」は「お祭り（地方祭など）」（78.1％）が最も高く、その他の年齢層は「清掃活動」が最も高く、70％以上となっています。

「お祭り（地方祭など）」は「40歳未満」（78.1％）が最も高く、最も低い「75歳以上」（40.6％）より37.5ポイント高くなっています。「自治会活動」は「65歳～74歳」（52.1％）が最も高く、最も低い「40歳未満」（22.0％）より30.1ポイント高くなっています。「清掃活動」は「75歳以上」（86.7％）が最も高く、最も低い「40歳未満」（61.0％）より25.7ポイント高くなっています。

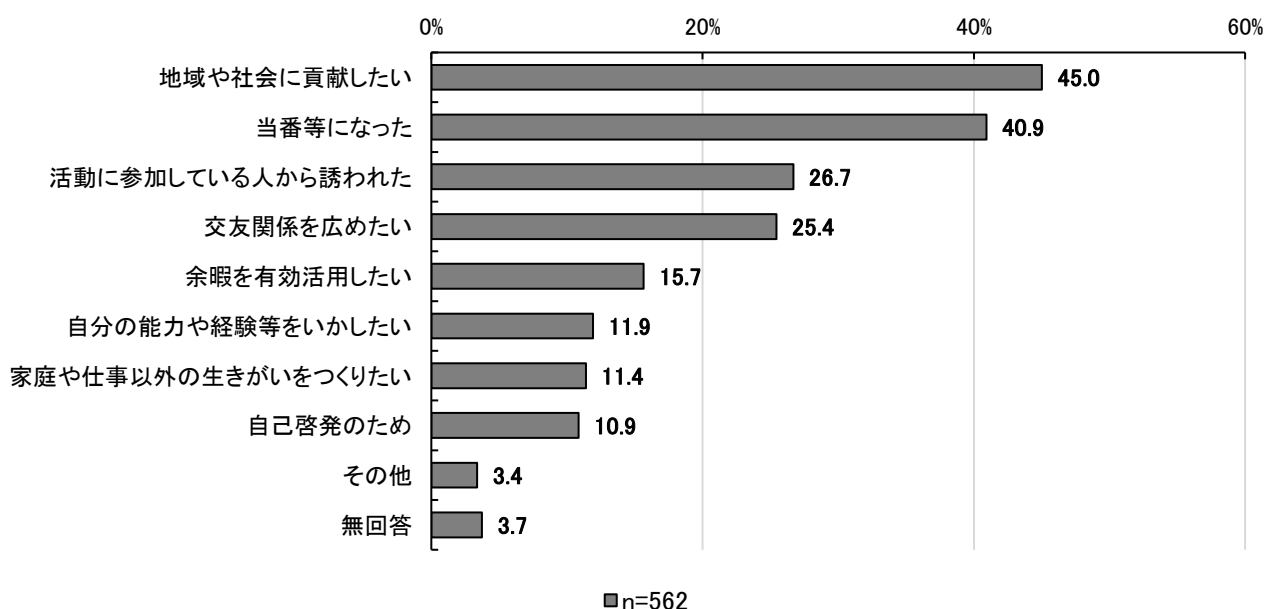


問 9-2 問 9 で 1 ～ 3 を回答された方にお伺いします。

あなたが、地域活動に参加した理由は何ですか。

〈複数回答〉(件)		
1	地域や社会に貢献したい	253
2	自分の能力や経験等をいかしたい	67
3	交友関係を広めたい	143
4	余暇を有効活用したい	88
5	家庭や仕事以外の生きがいをつくりたい	64
6	活動に参加している人から誘われた	150
7	自己啓発のため	61
8	当番等になった	230
9	その他	19
	無回答	21

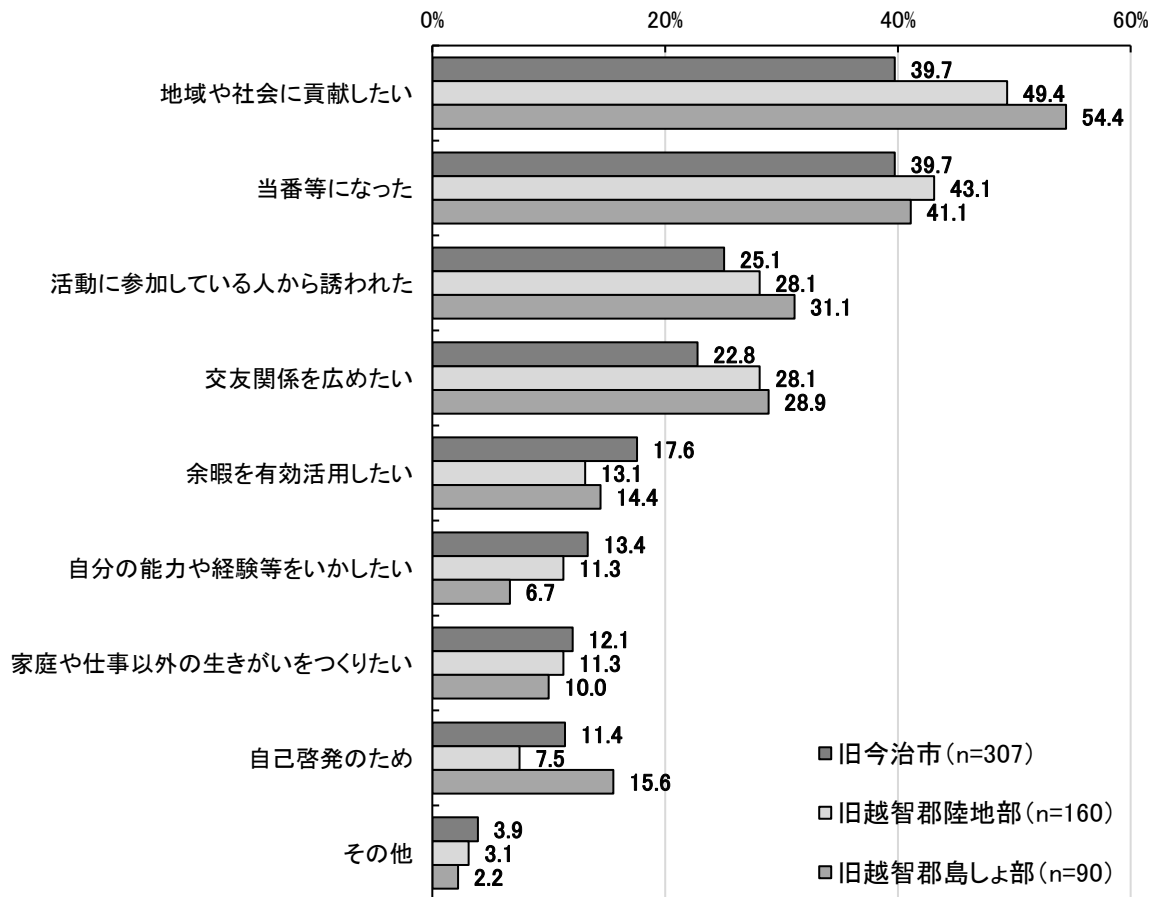
地域活動に参加した理由を聞いたところ、「地域や社会に貢献したい」と回答した者が 45.0% と最も高く、次いで「当番等になった」(40.9%)、「活動に参加している人から誘われた」(26.7%)、「交友関係を広めたい」(25.4%) の順となっています。



【地区】

地区別にみると、「旧今治市」は「地域や社会に貢献したい」と「当番等になった」（ともに39.7%）が最も高くなっています。「旧越智郡陸地部」と「旧越智郡島しょ部」は「地域や社会に貢献したい」が最も高く、次いで「当番等になった」が高くなっています。

「地域や社会に貢献したい」は「旧越智郡島しょ部」（54.4%）が最も高く、最も低い「旧今治市」（39.7%）より14.7ポイント高くなっています。



【年齢】

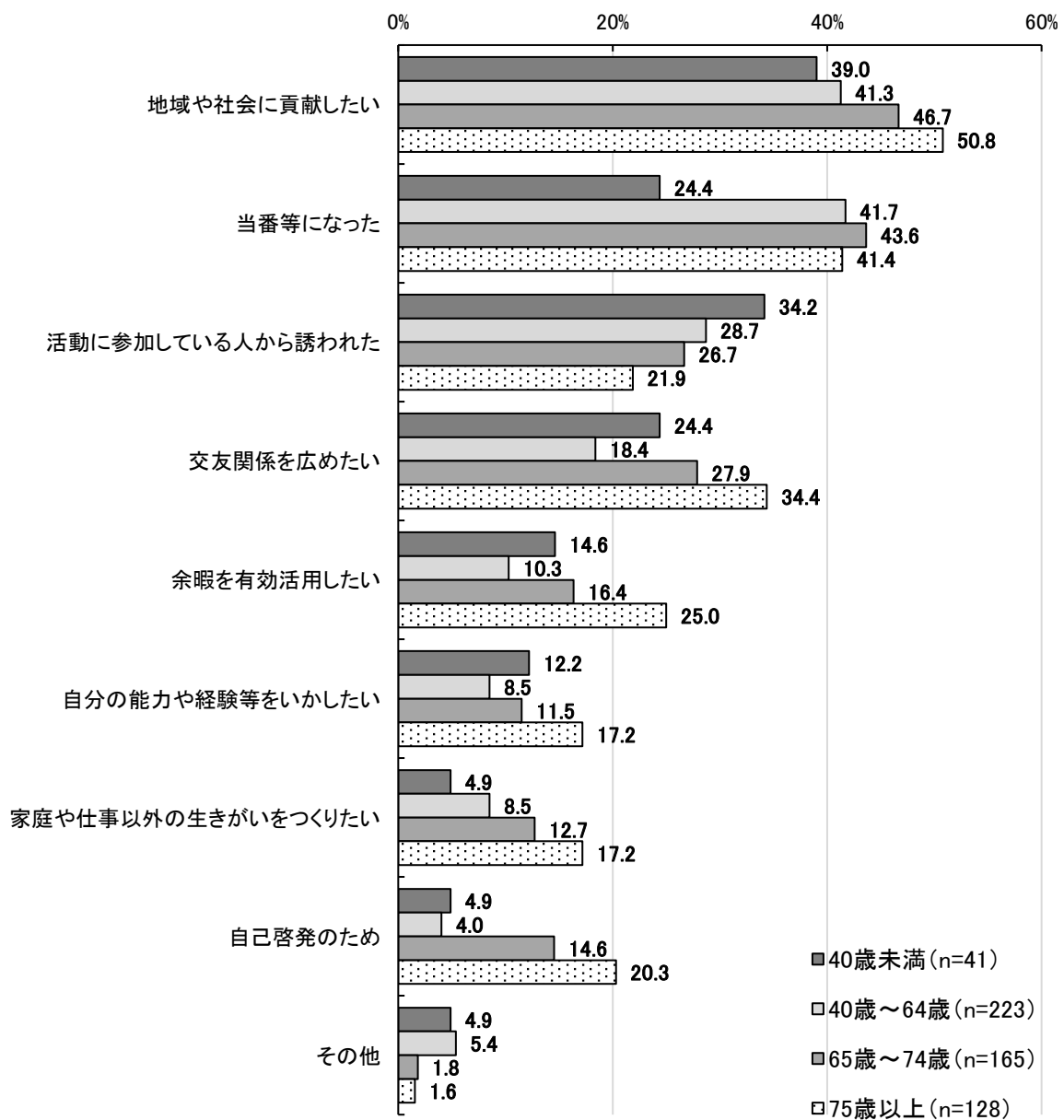
年齢別にみると、「40歳未満」は「地域や社会に貢献したい」（39.0％）が最も高く、次いで「活動に参加している人から誘われた」（34.2％）となっています。

「40歳～64歳」は「当番等になった」（41.7％）が最も高く、次いで「地域や社会に貢献したい」（41.3％）となっています。

「65歳～74歳」と「75歳以上」は「地域や社会に貢献したい」が最も高く、45％以上となっており、次いで「当番等になった」となっています。

理由をみると、「当番等になった」は「40歳未満」（24.4％）が最も低く、他の年齢層より15ポイント以上低くなっています。

「地域や社会に貢献したい」は年齢が高いほど回答率が高くなる傾向があり、最も高い「75歳以上」（50.8％）は最も低い「40歳未満」（39.0％）より11.8ポイント高くなっています。同じ傾向は「家庭や仕事以外の生きがいをつくりたい」でもみられます。

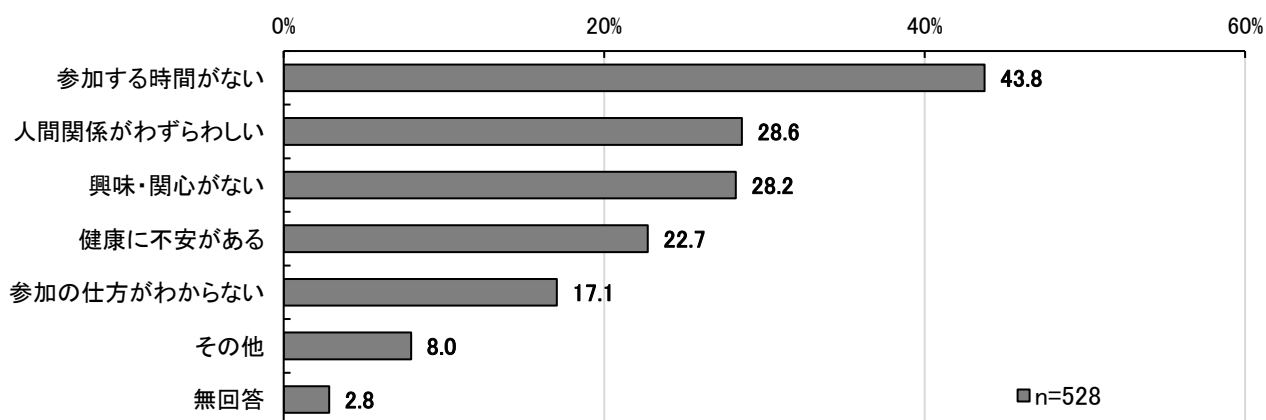


問 9-3 問 9 で 4・5 を回答された方にお伺いします。

あなたが、地域活動に参加しない理由はなんですか。

〈複数回答〉(件)		
1	興味・関心がない	149
2	人間関係がわずらわしい	151
3	参加する時間がない	231
4	参加の仕方がわからない	90
5	健康に不安がある	120
6	その他	42
	無回答	15

地域活動に参加しない理由を聞いたところ、「参加する時間がない」と回答した者が 43.8% と最も高く、次いで「人間関係がわずらわしい」(28.6%)、「興味・関心がない」(28.2%)、「健康に不安がある」(22.7%) の順となっています。



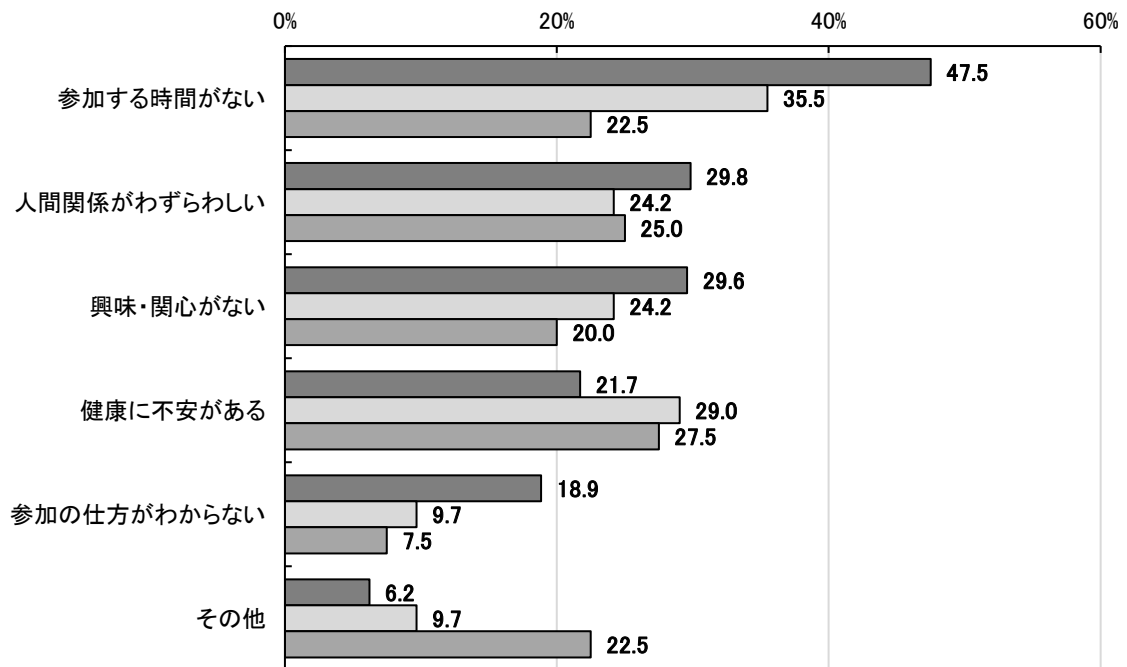
【地区】

地区別にみると、「参加する時間がない」（47.5％）が最も高く、次いで「人間関係がわずらわしい」（29.8％）となっています。

「旧越智郡陸地部」は「参加する時間がない」（35.5％）が最も高く、次いで「健康に不安がある」（29.0％）となっています。

「旧越智郡島しょ部」は「健康に不安がある」（27.5％）が最も高く、次いで「人間関係がわずらわしい」（25.0％）となっています。

選択肢ごとにみると、「参加する時間がない」は「旧今治市」（47.5％）が最も高く、最も低い「旧越智郡島しょ部」（22.5％）より 25.0 ポイント高くなっています。



■旧今治市 (n=419) □旧越智郡陸地部 (n=62) ▨旧越智郡島しょ部 (n=40)

【年齢】

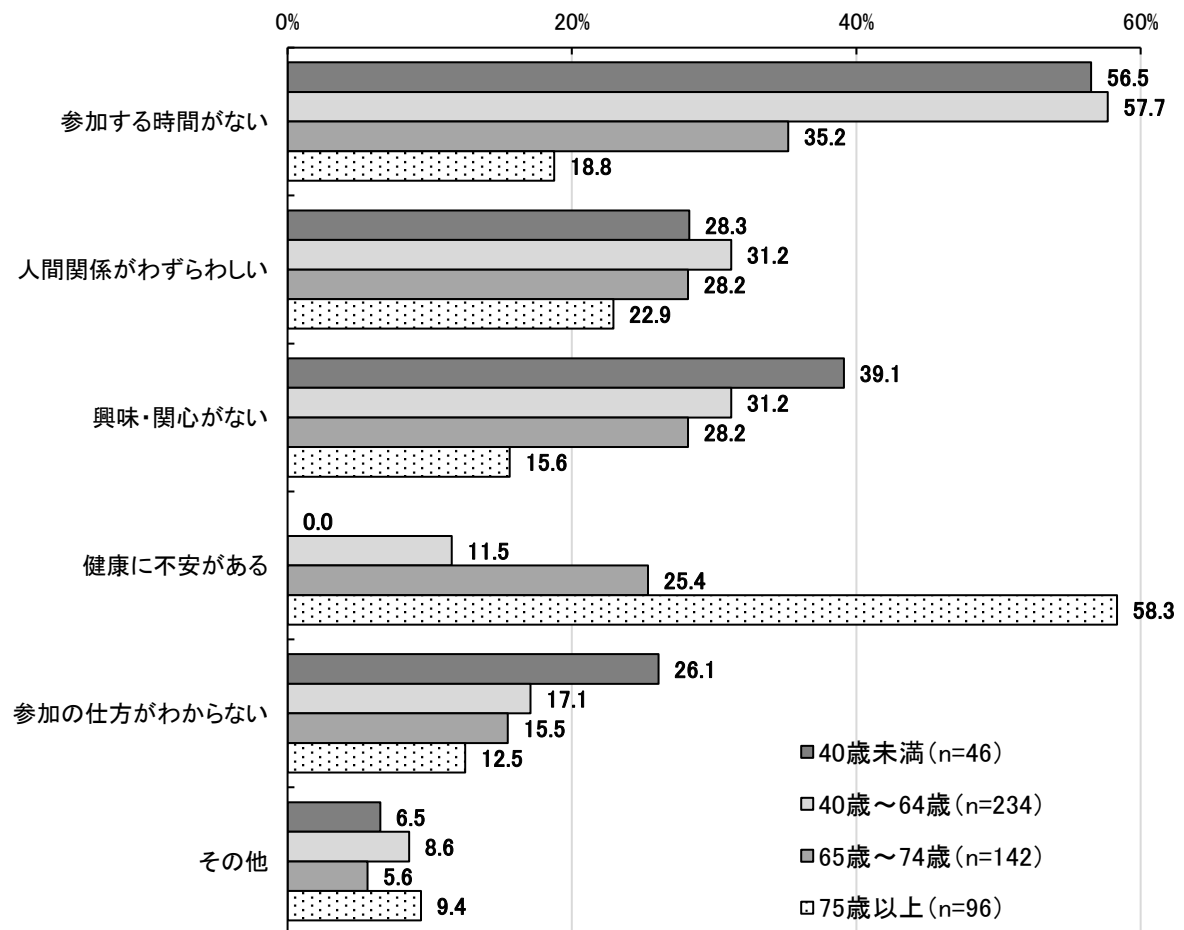
年齢別にみると、「75歳以上」は「健康に不安がある」（58.3％）が最も高く、次いで「人間関係がわずらわしい」（22.9％）となっています。

75歳未満の各年齢層は「参加する時間がない」が最も高く、次いで「興味・関心がない」となっており、「40歳～64歳」と「65歳～74歳」は「人間関係がわずらわしい」も同率で高くなっています。

選択肢ごとにみると、「参加する時間がない」は64歳未満と65歳以上で差が大きく、「40歳未満」（56.5％）は「65歳～74歳」（35.2％）より21.3ポイント高くなっています。

「興味・関心がない」は年齢が低いほど回答率が高くなる傾向があり、最も高い「40歳未満」（39.1％）は最も低い「75歳以上」（15.6％）より23.5ポイント高くなっています。同じ傾向は「参加の仕方がわからない」でもみられます。

一方、「健康に不安がある」は年齢が高いほど回答率が高くなる傾向があり、最も高い「75歳以上」（58.3％）は最も低い「40歳未満」（0.0％）より58.3ポイント高くなっています。

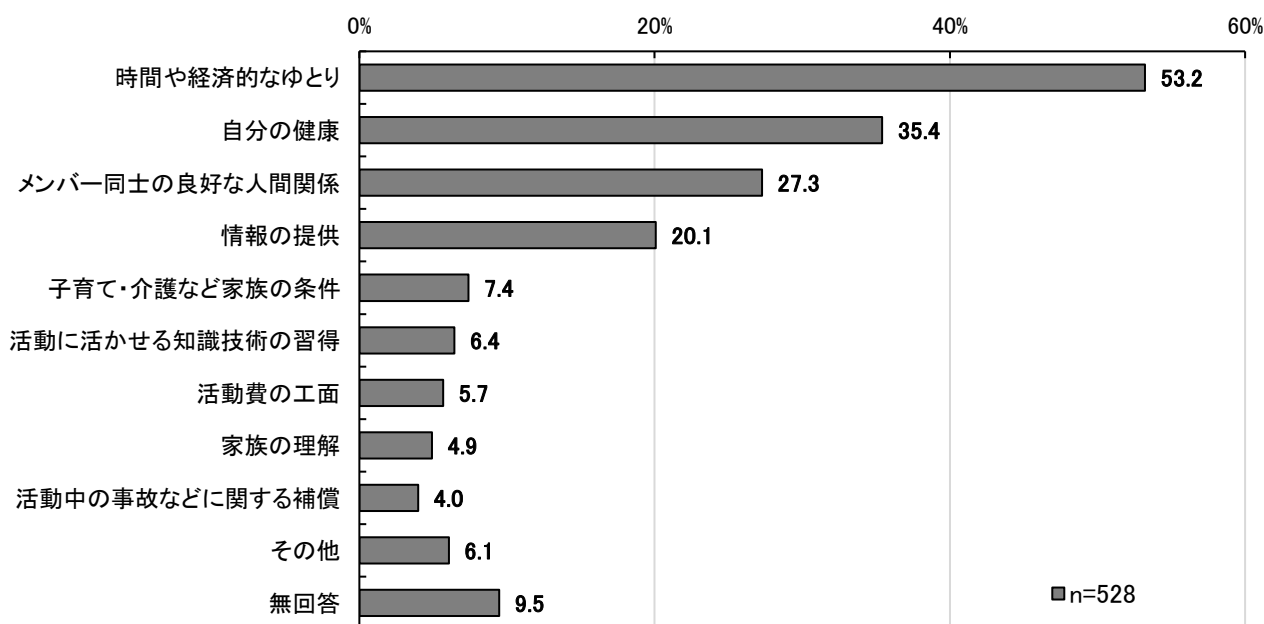


問 9-4 問 9 で 4・5 を回答された方にお伺いします。

今後どのような条件が整えば、地域活動に参加できると思いますか。

〈複数回答〉(件)		
1	時間や経済的なゆとり	283
2	自分の健康	187
3	情報の提供	106
4	家族の理解	26
5	子育て・介護など家族の条件	39
6	活動費の工面	30
7	活動に活かせる知識技術の習得	34
8	活動中の事故などに関する補償	21
9	メンバー同士の良好な人間関係	144
10	その他	32
	無回答	50

どのような条件が整えば、地域活動に参加できると思うかを聞いたところ、「時間や経済的なゆとり」が 53.2%と最も高く、次いで「自分の健康」(35.4%)、「メンバー同士の良好な人間関係」(27.3%)、「情報の提供」(20.1%)の順となっています。



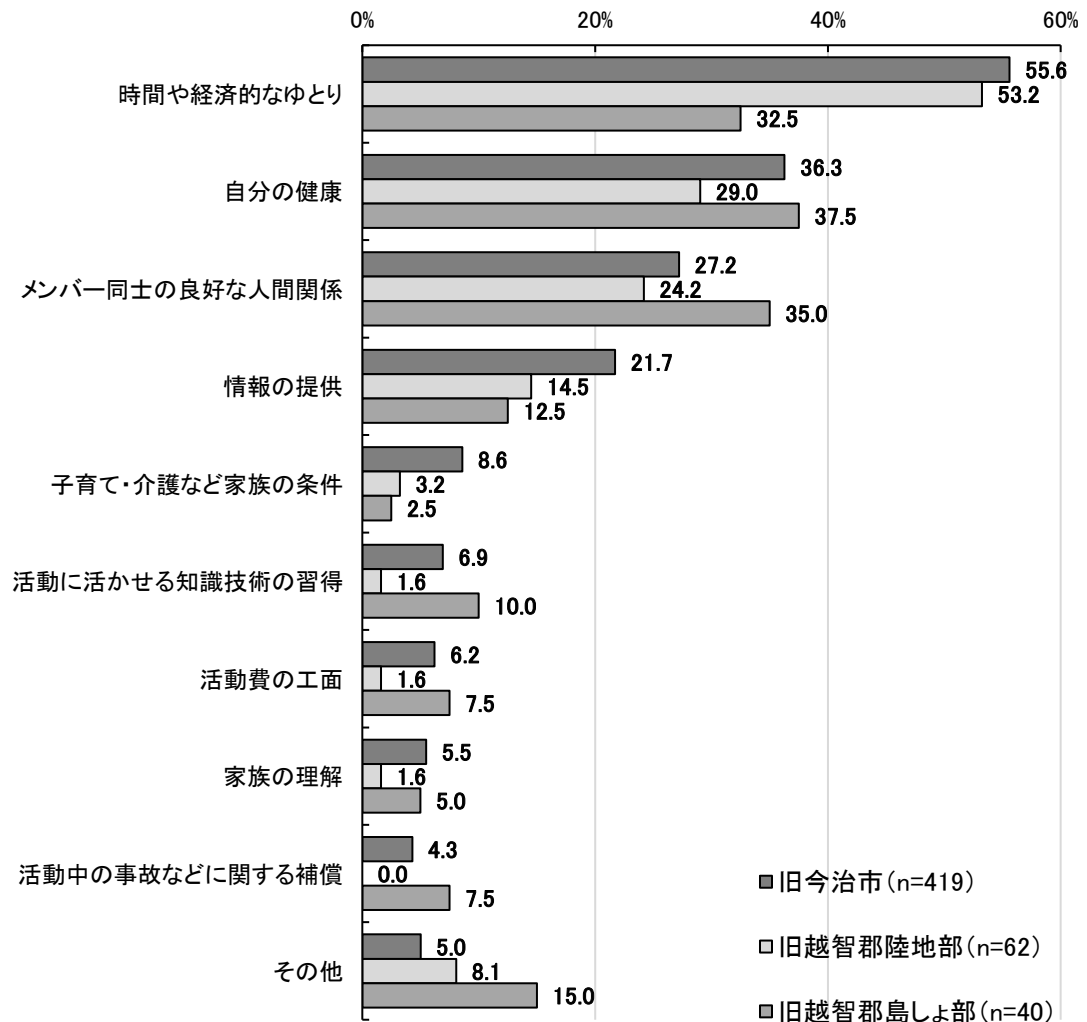
【地区】

地区別にみると、「旧今治市」と「旧越智郡陸地部」は「時間や経済的なゆとり」が最も高く、50%以上となっています。次いで、「自分の健康」、「メンバー同士の良好な人間関係」の順となっています。

「旧越智郡島しょ部」は「自分の健康」（37.5%）が最も高く、次いで「メンバー同士の良好な人間関係」（35.0%）、「時間や経済的なゆとり」（32.5%）の順となっています。

選択肢ごとにみると、「時間や経済的なゆとり」は「旧今治市」（55.6%）で最も高く、最も低い「旧越智郡島しょ部」（32.5%）より 23.1 ポイント高くなっています。

「メンバー同士の良好な人間関係」は「旧越智郡島しょ部」（35.0%）で最も高く、最も低い「旧越智郡陸地部」（24.2%）より 10.8 ポイント高くなっています。



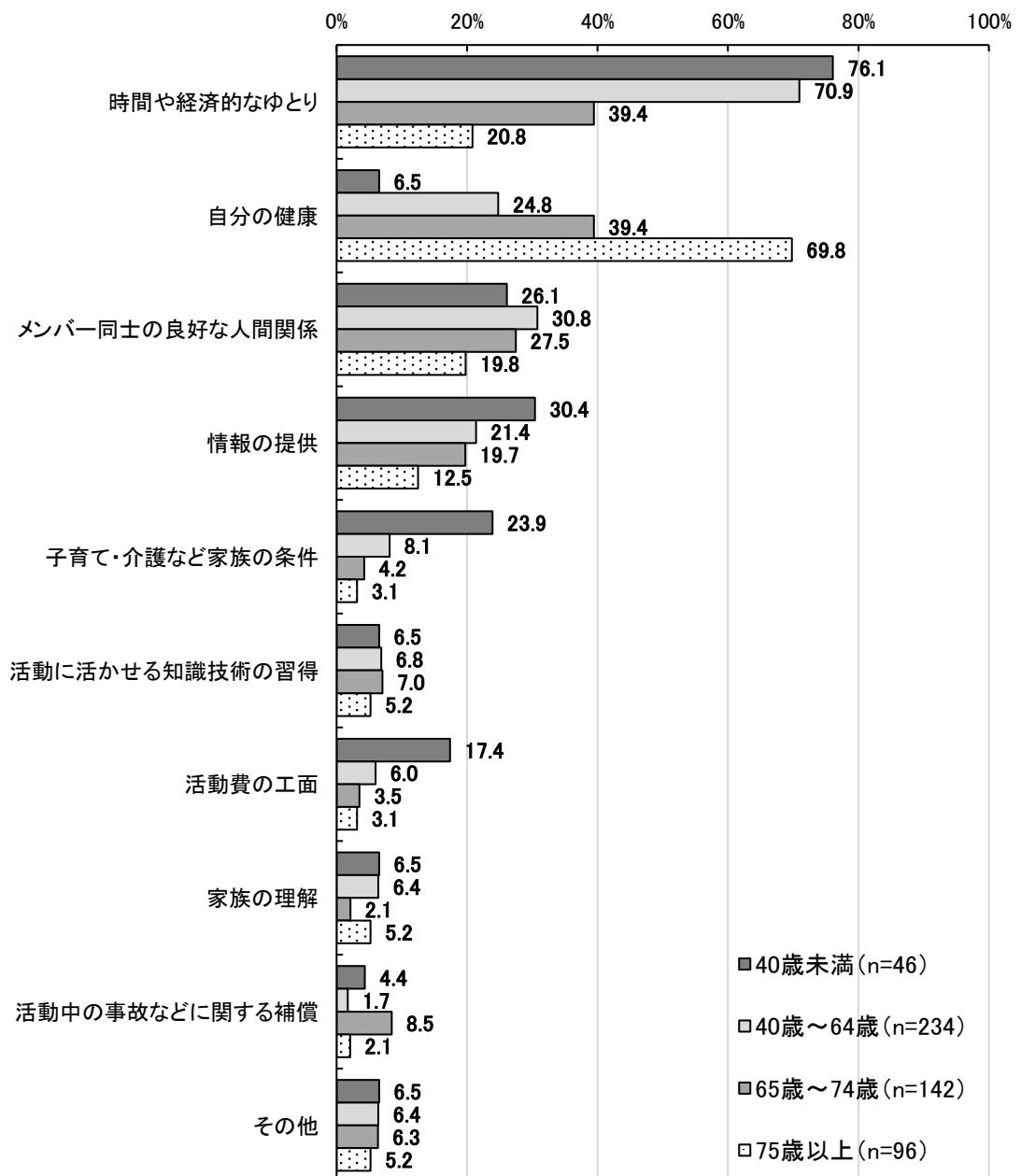
【年齢】

年齢別にみると、「75 歳以上」は「自分の健康」（69.8％）が最も高く、次いで「時間や経済的なゆとり」（20.8％）となっています。

75 歳未満の各年齢層は「時間や経済的なゆとり」が最も高くなっており、「65 歳～74 歳」は「自分の健康」も同率（39.4％）で最も高くなっています。

選択肢ごとにみると、「時間や経済的なゆとり」は年齢が低いほど回答率が高くなる傾向があり、最も高い「40 歳未満」（76.1％）は最も低い「75 歳以上」（20.8％）より 54.3 ポイント高くなっています。同じ傾向は「情報の提供」、「子育て・介護など家族の条件」「活動費の工面」でもみられます。

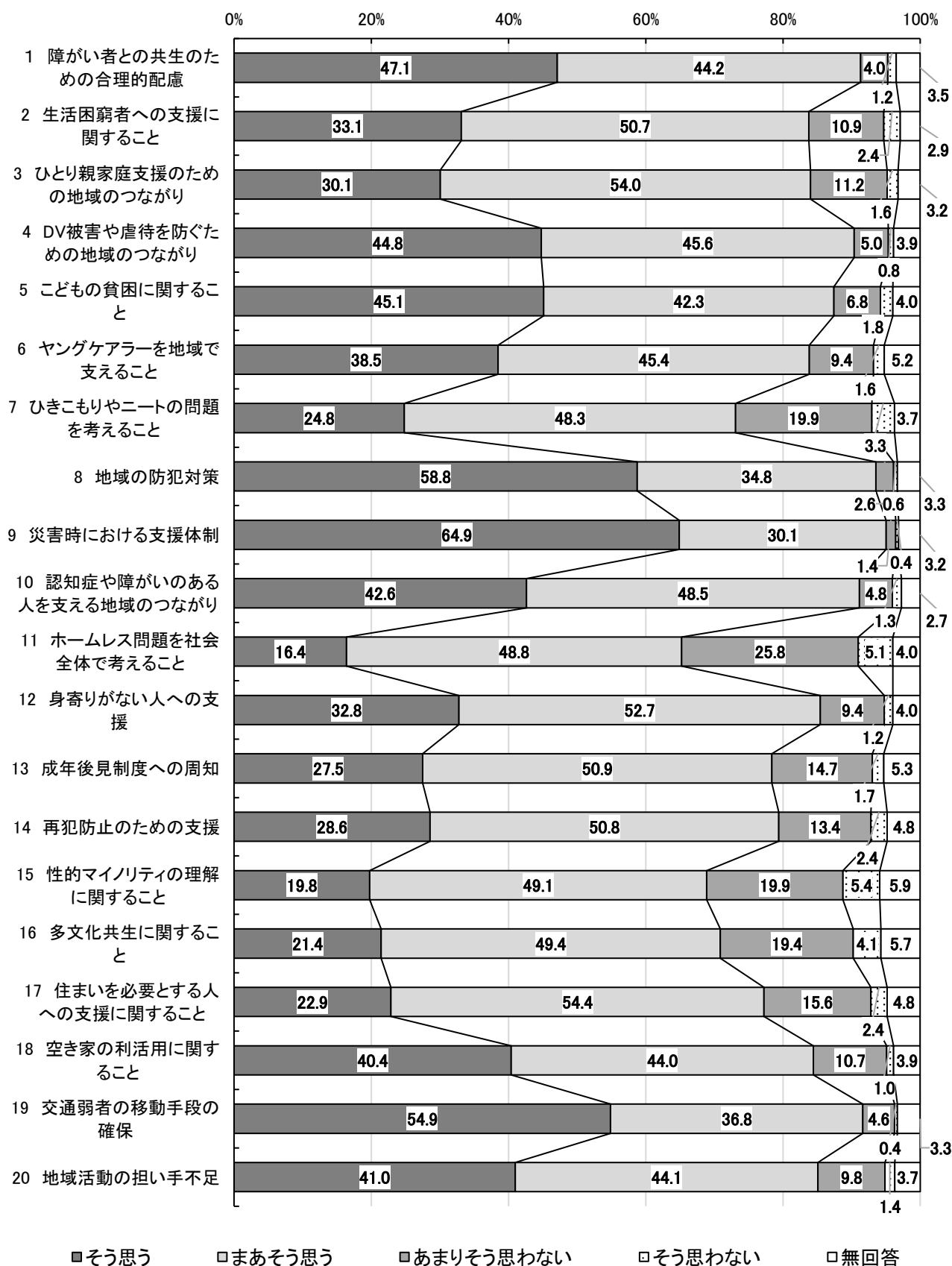
一方「自分の健康」は年齢が高いほど回答率が高くなる傾向があり、最も高い「75 歳以上」（69.8％）は最も低い「40 歳未満」（6.5％）より 63.3 ポイント高くなっています。



社会問題について

問 10 あなたは次のような社会問題について、どのようなことが重要であると思いますか。

(件)					
	そう思う	まあ そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
1 障がいのある人となない人が、共に生きるための合理的配慮に関する事	569	534	48	15	42
2 生活困窮者への支援に関する事	400	612	132	29	35
3 ひとり親家庭の自立を支援するための地域のつながり	363	652	135	19	39
4 ドメスティックバイオレンス被害や高齢者・児童・障がい者等の虐待を防ぐための地域のつながり	541	551	60	9	47
5 こどもの貧困に関する事	545	511	82	22	48
6 ヤングケアラーを地域で支える事	465	548	113	19	63
7 ひきこもりやニートの問題を社会全体で考えていく事	300	583	240	40	45
8 地域の防犯対策	710	420	31	7	40
9 災害時における支援体制	784	364	17	5	38
10 認知症や障がいのある人やその家族を支えるための地域のつながり	515	586	58	16	33
11 ホームレスの問題を社会全体で考えていく事	198	590	311	61	48
12 身寄りがいない人への支援	396	636	113	15	48
13 成年後見制度の周知	332	615	177	20	64
14 再犯防止のための支援	345	614	162	29	58
15 性的マイノリティの理解に関する事	239	593	240	65	71
16 多文化共生に関する事	259	597	234	49	69
17 住まいを必要とする人への支援に関する事	276	657	188	29	58
18 空き家の利活用に関する事	488	532	129	12	47
19 交通弱者の移動手段の確保	663	444	56	5	40
20 地域活動の担い手不足	495	533	118	17	45



※「生活困窮者への支援に関すること」、「こどもの貧困に関すること」、「ヤングケアラーを地域で支えること」、「身寄りがない人への支援」、「性的マイノリティの理解に関すること」、「多文化共生に関すること」、「住まいを必要とする人への支援に関すること」、「空き家の利活用に関すること」、「交通弱者の移動手段の確保」、「地域活動の担い手不足」の10項目は新規。

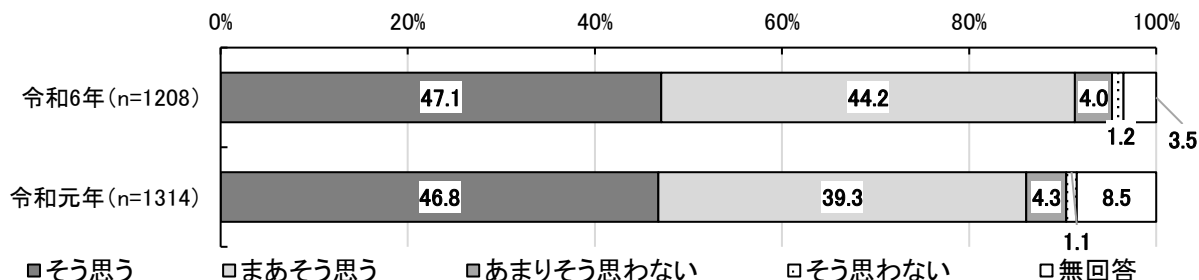
※令和元年度調査では「生活保護を受けている人に対する偏見や差別を取り除くこと」が存在した。また、「ドメスティックバイオレンス被害や高齢者・児童・障がい者等の虐待を防ぐための地域のつながり」は令和元年度調査では「ドメスティックバイオレンス被害を防ぐための地域のつながり」と「高齢者・児童・障がい者等の虐待を防ぐための地域のつながり」に分かれていた。

※「障がいのある人となない人が、共に生きるための合理的配慮に関すること」は令和元年度調査では「障がいのある人となない人が、共に生きるため、社会の中にあるバリアを取り除くこと」という名称。「認知症や障がいのある人やその家族を支えるための地域のつながり」は令和元年度調査では「認知症の人やその家族を支えるための地域のつながり」という名称。

【1 障がいのある人となない人が、共に生きるための合理的配慮に関すること】

障がいのある人となない人が、共に生きるための合理的配慮に関することが重要であるかを聞いたところ、“思う” 91.3%（「そう思う」47.1%、「まあそう思う」44.2%の合計（以下同じ）），“思わない” 5.2%（「あまりそう思わない」4.0%、「そう思わない」1.2%の合計（以下同じ））となり、“思う” が“思わない” より 86.1 ポイント高くなっています。

前回調査と比較すると、“思う” が5.2 ポイント低く、「まあそう思う」が4.9 ポイント低くなっています。

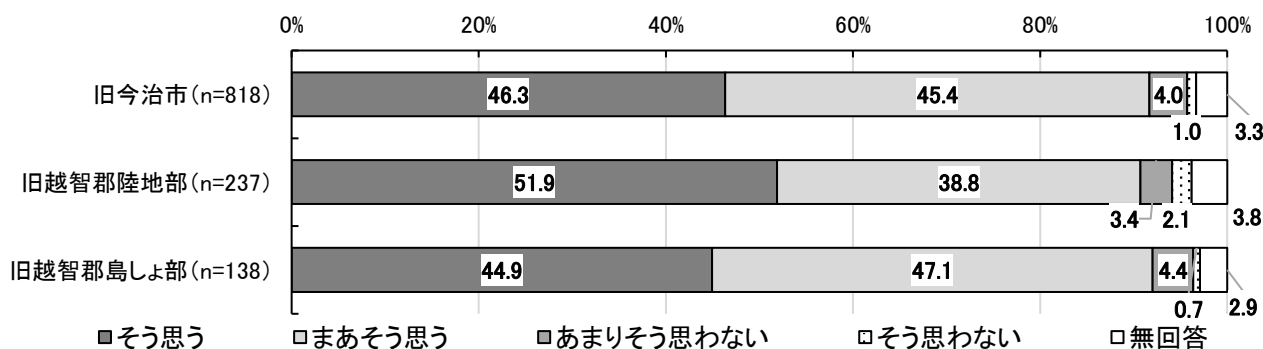


※令和元年度調査では「障がいのある人となない人が、共に生きるため、社会の中にあるバリアを取り除くこと」

【地区】

地区別にみると、「旧今治市」は、“思う” 91.7%、思わない 5.0%となっており、“思う” が86.7 ポイント高くなっています。「旧越智郡陸地部」は、“思う” 90.7%、“思わない” 5.5%となっており、“思う” が85.2 ポイント高くなっています。「旧越智郡島しょ部」は、“思う” 92.0%、“思わない” 5.1%となっており、“思う” が86.9 ポイント高くなっています。

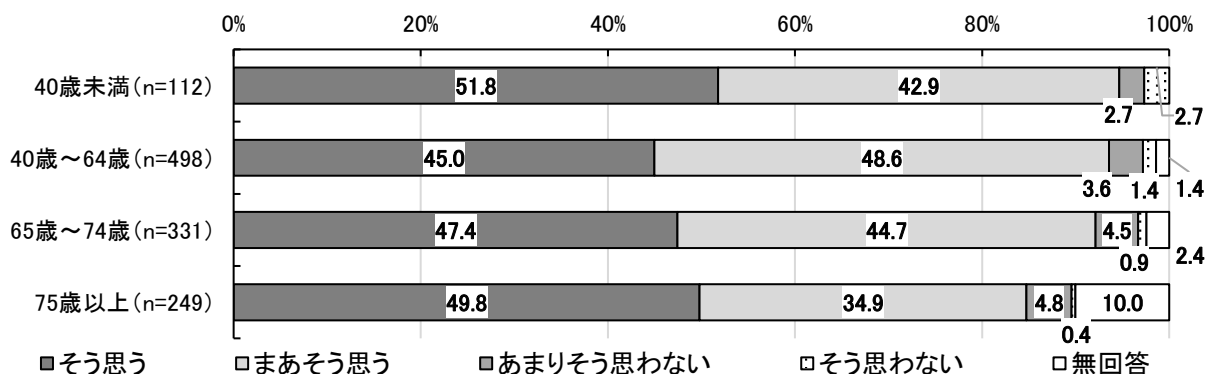
「そう思う」は「旧越智郡陸地部」(51.9%) が最も高く、最も低い「旧越智郡島しょ部」(44.9%) より 7.0 ポイント高くなっています。



【年齢】

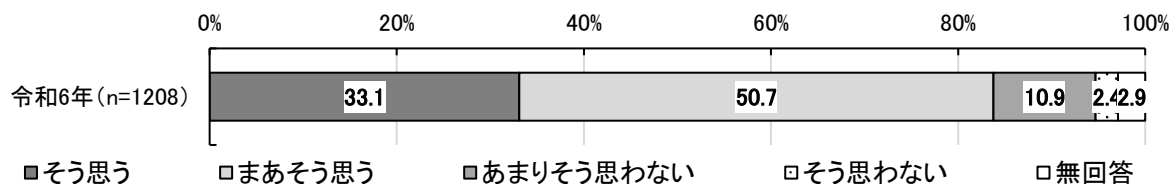
年齢別にみると、「40歳未満」は、“思う” 94.7%、“思わない” 5.4%となっており、“思う” が89.3 ポイント高くなっています。「40歳～64歳」は、“思う” 93.6%、“思わない” 5.0%となっており、“思う” が88.6 ポイント高くなっています。「65歳～74歳」は、“思う” 92.1%、“思わない” 5.4%となっており、“思う” が86.7 ポイント高くなっています。「75歳以上」は、“思う” 84.7%、“思わない” 5.2%となっており、“思う” が79.5 ポイント高くなっています。

「そう思う」は「40歳未満」(51.8%) が最も高く、最も低い「40歳～64歳」(45.0%) より 6.8 ポイント高くなっています。



【2 生活困窮者への支援に関すること】

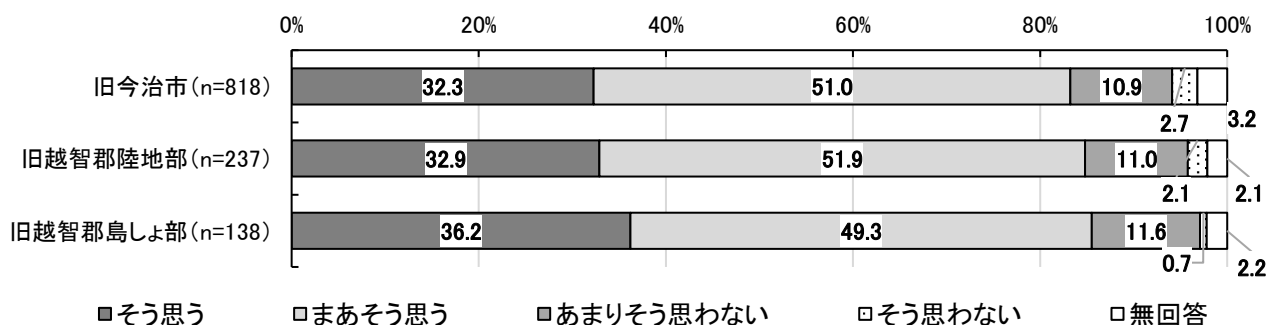
生活困窮者への支援に関することが重要であるかを聞いたところ、“思う” 83.8%（「そう思う」 33.1%、「まあそう思う」 50.7%の合計（以下同じ）），“思わない” 13.3%（「あまりそう思わない」 10.9%、「そう思わない」 2.4%の合計（以下同じ））となり、“思う” が“思わない” より 70.5 ポイント高くなっています。



【地区】

地区別にみると、「旧今治市」は、“思う” 83.3%、“思わない” 13.6%となっており、“思う” が 69.7 ポイント高くなっています。「旧越智郡陸地部」は、“思う” 84.8%、“思わない” 13.1%となっており、“思う” が 71.7 ポイント高くなっています。「旧越智郡島しょ部」は、“思う” 85.5%、“思わない” 12.3%となっており、“思う” が 73.2 ポイント高くなっています。

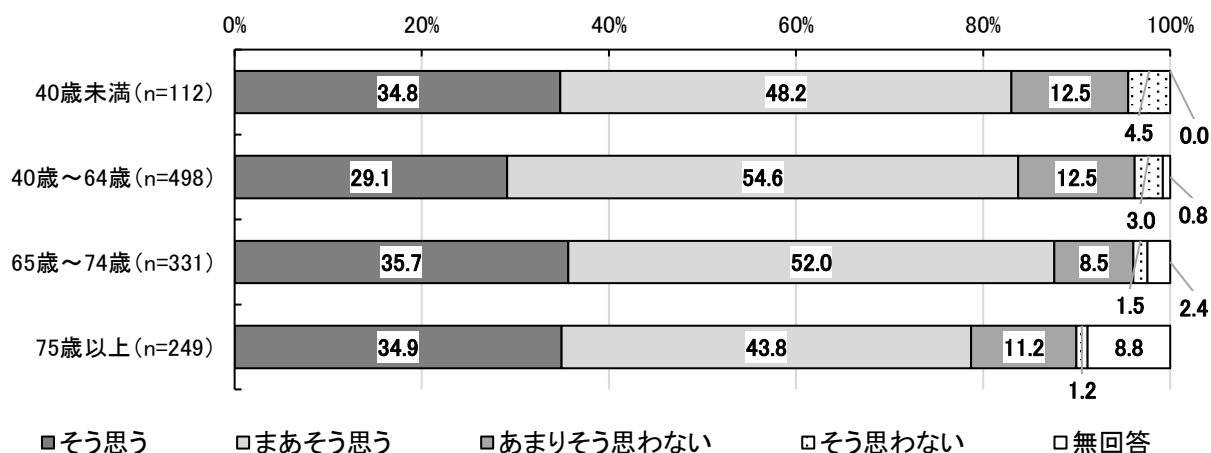
「そう思う」は「旧越智郡島しょ部」(36.2%) が最も高くなっていますが、大きな差はありません。



【年齢】

年齢別にみると、「40歳未満」は、“思う” 83.0%、“思わない” 17.0%となっており、“思う” が 66.0 ポイント高くなっています。「40歳～64歳」は、“思う” 83.7%、“思わない” 15.5%となっており、“思う” が 68.2 ポイント高くなっています。「65歳～74歳」は、“思う” 87.7%、“思わない” 10.0%となっており、“思う” が 77.7 ポイント高くなっています。「75歳以上」は、“思う” 78.7%、“思わない” 12.4%となっており、“思う” が 66.3 ポイント高くなっています。

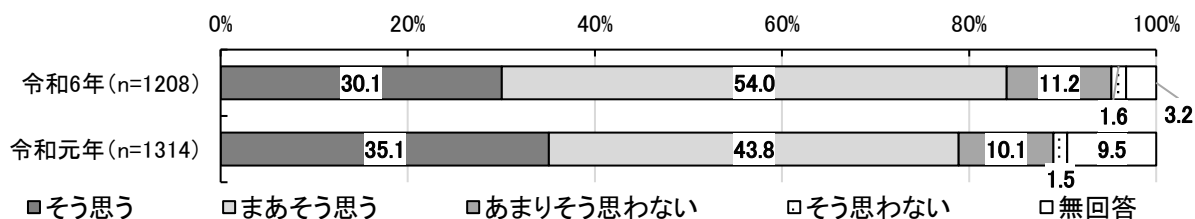
「そう思う」は「65歳～74歳」(35.7%) が最も高く、最も低い「40歳～64歳」(29.1%) より 6.6 ポイント高くなっています。



【3 ひとり親家庭の自立を支援するための地域のつながり】

ひとり親家庭の自立を支援するための地域のつながりが重要であるかを聞いたところ、“思う” 84.1%（「そう思う」 30.1%、「まあそう思う」 54.0%の合計（以下同じ）），“思わない” 12.8%（「あまりそう思わない」 11.2%、「そう思わない」 1.6%の合計（以下同じ））となり、“思う” が“思わない” より 71.3 ポイント高くなっています。

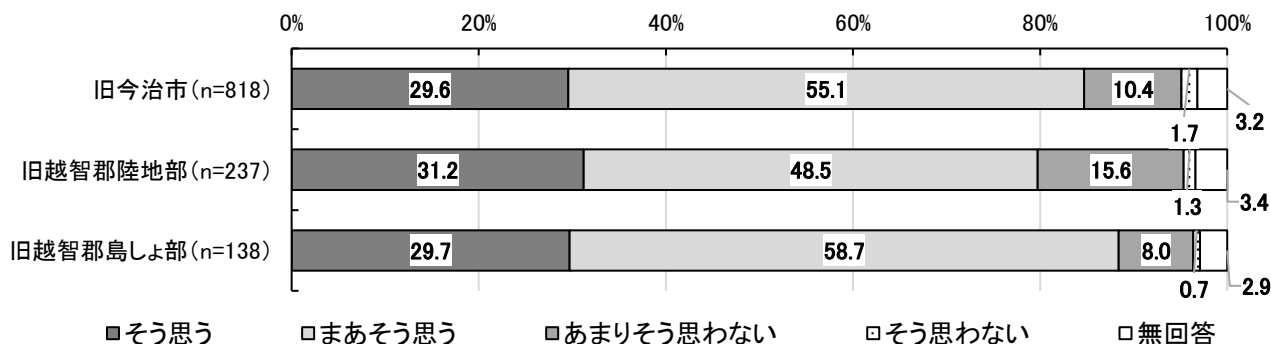
前回調査と比較すると、“思う” が 5.2 ポイント高くなっています。



【地区】

地区別にみると、「旧今治市」は、“思う” 84.7%、“思わない” 12.1%となっており、“思う” が 72.6 ポイント高くなっています。「旧越智郡陸地部」は、“思う” 79.7%、“思わない” 16.9%となっており、“思う” が 62.8 ポイント高くなっています。「旧越智郡島しょ部」は、“思う” 88.4%、“思わない” 8.7%となっており、“思う” が 79.7 ポイント高くなっています。

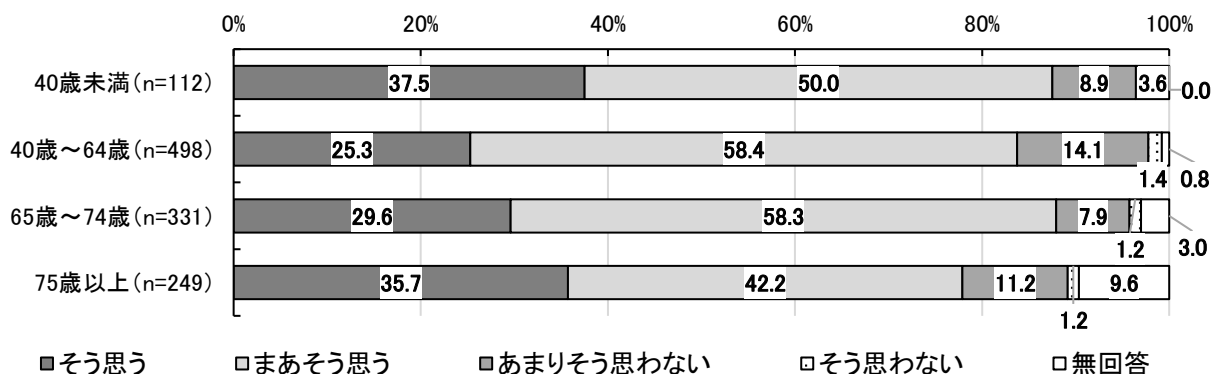
「そう思う」は「旧越智郡陸地部」(31.2%) が最も高くなっていますが、大きな差はありません。



【年齢】

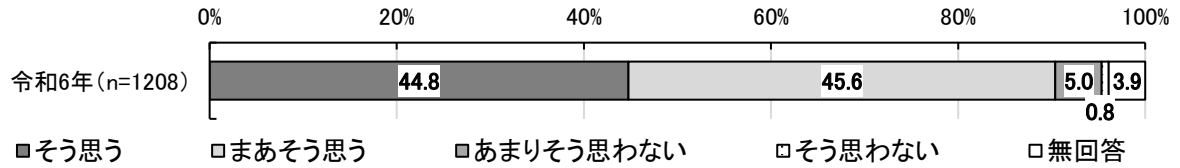
年齢別にみると、「40歳未満」は、“思う” 87.5%、“思わない” 12.5%となっており、“思う” が 75.0 ポイント高くなっています。「40歳～64歳」は、“思う” 83.7%、“思わない” 15.5%となっており、“思う” が 68.2 ポイント高くなっています。「65歳～74歳」は、“思う” 87.9%、“思わない” 9.1%となっており、“思う” が 78.8 ポイント高くなっています。「75歳以上」は、“思う” 77.9%、“思わない” 12.4%となっており、“思う” が 65.5 ポイント高くなっています。

「そう思う」は「40歳未満」(37.5%) が最も高く、最も低い「40歳～64歳」(25.3%) より 12.2 ポイント高くなっています。



【4 ドメスティックバイオレンス被害や高齢者・児童・障がい者等の虐待を防ぐための地域のつながり】

DV被害や虐待を防ぐための地域のつながりが重要であるかを聞いたところ、「思う」90.4%（「そう思う」44.8%、「まあそう思う」45.6%の合計（以下同じ））、「思わない」5.8%（「あまりそう思わない」5.0%、「そう思わない」0.8%の合計（以下同じ））となり、「思う」が「思わない」より84.6ポイント高くなっています。

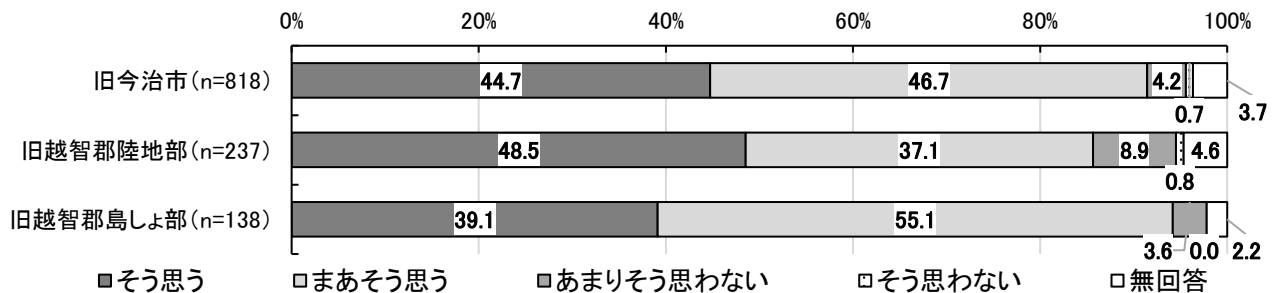


令和元年度調査では「ドメスティックバイオレンス被害を防ぐための地域のつながり」及び「高齢者・児童・障がい者等の虐待を防ぐための地域のつながり」

【地区】

地区別にみると、「旧今治市」は、「思う」91.4%、「思わない」4.9%となっており、「思う」が86.5ポイント高くなっています。「旧越智郡陸地部」は、「思う」85.6%、「思わない」9.7%となっており、「思う」が75.9ポイント高くなっています。「旧越智郡島しょ部」は、「思う」94.2%、「思わない」3.6%となっており、「思う」が90.6ポイント高くなっています。

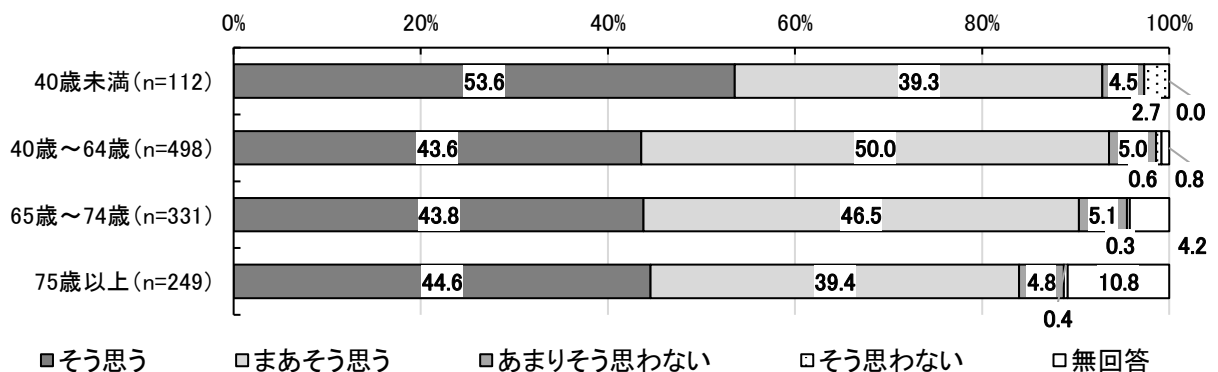
「そう思う」は「旧越智郡陸地部」（48.5%）が最も高く、最も低い「旧越智郡島しょ部」（39.1%）より9.4ポイント高くなっています。



【年齢】

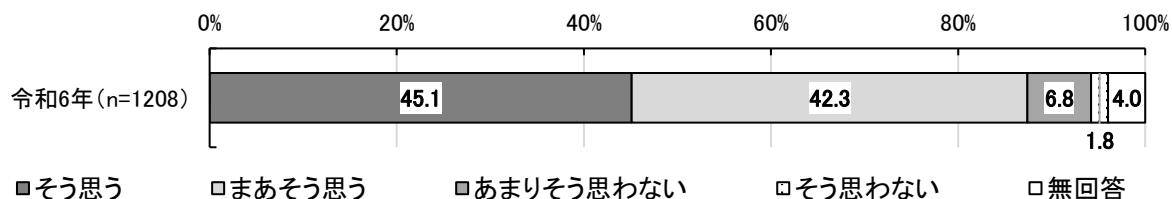
年齢別にみると、「40歳未満」は、「思う」92.9%、「思わない」7.2%となっており、「思う」が85.7ポイント高くなっています。「40歳～64歳」は、「思う」93.6%、「思わない」5.6%となっており、「思う」が88.0ポイント高くなっています。「65歳～74歳」は、「思う」90.3%、「思わない」5.4%となっており、「思う」が84.9ポイント高くなっています。「75歳以上」は、「思う」84.0%、「思わない」5.2%となっており、「思う」が78.8ポイント高くなっています。

「そう思う」は「40歳未満」（53.6%）が最も高く、最も低い「40歳～64歳」（43.6%）より10.0ポイント高くなっています。



【5 こどもの貧困に関すること】

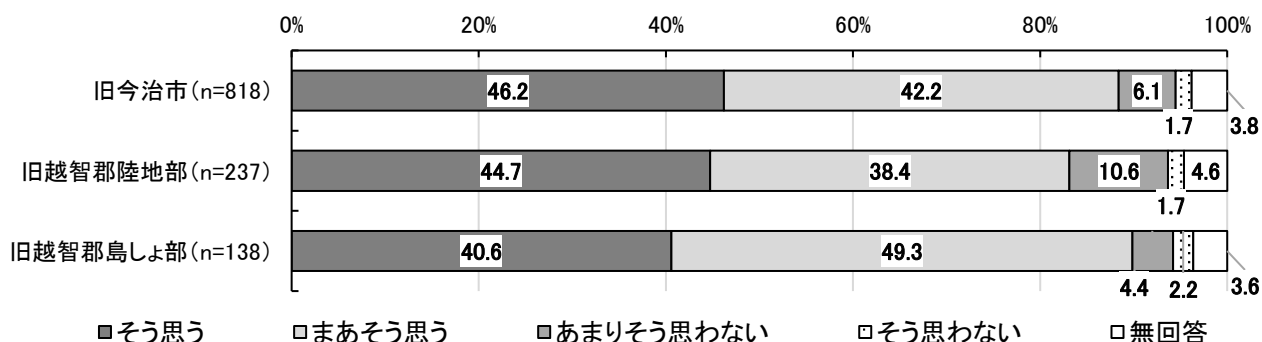
こどもの貧困に関することが重要であるかを聞いたところ、“思う” 87.4%（「そう思う」 45.1%、「まあそう思う」 42.3%の合計（以下同じ）），“思わない” 8.6%（「あまりそう思わない」 6.8%、「そう思わない」 1.8%の合計（以下同じ））となり、“思う” が“思わない” より 78.8 ポイント高くなっています。



【地区】

地区別にみると、「旧今治市」は、“思う” 88.4%、“思わない” 7.8%となっており、“思う” が 80.6 ポイント高くなっています。「旧越智郡陸地部」は、“思う” 83.1%、“思わない” 12.3%となっており、“思う” が 70.8 ポイント高くなっています。「旧越智郡島しょ部」は、“思う” 89.9%、“思わない” 6.6%となっており、“思う” が 83.3 ポイント高くなっています。

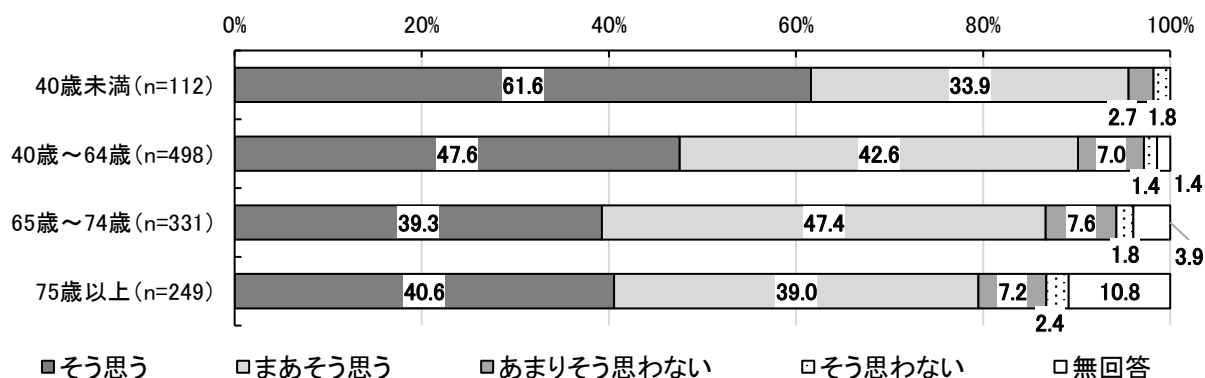
「そう思う」は「旧今治市」(46.2%) が最も高く、最も低い「旧越智郡島しょ部」(40.6%) より 5.6 ポイント高くなっています。



【年齢】

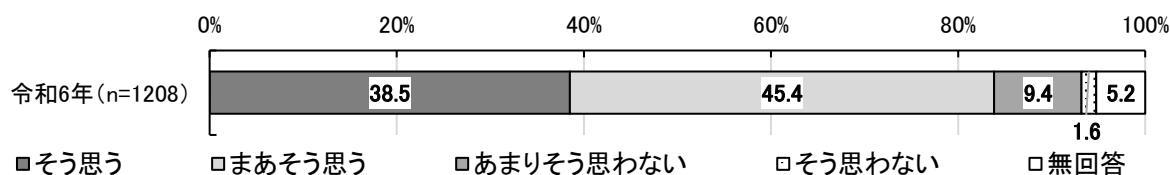
年齢別にみると、「40歳未満」は、“思う” 95.5%、“思わない” 4.5%となっており、“思う” が 91.0 ポイント高くなっています。「40歳～64歳」は、“思う” 90.2%、“思わない” 8.4%となっており、“思う” が 81.8 ポイント高くなっています。「65歳～74歳」は、“思う” 86.7%、“思わない” 9.4%となっており、“思う” が 77.3 ポイント高くなっています。「75歳以上」は、“思う” 79.6%、“思わない” 9.6%となっており、“思う” が 70.0 ポイント高くなっています。

「そう思う」は「40歳未満」(61.6%) が最も高く、最も低い「65歳～74歳」(39.3%) より 22.3 ポイント高くなっています。



【6 ヤングケアラーを地域で支えること】

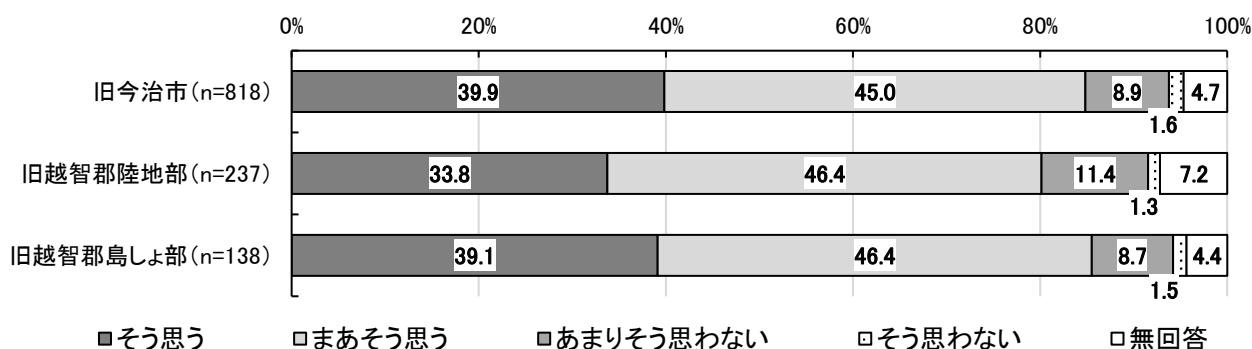
ひきこもりやニートの問題を社会全体で考えていくことが重要であるかを聞いたところ、“思う” 83.9%（「そう思う」 38.5%、「まあそう思う」 45.4%の合計（以下同じ）），“思わない” 11.0%（「あまりそう思わない」 9.4%、「そう思わない」 1.6%の合計（以下同じ））となり、“思う” が“思わない” より 72.9 ポイント高くなっています。



【地区】

地区別にみると、「旧今治市」は、“思う” 84.9%、“思わない” 10.5%となっており、“思う” が74.4 ポイント高くなっています。「旧越智郡陸地部」は、“思う” 80.2%、“思わない” 12.7%となっており、“思う” が67.5 ポイント高くなっています。「旧越智郡島しょ部」は、“思う” 85.5%、“思わない” 10.2%となっており、“思う” が75.3 ポイント高くなっています。

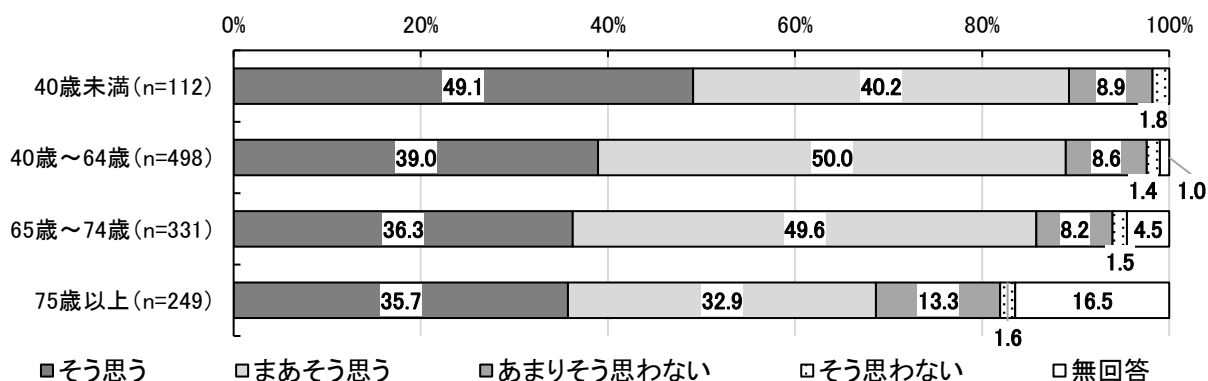
「そう思う」は「旧今治市」（39.9%）で最も高く、最も低い「旧越智郡陸地部」（33.8%）より 6.1 ポイント高くなっています。



【年齢】

年齢別にみると、「40歳未満」は、“思う” 89.3%、“思わない” 10.7%となっており、“思う” が78.6 ポイント高くなっています。「40歳～64歳」は、“思う” 89.0%、“思わない” 10.0%となっており、“思う” が79.0 ポイント高くなっています。「65歳～74歳」は、“思う” 85.9%、“思わない” 9.7%となっており、“思う” が76.2 ポイント高くなっています。「75歳以上」は、“思う” 68.6%、“思わない” 14.9%となっており、“思う” が53.7 ポイント高くなっています。

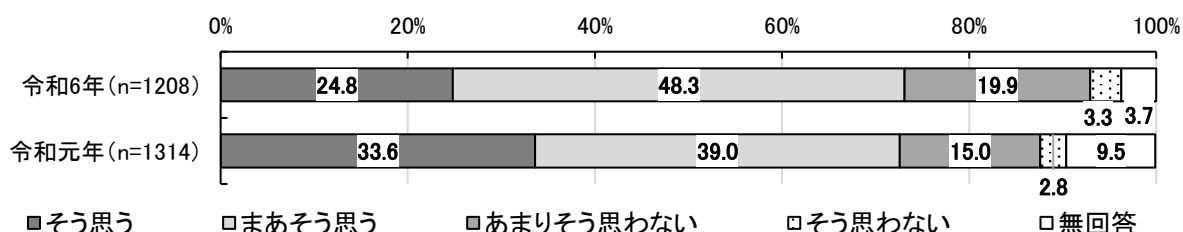
「そう思う」は「40歳未満」（49.1%）で最も高く、最も低い「75歳以上」（35.7%）より 13.4 ポイント高くなっています。



【7 ひきこもりやニートの問題を社会全体で考えていくこと】

ひきこもりやニートの問題を社会全体で考えていくことが重要であるかを聞いたところ、“思う” 73.1%（「そう思う」 24.8%、「まあそう思う」 48.3%の合計（以下同じ）），“思わない” 23.2%（「あまりそう思わない」 19.9%、「そう思わない」 3.3%の合計（以下同じ））となり、“思う” が“思わない” より 49.9 ポイント高くなっています。

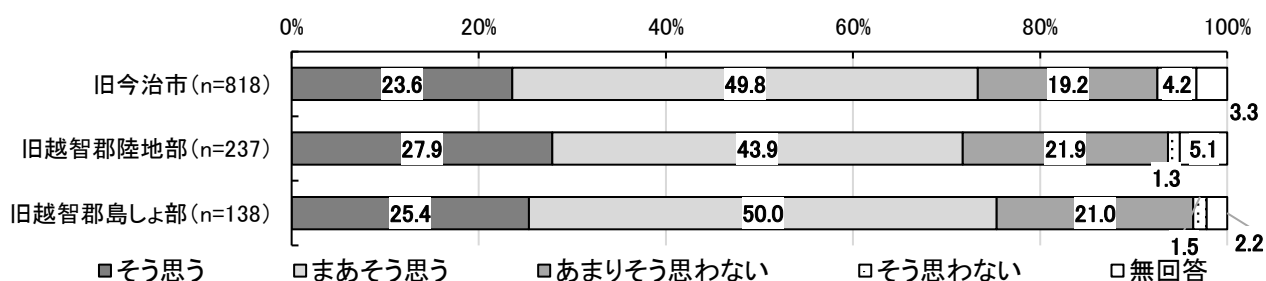
前回調査と比較すると、「まあそう思う」が 9.3 ポイント高く、「そう思う」が 8.8 ポイント低くなっています。



【地区】

地区別にみると、「旧今治市」は、“思う” 73.4%、“思わない” 23.4%となっており、“思う” が 50.0 ポイント高くなっています。「旧越智郡陸地部」は、“思う” 71.8%、“思わない” 23.2%となっており、“思う” が 48.6 ポイント高くなっています。「旧越智郡島しょ部」は、“思う” 75.4%、“思わない” 22.5%となっており、“思う” が 52.9 ポイント高くなっています。

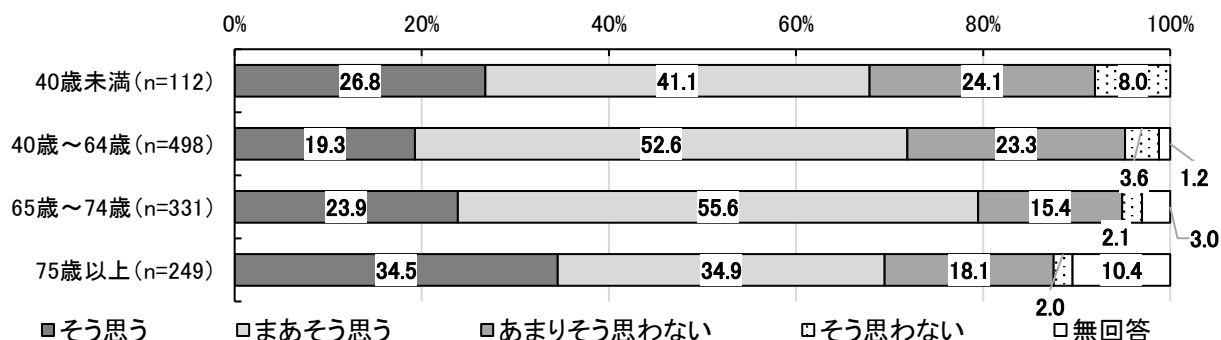
「そう思う」は「旧越智郡陸地部」(27.9%)で最も高く、最も低い「旧今治市」(23.6%)より 4.3 ポイント高くなっています。



【年齢】

年齢別にみると、「40歳未満」は、“思う” 67.9%、“思わない” 32.1%となっており、“思う” が 35.8 ポイント高くなっています。「40歳～64歳」は、“思う” 71.9%、“思わない” 26.9%となっており、“思う” が 45.0 ポイント高くなっています。「65歳～74歳」は、“思う” 79.5%、“思わない” 17.5%となっており、“思う” が 62.0 ポイント高くなっています。「75歳以上」は、“思う” 69.4%、“思わない” 20.1%となっており、“思う” が 49.3 ポイント高くなっています。

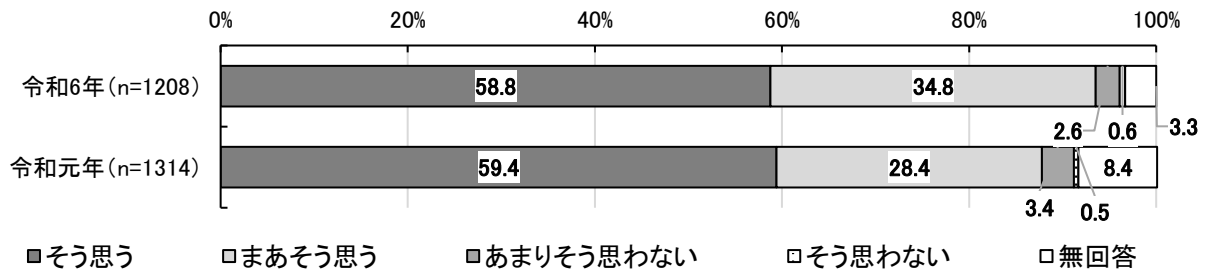
「そう思う」は、「75歳以上」(34.5%)で最も高く、最も低い「40歳～64歳」(19.3%)より 15.2 ポイント高くなっています。



【8 地域の防犯対策】

地域の防犯対策が重要であるかを聞いたところ、「思う」93.6%（「そう思う」58.8%、「まあそう思う」34.8%の合計（以下同じ））、「思わない」3.2%（「あまりそう思わない」2.6%、「そう思わない」0.6%の合計（以下同じ））となり、「思う」が「思わない」より90.4ポイント高くなっています。

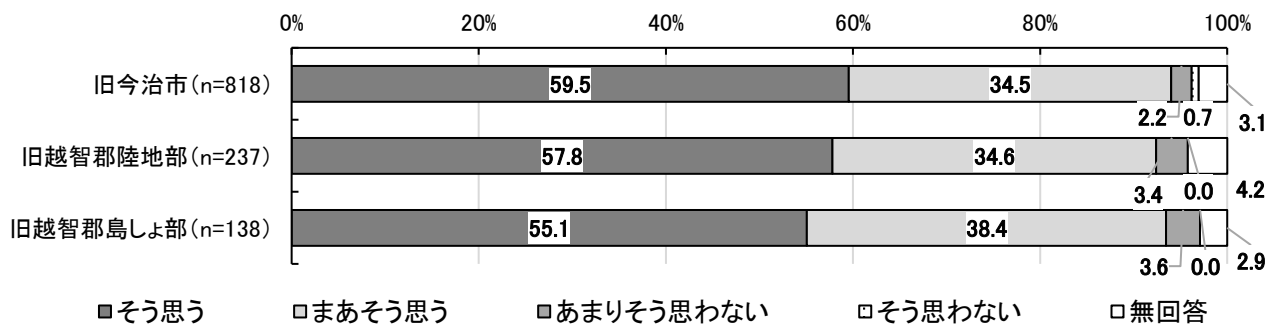
前回調査と比較すると、「まあそう思う」が6.4ポイント高くなっています。



【地区】

地区別にみると、「旧今治市」は、「思う」94.0%、「思わない」2.9%となっており、「思う」が91.1ポイント高くなっています。「旧越智郡陸地部」は、「思う」92.4%、「思わない」3.4%となっており、「思う」が89.0ポイント高くなっています。「旧越智郡島しょ部」は、「思う」93.5%、「思わない」3.6%となっており、「思う」が89.9ポイント高くなっています。

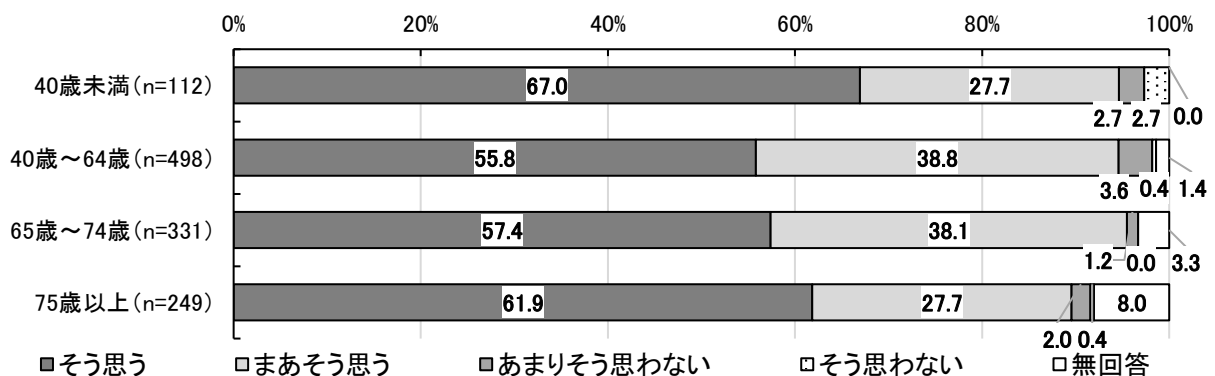
「そう思う」は、「旧今治市」(59.5%)で最も高く、最も低い「旧越智郡島しょ部」(55.1%)より4.4ポイント高くなっています。



【年齢】

年齢別にみると、「40歳未満」は、「思う」94.7%、「思わない」5.4%となっており、「思う」が89.3ポイント高くなっています。「40歳～64歳」は、「思う」94.6%、「思わない」4.0%となっており、「思う」が90.6ポイント高くなっています。「65歳～74歳」は、「思う」95.5%、「思わない」1.2%となっており、「思う」が94.3ポイント高くなっています。「75歳以上」は、「思う」89.6%、「思わない」2.4%となっており、「思う」が87.2ポイント高くなっています。

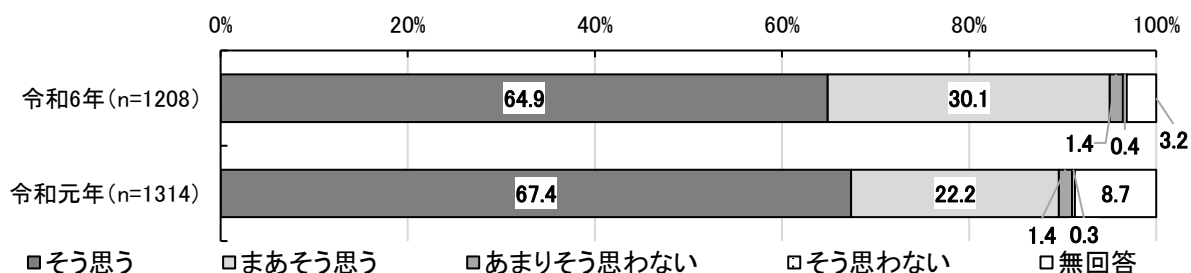
「そう思う」は、「40歳未満」(67.0%)で最も高く、最も低い「40歳～64歳」(55.8%)より11.2ポイント高くなっています。



【9 災害時における支援体制】

災害時における支援体制が重要であるかを聞いたところ、“思う” 95.0%（「そう思う」 64.9%、「まあそう思う」 30.1%の合計（以下同じ）），“思わない” 1.8%（「あまりそう思わない」 1.4%、「そう思わない」 0.4%の合計（以下同じ））となり、“思う” が“思わない” より 93.2 ポイント高くなっています。

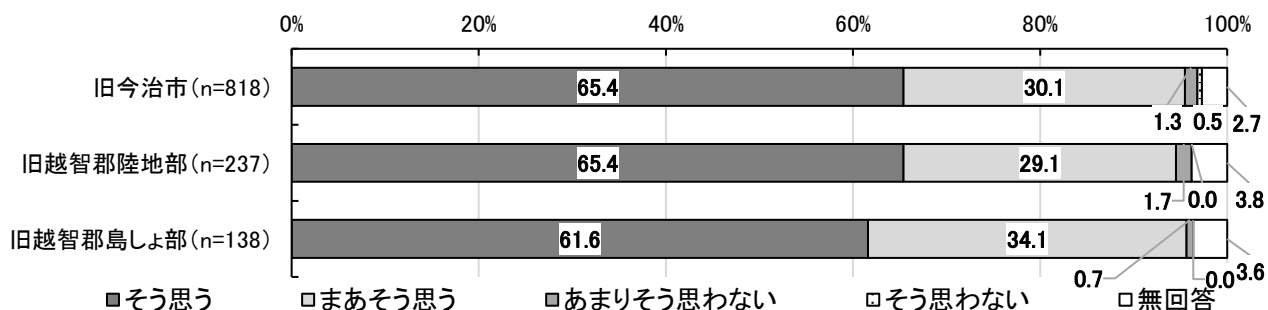
前回調査と比較すると、「まあそう思う」が 7.9 ポイント高くなっています。



【地区】

地区別にみると、「旧今治市」は、“思う” 95.5%、“思わない” 1.8%となっており、“思う” が 93.7 ポイント高くなっています。「旧越智郡陸地部」は、“思う” 94.5%、“思わない” 1.7%となっており、“思う” が 92.8 ポイント高くなっています。「旧越智郡島しょ部」は、“思う” 95.7%、“思わない” 0.7%となっており、“思う” が 95.0 ポイント高くなっています。

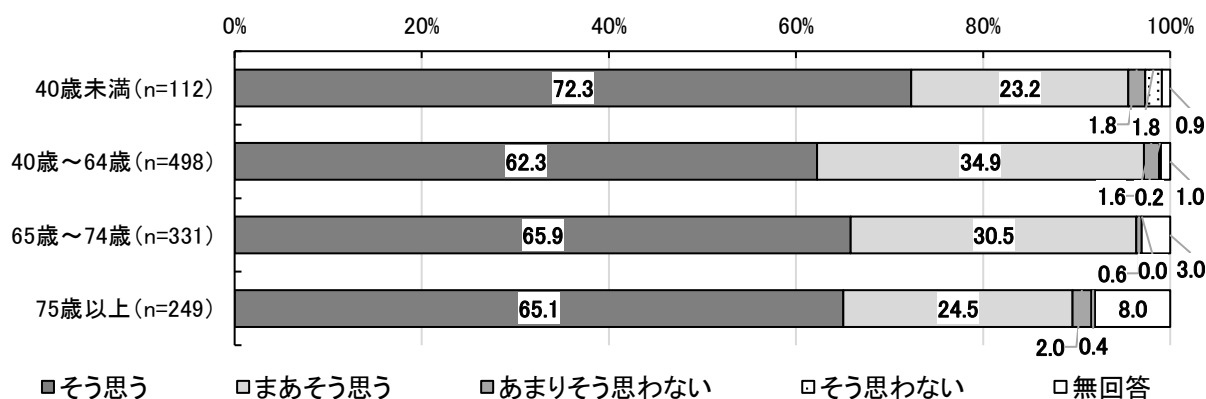
「そう思う」は、「旧今治市」と「旧越智郡陸地部」（それぞれ 65.4%）で最も高く、「旧越智郡島しょ部」（61.6%）より 3.8 ポイント高くなっています。



【年齢】

年齢別にみると、「40歳未満」は、“思う” 95.5%、“思わない” 3.6%となっており、“思う” が 91.9 ポイント高くなっています。「40歳～64歳」は、“思う” 97.2%、“思わない” 1.8%となっており、“思う” が 95.4 ポイント高くなっています。「65歳～74歳」は、“思う” 96.4%、“思わない” 0.6%となっており、“思う” が 95.8 ポイント高くなっています。「75歳以上」は、“思う” 89.6%、“思わない” 2.4%となっており、“思う” が 87.2 ポイント高くなっています。

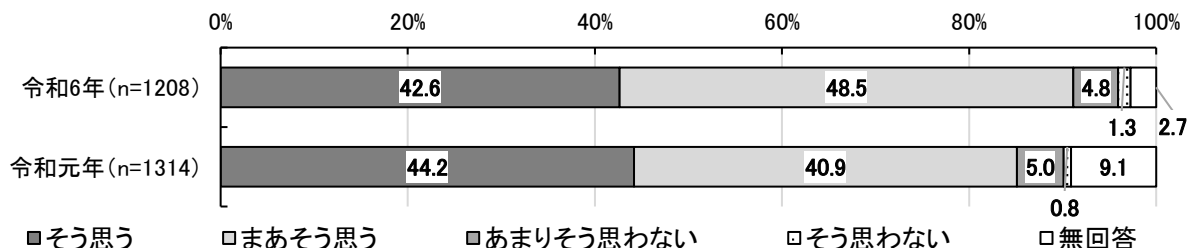
「そう思う」は、「40歳未満」（72.3%）で最も高く、最も低い「40歳～64歳」（62.3%）より 10.0 ポイント高くなっています。



【10 認知症や障がいのある人やその家族を支えるための地域のつながり】

認知症の人やその家族を支えるための地域のつながりが重要であるかを聞いたところ、“思う” 91.1%（「そう思う」42.6%、「まあそう思う」48.5%の合計（以下同じ）），“思わない” 6.1%（「あまりそう思わない」4.8%、「そう思わない」1.3%の合計（以下同じ））となり、“思う” が“思わない” より 85.0 ポイント高くなっています。

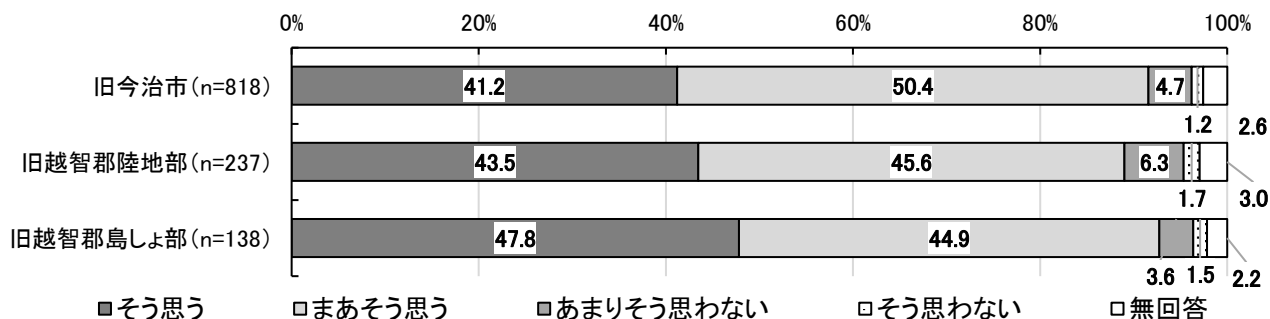
前回調査と比較すると、「まあそう思う」が7.6 ポイント高くなっています。



【地区】

地区別にみると、「旧今治市」は、“思う” 91.6%、“思わない” 5.9%となっており、“思う” が85.7 ポイント高くなっています。「旧越智郡陸地部」は、“思う” 89.1%、“思わない” 8.0%となっており、“思う” が81.1 ポイント高くなっています。「旧越智郡島しょ部」は、“思う” 92.7%、“思わない” 5.1%となっており、“思う” が87.6 ポイント高くなっています。

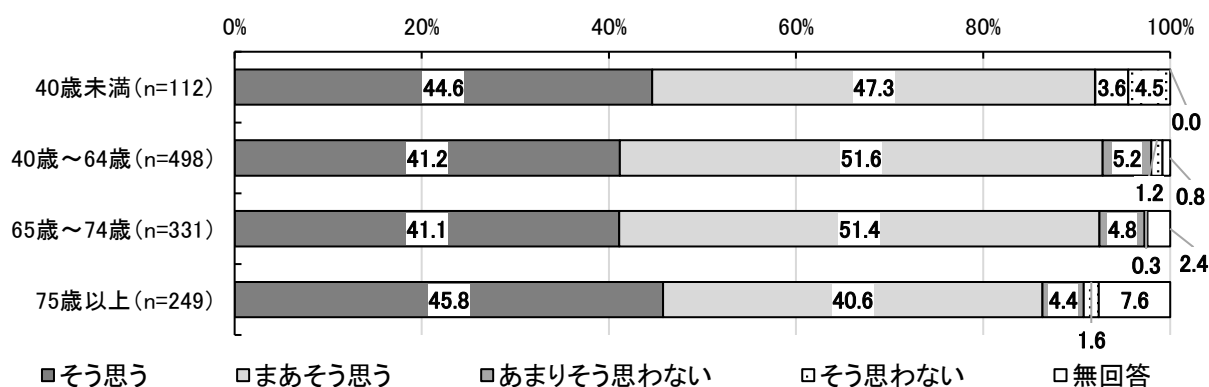
「そう思う」は、「旧越智郡島しょ部」（47.8%）で最も高く、最も低い「旧今治市」（41.2%）より 6.6 ポイント高くなっています。



【年齢】

年齢別にみると、「40歳未満」は、“思う” 91.9%、“思わない” 8.1%となっており、“思う” が83.8 ポイント高くなっています。「40歳～64歳」は、“思う” 92.8%、“思わない” 6.4%となっており、“思う” が86.4 ポイント高くなっています。「65歳～74歳」は、“思う” 92.5%、“思わない” 5.1%となっており、“思う” が87.4 ポイント高くなっています。「75歳以上」は、“思う” 86.4%、“思わない” 6.0%となっており、“思う” が80.4 ポイント高くなっています。

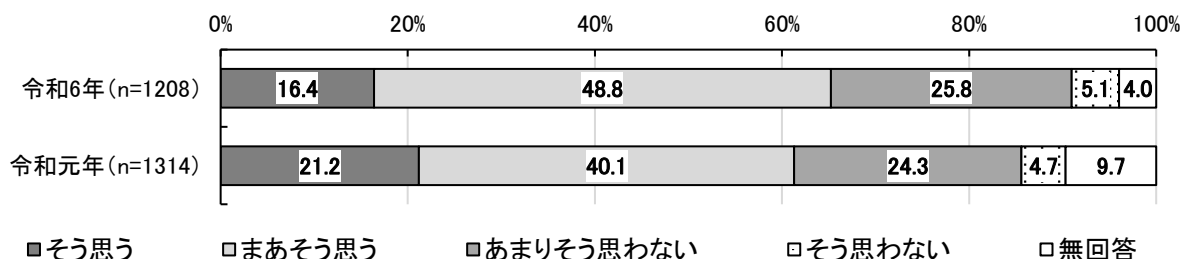
「そう思う」は、「75歳以上」（45.8%）で最も高く、最も低い「65歳～74歳」（41.1%）より 4.7 ポイント高くなっています。



【11 ホームレスの問題を社会全体で考えていくこと】

ホームレスの問題を社会全体で考えていくことが重要であるかを聞いたところ、“思う” 65.2%（「そう思う」 16.4%、「まあそう思う」 48.8%の合計（以下同じ）），“思わない” 30.9%（「あまりそう思わない」 25.8%、「そう思わない」 5.1%の合計（以下同じ））となり、“思う” が“思わない” より 34.3 ポイント高くなっています。

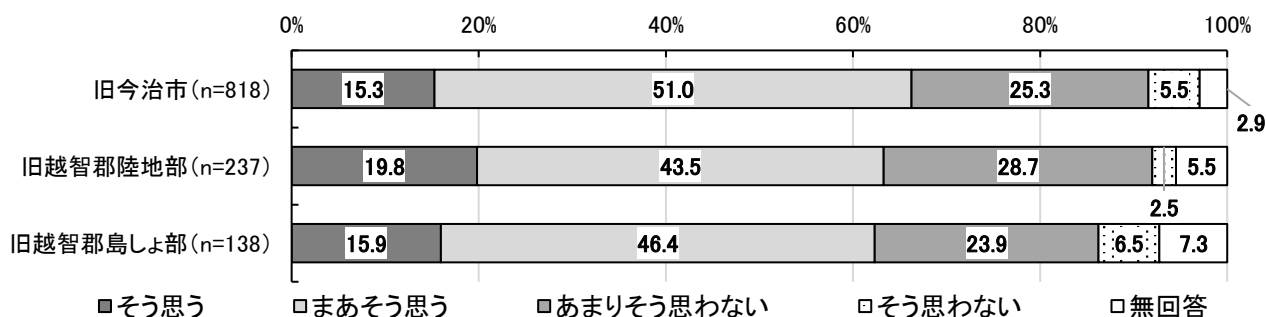
前回調査と比較すると、「まあそう思う」が 8.7 ポイント高くなっています。



【地区】

地区別にみると、「旧今治市」は、“思う” 66.3%、“思わない” 30.8%となっており、“思う” が 35.5 ポイント高くなっています。「旧越智郡陸地部」は、“思う” 63.3%、“思わない” 31.2%となっており、“思う” が 32.1 ポイント高くなっています。「旧越智郡島しょ部」は、“思う” 62.3%、“思わない” 30.4%となっており、“思う” が 31.9 ポイント高くなっています。

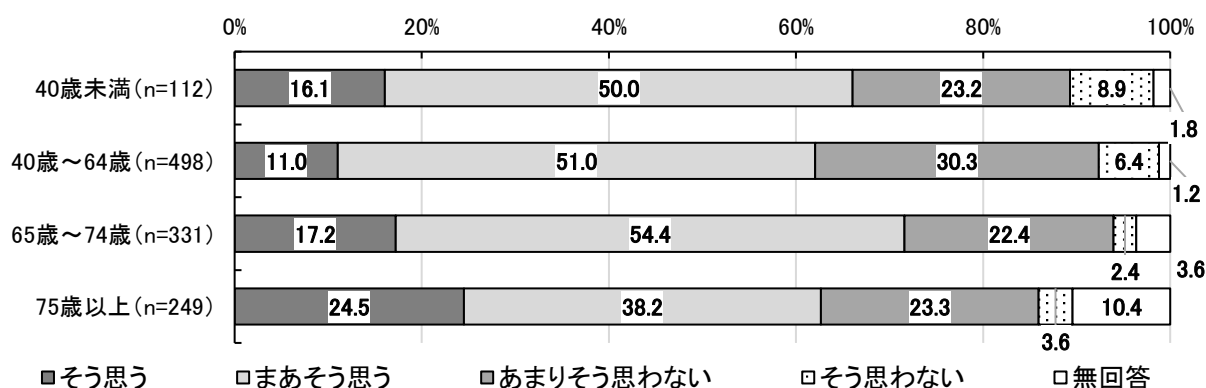
「そう思う」は、「旧越智郡陸地部」(19.8%)で最も高く、最も低い「旧今治市」(15.3%)より 4.5 ポイント高くなっています。



【年齢】

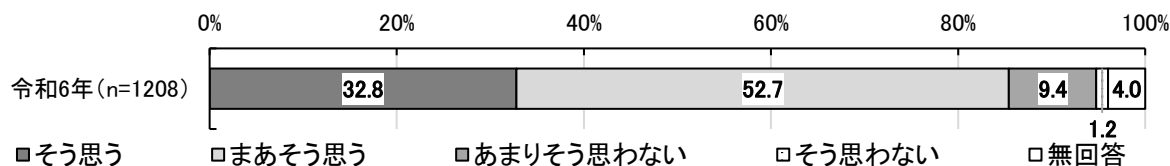
年齢別にみると、「40歳未満」は、“思う” 66.1%、“思わない” 32.1%となっており、“思う” が 34.0 ポイント高くなっています。「40歳～64歳」は、“思う” 62.0%、“思わない” 36.7%となっており、“思う” が 25.3 ポイント高くなっています。「65歳～74歳」は、“思う” 71.6%、“思わない” 24.8%となっており、“思う” が 46.8 ポイント高くなっています。「75歳以上」は、“思う” 62.7%、“思わない” 26.9%となっており、“思う” が 35.8 ポイント高くなっています。

「そう思う」は、「75歳以上」(24.5%)で最も高く、最も低い「40歳～64歳」(11.0%)より 13.5 ポイント高くなっています。



【12 身寄りがいない人への支援】

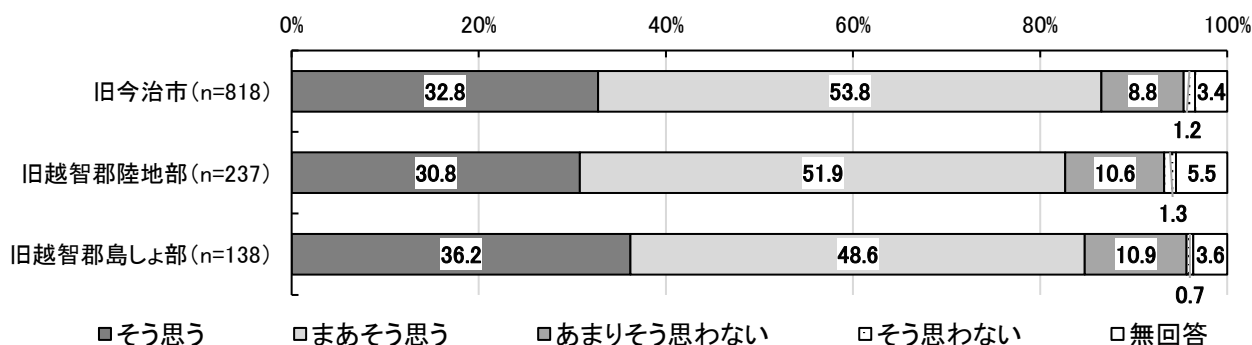
寄りがない人への支援が重要であるかを聞いたところ、“思う” 85.5%（「そう思う」 32.8%、「まあそう思う」 52.7%の合計（以下同じ）），“思わない” 10.6%（「あまりそう思わない」 9.4%、「そう思わない」 1.2%の合計（以下同じ））となり、“思う” が“思わない” より 74.9 ポイント高くなっています。



【地区】

地区別にみると、「旧今治市」は、“思う” 86.6%、“思わない” 10.0%となっており、“思う” が76.6 ポイント高くなっています。「旧越智郡陸地部」は、“思う” 82.7%、“思わない” 11.9%となっており、“思う” が70.8 ポイント高くなっています。「旧越智郡島しょ部」は、“思う” 84.8%、“思わない” 11.6%となっており、“思う” が73.2 ポイント高くなっています。

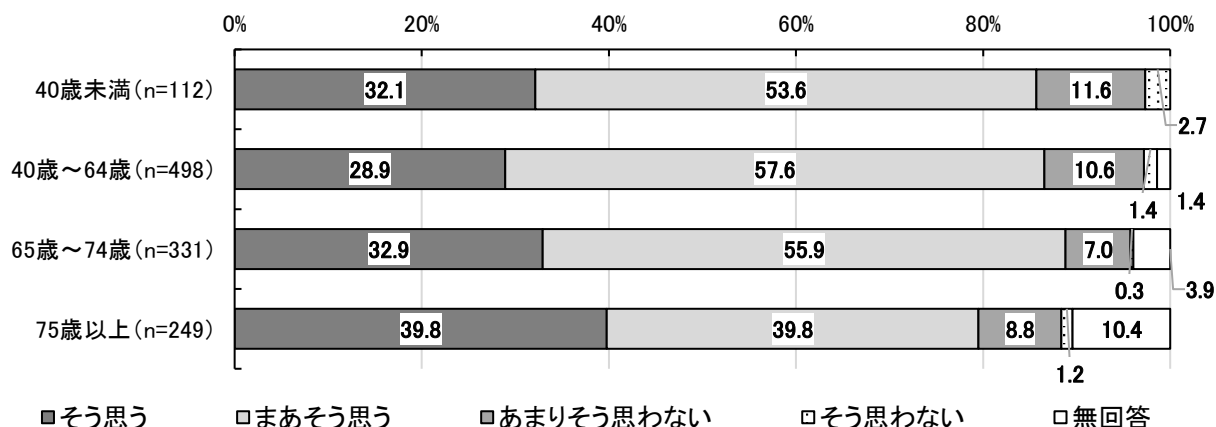
「そう思う」は、「旧越智郡島しょ部」(36.2%)で最も高く、最も低い「旧越智郡陸地部」(30.8%)より 5.4 ポイント高くなっています。



【年齢】

年齢別にみると、「40歳未満」は、“思う” 85.7%、“思わない” 14.3%となっており、“思う” が71.4 ポイント高くなっています。「40歳～64歳」は、“思う” 86.5%、“思わない” 12.0%となっており、“思う” が74.5 ポイント高くなっています。「65歳～74歳」は、“思う” 88.8%、“思わない” 7.3%となっており、“思う” が81.5 ポイント高くなっています。「75歳以上」は、“思う” 79.6%、“思わない” 10.0%となっており、“思う” が69.6 ポイント高くなっています。

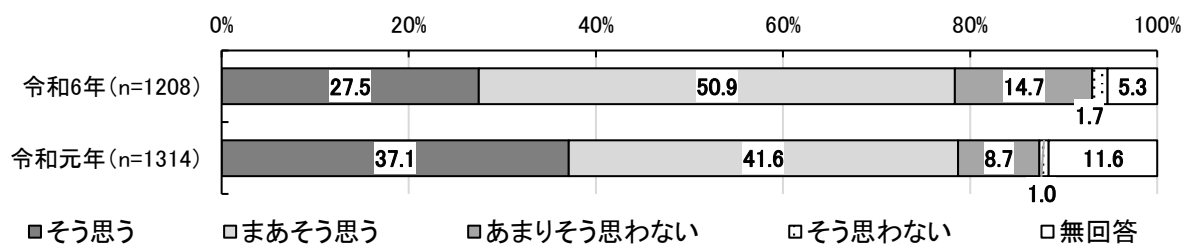
「そう思う」は、「75歳以上」(39.8%)で最も高く、最も低い「40歳～64歳」(28.9%)より 10.9 ポイント高くなっています。



【13 成年後見制度の周知】

成年後見制度の周知が重要であるかを聞いたところ、「思う」78.4%（「そう思う」27.5%、「まあそう思う」50.9%の合計（以下同じ））、「思わない」16.4%（「あまりそう思わない」14.7%、「そう思わない」1.7%の合計（以下同じ））となり、「思う」が「思わない」より62.0ポイント高くなっています。

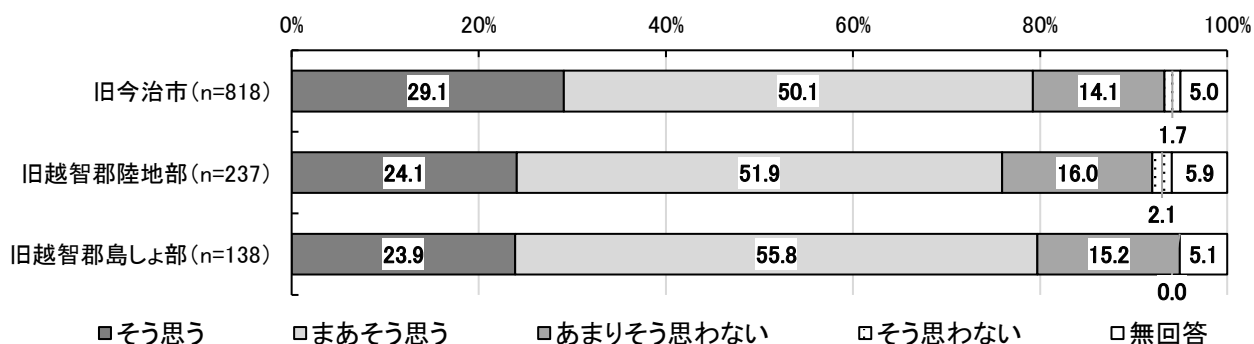
前回調査と比較すると、「まあそう思う」が9.3ポイント高くなっています。



【地区】

地区別にみると、「旧今治市」は、「思う」79.2%、「思わない」15.8%となっており、「思う」が63.4ポイント高くなっています。「旧越智郡陸地部」は、「思う」76.0%、「思わない」18.1%となっており、「思う」が57.9ポイント高くなっています。「旧越智郡島しょ部」は、「思う」79.7%、「思わない」15.2%となっており、「思う」が64.5ポイント高くなっています。

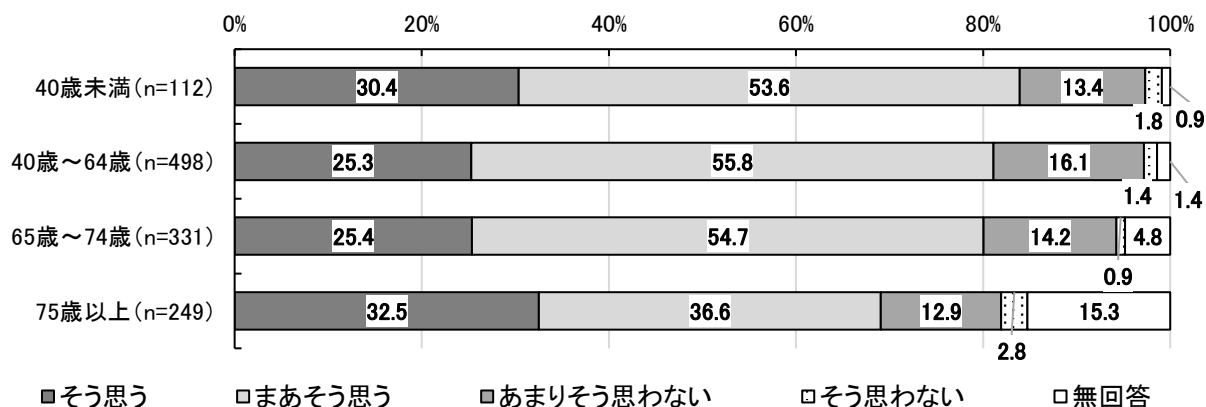
「そう思う」は、「旧今治市」（29.1%）で最も高く、最も低い「旧越智郡島しょ部」（23.9%）より5.2ポイント高くなっています。



【年齢】

年齢別にみると、「40歳未満」は、「思う」84.0%、「思わない」15.2%となっており、「思う」が68.8ポイント高くなっています。「40歳～64歳」は、「思う」81.1%、「思わない」17.5%となっており、「思う」が63.6ポイント高くなっています。「65歳～74歳」は、「思う」80.1%、「思わない」15.1%となっており、「思う」が65.0ポイント高くなっています。「75歳以上」は、「思う」69.1%、「思わない」15.7%となっており、「思う」が53.4ポイント高くなっています。

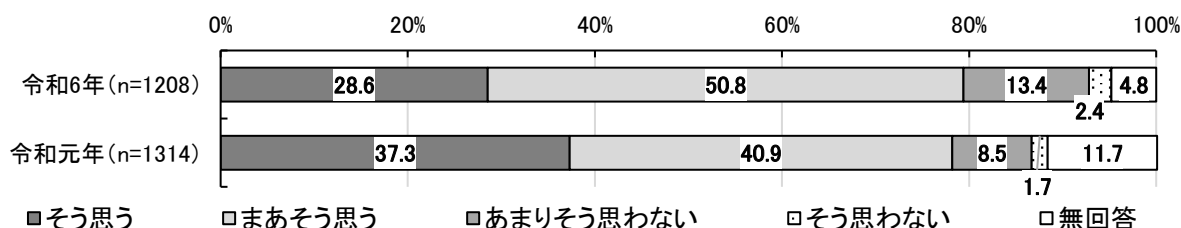
「そう思う」は、「75歳以上」（32.5%）で最も高く、最も低い「40歳～64歳」（25.3%）より7.2ポイント高くなっています。



【14 再犯防止のための支援】

再犯防止のための支援が重要であるかを聞いたところ、“思う” 79.4%（「そう思う」 28.6%、「まあそう思う」 50.8%の合計（以下同じ）），“思わない” 15.8%（「あまりそう思わない」 13.4%、「そう思わない」 2.4%の合計（以下同じ））となり、“思う” が “思わない” より 63.6 ポイント高くなっています。

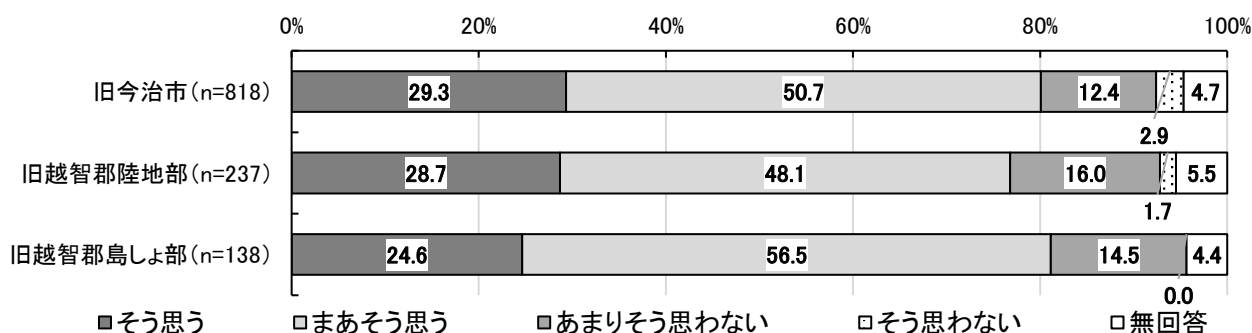
前回調査と比較すると、「まあそう思う」が 9.9 ポイント高くなっています。



【地区】

地区別にみると、「旧今治市」は、“思う” 80.0%、“思わない” 15.3%となっており、“思う” が 64.7 ポイント高くなっています。「旧越智郡陸地部」は、“思う” 76.8%、“思わない” 17.7%となっており、“思う” が 59.1 ポイント高くなっています。「旧越智郡島しょ部」は、“思う” 81.1%、“思わない” 14.5%となっており、“思う” が 66.6 ポイント高くなっています。

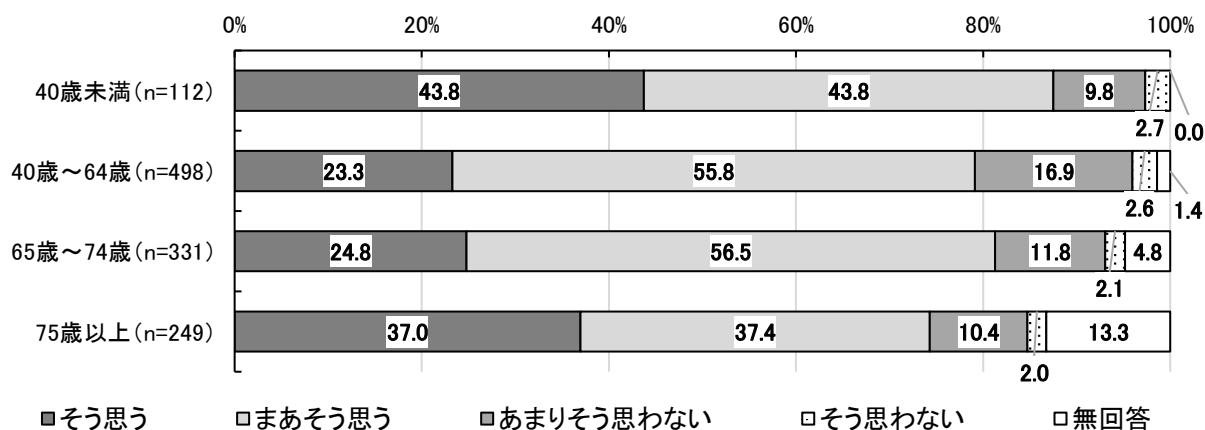
「そう思う」は、「旧今治市」(29.3%) で最も高く、最も低い「旧越智郡島しょ部」(24.6%) より 4.7 ポイント高くなっています。



【年齢】

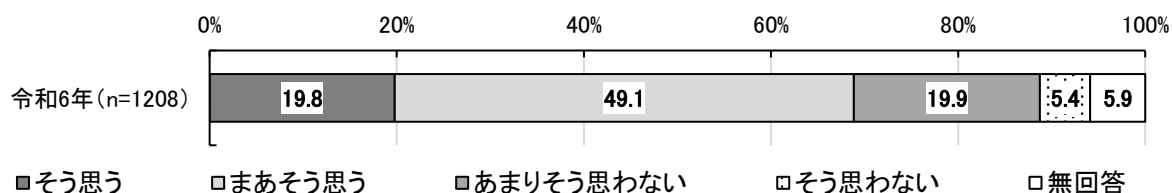
年齢別にみると、「40歳未満」は、“思う” 87.6%、“思わない” 12.5%となっており、“思う” が 75.1 ポイント高くなっています。「40歳～64歳」は、“思う” 79.1%、“思わない” 19.5%となっており、“思う” が 59.6 ポイント高くなっています。「65歳～74歳」は、“思う” 81.3%、“思わない” 13.9%となっており、“思う” が 67.4 ポイント高くなっています。「75歳以上」は、“思う” 74.4%、“思わない” 12.4%となっており、“思う” が 62.0 ポイント高くなっています。

「そう思う」は、「40歳未満」(43.8%) で最も高く、最も低い「40歳～64歳」(23.3%) より 20.5 ポイント高くなっています。



【15 性的マイノリティの理解に関すること】

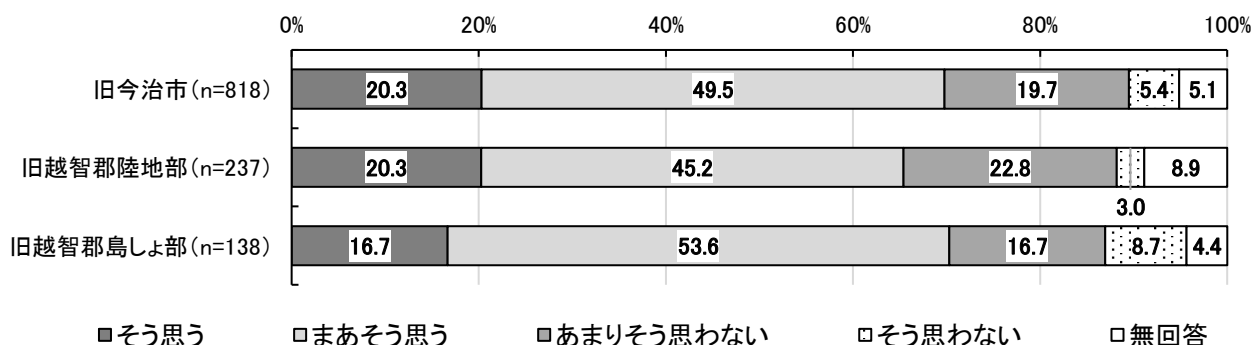
性的マイノリティの理解に関することが重要であるかを聞いたところ、“思う”68.9%（「そう思う」19.8%、「まあそう思う」49.1%の合計（以下同じ）），“思わない”25.3%（「あまりそう思わない」19.9%、「そう思わない」5.4%の合計（以下同じ））となり、“思う”が“思わない”より43.6ポイント高くなっています。



【地区】

地区別にみると、「旧今治市」は、“思う”69.8%、“思わない”25.1%となっており、“思う”が44.7ポイント高くなっています。「旧越智郡陸地部」は、“思う”65.5%、“思わない”25.8%となっており、“思う”が39.7ポイント高くなっています。「旧越智郡島しょ部」は、“思う”70.3%、“思わない”25.4%となっており、“思う”が44.9ポイント高くなっています。

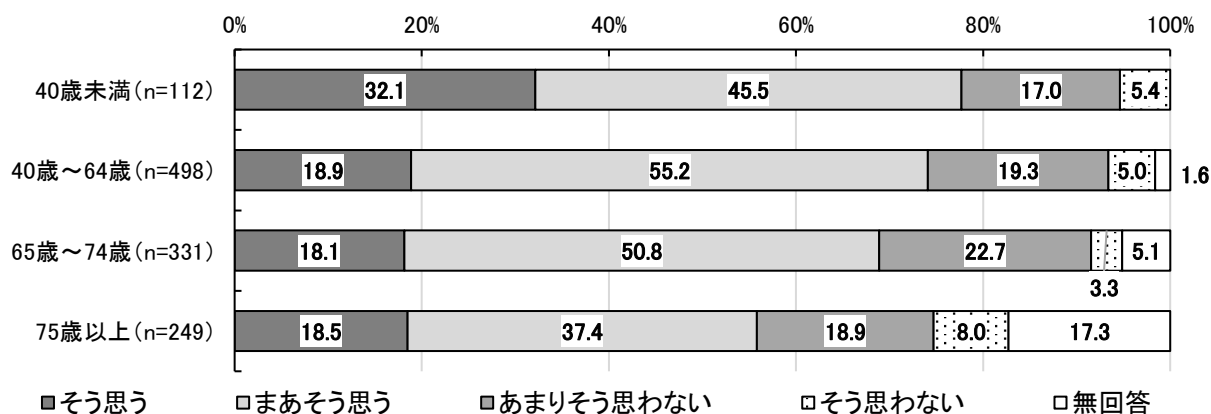
「そう思う」は、「旧今治市」と「旧越智郡陸地部」（それぞれ20.3%）で最も高く、「旧越智郡島しょ部」（16.7%）より3.6ポイント高くなっています。



【年齢】

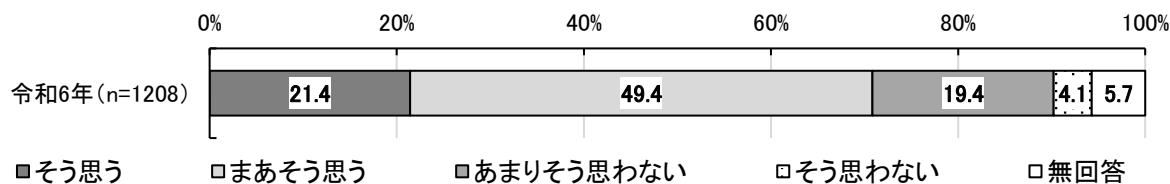
年齢別にみると、「40歳未満」は、“思う”77.6%、“思わない”22.4%となっており、“思う”が55.2ポイント高くなっています。「40歳～64歳」は、“思う”74.1%、“思わない”24.3%となっており、“思う”が49.8ポイント高くなっています。「65歳～74歳」は、“思う”68.9%、“思わない”26.0%となっており、“思う”が42.9ポイント高くなっています。「75歳以上」は、“思う”55.9%、“思わない”26.9%となっており、“思う”が29.0ポイント高くなっています。

「そう思う」は、「40歳未満」（32.1%）で最も高く、最も低い「65歳～74歳」（18.1%）より14.0ポイント高くなっています。



【16 多文化共生に関すること】

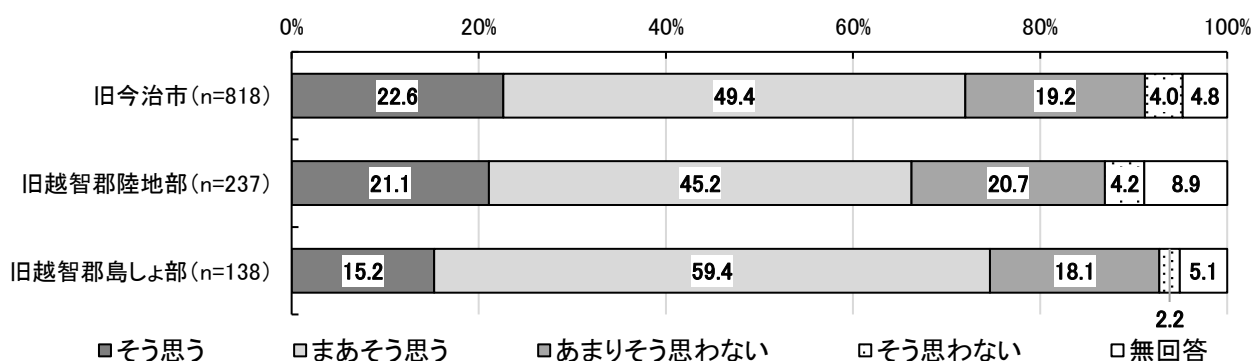
多文化共生に関することが重要であるかを聞いたところ、“思う” 70.8%（「そう思う」 21.4%、「まあそう思う」 49.4%の合計（以下同じ）），“思わない” 23.5%（「あまりそう思わない」 19.4%、「そう思わない」 4.1%の合計（以下同じ））となり、“思う” が“思わない” より 47.3 ポイント高くなっています。



【地区】

地区別にみると、「旧今治市」は、“思う” 72.0%、“思わない” 23.2%となっており、“思う” が48.8 ポイント高くなっています。「旧越智郡陸地部」は、“思う” 66.3%、“思わない” 24.9%となっており、“思う” が41.4 ポイント高くなっています。「旧越智郡島しょ部」は、“思う” 74.6%、“思わない” 20.3%となっており、“思う” が54.3 ポイント高くなっています。

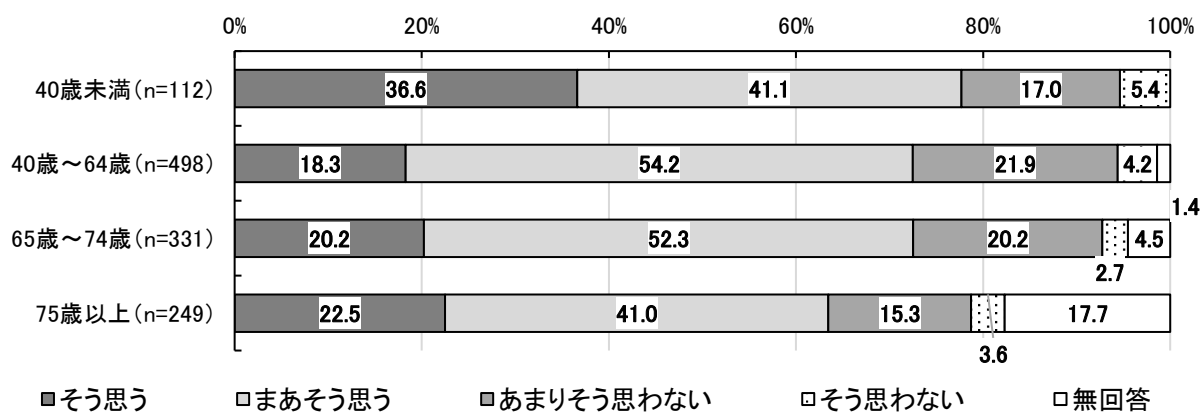
「そう思う」は、「旧今治市」（22.6%）で最も高く、最も低い「旧越智郡島しょ部」（15.2%）より 7.4 ポイント高くなっています。



【年齢】

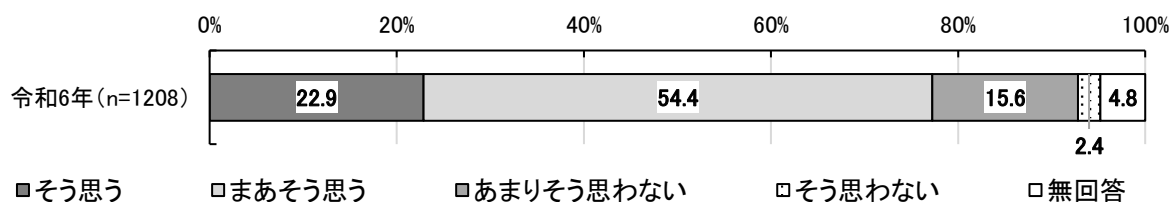
年齢別にみると、「40歳未満」は、“思う” 77.7%、“思わない” 22.4%となっており、“思う” が55.3 ポイント高くなっています。「40歳～64歳」は、“思う” 72.5%、“思わない” 26.1%となっており、“思う” が46.4 ポイント高くなっています。「65歳～74歳」は、“思う” 72.5%、“思わない” 22.9%となっており、“思う” が49.6 ポイント高くなっています。「75歳以上」は、“思う” 63.5%、“思わない” 18.9%となっており、“思う” が44.6 ポイント高くなっています。

「そう思う」は、「40歳未満」（36.6%）で最も高く、最も低い「40歳～64歳」（18.3%）より 18.3 ポイント高くなっています。



【17 住まいを必要とする人への支援に関すること】

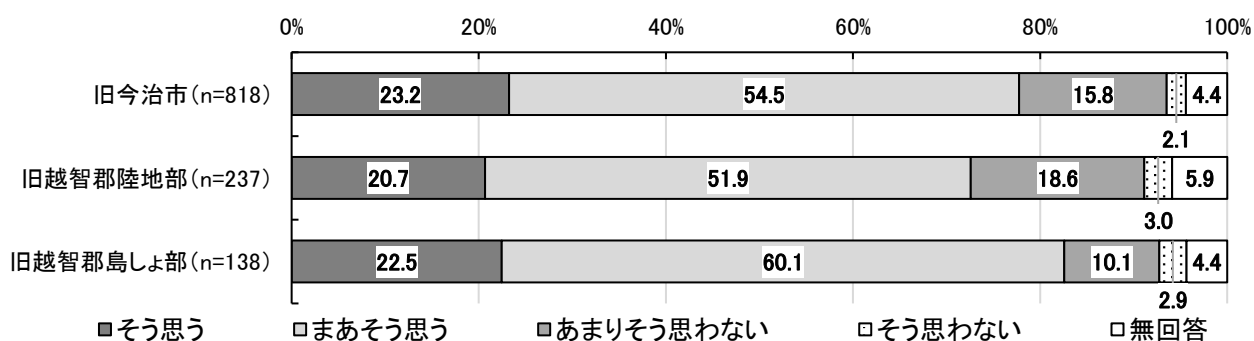
住まいを必要とする人への支援に関することが重要であるかを聞いたところ、“思う”77.3%（「そう思う」22.9%、「まあそう思う」54.4%の合計（以下同じ）），“思わない”18.0%（「あまりそう思わない」15.6%、「そう思わない」2.4%の合計（以下同じ））となり、“思う”が“思わない”より59.3ポイント高くなっています。



【地区】

地区別にみると、「旧今治市」は、“思う”77.7%、“思わない”17.9%となっており、“思う”が59.8ポイント高くなっています。「旧越智郡陸地部」は、“思う”72.6%、“思わない”21.6%となっており、“思う”が51.0ポイント高くなっています。「旧越智郡島しょ部」は、“思う”82.6%、“思わない”13.0%となっており、“思う”が69.6ポイント高くなっています。

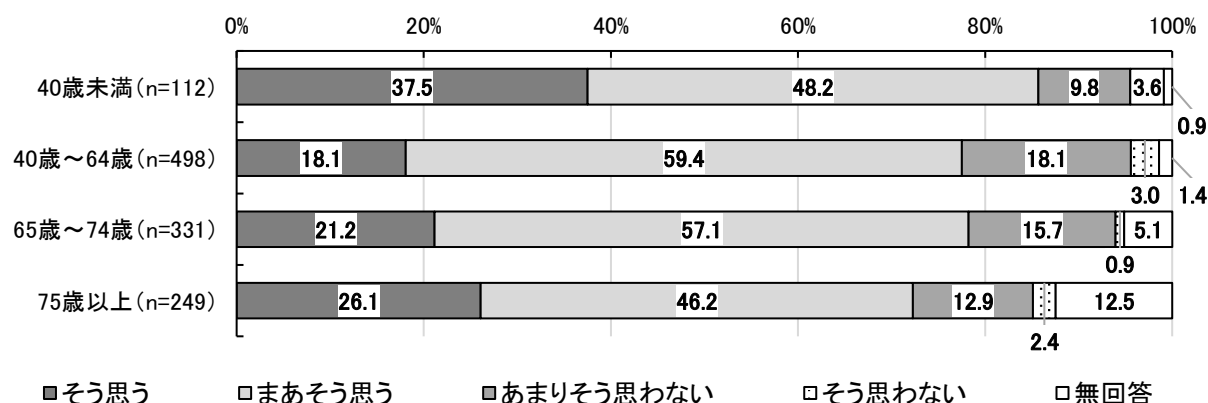
「そう思う」は、「旧今治市」（23.2%）で最も高くなっていますが、大きな差はありません。



【年齢】

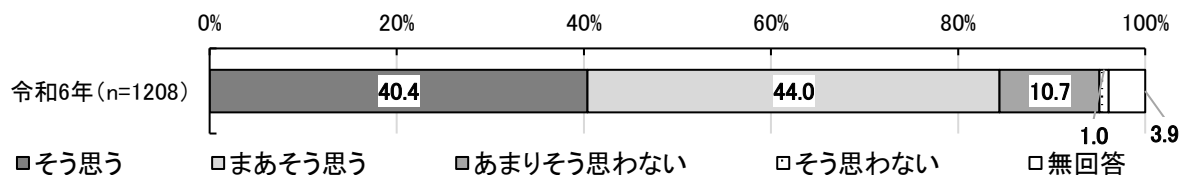
年齢別にみると、「40歳未満」は、“思う”85.7%、“思わない”13.4%となっており、“思う”が72.3ポイント高くなっています。「40歳～64歳」は、“思う”77.5%、“思わない”21.1%となっており、“思う”が56.4ポイント高くなっています。「65歳～74歳」は、“思う”78.3%、“思わない”16.6%となっており、“思う”が61.7ポイント高くなっています。「75歳以上」は、“思う”72.3%、“思わない”15.3%となっており、“思う”が57.0ポイント高くなっています。

「そう思う」は、「40歳未満」（37.5%）で最も高く、最も低い「40歳～64歳」（18.1%）より19.4ポイント高くなっています。



【18 空き家の利活用に関すること】

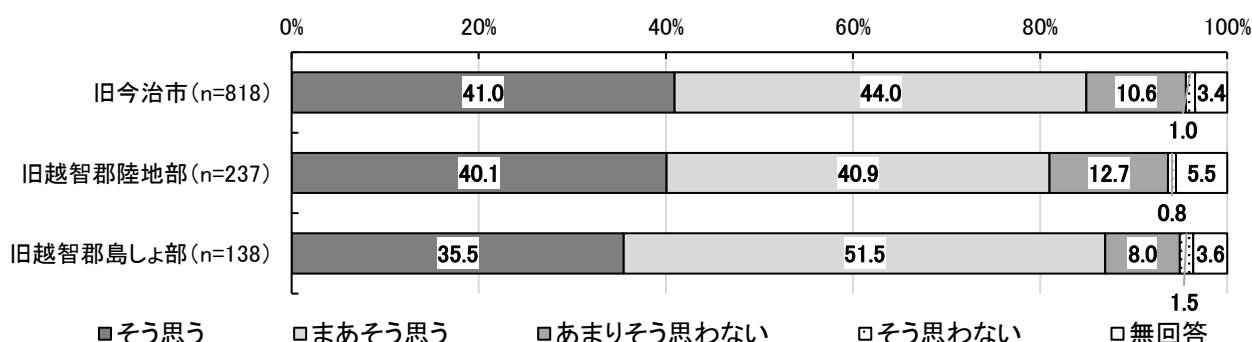
空き家の利活用に関することが重要であるかを聞いたところ、“思う” 84.4%（「そう思う」 40.4%、「まあそう思う」 44.0%の合計（以下同じ）），“思わない” 11.7%（「あまりそう思わない」 10.7%、「そう思わない」 1.0%の合計（以下同じ））となり、“思う” が“思わない” より 72.7 ポイント高くなっています。



【地区】

地区別にみると、「旧今治市」は、“思う” 85.0%、“思わない” 11.6%となっており、“思う” が73.4 ポイント高くなっています。「旧越智郡陸地部」は、“思う” 81.0%、“思わない” 13.5%となっており、“思う” が67.5 ポイント高くなっています。「旧越智郡島しょ部」は、“思う” 87.0%、“思わない” 9.5%となっており、“思う” が77.5 ポイント高くなっています。

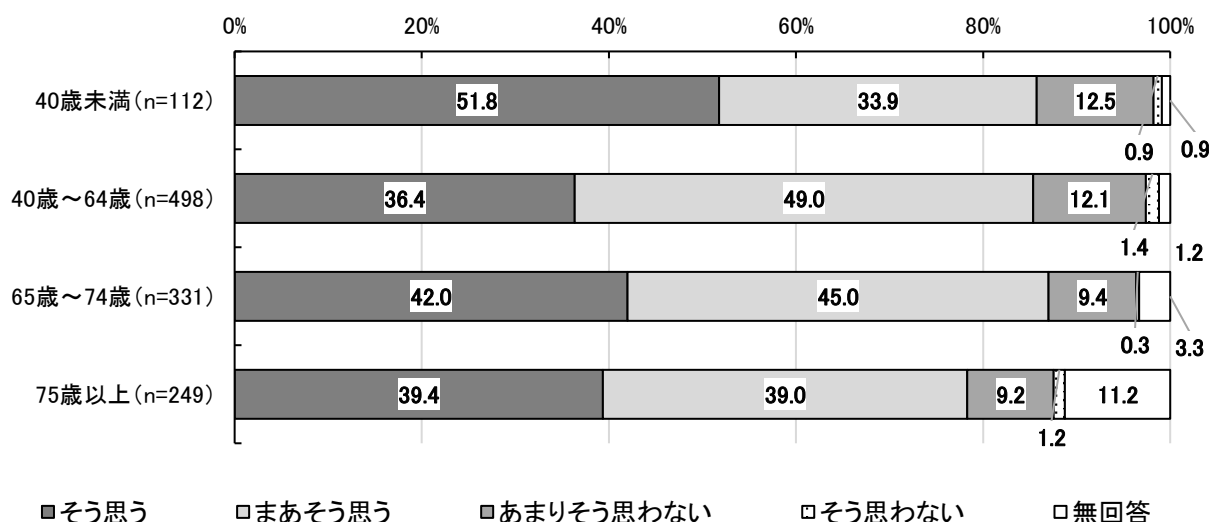
「そう思う」は、「旧今治市」(41.0%)で最も高く、最も低い「旧越智郡島しょ部」(35.5%)より 5.5 ポイント高くなっています。



【年齢】

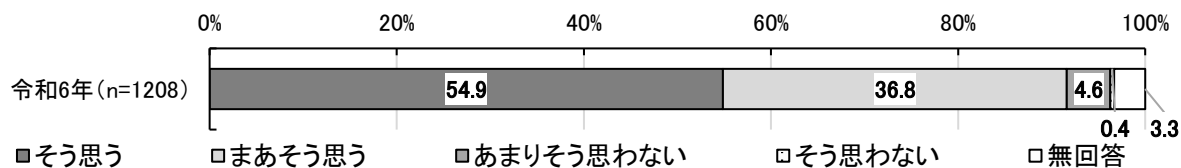
年齢別にみると、「40歳未満」は、“思う” 85.7%、“思わない” 13.4%となっており、“思う” が72.3 ポイント高くなっています。「40歳～64歳」は、“思う” 85.4%、“思わない” 13.5%となっており、“思う” が71.9 ポイント高くなっています。「65歳～74歳」は、“思う” 87.0%、“思わない” 9.7%となっており、“思う” が77.3 ポイント高くなっています。「75歳以上」は、“思う” 78.4%、“思わない” 10.4%となっており、“思う” が68.0 ポイント高くなっています。

「そう思う」は、「40歳未満」(51.8%)で最も高く、最も低い「40歳～64歳」(36.4%)より 15.4 ポイント高くなっています。



【19 交通弱者の移動手段の確保】

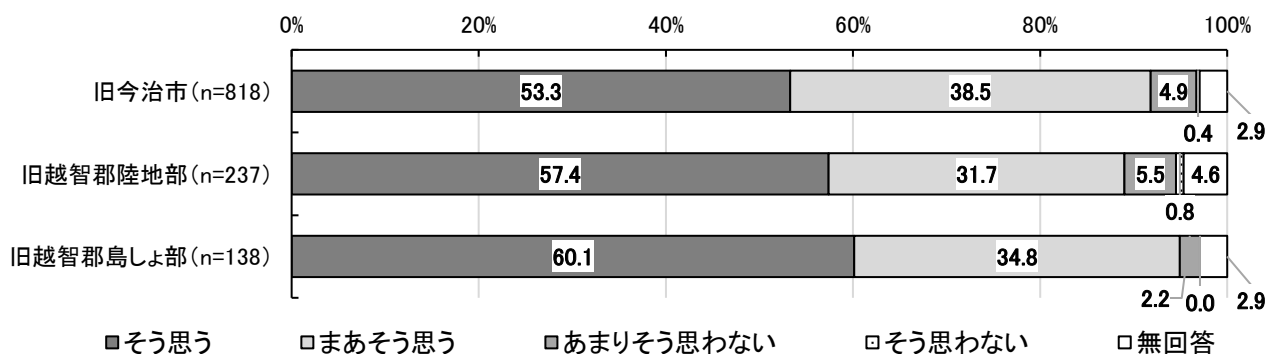
交通弱者の移動手段の確保が重要であるかを聞いたところ、“思う” 91.7%（「そう思う」 54.9%、「まあそう思う」 36.8%の合計（以下同じ）），“思わない” 5.0%（「あまりそう思わない」 4.6%、「そう思わない」 0.4%の合計（以下同じ））となり、“思う” が“思わない” より 86.7 ポイント高くなっています。



【地区】

地区別にみると、「旧今治市」は、“思う” 91.8%、“思わない” 5.3%となっており、“思う” が86.5 ポイント高くなっています。「旧越智郡陸地部」は、“思う” 89.1%、“思わない” 6.3%となっており、“思う” が82.8 ポイント高くなっています。「旧越智郡島しょ部」は、“思う” 94.9%、“思わない” 2.2%となっており、“思う” が92.7 ポイント高くなっています。

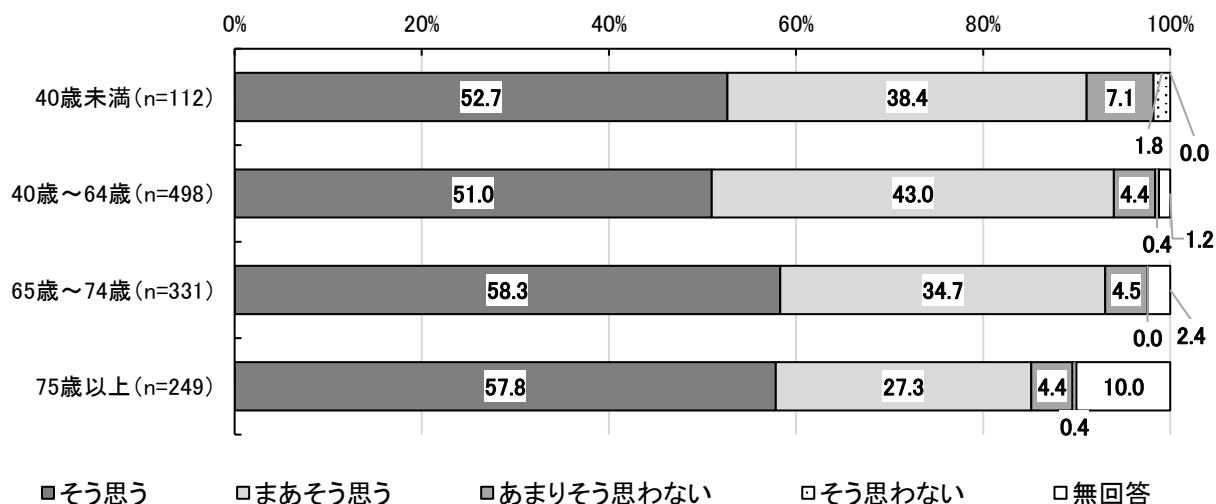
「そう思う」は、「旧越智郡島しょ部」(60.1%)で最も高く、最も低い「旧今治市」(53.3%)より 6.8 ポイント高くなっています。



【年齢】

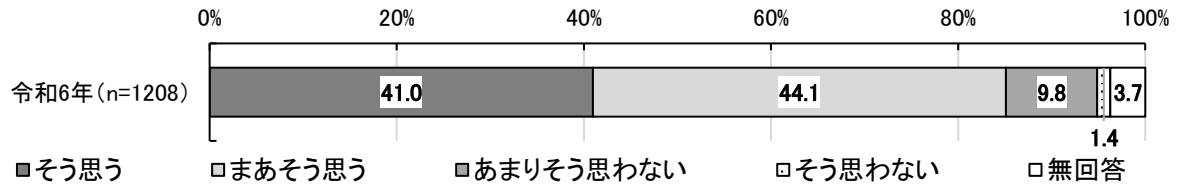
年齢別にみると、「40歳未満」は、“思う” 91.1%、“思わない” 8.9%となっており、“思う” が82.2 ポイント高くなっています。「40歳～64歳」は、“思う” 94.0%、“思わない” 4.6%となっており、“思う” が89.4 ポイント高くなっています。「65歳～74歳」は、“思う” 93.0%、“思わない” 4.5%となっており、“思う” が88.5 ポイント高くなっています。「75歳以上」は、“思う” 85.1%、“思わない” 4.8%となっており、“思う” が80.3 ポイント高くなっています。

「そう思う」は、「65歳～74歳」(58.3%)で最も高く、最も低い「40歳～64歳」(51.0%)より 7.3 ポイント高くなっています。



【20 地域活動の担い手不足】

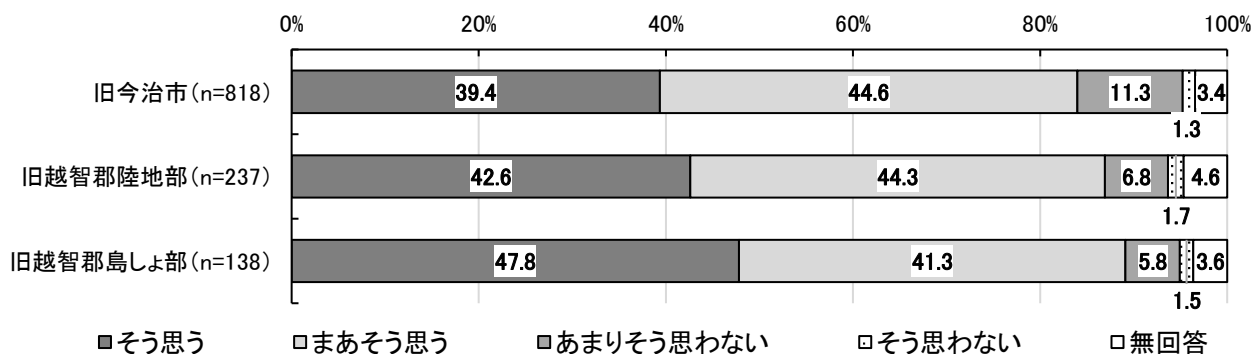
地域活動の担い手不足が重要であるかを聞いたところ、「思う」85.1%（「そう思う」41.0%、「まあそう思う」44.1%の合計（以下同じ））、「思わない」11.2%（「あまりそう思わない」9.8%、「そう思わない」1.4%の合計（以下同じ））となり、「思う」が「思わない」より73.9ポイント高くなっています。



【地区】

地区別にみると、「旧今治市」は、「思う」84.0%、「思わない」12.6%となっており、「思う」が71.4ポイント高くなっています。「旧越智郡陸地部」は、「思う」86.9%、「思わない」8.5%となっており、「思う」が78.4ポイント高くなっています。「旧越智郡島しょ部」は、「思う」89.1%、「思わない」7.3%となっており、「思う」が81.8ポイント高くなっています。

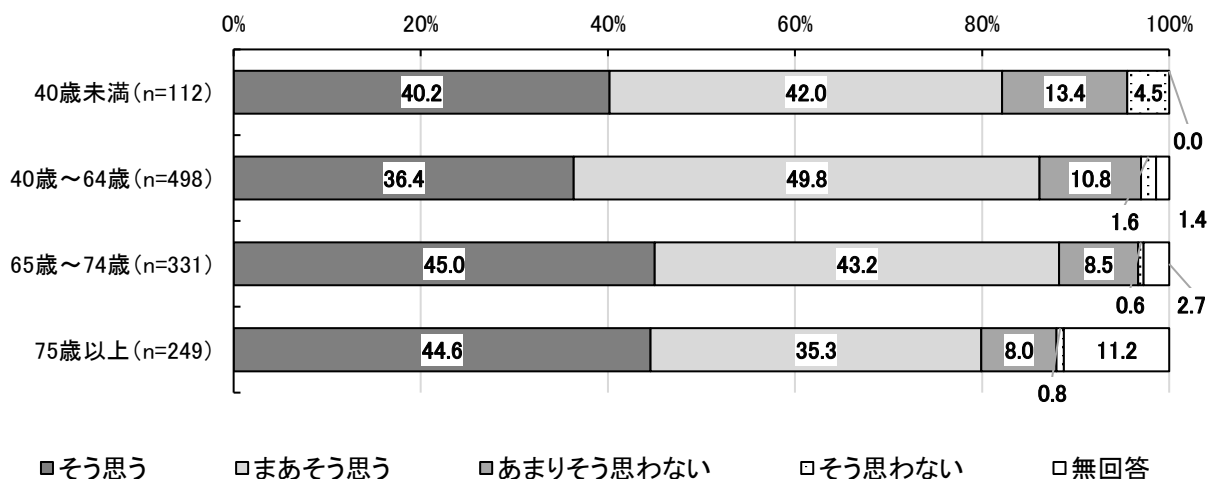
「そう思う」は、「旧越智郡島しょ部」(47.8%)で最も高く、最も低い「旧今治市」(39.4%)より8.4ポイント高くなっています。



【年齢】

年齢別にみると、「40歳未満」は、「思う」82.2%、「思わない」17.9%となっており、「思う」が64.3ポイント高くなっています。「40歳～64歳」は、「思う」86.2%、「思わない」12.4%となっており、「思う」が73.8ポイント高くなっています。「65歳～74歳」は、「思う」88.2%、「思わない」9.1%となっており、「思う」が79.1ポイント高くなっています。「75歳以上」は、「思う」79.9%、「思わない」8.8%となっており、「思う」が71.1ポイント高くなっています。

「そう思う」は、「65歳～74歳」(45.0%)で最も高く、最も低い「40歳～64歳」(36.4%)より8.6ポイント高くなっています。

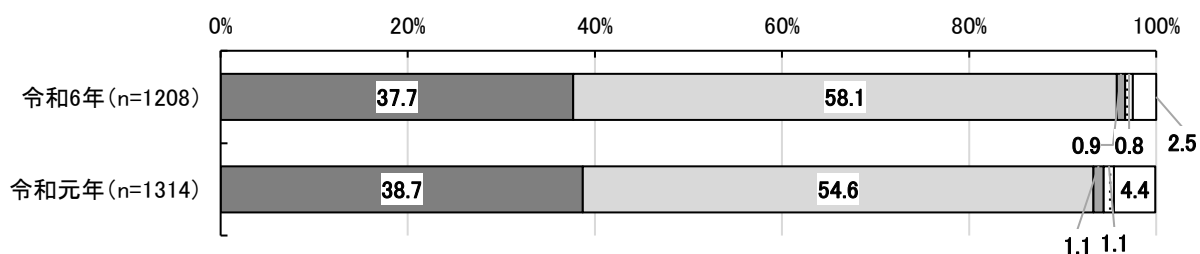


問 11 成年後見制度について知っていますか。

		(件)
1	知らない	455
2	知っているが、利用したことはない	702
3	制度を利用したことがある	11
4	その他	10
	無回答	30

成年後見制度を知っているかどうかを聞いたところ、「知っている」が59.0%（「知っているが、利用したことはない」58.1%、「制度を利用したことがある」0.9%の合計（以下同じ））、「知らない」が37.7%、「その他」が0.8%となっています。

前回調査と比較すると、「知っている」が3.3ポイント高くなっていますが、大きな差はありません。

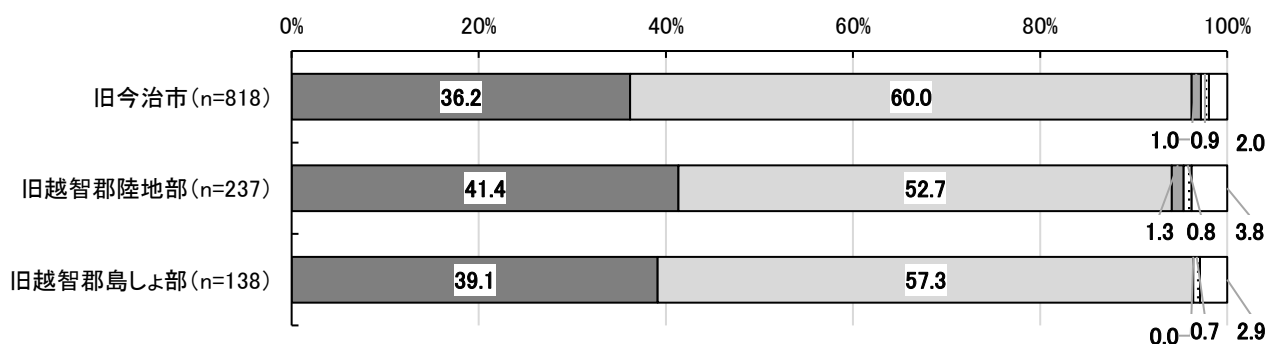


■知らない □知っているが、利用したことはない □制度を利用したことがある □その他 □無回答

【地区】

地区別にみると、「旧今治市」は、「知っている」が61.0%、「知らない」が36.2%となっており、「知っている」が24.8ポイント高くなっています。「旧越智郡陸地部」は、「知っている」が54.0%、「知らない」が36.4%となっており、「知っている」が12.6ポイント高くなっています。「旧越智郡島しょ部」は、「知っている」が57.3%、「知らない」が39.1%となっており、「知っている」が18.2ポイント高くなっています。

「知っている」は「旧今治市」(61.0%)で最も高く、最も低い「旧越智郡陸地部」(54.0%)より7.0ポイント高くなっています。

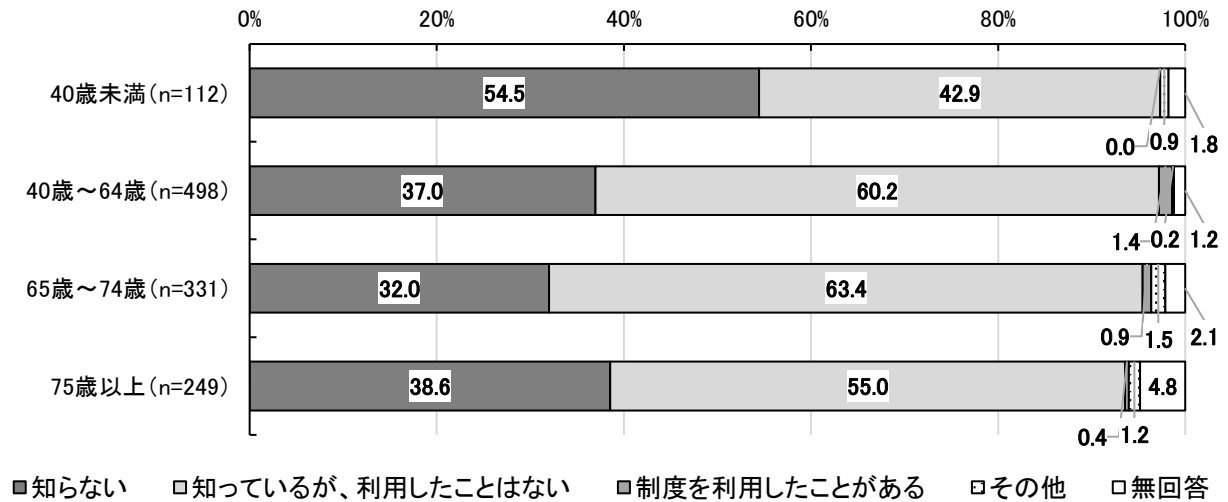


■知らない □知っているが、利用したことはない □制度を利用したことがある □その他 □無回答

【年齢】

年齢別にみると、「40歳未満」は、「知っている」が42.9%、「知らない」が54.5%となっており、「知らない」が11.6ポイント高くなっています。「40歳～64歳」は、「知っている」が61.6%、「知らない」が37.0%となっており、「知っている」が24.6ポイント高くなっています。「65歳～74歳」は、「知っている」が64.3%、「知らない」が32.0%となっており、「知っている」が32.3ポイント高くなっています。「75歳以上」は、「知っている」が55.4%、「知らない」が38.6%となっており、「知っている」が16.8ポイント高くなっています。

“知っている”は「65歳～74歳」（64.3%）で最も高く、最も低い「40歳未満」（42.9%）より21.4ポイント高くなっています。

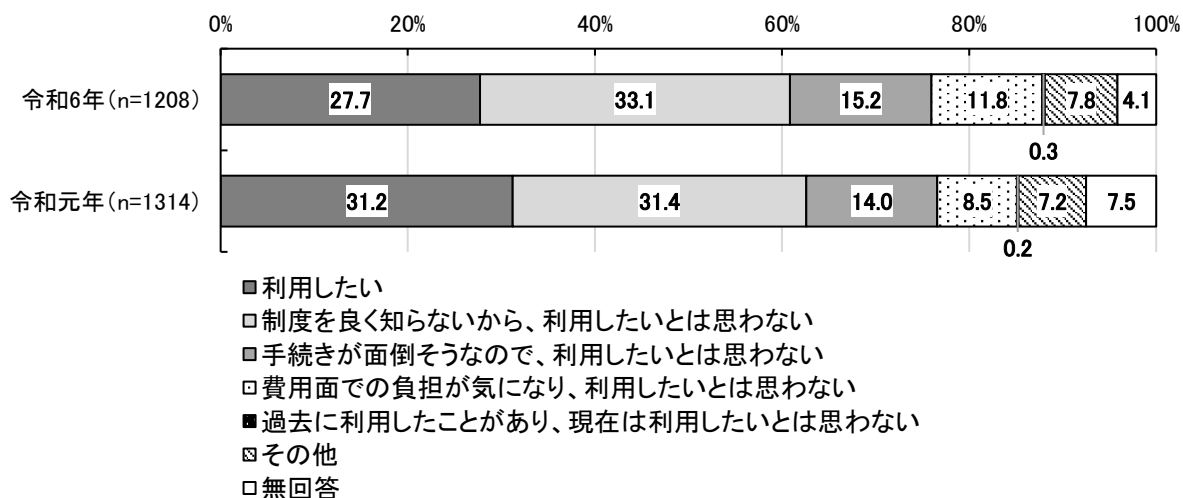


問 12 もし、あなたは支援が必要になった場合、成年後見制度を利用したい
 と思いますか。

			(件)
1	利用したい		335
2	制度を良く知らないから、利用したいとは思わない		400
3	手続きが面倒そうなので、利用したいとは思わない		183
4	費用面での負担が気になり、利用したいとは思わない		143
5	過去に利用したことがあり、現在は利用したいとは思わない		3
6	その他		94
	無回答		50

成年後見制度への利用希望を聞いたところ、「利用したい」が27.7%、「利用したいとは思わない」が60.4%
 (「制度を良く知らないから、利用したいとは思わない」33.1%、「手続きが面倒そうなので、利用したいとは思
 わない」15.2%、「費用面での負担が気になり、利用したいとは思わない」11.8%、「過去に利用したこと
 があり、現在は利用したいとは思わない」0.3%の合計(以下同じ))、「その他」が7.8%となっています。

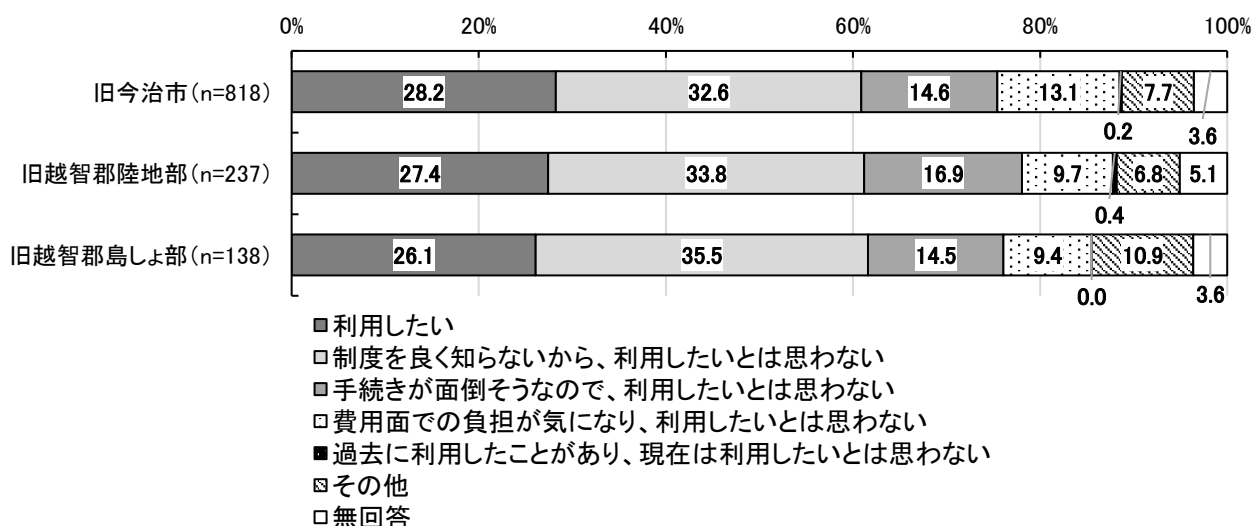
前回調査と比較すると、「利用したい」が3.5ポイント低く、「利用したいとは思わない」が6.3ポイント高
 くなっています。



【地区】

地区別にみると、「旧今治市」は、「利用したい」が28.2%、「利用したいとは思わない」が60.5%となっており、「利用したいとは思わない」が32.3ポイント高くなっています。「旧越智郡陸地部」は、「利用したい」が27.4%、「利用したいとは思わない」が60.8%となっており、「利用したいとは思わない」が33.4ポイント高くなっています。「旧越智郡島しょ部」は、「利用したい」が26.1%、「利用したいとは思わない」が59.4%となっており、「利用したいとは思わない」が33.3ポイント高くなっています。

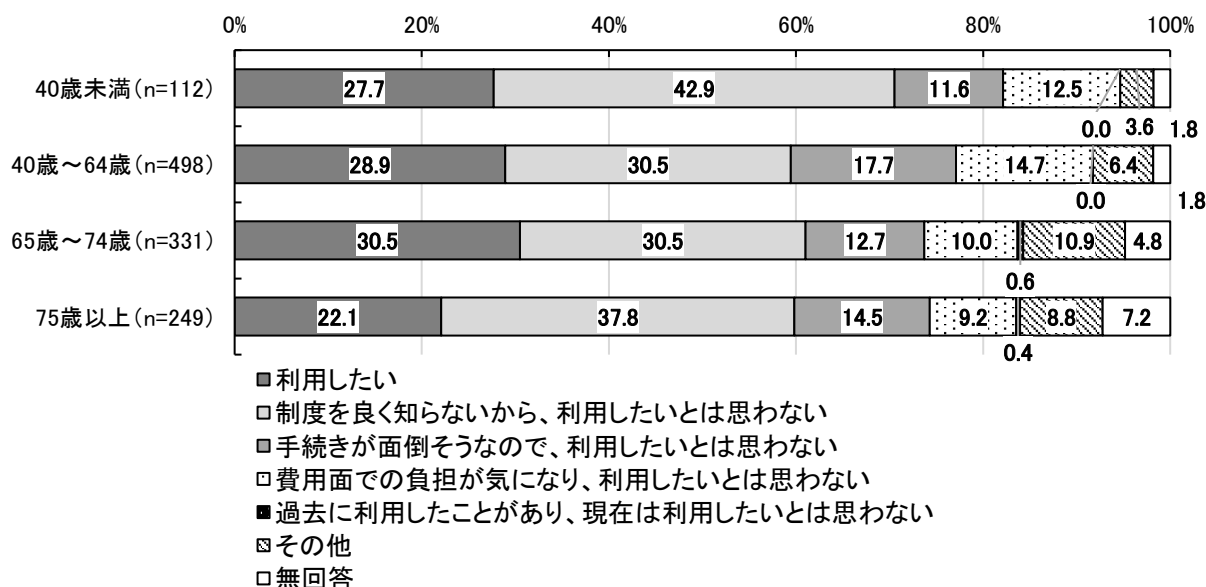
「利用したい」は「旧今治市」、「利用したいとは思わない」は「旧越智郡陸地部」でそれぞれ最も高くなっていますが、差は小さく、同じ傾向といえます。



【年齢】

年齢別にみると、「40歳未満」は、「利用したい」が27.7%、「利用したいとは思わない」が67.0%となっており、「利用したいとは思わない」が39.3ポイント高くなっています。「40歳～64歳」は、「利用したい」が28.9%、「利用したいとは思わない」が62.9%となっており、「利用したいとは思わない」が34.0ポイント高くなっています。「65歳～74歳」は、「利用したい」が30.5%、「利用したいとは思わない」が53.8%となっており、「利用したいとは思わない」が23.3ポイント高くなっています。「75歳以上」は、「利用したい」が22.1%、「利用したいとは思わない」が61.9%となっており、「利用したいとは思わない」が39.8ポイント高くなっています。

「利用したい」は、「65歳～74歳」(30.5%)で最も高く、最も低い「75歳以上」(22.1%)より8.4ポイント高くなっています。一方「利用したいとは思わない」は、「40歳未満」(67.0%)が最も高く、最も低い「65歳～74歳」(53.8%)より13.2ポイント高くなっています。

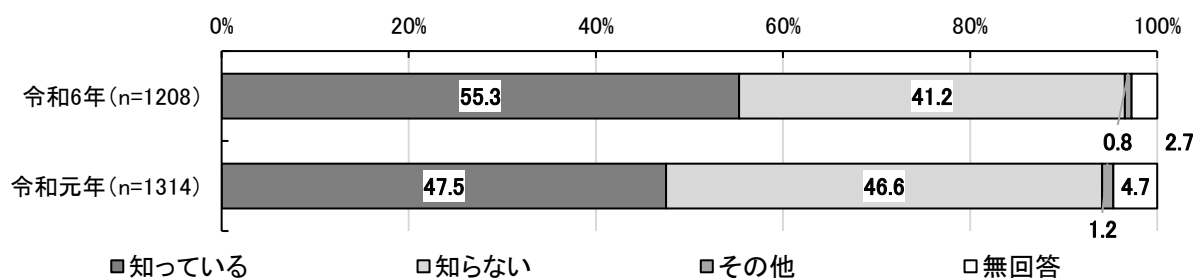


問 13 国においては、刑務所などを出所した人の再犯防止に向け、社会復帰支援の推進に取り組んでいることについて知っていますか。

		(件)
1	知っている	668
2	知らない	498
3	その他	9
	無回答	38

社会復帰支援の推進への認知度を聞いたところ、「知っている」が55.3%、「知らない」が41.2%、「その他」が0.8%となっています。

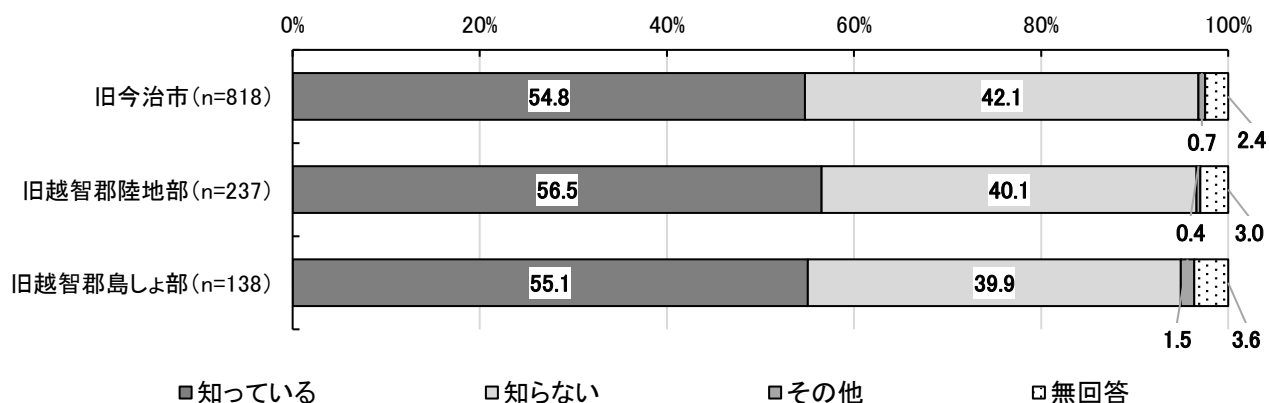
前回調査と比較すると、「知っている」が7.8ポイント高くなっています。



【地区】

地区別にみると、すべての地区で「知らない」よりも「知っている」の方が高く、「知っている」の割合は50%以上となっています。

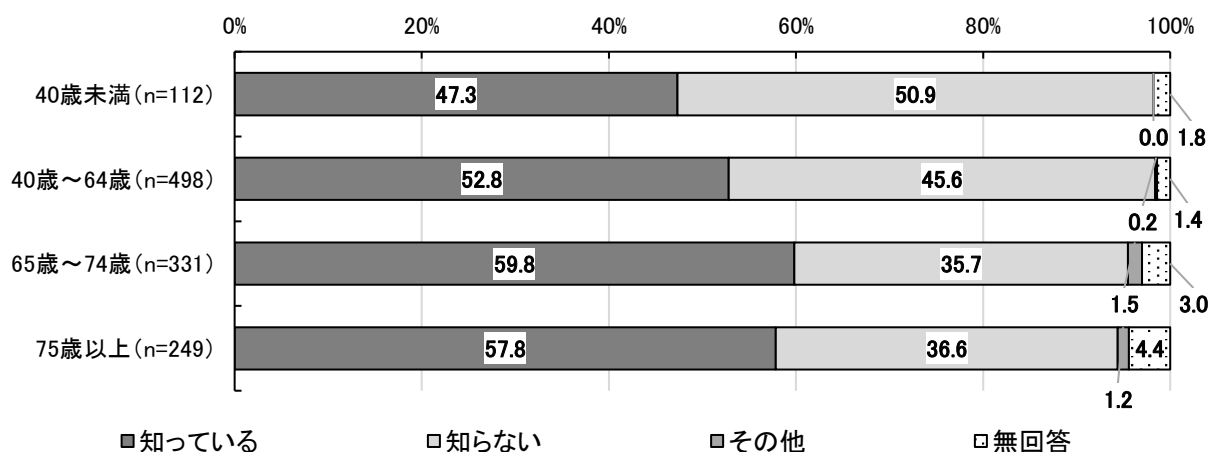
「知っている」は、「旧越智郡陸地部」(56.5%)で最も高くなっていますが、大きな差はなく、同じ傾向といえます。



【年齢】

年齢別でみると、「40 歳未満」では「知らない」(50.9%)が高く、その他の年齢層では「知っている」の方が高く、50%以上となっています。

「知っている」は、「65 歳～74 歳」(59.8%)で最も高く、最も低い「40 歳未満」(47.3%)より 12.5 ポイント高くなっています。一方「知らない」は、「40 歳未満」(50.9%)で最も高く、最も低い「65 歳～74 歳」(35.7%)より 15.2 ポイント高くなっています。

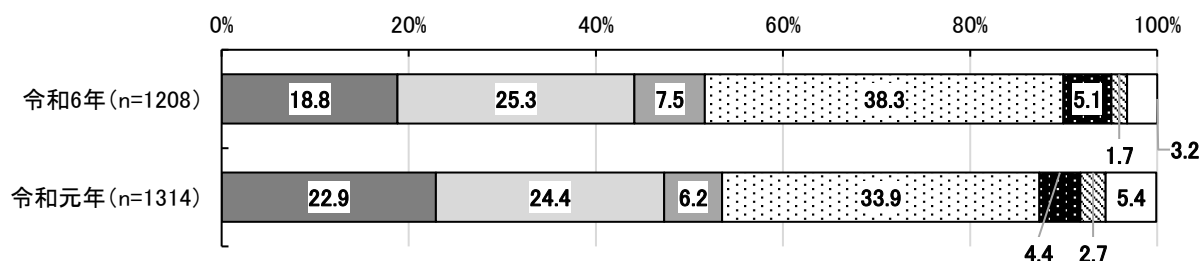


問14 あなたは、刑務所などを出所した人に対する社会復帰支援として、どのように取り組む必要があると思いますか。

(件)		
1	市民の理解と協力を得ながら、社会全体として積極的に支援すべきだ	227
2	行政や関係機関が責任をもって積極的に支援すべきだ	306
3	少年や認知症・障がいのある出所者については積極的に支援すべきだ	91
4	地域の安全・安心のためには、ある程度支援することは必要だ	463
5	特別な支援や配慮は必要ない	62
6	その他	20
	無回答	39

刑務所などを出所した人に対する社会復帰支援として、どのように取り組む必要があるかを聞いたところ、「市民の理解と協力を得ながら、社会全体として積極的に支援すべきだ」が18.8%、「行政や関係機関が責任をもって積極的に支援すべきだ」が25.3%、「少年や認知症・障がいのある出所者については積極的に支援すべきだ」が7.5%、「地域の安全・安心のためには、ある程度支援することは必要だ」が38.3%、「特別な支援や配慮は必要ない」が5.1%となっています。

前回調査と比較すると、「地域の安全・安心のためには、ある程度支援することは必要だ」が4.4ポイント高くなっています。

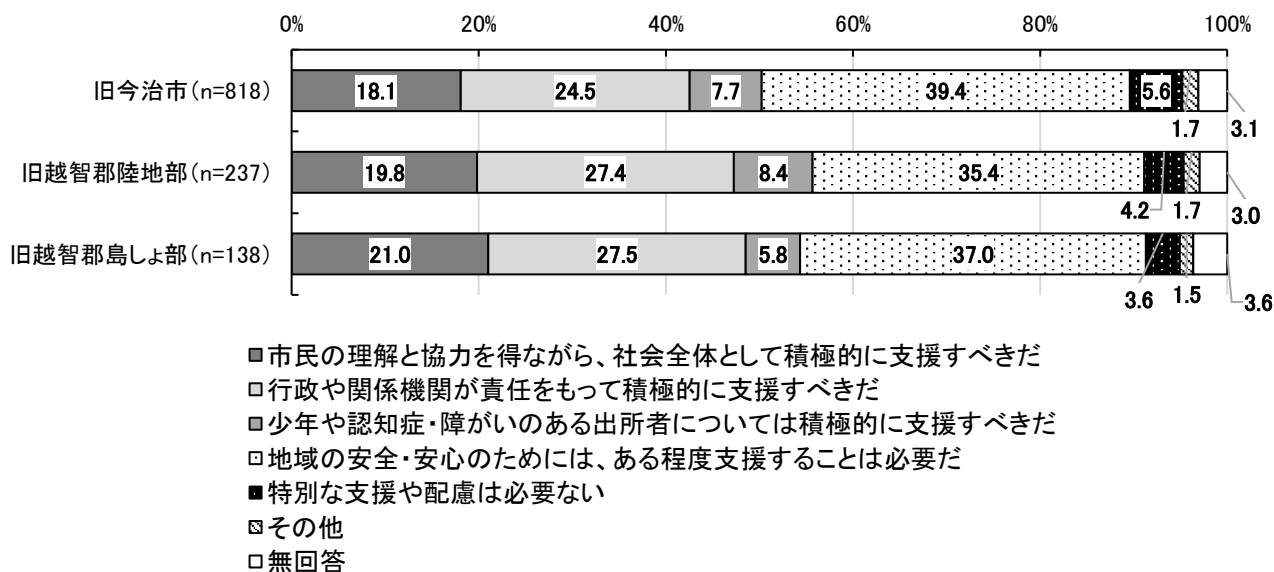


- 市民の理解と協力を得ながら、社会全体として積極的に支援すべきだ
- 行政や関係機関が責任をもって積極的に支援すべきだ
- 少年や認知症・障がいのある出所者については積極的に支援すべきだ
- 地域の安全・安心のためには、ある程度支援することは必要だ
- 特別な支援や配慮は必要ない
- その他
- 無回答

【地区】

地区別にみると、すべての地区で「地域の安全・安心のためには、ある程度支援することは必要だ」と回答した者が最も高く、35%以上となっています。次いで、「行政や関係機関が責任をもって積極的に支援すべきだ」が高く、「旧今治市」が24.5%、「旧越智郡陸地部」が27.4%、「旧越智郡島しょ部」が27.5%となっています。

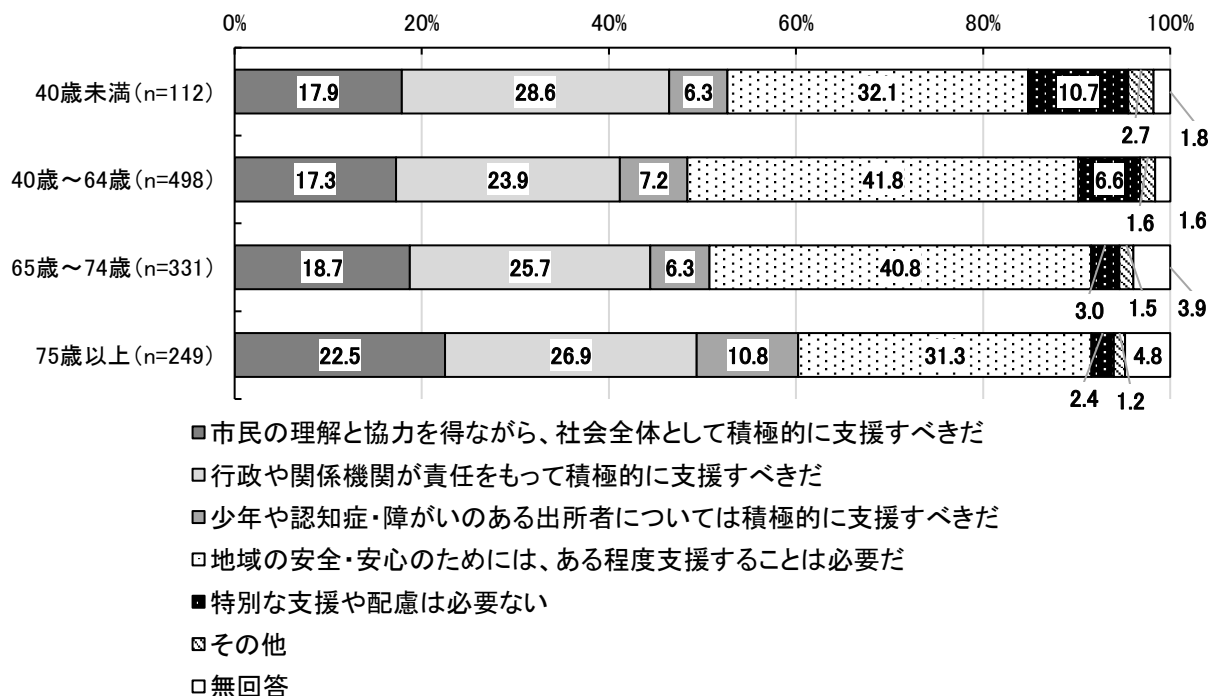
「地域の安全・安心のためには、ある程度支援することは必要だ」は「旧今治市」（39.4%）で最も高く、最も低い「旧越智郡陸地部」（35.4%）より4.0ポイント高くなっています。



【年齢】

年齢別でみると、すべての年齢層で、「地域の安全・安心のためには、ある程度支援することは必要だ」と回答した者が最も高く、「40歳未満」と「75歳以上」は30%以上、「40歳～64歳」と「65歳～74歳」は40%以上となっています。次いで「行政や関係機関が責任をもって積極的に支援すべきだ」、「市民の理解と協力を得ながら、社会全体として積極的に支援すべきだ」の順に高くなっています。

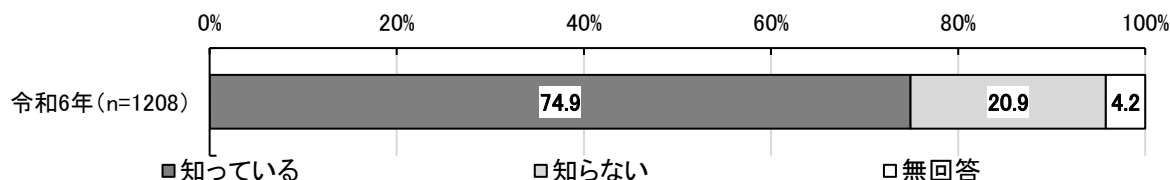
「特別な支援や配慮は必要ない」は、40歳未満（10.7%）で最も高く、最も低い75歳以上（2.4%）より8.3ポイント高くなっています。



問 15 あなたは、災害時の避難場所・避難所を知っていますか。

(件)		
1	知っている	905
2	知らない	252
	無回答	51

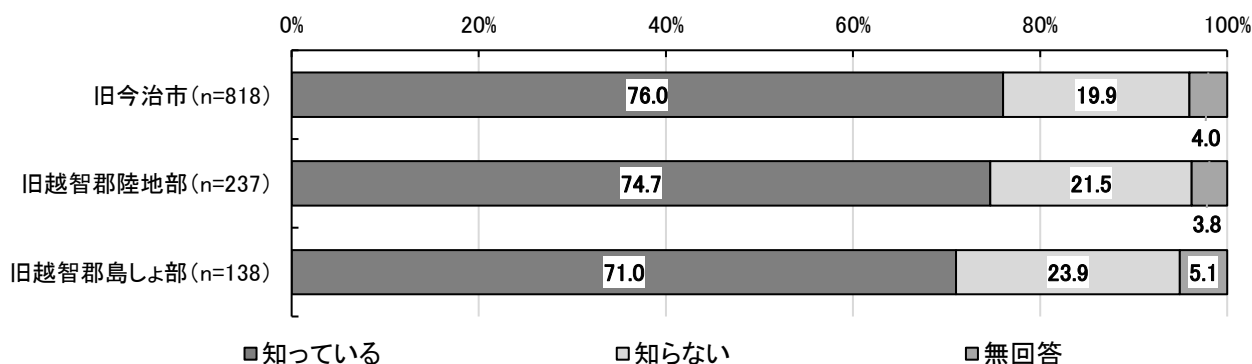
災害時の避難場所・避難所を知っているかを聞いたところ、「知っている」が74.9%、「知らない」が20.9%となっており、「知っている」の方が「知らない」より54.0ポイント高くなっています。



【地区】

地区別にみると、すべての地区で「知っている」が最も高く、70%以上となっています。また、「知らない」はすべての地区で約20%となっています。

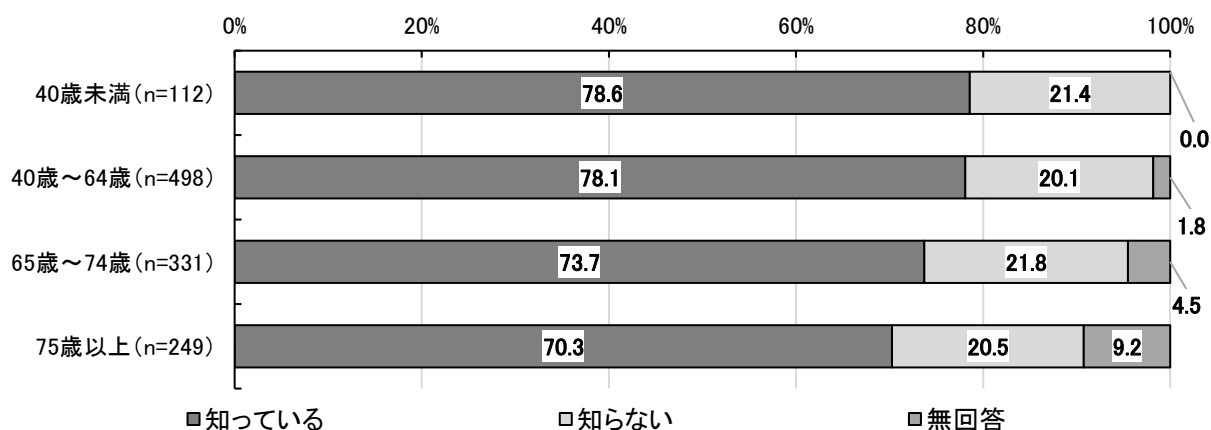
「知っている」は「旧今治市」(76.0%)で最も高く、最も低い「旧越智郡島しょ部」(71.0%)より5.0ポイント高くなっています。



【年齢】

年齢別でみると、すべての年齢層で「知っている」が最も高く、70%以上となっています。また、「知らない」はすべての地区で20%以上となっています。

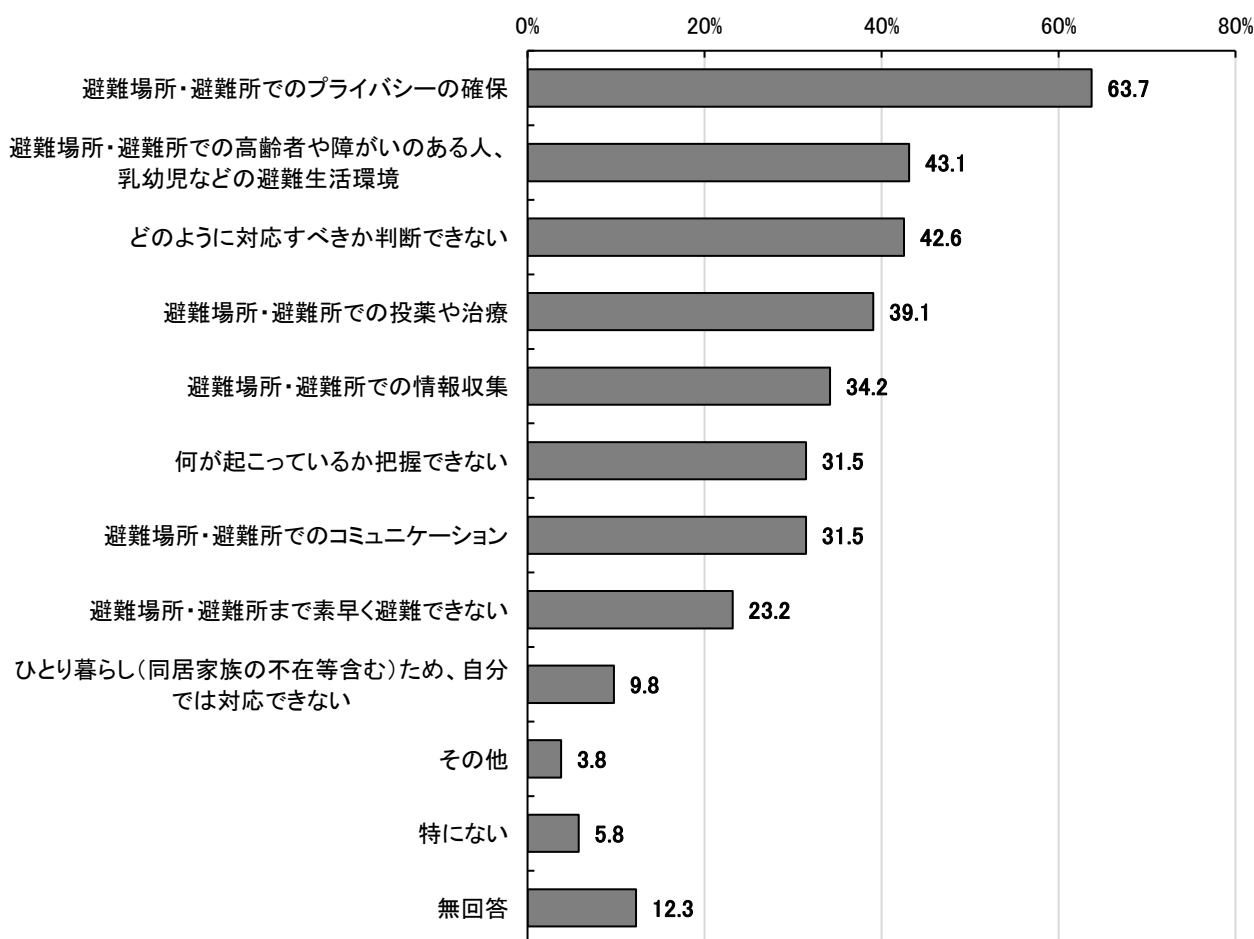
「知っている」は「40歳未満」(78.6%)で最も高く、最も低い「75歳以上」(70.3%)より8.3ポイント高くなっています。



問 16 あなたは、災害時による避難時、どのようなことに困ると思いますか。

(複数回答) (件)		
1	何が起きているか把握できない	380
2	どのように対応すべきか判断できない	514
3	ひとり暮らし(同居家族の不在等含む)ため、自分では対応できない	118
4	避難場所・避難所まで素早く避難できない	280
5	避難場所・避難所でのコミュニケーション	380
6	避難場所・避難所での情報収集	413
7	避難場所・避難所での投薬や治療	472
8	避難場所・避難所でのプライバシーの確保	770
9	避難場所・避難所での高齢者や障がいのある人、乳幼児などの避難生活環境	521
10	その他	46
11	特にな	70
	無回答	148

災害時による避難時、どのようなことに困ると思うかを聞いたところ、「避難場所・避難所でのプライバシーの確保」が 63.7%で最も高く、次いで「避難場所・避難所での高齢者や障がいのある人、乳幼児などの避難生活環境」43.1%、「どのように対応すべきか判断できない」42.6%、「避難場所・避難所での投薬や治療」39.1%、「避難場所・避難所での情報収集」34.2%となっています。



■ n=1208

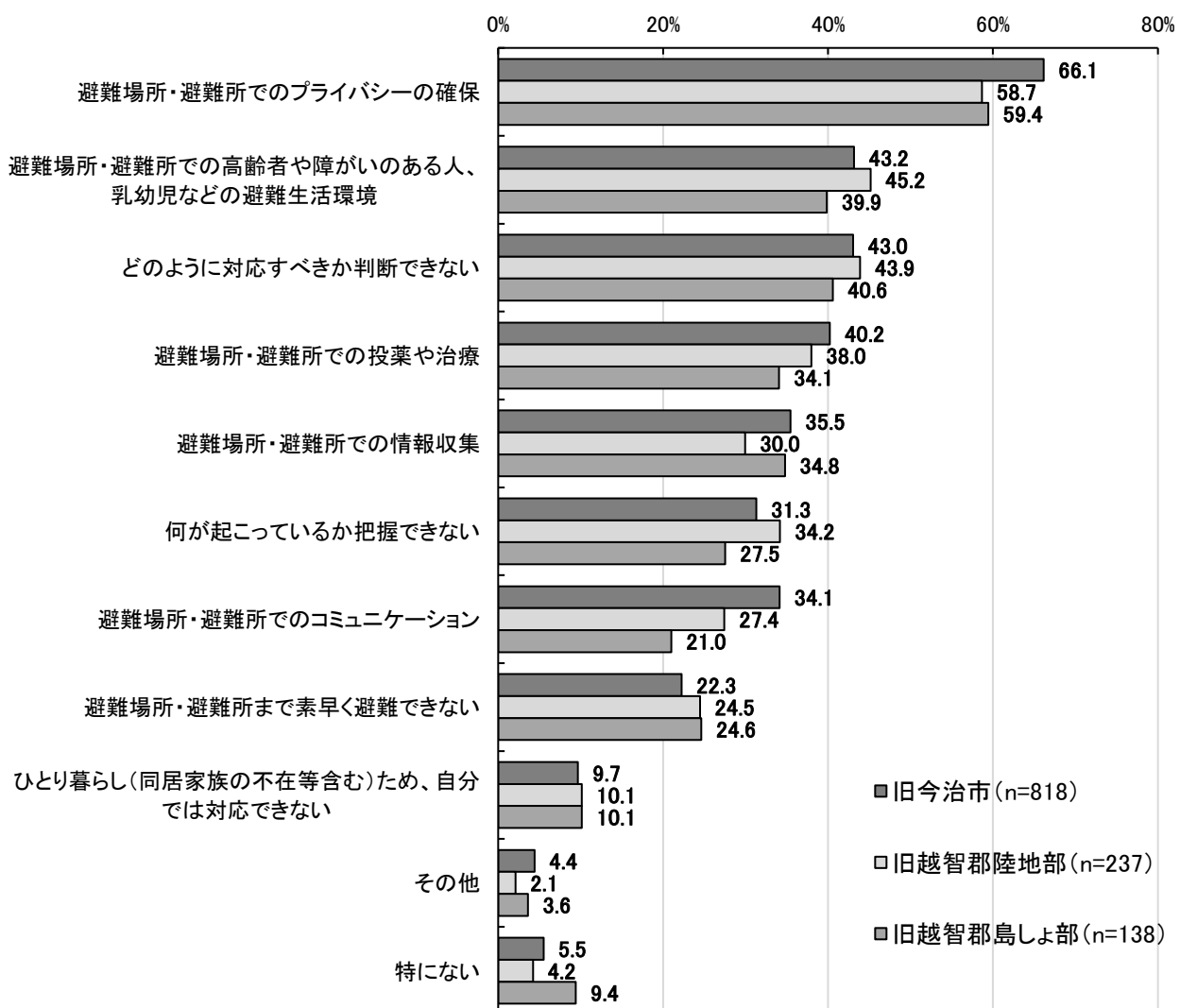
【地区】

地区別にみると、すべての地区で「避難場所・避難所でのプライバシーの確保」が最も高くなっており、回答率が最も高い「旧今治市」(66.1%)は最も低い「旧越智郡陸地部」(58.7%)より7.4ポイント高くなっています。

次いで「旧今治市」では、「避難場所・避難所での高齢者や障がいのある人、乳幼児などの避難生活環境」(43.2%)、「どのように対応すべきか判断できない」(43.0%)、「避難場所・避難所での投薬や治療」(40.2%)の順となっています。

「旧越智郡陸地部」では、「避難場所・避難所での高齢者や障がいのある人、乳幼児などの避難生活環境」(45.2%)、「どのように対応すべきか判断できない」(43.9%)、「避難場所・避難所での投薬や治療」(38.0%)の順となっています。

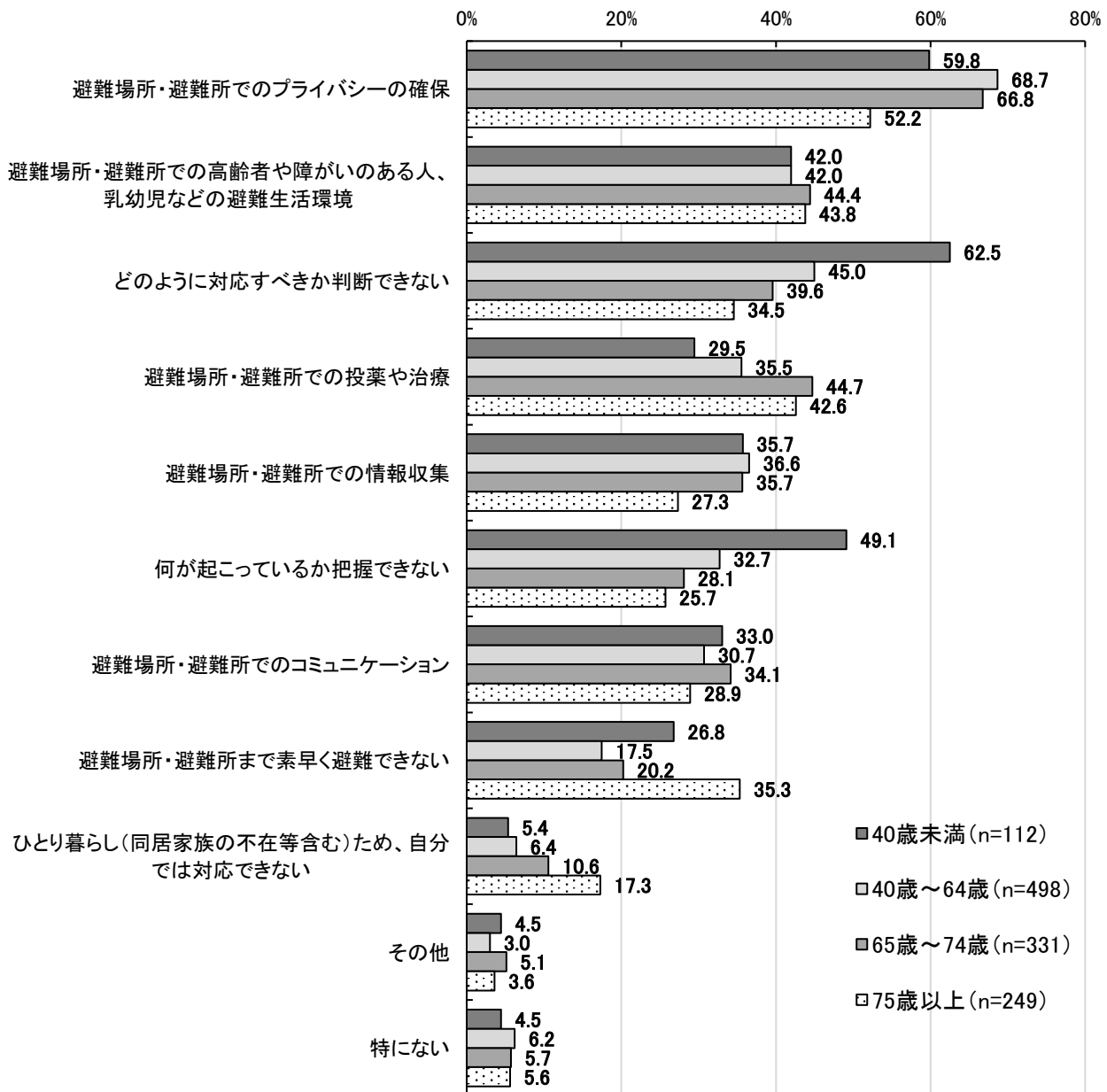
「旧越智郡島しょ部」では「どのように対応すべきか判断できない」(40.6%)、「避難場所・避難所での高齢者や障がいのある人、乳幼児などの避難生活環境」(39.9%)、「避難場所・避難所での情報収集」(34.8%)の順となっています。



【年齢】

年齢別でみると、「40歳未満」では「どのように対応すべきか判断できない」(62.5%)が最も高くなっており、その他の年齢層では「避難場所・避難所でのプライバシーの確保」が最も高く、「75歳以上」は52.2%、「40歳～64歳」と「65歳～74歳」は65%以上となっています。

「どのように対応すべきか判断できない」は、年齢が高いほど回答率が高い傾向がみられ、回答率が最も高い「40歳未満」(62.5%)は、最も低い「75歳以上」(34.5%)より28.0ポイント高くなっています。同様の傾向が「何が起きているか把握できない」にもみられ、最も高い「40歳未満」(49.1%)は、最も低い「75歳以上」(25.7%)より23.4ポイント高くなっています。



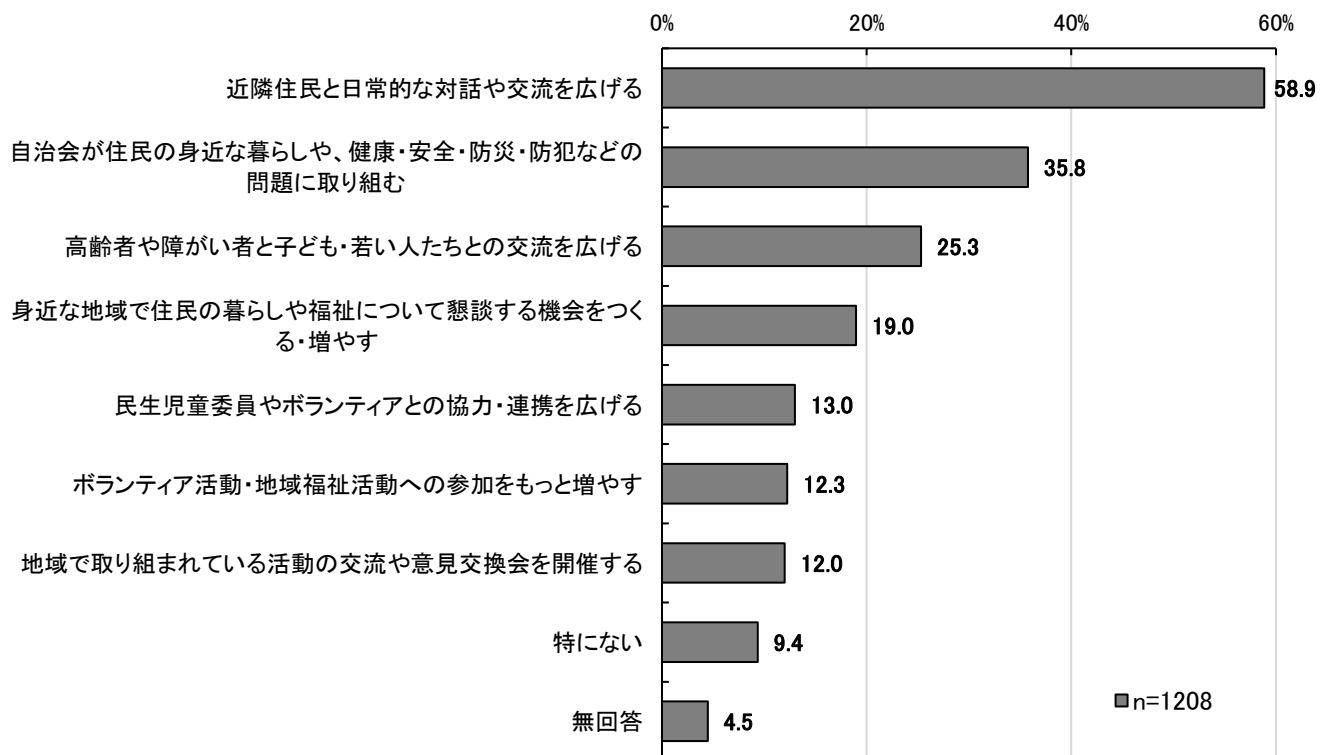
今治市の施策について

問 17 つながりと支え合いのある安心して暮らすことができる地域社会の実現を目指す上で、住民が取り組む必要があることは何だと思いませんか。

〈複数回答・3つまで〉(件)

1	近隣住民と日常的な対話や交流を広げる	711
2	高齢者や障がい者と子ども・若い人たちとの交流を広げる	306
3	自治会が住民の身近な暮らしや、健康・安全・防災・防犯などの問題に取り組む	432
4	身近な地域で住民の暮らしや福祉について懇談する機会をつくる・増やす	229
5	地域で取り組まれている活動の交流や意見交換会を開催する	145
6	民生児童委員やボランティアとの協力・連携を広げる	157
7	ボランティア活動・地域福祉活動への参加をもっと増やす	148
8	特にない	113
	無回答	54

つながりと支え合いのある地域社会の実現を目指す上で、住民が取り組む必要があることについて聞くと、「近隣住民と日常的な対話や交流を広げる」が58.9%と最も高く、次いで、「自治会が住民の身近な暮らしや、健康・安全・防災・防犯などの問題に取り組む」(35.8%)、「高齢者や障がい者と子ども・若い人たちとの交流を広げる」(25.3%)、「身近な地域で住民の暮らしや福祉について懇談する機会をつくる・増やす」(19.0%)の順となっています。



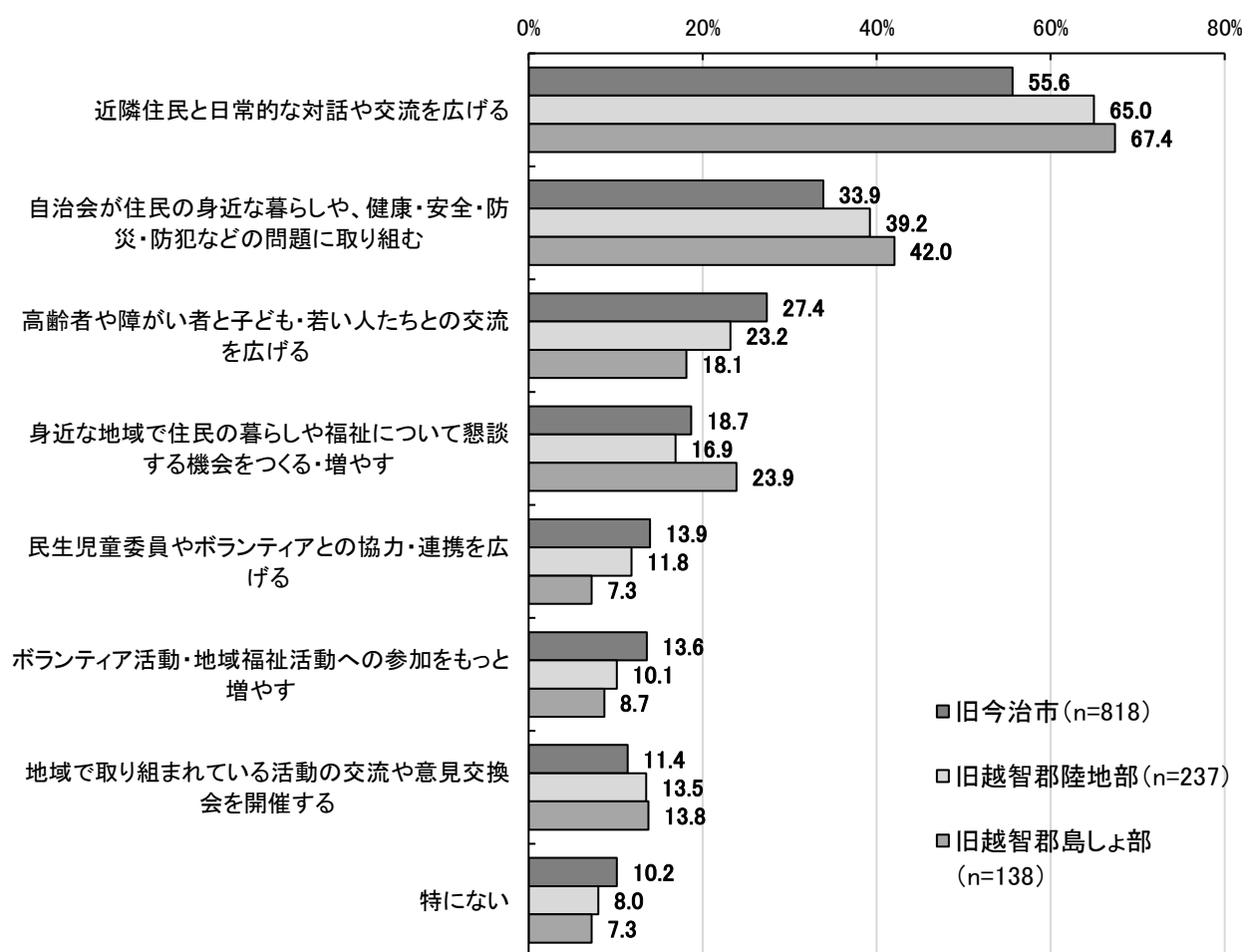
【地区】

地区別にみると、すべての地区で「近隣住民と日常的な対話や交流を広げる」が最も高く、回答率が最も高い「旧越智郡島しょ部」（67.4％）は最も低い「旧今治市」（55.6％）より11.8ポイント高くなっています。

次いで「旧今治市」では、「自治会が住民の身近な暮らしや、健康・安全・防災・防犯などの問題に取り組む」（33.9％）、「高齢者や障がい者と子ども・若い人たちとの交流を広げる」（27.4％）、「身近な地域で住民の暮らしや福祉について懇談する機会をつくる・増やす」（18.7％）の順となっています。

「旧越智郡陸地部」では、「自治会が住民の身近な暮らしや、健康・安全・防災・防犯などの問題に取り組む」（39.2％）、「高齢者や障がい者と子ども・若い人たちとの交流を広げる」（23.2％）、「身近な地域で住民の暮らしや福祉について懇談する機会をつくる・増やす」（16.9％）の順となっています。

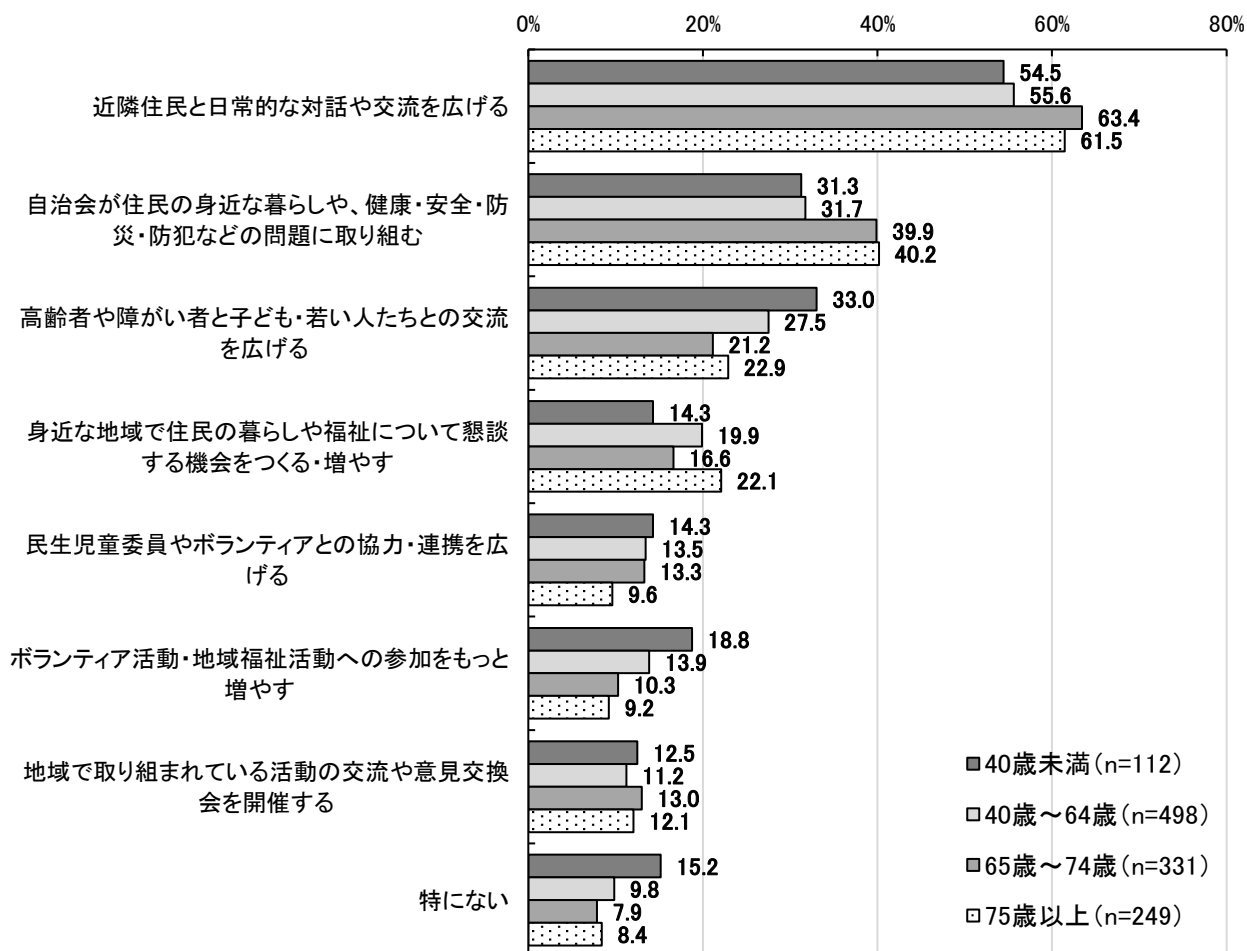
「旧越智郡島しょ部」では「自治会が住民の身近な暮らしや、健康・安全・防災・防犯などの問題に取り組む」（42.0％）、「身近な地域で住民の暮らしや福祉について懇談する機会をつくる・増やす」（23.9％）、「高齢者や障がい者と子ども・若い人たちとの交流を広げる」（18.1％）の順となっています。



【年齢】

年齢別にみると、すべての年齢層で「近隣住民と日常的な対話や交流を広げる」が最も高く、「40歳未満」と「40歳～64歳」では約55%、「65歳～74歳」と「75歳以上」では60%以上となっています。

「高齢者や障がい者と子ども・若い人たちとの交流を広げる」は「40歳未満」（33.0%）で最も高く、最も低い「65歳～74歳」（21.2%）より11.8ポイント高くなっています。「自治会が住民の身近な暮らしや、健康・安全・防災・防犯などの問題に取り組む」は「75歳以上」（40.2%）で最も高く、最も低い「40歳未満」（31.3%）より8.9ポイント高くなっています。

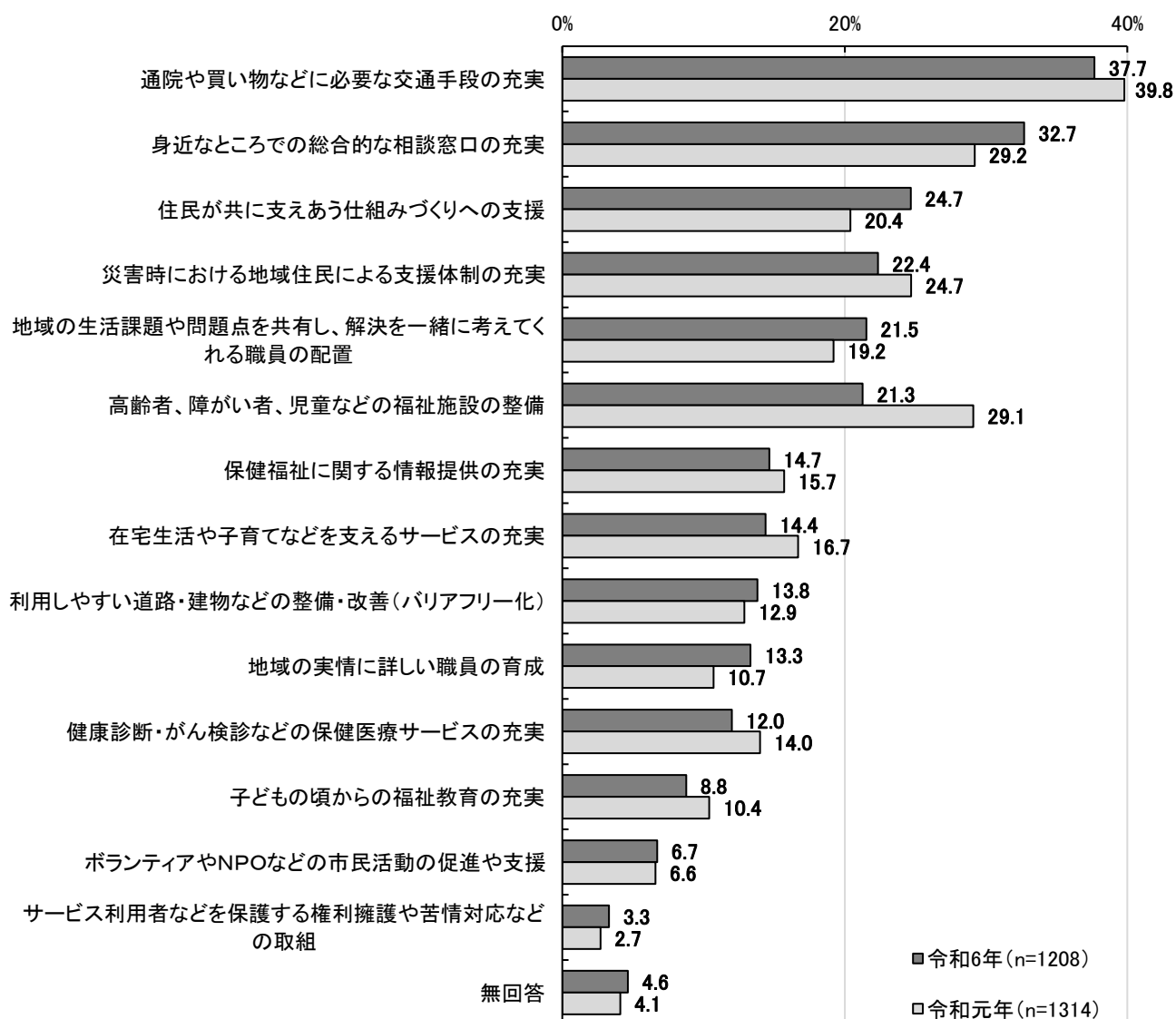


問 18 今後、今治市が取り組む施策として、次のどれを優先して充実させる必要があると思いますか。

〈複数回答・3 つまで〉(件)		
1	住民が共に支えあう仕組みづくりへの支援	268
2	ボランティアやNPOなどの市民活動の促進や支援	87
3	身近なところでの総合的な相談窓口の充実	384
4	保健福祉に関する情報提供の充実	206
5	在宅生活や子育てなどを支えるサービスの充実	219
6	地域の実情に詳しい職員の育成	141
7	地域の生活課題や問題点を共有し、解決を一緒に考えてくれる職員の配置	252
8	高齢者、障がい者、児童などの福祉施設の整備	382
9	健康診断・がん検診などの保健医療サービスの充実	184
10	サービス利用者などを保護する権利擁護や苦情対応などの取組	35
11	子どもの頃からの福祉教育の充実	137
12	災害時における地域住民による支援体制の充実	325
13	通院や買い物などに必要な交通手段の充実	523
14	利用しやすい道路・建物などの整備・改善（バリアフリー化）	170
	無回答	54

今治市が優先して取り組むべき施策について聞くと、「通院や買い物などに必要な交通手段の充実」と回答した者が37.7%と最も高く、次いで、「身近なところでの総合的な相談窓口の充実」(32.7%)、「住民が共に支えあう仕組みづくりへの支援」(24.7%)、「災害時における地域住民による支援体制の充実」(22.4%)の順となっています。

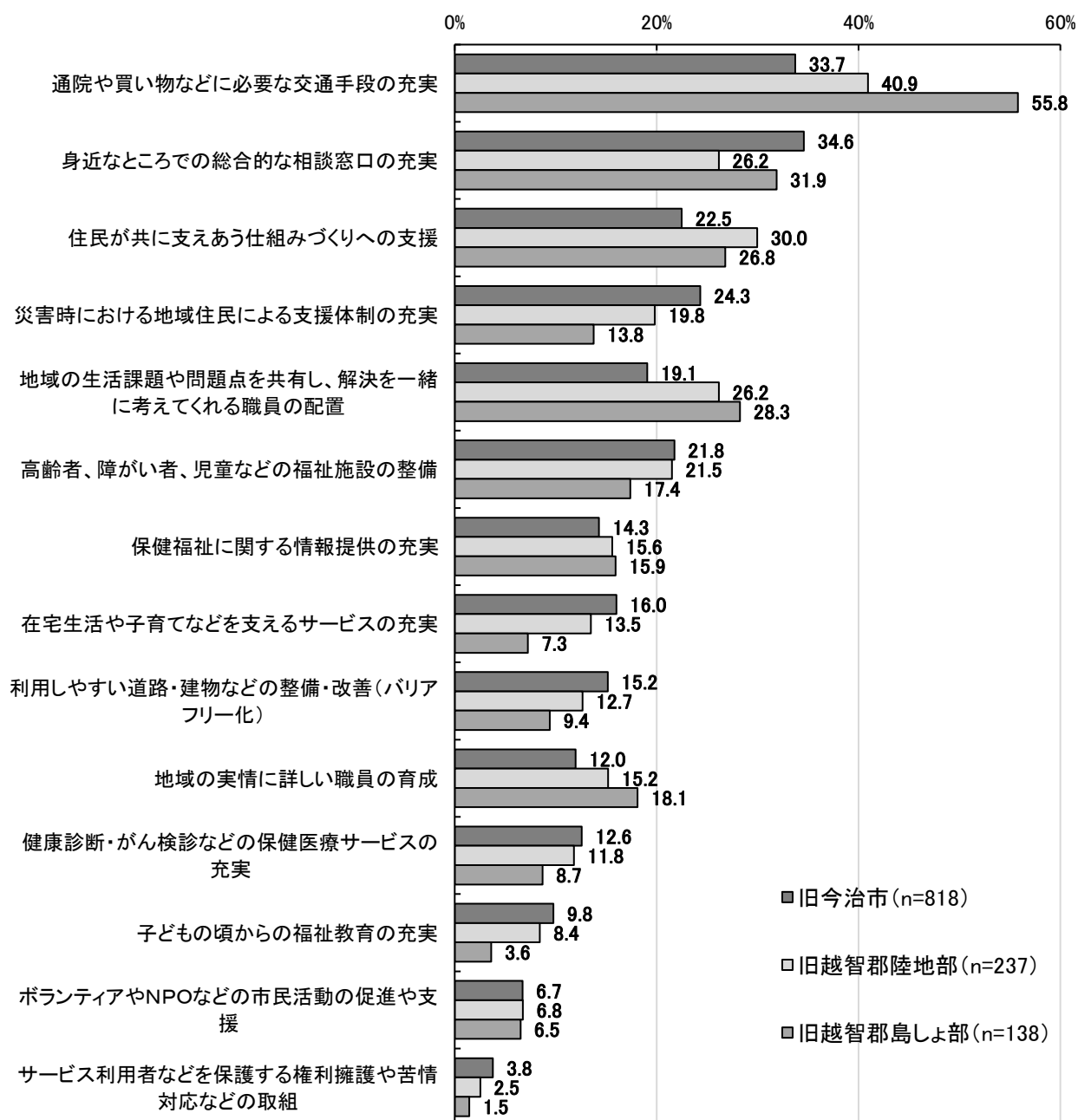
前回調査と比較すると、「住民が共に支えあう仕組みづくりへの支援」が4.3ポイント高く、「高齢者、障がい者、児童などの福祉施設の整備」が7.8ポイント低くなっています。



【地区】

地区別にみると、「旧今治市」は「身近なところでの総合的な相談窓口の充実」(34.6%)が最も高く、「旧越智郡陸地部」と「旧越智郡島しょ部」は「通院や買い物などに必要な交通手段の充実」が最も高くなっています。

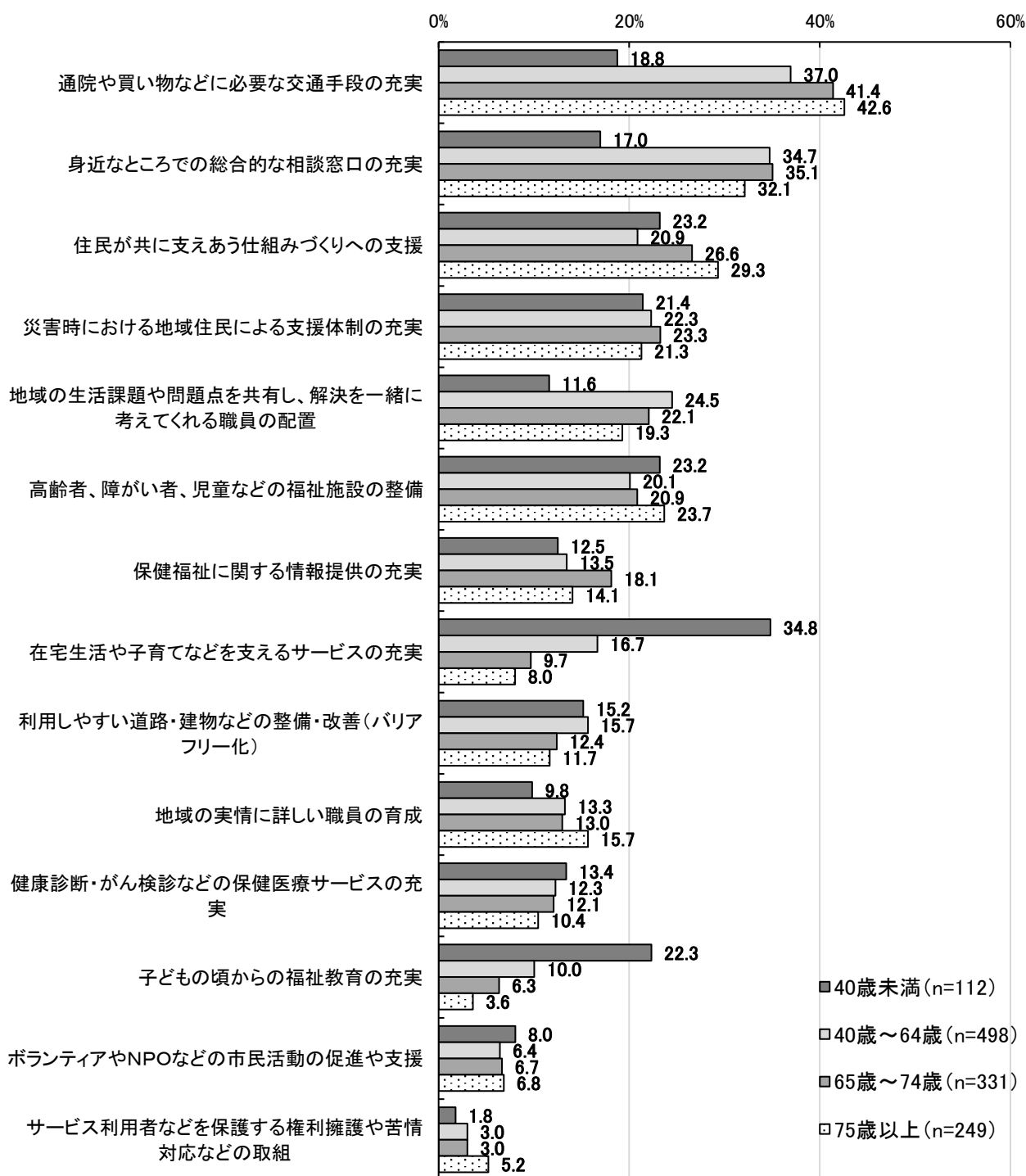
「通院や買い物などに必要な交通手段の充実」は「旧越智郡島しょ部」(55.8%)が最も高く、最も低い「旧今治市」(33.7%)よりも22.1ポイント高くなっています。一方、「災害時における地域住民による支援体制の充実」は「旧今治市」(24.3%)が最も高く、最も低い「旧越智郡島しょ部」(13.8%)よりも10.5ポイント高くなっています。



【年齢】

年齢別にみると、40歳未満では「在宅生活や子育てなどを支えるサービスの充実」(34.8%)が最も高く、その他の年齢層では「通院や買い物などに必要な交通手段の充実」が最も高くなっています。

「在宅生活や子育てなどを支えるサービスの充実」は、「40歳未満」(34.8%)が最も高く、最も低い「75歳以上」(8.0%)より26.8ポイント高くなっています。一方、「通院や買い物などに必要な交通手段の充実」は「75歳以上」(42.6%)が最も高く、最も低い「40歳未満」(18.8%)より23.8ポイント高くなっています。同様の傾向は「身近なところでの総合的な相談窓口の充実」にもみられ、最も高い「65歳～74歳」(35.1%)は、最も低い「40歳未満」(17.0%)より18.1ポイント高くなっています。



問 19 地域福祉を進めるためのご意見、ご要望がございましたらご記入ください。

(主な意見)

○日常生活に関すること

- ・今治はいい土地だと色んな人から言われるようになったものの、自分の生活が良くなっているという実感がもてない
- ・自家用車がないと外出が難しい
- ・橋の通行料金が高いので見直してほしい
- ・通院の際の交通費負担が大きい
- ・車のない高齢者や幼児の（バス代やタクシー代の）負担を軽減してほしい
- ・公共マナーがよくない
- ・バス路線の通っていない地域にも乗合バスのような手立てを検討してほしい
- ・離島の生活援助（買い物、病院など）をしてほしい
- ・道路の整備状況がよくない（白線が消えている箇所が多い）
- ・近くに買い物できるスーパーが少ない。車で売りに来てくれると助かる
- ・mobiをもっと周知して、継続性のある事業にしてほしい

○高齢者に関すること

- ・高齢者やその家族が安心して生活できることが大切
- ・支援を受けるための手続きの補助など、行政職員の教育をしてほしい
- ・高齢者が地域の交流会に参加するには敷居が高い
- ・買い物支援や災害時の支援等、高齢者の支援が不安
- ・免許返納後の交通の便がよくない
- ・独居老人対策が必要

○子育て・教育に関すること

- ・新しい産科の誘致や産婦人科へのさらなる支援が必要
- ・地域の公園を取り壊すときは、必ず代わりを作してほしい。子供の遊び場がなくなっている。
- ・障がいのある児童と一緒に学び、活動する場合、先生と生徒が障がい児の特性を理解したうえで接し方を考える必要がある
- ・特に母子・父子家庭は働く時間や生活費の少なさに苦労していると思う
- ・ヤングケアラーやネグレクトの子どもをみつけ出すために、近所の人や学校から気軽に相談ができる部署をつくってほしい

○地域に関すること

- ・地域住民の相互理解に個人情報保護法やプライバシーの侵害等が足かせになると思う
- ・行政が積極的に地域交流を促してほしい（一部の人だけでなく、大勢が参加したくなる雰囲気づくりなど）
- ・地区の活動にあまり参加していないので手助けを受けられない、と地区の役員に言われたことがある
- ・何歳になっても、その人が住みたい場所で暮らせるような街であってほしい
- ・今の自治会の在り方に息が詰まる、個々のタイプに合った参加の形を
- ・地域の結びつきを強めるため、交流活動を盛んにし、公園や商店街を魅力あるものにしてほしい
- ・使われなくなった小学校・保育園や公民館の定期的な開放等で地域コミュニティの活性化に繋げる
- ・空き家や放置田畑の対策が必要
- ・地域のコミュニティなどの情報が見える化してほしい（特に島しょ部）
- ・自治会が単独プレー
- ・気軽に利用でき、飲食可能な交流の場がほしい
- ・近所にどのような人が住んでいるのかわからない
- ・リタイアできる年齢が上がり、共働きも増えたので、地域活動をボランティアや自治会に任せるとは難しくなったと思う。市役所職員や NPO の手助けが必要。
- ・これ以上自治会の仕事を増やしてほしくない
- ・自治会に入っていないくても広報が届くようにしてほしい
- ・近所での（昼間の）交流がない
- ・市をあげて自治会への入会を呼び掛けてほしい

○行政に対する要望

- ・市長や職員が町中へ積極的に行くべき
- ・経費や人件費を含め減らしてほしい。最低限のサービスを行ってほしい。
- ・市議会議員数を減らしてほしい
- ・市民のために税金を使ってほしい
- ・今治市の情報が少ない
- ・支所機能が弱体化している。職員数が要因だと思うのでしっかり住民と向き合える体制を構築してほしい。
- ・年金生活者にもっと手を差し伸べてほしい（年金より生活保護の受給額の方が高い）
- ・貧困率が上がり続けているのをどうにかしてほしい
- ・行政から支援を受けている NPO について、適正な会計処理や成果報告がなされているか情報を公開して欲しい
- ・公共施設のトイレの洋式化に取り組んでほしい
- ・ふるさと納税の返礼品にタクシー券がほしい

○災害・防犯に関すること

- ・パトロールを強化してほしい
- ・防災等のマニュアル（避難場所への移動等）や連絡網があると助かる
- ・災害救援ボランティアセンターなどの支援体制の構築
- ・広報等の避難場所、避難所の地図がわかりづらいので、高齢者や子ども、外国の人にもわかりやすいものにしてほしい
- ・避難所までの移動が困難
- ・避難場所が現状安心・安全に避難できる場所ではない（津波や浸水の恐れのある場所）

○福祉の現場に関すること

- ・若い人に福祉への関心を持ってもらうことが大切だが、若者にとって福祉はあまり関係なく、興味が持てないと思う
- ・本気で考える人が必要
- ・支援、提供する側に教育が必要
- ・福祉職員の待遇がよくないため、若い人が続かない
- ・幅広い知識を持つ職員の育成

○障がい者などに関すること

- ・健常者と障がい者の差別をやめ、普通に暮らせるまちづくりを
- ・作業所の併用を今治市も取り入れてほしい
- ・eスポーツを障がい者が学ぶ・交流する場がほしい
- ・作業所でのデイサービスを今治市でも取り入れてほしい
- ・道路に段差が多く、歩行者や車いすが安心して通行できない
- ・障がいを持つ人への施策だけでなく、企業や支援者、一般の方に対する施策もとって、平等性を担保してほしい

○福祉サービスに関すること

- ・各家庭の困りごとどうすればよいのか、どのような手続きがあるのかを丁寧に教えてほしい（講座の実施等）
- ・気軽に相談できるような場や、発信できる場、そうした場の利用のための情報提供がほしい
- ・今の今治市の福祉は国のマニュアル通りのことをしているだけで実社会にはそぐわないと思う
- ・石川県白山市の「佛子園」のような施設がほしい
- ・西予市の「アシストメイト」のような取組が広がるといいと思う
- ・支援を受けるために個人情報や地域に提供することに抵抗感がある
- ・介護認定の基準がバラバラで、支援が必要な人に支援ができていないと思う

○その他

- ・ 学校や職場、自治会などのあらゆる場面で地域福祉について考え、実践する機会を創出する仕組みが必要
- ・ 自分たちの生活で精一杯で、地域福祉を考える余裕がない
- ・ 「福祉」の対応する分野が広く、アンケートに答えづらかった
- ・ もっと具体的に質問してほしい
- ・ 3000 人のアンケートでは不十分なのではないか（万単位、全員など）
- ・ 行政と住民とで地域福祉に関する認識・理解に差があると思うので、調査結果を公表してほしい。